2017 年秋季 UILI 会議

役員会・総会
LABMEETING
＜日環協代表団参加報告＞
《コロンビア・ボゴタ》
2017 年 8 月 23 日～25 日

一般社団法人 日本環境測定分析協会

目　　次

■会議概要 1
LABMEETING 2017 1
役員会 1
総会 1
IAAC 総会 1
■アジェンダ 2
LABMEETING アジェンダ 2
役員会 アジェンダ 3
総会 アジェンダ 4
■議事録 5
役員会 議事録 5
総会 議事録 13
■写真 17
資料：LABMEETING 19
資料（和訳）：LABMEETING 91
資料：役員会 101
資料（和訳）：役員会 147
資料：総会 181
資料（和訳）：総会 261
資料：IAAC 総会 297

＜ 関係協会組織名略一覧 ＞ ※ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ順

UILI	Union Internationale des Laboratoires Indépendants
AELI	Asociación Española de Laboratorios Independientes (ｽﾍﾟｲﾝ)
AOIL	Association of Indian Laboratories (ｲﾝﾄﾞ)
ASOCOLAB	Asociación Colombiana de Laboratorios (ｺﾛﾝﾋﾞｱ)
CALIBA	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines (ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ)
CCIL	Canadian Council of Independent Laboratories (ｶﾅﾀﾞ)
EUROLAB	European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories (欧州)
IAAC	InterAmerican Accreditation Cooperation (ｱﾒﾘｶ)
IPAN	Institute of Public Analysts of Nigeria (ﾅｲｼﾞｪﾘｱ)
JEMCA	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis (日本)
RELACRE	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ)
VRS	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (ｵﾗﾝﾀﾞ)

■会議概要

LABMEETING 2017

開催日時：　**2017 年 8 月 23 日(水) 14:00～17:10**

開催場所：　**Sheraton Bogotá Hotel** 内会議室（コロンビア・ボゴタ）

出席者（敬称略）：役員会出席者に加えて、ASOCOLAB 会員、IAAC 会員

役員会

開催日時：　**2017 年 8 月 24 日(木) 10:00～13:00**

開催場所：　**Sheraton Bogotá Hotel** 内会議室（コロンビア・ボゴタ）

出席者（敬称略）：

会　　長	ルーク･ショルティス	VRS (オランダ)
前　会　長	マナヘン･フェルナンデス･アロンソ	(スペイン)
副　会　長	アルバロ・シルバ・リベイロ	RELACRE (ポルトガル)
財務担当	松村　徹	JEMCA (日本)
事務局長	マリアンヌ・アデコ	IPAN (ナイジェリア)
非協会会員代表	アルフレド・モンテス・ニノ	Micriobioticos Analises Laboratoriais 社 (ﾌﾞﾗｼﾞﾙ)
	J・ホラシオ・デナリ	CALIBA (アルゼンチン)
	ガブリエル・フォンセカ・ロドリゲス	ASOCOLAB (コロンビア)

総会

開催日時：　**2017 年 8 月 24 日(木)14:00～17:00**

開催場所：　**Sheraton Bogotá Hotel** 内会議室（コロンビア・ボゴタ）

出席者（敬称略）：役員会出席者に加えて、ASOCOLAB 会員

IAAC 総会【同時開催】

開催日時：　**2017 年 8 月 25 日(金)09 :00～18:00**

開催場所：　**Bogotá Marriott Hotel** 内会議室（コロンビア・ボゴタ）

※資料のみ

■アジェンダ

LABMEETING アジェンダ 資料 A・B

挨拶
ルーク･ショルティス博士 ー UILI 会長
ランディ・ドアティ氏 ー IAAC 会長、ANAB（USA）資料 C

■第１部「2017Labmeeting 世界の分析業界に公平性を」
進行:マナヘン･フェルナンデス･アロンソ博士ーUILI 前会長、AELI 元会長（スペイン）

演者 1：アルバロ・シルバ・リベイロ博士 – UILI 副会長、RELACRE 会長、EUROLAB 会長（ポルトガル）
「協力の力」

演者 2：ガブリエル・フォンセカ博士 — ASOCOLAB 会長（コロンビア）
「コロンビアに試験所協会を設立して」 資料 D

演者 3：マリアンヌ・アデコ氏 — UILI 事務局長、IPAN (ナイジェリア) 資料 E
「アフリカの試験所協会による業界への貢献」

■第２部「認定・認証機関が分析業界で公平性を築く方法」
進行:マナヘン･フェルナンデス･アロンソ博士 — UILI 前会長、AELI 元会長（スペイン）

演者 1：松村徹博士 — UILI 財務担当、JEMCA 会長（日本）資料 F
「アジア試験所業界の発展 - 中国の試験所ビジネスと認定制度」

演者 2≪中止≫：ヤン・ソレス氏 — UILI 非協会会員代表、GEOS N.V.社 CEO（ベルギー）
「ヨーロッパ試験所業界における貿易の障壁とガイドラインや文書解釈による影響」

演者 3：アルフレド・モンテス・ニノ博士 — UILI 非協会会員代表、Micriobióticos Paraguay-Uruguay-Brasil 取締役（ブラジル）資料 G
「アメリカ大陸間の協力で公平性を築く」

ディスカッション

役員会 アジェンダ

1. 歓迎
2. 出席者の確認と欠席の連絡
3. アジェンダの承認 資料 H
4. 2017 年 4 月 11 日ﾃﾚﾋﾞ会議にて開催された 2017 年第 1 回 UILI 役員会および幹部会議事録の承認 資料 I・J
5. 議事録に係る懸案事項（アジェンダ外）
6. 会員協会･非協会会員代表からの活動報告(総会にて発表)
7. 会長からの報告
   - 7.1. Eurolab 戦略的合意契約ﾎﾞﾛｰﾆｬ総会
     - 7.1.1. UILI-EUROLAB WG 報告
   - 7.2. ILAC-LC バンクーバー会議 報告
   - 7.3. 6 月 30 日ウィーン開催 UNIDO 会議
   - 7.4. UILI 加入国際団体活動
8. ILP 委員会より 2016-2017 年 ILP 報告
9. 規格化 WG
   - 9.1. ISO 17025 に係る ISO/CASCO 報告
   - 9.2. ISO/REMCO ベルリン会議 資料 K
10. 財務報告
    - 10.1 ABN AMRO 銀行への UILI 口座移転
    - 10.2 2017 年 7 月 31 日現在財務諸表
    - 10.3 未払い会費
    - 10.4 2017 年予算とローリングフォーキャスト
    - 10.5 2018･2019 年予算案
11. 第 27 回総会における役員改選に向けた候補者の選出
    - 11.1. 会長、副会長、名誉財務担当、事務局長
12. 会員勧誘活動
13. UILI 拡大･促進のための活動報告
    - 13.1 AOIL:インド試験所協会
    - 13.2 その他協会
    - 13.3 加入希望事業所の検討評価
      - 13.3.1 Hamed Beik Absarkavir Lab
14. 今後の会議予定
    - 14.1 2018 年第 1 回-2018 年 4 月 20 日(金)
    - 14.2 2018 年第 2 回-2018 年 11 月 2 日(金)
15. その他(会長承認)
16. 閉会

総会 アジェンダ

1. 歓迎
2. 出席者の確認と欠席のお詫び
3. アジェンダの承認 資料 L
4. 2015 年ブエノスアイレスにて開催された第 26 回総会議事録の承認 資料 M
5. 前回総会からの懸案事項（アジェンダ外）
6. 第 14 代 UILI 会長ルーク・ショルティス博士からの報告
7. 名誉財務担当松村徹博士からの報告
   - 7.1 2016 年 12 月 31 日実績報告と、2017 年 12 月 31 日現在実績予測
   - 7.2 2018・2019 年予算
8. 第 27 回 UILI 総会における役員改選
   - 8.1.1 会長
   - 8.1.2 副会長
   - 8.1.3 名誉財務担当
   - 8.1.4 事務局長
9. 非協会会員代表の選出
10. 事務局長マリアンヌ･アデコ氏、副会長アルバロ･シルバ･リベイロ博士、非協会会員代表アルフレド･モンテス･ニノ博士より、加入団体活動報告
    - 10.1. ISO/CASCO
    - 10.2. ISO/REMCO
    - 10.3. EUROLAB
    - 10.4. ILAC
    - 10.5. UNIDO
11. 松村徹委員長より ILP 委員会活動報告
12. 会員協会からの活動報告
    - 12.1. JEMCA(日本環境測定分析協会)-日本-松村徹博士 資料 N
    - 12.2. AELI(スペイン独立試験所協会)-スペイン-マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士 資料 O
    - 12.3. CCIL(カナダ独立試験所協会)-カナダ-G･G･マケンティ氏
    - 12.4. RELACRE(ポルトガル認定試験所協会)-ポルトガル-A・シルバ・リベイロ博士 資料 P
    - 12.5. VRS(化学試験所諮問協会)-オランダ-J･H･F ファンデルワルト
    - 12.6. CALIBA(アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会)-アルゼンチン- ホラシオ・デナリ博士 資料 Q
    - 12.7. IPAN(ナイジェリア国家分析協会)-ナイジェリア-マリアンヌ･アデコ氏 資料 R
    - 12.8. ASOCOLAB(コロンビア試験所協会)-コロンビア-ガブリエル・フォンセカ氏
13. その他(会長承認)
14. 2019 年秋季第 28 回総会予定
15. 閉会

■議事録

役員会 議事録

Union Internationale des Laboratoires Indépendants
2017 年第 2 回役員会

2017 年 8 月 24 日(木)
於・シェラトン ホテル ボゴタ
10:30 開始

1. 歓迎
ショルティス博士は出席者を歓迎し、IAAC ステークホルダー委員会出席のため遅れたことを陳謝した。

2. 出席者の確認と欠席のお詫び
ショルティス博士はファン・デル・ワルト博士、ソレス氏、オリバー・ロデス氏、マケンティ氏、オイディラン博士から欠席のお詫びがあったことを報告した。
また、松村博士が JEMCA 新会長に就任したことにお祝いを述べ、新しい JEMCA 代表代理について質問した。
松村博士は、現副会長２名のうちどちらかが担当する予定で、追って事務局までその名前を連絡することを約束した。

3. アジェンダの承認　資料 H
ショルティス博士は出席者に対しアジェンダへの意見を確認したが、特になく案通り承認された。

4. 2017 年 4 月 11 日ﾃﾚﾋﾞ会議にて開催された 2017 年第 1 回 UILI 役員会および幹部会議事録の承認　資料 I・J
ショルティス博士は前回会議の議事録に簡単に触れ、一同はこれを承認した。
ショルティス博士は前回会議からのアクションアイテムを確認した：

- *オランダ政府への UILI 登記手続き - ショルティス博士*
  UILI 事務局とショルティス会長自身がフランスにおける UILI 登記の状況を確認できない問題に直面し、最終的に、役員会は UILI をオランダに登記する結論に至った経緯に触れた。
  モンテス・ニノ氏は将来会長国が変わることを考えると、世界で唯一国際団体の登記を認めるベルギーで AISBL（国際非営利団体）として登記するする案を述べた。
  ショルティス博士は、本件には多くの労力が費やされ、UILI は現在、オランダでの登記に向け手続きを進めていると述べた。

フェルナンデス博士は、本件については既に議論が交わされオランダに登記することで一同合意したことであることを説明し、次の段階について質問した。
ショルティス博士は協会の規約を公証役場に登記し、それがオランダ当局に渡り登記の要件を満たすものか審査されると答えた。
アデコ氏は、UILI がオランダに登記されることについての制約の有無を質問した。それに対しショルティス博士は、税法に係る金銭についてのみと答えた。
アデコ氏は、UILI のオランダ登記を支持した。

- *財務担当が今後数年間の年会費に係る小ワーキンググループを立ち上げ、その成果を総会に提出、承認を受ける - ショルティス博士、フェルナンデス氏*

  ショルティス博士は松村博士に対し、次回会議までに案の作成を依頼した。
  シルバ博士は EUROLAB の入会で UILI はその会費構造を見直す必要があると述べた。UILI が真に国際団体として活動する上で重要な課題であると添えた。
  ショルティス博士はこのことを協会の規約に反映させる必要があるか確認した。
  シルバ博士は規約を十分に見直し、他に変更が必要な個所がないかを確認することが重要であると述べた。
  ショルティス博士は小委員会を立ち上げて Skype 会議を開き、公証役場への提示に対応できる規約に改定することを提案した。
  モンテス・ニノ氏は ACIL の規約改定を例に挙げ、改定案を書面で作成し改定委員会に配布することを提案した。また、ショルティス博士に対し、確認すべき要点を挙げ、全体を見直すことのないようにすることを提案した。
  最終的に、ショルティス博士は協会の規約は UILI のホームページに掲載されているので、各自これをダウンロードし意見を会長へ提出することを依頼した。その後に Skype 会議を開催し、公証役場に対応できる内容かを確認するとのこと。
- *ASOCOLAB に連絡をとり、早急に 2017 年ボゴタ会議プログラムを完成させる.- ショルティス博士は、フェルナンデス氏、フェルナンデス博士*

  対応済み。
- *RELABSA に再度連絡をとり、UILI への入会を勧める - フェルナンデス氏、アルフレド･モンテス･ニノ氏*

  アルフレド氏は連絡を試みたが、最終的には先方が協会内の問題に対処できるまで待つこととした。
- *ILP WG 会議を開催し、懸案事項を解消する - フェルナンデス氏*

  対応済み。.
- *ILAC LC のアンケート調査のリンクを関係者へ配信する*

  対応済み。

- *UILI ISO WG 会議を開催し、Eurolab が会員へ配布予定の ISO 17025 改定に係る文書作成に取り組む - マリアンヌ･アデコ氏*
  対応済み。.
- *EUROLAB の UILI 入会手続きを進める - ショルティス博士*.
  対応済み。
- *引き続き UNIDO への提案事項をまとめ、先方へ連絡する - フェルナンデス氏、ショルティス博士*
  対応済み。

5. 議事録からの懸案事項（アジェンダ外）
その他の議事は挙がらなかった。

6. 会員協会･非協会会員代表からの活動報告（総会にて発表）
JEMCA – 特に無し。
IPAN – アデコ氏は協会会員に認定を取得した事業所はまだなく、この課題について UILI の協力を得たい旨述べた。ILP については、一定量の試料を購入することができれば国内に配布したいと述べた。
RELACRE – シルバ博士は ILP の認定が進行中であると述べた。また、RELACRE は FELAB と共同で「Ibero-American Congress of laboratories in Lisbon for 2018（イベロアメリカ試験所会議 2018 年リスボン大会）」を計画していることを報告した。同時に、2022 年開催予定の非破壊検査に係る世界会議の準備も進めているとのこと。
ポルトガルは産業試験所への関心が高く、UILI の紹介で業界の試験所からの教育訓練を受けたいと考えていることを述べた。EUROLAB は、ISO 17025 認定申請に係る 34 の指針を設けているが、これを見直し一般に無料公開する予定で、UILI 会員に向けてこれに特典を付けた各国言語に翻訳することを提案した。これは各国専門家の間で技術情報を交換できる機会となると添えた。
非協会会員 – モンテス・ニノ氏は、自身の経営する試験所が ABRAC の会員であることに触れ、ABRAC の UILI 入会を考えたいがそのためには MOU を取り交わす必要があると述べた。UILI はこの度 IAAC に入会したが、これからも引き続き協会行事に参加することの重要性を述べた。
ショルティス博士は、まず始めに UILI と ABRAC の連絡役となる人物を選定する必要があり、人選が行われた後に連絡を取り合い協会間でどういった関係を築くのが最良かを模索する必要があると述べた。
<u>監査機関:</u>
アデコ氏は UILI に監査機関を加入させる可能性について意見を聞いた。
ショルティス博士は、規約によれば可能であると答えた。
シルバ博士は、協会会員は、監査機関を会員に受け入れることでコミュニケーションが容易になり便利であると答えた。
これら意見を受けアデコ氏は、ベルギーに本部を置く International Confederation of Inspection and Certification Organisations（CEOC、国際監査・認証機関同盟(仮)）へ連絡をとることを提案した。
CALIBA- デナリ博士は、CALIBA にとって最も重要なのは、UILI 会議から得たものがどれだけ CALIBA の会員試験所の助けになるかであると述べた。

CALIBA は UILI を通して国際レベルで意見を拡散できるがこれだけでは不十分であると加え、アルゼンチンでは購入できない試験所の機材不足を例に挙げた。UILI に、機材買い替えのための資金調達を目的とした研究機関紹介の仲介役の可能性を示唆した。
ショルティス博士は TIC（Testing, Inspection and Certification/試験・検査・認証）業界は急速に発展していることに触れ、業界内の課題毎に投資できるクラウドファンディングのプラットホーム設置を提案した。彼はまた、一般的に、どの試験所に対しても言えることとして、試料が十分にそろって入れば資金は大きな問題ではないと加えた。
モンテス・ニノ氏は、そういった試験所は、試料が不足しているために機材を購入できない可能性があると述べた。彼はまた、CALIBA は今二つの協会の連合組織であることを加えた。
サンチョ氏は UILI に対し、途上国の技術および事業の面での協力と、国内外の専門家によるワークショップの開催を要望した。
ショルティス博士は、これら全ての要望に対処すべきで、また、UILI は監査機関を受け入れるべきと述べた。
AELI- 特に無し。
VRS- ショルティス博士は、ファン・デル・ワルト博士が VRS 会長を退任し、後任の会長はファン・デン・エンデ氏であることを報告した。

7. 会長からの報告

ショルティス博士は、ブエノスアイレス会議以降の作業の進捗状況に大変満足していることを述べた。

7.1. Eurolab 戦略的合意契約 ﾎﾞﾛｰﾆｬ総会

7.1.1. UILI-EUROLAB WG 報告

ショルティス博士は、EUROLAB の加入手続きは問題なく進行中であると報告した。また、サンチェス氏が UILI に対する EUROLAB 側窓口となり、UILI-EUROLAB WG が両協会の協働を調整することとなったと加え、これから主な活動目的を文書化し、それを実行すると述べた。

7.2. ILAC-LC バンクーバー会議 報告

ショルティス博士はデリーでシルバ博士が提案した調査が無事完了したことを報告した。

7.3. 6 月 30 日ウィーン開催 UNIDO 会議

ショルティス博士は、フェルナンデス氏とともにウィーンの UNIDO 本部を訪問し、途上国における認定機関の戦略計画を発表したが、UNIDO が必要としていたのは専門家やプロジェクトリーダーによる協力で、これに UILI が応えられる可能性があると述べた。UNIDO はまた ILP に大変興味を示し、ショルティス博士はマラウイに試料を提供できる専門企業の調査の手助けをしているとのこと---。

7.4. UILI 加入国際団体活動

ショルティス博士は、UILI が加入する国際団体活動による成果を会員に還元するまでには、これから数年の内にとるべきステップがいくつかあると述べ、各国会員協会の代表に対し、UILI が彼らにできること、また、彼らが UILI にできる事柄を具体的に挙げるよう促した。

8. ILP 委員会より 2016-2017 年 ILP 報告

フェルナンデス氏は、第 10 回および第 11 回については、試料も報告書も配布済であると報告した。

第 13 回 ILP については昨年試料を配布したが、CALIBA から報告書がまだ発行されていないとのこと。

続いて以下を報告した：

2016- 23 組参加（約 6 事業所が参加費未払い）

2017- 23 組申込済

14th ILP 試料 – 参加者へ配布済（スペイン事業所で問題）

15th ILP – 近く配布予定

16th ILP – 参加者無し

17th ILP- 最終的に CALIBA は試料を配布できず、JEMCA や RELACRE が対応を検討中

ショルティス博士は ILP 運営の改善を求め、当初 UILI は情報の配信のみを行い、管理運営は各プロバイダーが行うとのことで、今 UILI 事務局への負担が大きいことを指摘した。

松村博士は、UILI が技能試験のプロバイダーとなることを提案した。---

アデコ氏は、連携を改善させることを提案した。

フェルナンデス氏は、ILP のコーディネターを置くことを提案した。

ショルティス博士は、第 7 回 ILP への申込者に対し、試験を取りやめ、あるいは延長することとなった経緯を説明する文書を発信しなければならないと述べた。

フェルナンデス氏は、もし RELACRE が第 17 回 ILP を引き継げるようであれば CALIBA が文書を用意する必要はないのではないかと述べた。

それに対し、ショルティス博士は、CALIBA はいずれにせよ今の状況に対する詫び状を作成しなければならないと述べた。

9. 規格化 WG

9.1. ISO 17025 に係る ISO/CASCO 報告

アデコ氏は、17025 改定作業は完了しているが、まだ投票（ballot）が残っていると報告し、投票に係る情報を EUROLAB 事務局へ拡散することを提案した。

9.2. ISO/REMCO ベルリン会議 資料 K

松村博士は、2020 年に新たな規格が発効されると述べた。

ショルティス博士は、国際団体への UILI 参加についてまだ明確ではなく、活動方法と、参加者についてどう定めるべきか意見を聞いた。

シルバ博士は、UILI は会員協会に対し、現在 UILI として出席する会合、そこへの出席者を確認し、また、参加報告について改善させることを提案した。

ショルティス博士は、その調整役は事務局長が行うことを確認した。

シルバ博士は、その他の会合について EUROLAB からの参加報告を提供することを申し出、同様に UILI からの情報提供を求めた。

10. 財務報告

10.1.　ABN AMRO 銀行への UILI 口座移転

10.2.　2017 年 7 月 31 日現在財務諸表

松村博士は、財務文書について、会議終了後により詳しく確認する必要があると述べた。

10.3.　未払い会費

ショルティス博士は、未払いだった請求書の内、最近何件かが支払われ、そのことが反映されていたい資料を財務担当に提出済であることを補足した。

フェルナンデス氏は、以下の通り簡単に報告した。：

非協会会員： 全 13 -> 8 会員未払い（Ekosmyrna 社、Oikonomidis 社は 2016 年会費も未払い）

協会会員： 全 9 -> 3 会員未払い（AELI、CALIBA、および AOIL）

10.4.　2017 年予算とローリングフォーキャスト

10.5.　2018･2019 年予算案

ショルティス博士は、本議事ついては総会にてとり挙げると述べた。

11. 第 27 回総会における役員改選に向けた候補者の選出

11.1.　会長、副会長、名誉財務担当、事務局長

ショルティス博士は役付役員に対し、次期継続の意思を確認した。

出席の全役付役員は次期も継続して同役職を務めることを承知し、よって、2018～2019 年も現役職のままとすることとなった。これは総会に提出される。

12. 会員勧誘活動**:**

新規加入が承認された会員：

1. 協会：
    a. ASOCOLAB
    b. EUROLAB （正式申請）
2. 非協会：
    a. Hamed Beik Absarkavir Lab – イラン

13. UILI 拡大･促進のための活動報告

13.1.　AOIL:インド試験所協会

13.2.　その他協会

13.2.1.　入会可能性のある協会

13.2.1.1. RELABSA – グアテマラ

13.2.1.2. ASOSEC – コロンビア

13.3.　加入希望者の検討評価**:**

14. 今後の会議予定

14.1.　2018 年第 1 回-2018 年 4 月 20 日(金)

14.2.　2018 年第 2 回-2018 年 11 月 2 日(金)

時間の関係で、本議事は取り挙げなかった。

15. その他**(**会長承認**)**

特に無し。

16. 閉会

13:10 に閉会した。

アクションアイテム**:**

- オランダにおけるUILI登記手続き：公証役場に協会の規約を提出、オランダ当局への登記のため、その必要条件を満たす。役員はウェブサイトより規約をダウンロード後、会長へ意見を提出する。意見が集まった時点で、公証役場対策としての規約改定に係るskype会議を行う。- 全役員、フェルナンデス氏、ショルティス博士
- 財務担当松村博士が、EUROLABのUILI入会による状況の変化に対応するため年会費の改定案を次回会議に用意する。：松村博士
- 加入する国際団体での活動：UILIが各国協会にできることと、会員協会がUILIにできることの具体案を考える。
- UNIDO：途上国の認定機関に係る戦略計画を提示する。.
- 第17回ILP：RELACREへ試験を引き継ぐ可能性を確認し、それば難しければ、CALIBAは申込者への詫び状を作成する - フェルナンデス氏、クラウディア・シルバ氏（RELACRE）、マルタ・サンチョ氏（CALIBA）
  ショルティス博士は、いずれの場合でもCALIBAは詫び状を作成すべきと述べた。
- 規格化ワーキンググループ：加入する国際団体での活動方法と参加者に係る案を提出する。案では、UILIとして出席する会合、そこへの出席者を示し、また、参加報告について改善させる。
- グアテマラの協会RELABSA（全国保健・環境試験所ネットワーク(仮)）、コロンビアの教会ASOSEC（適合性評価機関協会(仮)）、ブラジルの協会ABRAC（ブラジル適合性評価協会(仮)）と連絡を取り、入会を勧める – フェルナンデス氏、アルフレド・モンテス・ニノ博士
- 今後の会議の日程と開催地を決定する
  2018年第1回-2018年4月20日(金)
  2018 年第 2 回-2018 年 11 月 2 日(金)

Union Internationale des Laboratoires Indépendants
第 27 回総会

2017 年 8 月 24 日(木)
於・シェラトン ホテル ボゴタ
14:00 開始

1. 歓迎
ショルティス博士は出席者を歓迎した。

2. 出席者の確認と欠席のお詫び
ショルティス博士はファン・デル・ワルト博士、ソレス氏、オリバー・ロデス氏、マケンティ氏、オイディラン博士から欠席のお詫びがあったことを報告した。

3. アジェンダの承認 資料 L
出席者へ、アジェンダ案への意見について確認したところ特になかったため案通りで承認された。

4. 2015 年ブエノスアイレスにて開催された第 26 回総会議事録の承認
前回総会の議事録について、一同はこれを承認した。 資料 M

5. 前回総会からの懸案事項（アジェンダ外）
特に無し。

6. 第 14 代 UILI 会長ルーク・ショルティス博士からの報告
ショルティス博士は UILI 事務局に対し、その働きに感謝を述べた。
また、ブエノスアイレス会議で設置した幹部会へも感謝を述べた。

ここ 2 年間で、UILI は組織の発展のため多くの重要なステップを踏んできたと述べた。
これまで会長と事務局で相当量の作業をこなしてきており、UILI に係る ILP、ISO、UNIDO 活動分野毎により多くの方々の参加を求めた。ILP 運営、加入団体活動は事務局が行うものではなく、財務管理については会計士に委任することを検討中とのこと。
UILI は今、ILAC や ISO 等国際フォーラムの場で再び注目されるようになり、加入団体活動に参加するボランティアを増やす必要があると述べた。
UILI はまた、IAAC（米州認定機関協力機構）や EA（欧州認定協力機構）といった地域協会にステークホルダー会員の取得申請を行ったことを報告した。IAAC については入会が承認され UILI は会員となったが、EA についてはステークホルダー会員ではなく？？？として入会が受け入れられたとのこと。認定協会は試験所協会をステークホルダー会員に受け入れない

事情があるようで、対応策を講じたとのこと。情報整理のためステークホルダーのデータベース、例えばグローバル ステークホルダー コンファレンスを構築する案を示唆した。
ショルティス博士は、フェルナンデス氏とともにウィーンの UNIDO 本部を訪問し、途上国における認定機関の戦略計画を発表したが、UNIDO が必要としていたのは専門家やプロジェクトリーダーによる協力で、これに UILI が応えられる可能性があると述べた。UNIDO はまた ILP に大変興味を示したとのことで、ILP で良好な結果を出した試験所に対して UILI が認定を付与することの可能性を説明した。

7. 名誉財務担当松村徹博士からの報告

7.1. 2016 年 12 月 31 日実績報告と、2017 年 12 月 31 日現在予測

2016 および 2017 年の財務報告が確認、承認された。
フェルナンデス氏は、2017 年の予算と実績について、収支として 4000EUR の黒字を予測していると報告した。
ショルティス博士は、当期は ILP による収益を 5000EUR 見込んでいるが、これは現実的ではないと指摘した。
フェルナンデス博士は、この数値はそれほどかけ離れたものではなく、ILP 参加費について 3000EUR の請求書を発行済で、また、第 14 回 ILP の JEMCA からの送金を見込んでいることを説明した。

7.2. 2018・2019 年予算

ショルティス博士は、予算は、ILP 運営、加入団体活動を行えるよう収支バランスを保たなければならないと述べた。
松村博士は、財務管理についてより徹底して調査検討することを提案した。

8. 第 27 回 UILI 総会における役員改選

8.1.1. 会長
8.1.2. 副会長
8.1.3. 名誉財務担当
8.1.4. 事務局長

ショルティス博士は、役付役員へ確認した後に、次期も同役職を継続することを希望していると述べ、2018～2019 年も現役職に変更はないこととなった。

9. 非協会会員代表の選出

現職に変更なく、新たに選出されることはなかった。

15:00 ASOCOLAB 会議出席者が総会に参加

10. 事務局長マリアンヌ･アデコ氏、副会長アルバロ･シルバ･リベイロ博士、非協会会員代表アルフレド･モンテス･ニノ博士より、加入団体活動報告

10.1. ISO/CASCO

アデコ氏は、17025 改定と認定試験所の今後について大変素晴らしい発表を行った。発表資料は UILI ウェブサイトに掲載予定。

10.2. ISO/REMCO

10.3.　EUROLAB
10.4.　ILAC
10.5.　UNIDO

ショルティス博士は各活動について基本的な説明をした。詳細は役員会議事録を参照のこと。議事録はウェブに掲載される。

11. 松村委員長より **ILP** 委員会活動報告

ここでの報告は行われなかった。詳しい報告は役員会議事録を参照のこと。

12. 会員協会からの活動報告

12.1. JEMCA（日本環境測定分析協会） **–** 日本　資料 N
- 松村徹博士
報告内容はウェブに掲載される。

12.2. AELI（スペイン独立試験所協会） **–** スペイン　資料 O
- マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士
報告内容はウェブに掲載される。

12.3. CCIL（カナダ独立試験所協会） **–** カナダ
- G･G･マケンティ氏
報告内容はウェブに掲載される。

12.4. RELACRE（ポルトガル認定試験所協会） **–** ポルトガル　資料 P
- A･シルバ・リベイロ博士
報告内容はウェブに掲載される。

12.5. VRS（化学試験所諮問協会） **-** オランダ
- J･H･F ファンデルワルト博士
報告内容はウェブに掲載される。

12.6. CALIBA（アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会）**-** アルゼンチン
- ホラシオ・デナリ博士**.**　資料 Q
報告内容はウェブに掲載される。

12.7. IPAN（ナイジェリア国家分析協会） **-**ナイジェリア　資料 R
- マリアンヌ･アデコ氏
報告内容はウェブに掲載される。

12.8. ASOCOLAB（コロンビア試験所協会**)-**コロンビア
- ガブリエル・フォンセカ氏
報告内容はウェブに掲載される。

13. その他**(**会長承認**)**

特に無し。

14. 2019 年秋季第 **28** 回総会予定

次回総会は 2020 年オランダ開催を決定。EUROLAB や Fenelab との共同開催の可能性もあるとのこと。

15. 閉会

17：30、第 27 回総会は閉会した。

アクションアイテム：

- 情報整理のためステークホルダーのデータベース、例えばグローバルステークホルダー コンファレンスを構築する。
- 2018・2019 年予算を作成する

※LABMEETING 議事録については、本報告後ろに添付されているプレゼンテーション資料をご確認ください　資料 A～G

※8 月 25 日(金)に開催された IAAC 総会の決議つきましては、添付資料にてご確認ください　資料 S

■写真

【写真 1】Lab tour (INVIMA)

【写真 2】Lab tour (INVIMA)

【写真 3】Lab tour (INVIMA)
(左)ﾃﾞﾅﾘ CALIBA 会長(中)ﾌｪﾙﾅﾝﾃﾞｽ UILI 事務局
(右)ﾌｪﾙﾅﾝｴｽ UILI 前会長

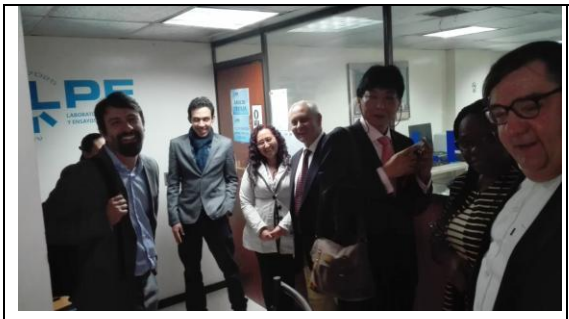
【写真 4】
LABMEETING
ｼｮﾙﾃｨｽ UILI 会長(VRS)

【写真 5】LABMEETING
ﾄﾞｱﾃｨ IAAC 会長

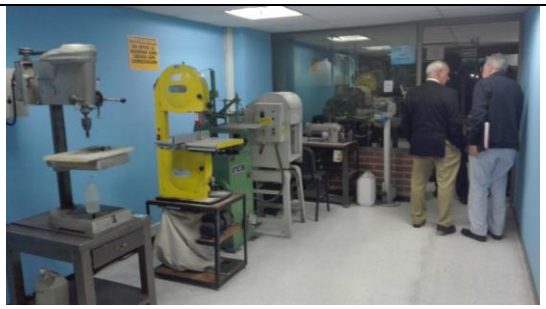
【写真 6】LABMEETING
ﾓﾝﾃｽ･ﾆﾉ UILI 非協会会員代表

【写真 7】LABMEETING
松村 UILI 財務担当(JEMCA)

【写真 8】LABMEETING
ｱﾃﾞｺ UILI 事務局長(IPAN)



【写真 9】ASOCOLAB 訪問



【写真 10】ASOCOLAB 訪問

【写真 11】ASOCOLAB 訪問

【写真 12】ASOCOLAB 訪問

(左)ﾌｫﾝｾｶ ASOCOLAB 会長

【写真 13】ASOCOLAB 訪問

(左から)
ﾌｪﾙﾅﾝﾃﾞｽ UILI 事務局,松村 UILI 財務担当(JEMCA),ｼｮﾙﾃｨｽ UILI 会長(VRS),ﾌｫﾝｾｶ ASOCOLAB 会長,非協会会員代表ﾓﾝﾃｽ･ﾆﾉ博士,ﾌｪﾙﾅﾝﾃﾞｽ UILI 前会長,ｱﾃﾞｺ UILI 事務局長(IPAN),ｼﾙﾊﾞ UILI 副会長(RELACRE),ﾄﾞｩｱﾙﾃ RELACRE 事務局,ｼﾙﾊﾞ RELACRE 事務局,ｺｴｰﾘｮ氏(RELACRE)

【写真 14】IAAC ステークホルダー委員会

【写真 15】UILI 役員会

【写真 16】UILI 総会

【写真 17】UILI 総会

資料：LABMEETING

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

FOUNDED 1961

資料A

27th General Assembly Governing Board and Working Group Meetings

Bogota, Colombia

FOURTH ANNOUNCEMENT

REGISTER NOW - JUNE 2017

THE 2017 UILI LABMEETING

Creating the level playing field in global testing

Annual forum

In conjunction with the annual meeting of IAAC

InterAmerican Accreditation Cooperation

AUGUST 22 - 23 - 24TH 2017, BOGOTA, COLOMBIA

UILI Welcome at the 2017 UILI LABMEETING

Dear friends of laboratory industry,

It gives me great pleasure to invite you to attend the '2017 UILI LABMEETING – 27th General Assembly, Governing Board and Working Group Meetings' that the International Union of Independent Laboratories (UILI) will organize on August 22, 23 and 24, 2017 in Bogota, Colombia.

Our event will be hosted by ASOCOLAB, the Asociación Colombiana de Laboratorios and will accommodate the annual meeting of the IAAC.

Our '2017 UILI LABMEETING' should be seen as an initiative to raise awareness for the importance of the laboratory industry societal level. From this perspective, it also forecasts composite talks: many social and economic aspects of laboratory testing do pass in review by prominent speakers from around the globe. I refer to the website of UILI (www.uili.org). There you can find all information and documentation concerning the activities.

UILI members, I would like to welcome to our 27th General Assembly. I express the expectation that the '2017 UILI LABMEETING' will give a valuable contribution to the image and authority of the laboratory industry in Colombia.

Yours sincerely,

UILI - Union Internationale des Laboratoires Indépendants

On behalf of the Governing Board,

Drs L.H.A. Scholtis
14th UILI President

UILI LABMEETING WELCOMES

The UILI LABMEETING is open to all UILI Members, representatives of laboratories and laboratory associations and their stakeholders. UILI invites all registered attendees of the 2017 IAAC annual meeting.

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI) is an international organization representing the laboratory industry. Established in 1960, UILI membership includes over 1000 laboratories through Member Associations as well as individual ordinary Members.

PROGRAM 2017 UILI LABMEETING
GOVERNING BOARD AND WORKING GROUP MEETINGS

Time	Tuesday August 22
09:00 – 12:00	**IAAC Subcommittee of Laboratories**
13:00 – 14:00	Welcome lunch
14:00 – 17:00	**UILI Members Update - Masterclass** Meeting is open to all UILI Members and attendees of the Asocolab Conference **UILI Master Class - Uncertainty in measurement Monaco Method** Alvaro Silva Ribeiro, Vice-President of UILI
14:00 – 14:45	**UILI Members Update - Working Groups - Governing Board Meeting** Meetings are open to all UILI Members and attendees of the Asocolab Conference *Standardization* **UILI Governing Board - Members Update - ISO 17025 and ISO/Casco-ISO/REMCO Working Group**
14:45 – 15:30	*Proficiency testing* **UILI Governing Board - Members Update - Interlaboratory Practice and ILP Working Group** ILP program 2017-2018
15:30 – 16:15	*Innovation and Industrial development* **UILI Governing Board - Members Update - UNIDO**
16:15 – 17:00	*Organisation development and membership* **UILI Governing Board - Members Update - UILI - Eurolab Strategic Alliance Working Group**
20:00 – 23:00	**Welcome dinner for board members and spouses**

Time	Wednesday August 23
09:00 – 13:00	**LabTour visit to Colombian laboratories, INVIMA and ATLAS laboratory**
13:00 – 14:00	Lunch
14:00 – 14:15 14:15 – 14:30	**LabMeeting 2017** ***Creating the level playing field in global testing*** • **Opening:** - **Drs. Luc Scholtis**, 14th President of UILI, Union Internationale des Laboratoires Indépendants, Past-President of VRS, Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria and CEO of LabWing B.V. (the Netherlands). - **Randy Dougherty**, IAAC Chair
14:30 – 14:50 14:50 – 15:10 15:10 – 15:30	***How can laboratories and laboratory associations create a level playing field in testing?*** **Moderator: Dr. Manahén Fernández,** Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain). • 'The power of cooperation', **Dr. Álvaro Silva Ribeiro**, Vice-President of UILI, President of RELACRE, Associaçao de Laboratórios Acreditados de Portugal and President of EUROLAB, European Federation of National Associations of Measurements, Testing and Analytical Laboratories (Portugal). • 'Creating a laboratory association in Colombia, **Dr. Gabriel Fonseca,** Executive Director of ASOCOLAB, Asociación Colombiana de Laboratorios (Colombia). • 'Laboratory Associations In Africa, offering value added services to the industry, **Mrs. Mary-Anne Adeeko**, Secretary-General of UILI (Nigeria).
15:50 – 16:10 16:10 – 16:30 16:30 – 16:50 16:50 – 17:10	***How can accreditation and notification bodies create a level playing field in testing?*** **Moderator: Dr. Manahén Fernández,** Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain). • 'Developments in the Asian laboratory industry - the power of interlaboratory testing', **Dr. Toru Matsumura,** Treasurer of UILI, President of JEMCA and executive director of IDEA Consultants, Inc. (Japan). • 'Barriers to trade for the European laboratory industry - the power of guidelines and interpretation documents' **Ir Jan Soers**, UILI Unaffiliated ordinary members representative and CEO of GEOS N.V. (Belgium). • 'Inter American Cooperation creating the level playing field', **Dr. Alfredo Montes-Niño,** , UILI Unaffiliated ordinary members representative and Managing Director of Microbióticos. Paraguay-Uruguay-Brasil. • Discussion
20:00 – 22:00	LabMeeting dinner

PROGRAM 2017 UILI LABMEETING

Time	Thursday August 24
08:00 – 10:00	**Stakeholders Committee IAAC**
10:00 – 13:00	**UILI Governing Board Meeting**
13:00 – 14:00	Lunch
14:00 – 17:00	**UILI 27th General Assembly**
20:00 – 22:00	Gala dinner for UILI and ASOCOLAB members

Time	Friday August 25
09:00 – 18:00	IAAC General Assembly

Time	Saturday August 26
09:00 – 17:30	Tour

UILI MEMBER ASSOCIATION AND LOCAL HOST

Asociación Colombiana de Laboratorios - ASOCOLAB - is a non-profit organization, which aims to advise, contact, train all kinds of accredited and non-accredited laboratories in Colombia. ASOCOLAB represents them in developing Colombian and international technical standards.

We represent the interests of the public:

www.asocolab.com
info@asocolab.com
PBX: (57-1) 405 4111 EXT 105
Calle 17 No. 68B - 68
Edicio Vestigium
Colombia

DATE AND PLACE

From Tuesday 22th to Saturday August 26th in Bogota, Colombia. Sheraton Hotel Bogota.

CALL FOR SPONSORS

Given the worldwide nature and perspective of this meeting, we consider it to be a good opportunity for international suppliers to the laboratory sector to be represented in such a relevant event. For this reason if your company is interested in being one of our main sponsors, together with other influential companies from our sector please contact us by sending an e-mail to secretariat@uili.org and we will provide you all the information about it.

REGISTRATION

Interested parties can register as a participant through online registration form via the website UILI: www.uili.org or by sending an e-mail to the UILI (secretariat@uili.org) or ASOCOLAB (info@asocolab.com) secretariat.

COSTS

- Registration fee will cost € 280,00 (€ 93,00 for students) or equivalent in Colombian pesos at the exchange rate of the day.
- ASOCOLAB or UILI Member 50% discount
- The registration fee includes:
  - Access to all sessions
  - First day lunch, coffee breaks
  - Abstracts
- Gala diner € 75
- Saturday tour p.m.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

WE INVITE OUR UILI MEMBERS TO THE LABMEETING:

ABOUT UILI

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants is the worldwide organisation for independent testing and calibration laboratories and for independent consultancy organisations.

Besides receiving regular information on developments of interest to members, their interests are represented at international forums such as ILAC, ISO and UNIDO.

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants was registered in France in 1961 as an international association of independent laboratories and consultants. UILI operates under the terms of its Constitution adopted, under its current form, by the 26th General Assembly held in Buenos Aires on September 17, 2015.

A Governing Board, elected by the Ordinary Members through their Member Associations, exercises policy control over all UILI activities. Independent Laboratories and consultants may enjoy membership of UILI either through membership of a Member Association, itself being recognised by UILI, or by individual non-affiliated ordinary membership.

The Constitution permits ordinary membership within a country that has a recognised Member Association. In addition, to accommodate the breadth of scientific disciplines that seek membership of UILI, the constitution permits more than one Member Association per country.

The present membership represents over one thousand laboratories offering a diverse range of laboratory testing and consulting services. UILI has members throughout Europe, North- and South America, Africa and the Middle and Far East.

UILI

WWW.UILI.ORG ■ SECRETARIAT@UILI.ORG

ABN AMRO BANK ■ BIC: ABNANL2A ■ IBAN: NL79ABNA0533251109

1st. INTERNATIONAL CONGRESS OF CONFORMITY OF THE LABORATORIES
Bogotá DC, 22 - 24 August, 2017
SHERATON HOTEL - MEZZANINE

Ref: Workshopping 1st. International Congress of Laboratories.

The Colombian Association of Laboratories - ASOCOLAB invites you to participate in the 1st. International Congress of CONFORMITY IN LABORATORIES, to be held on 22, 23 and 24 August 2017, at the Sheraton Hotel in Bogotá.

On behalf of ASOCOLAB, I present our portfolio of options in the Commercial Trade Show of the Congress, which will be held, on 23 and 24 August 2017, in the same place.

This is a space for your company to establish and develop business relationships, either as a buyer, supplier, public body, sales representative or strategic ally of international companies. For ASOCOLAB, it would be very pleasant and valuable to have you, in the commercial exhibition of the Congress.

Any questions or concern, please contact us.
Email: Info@asocolab.com

With my best regards,

Gabriel Fonseca R.
Executive Director
Asociación Colombiana de Laboratorios
Phone: 57 1 4054111
Bogotá D.C. – Colombia

FARE FOR WORKSHOPPING

CATEGORY		Spaces available	Fare until 15/june/17	Fare after 16/june/17
A-1, A-2	**GOLD STAND**	2	**535USD**	**600USD**
A-3,4,5,6	**SILVER STAND**	4	**467USD**	**534USD**
P-1,2,3,4,5	**INSTITUTIONAL BANNER**	5	**267USD**	**300USD**

HOTEL SHERATON - MEZZANINE

資料C

Accreditation creates a level playing field in testing

Presentation by Randy Dougherty
IAAC Chair

August 2017

IAAC

ILAC & IAF

- International Laboratory Accreditation Cooperation
- International Accreditation Forum

ILAC & IAF

Global networks of conformity assessment accreditation bodies

- Recognition of competent conformity assessment activities through global multi-lateral mutual recognition arrangements
- Harmonization of conformity assessment practices
- Promotion of accredited conformity assessment as an effective mechanism for providing confidence in goods and services

ILAC MRA & IAF MLA

The Arrangements, through peer evaluation, provide confidence that ABs are competent

- ISO/IEC 17011
- IAF-ILAC A series documents

The Arrangements provide confidence that accredited CABs operate to the same standard

ILAC MRA & IAF MLA

- Signatories must recognize the certificates issued by CABs accredited by all other members of the Arrangements
- This recognition and acceptance removes technical barriers to international trade (TBT) by eliminating the need for multiple certifications

Regional Cooperation Bodies

The IAF and ILAC Arrangements are structured to build on existing and developing regional MLAs/MRAs established around the world

European Cooperation for Accreditation (EA)

Pacific Accreditation Cooperation (PAC)

Inter-American Accreditation Cooperation (IAAC)

Asia Pacific Laboratory Accreditation Cooperation (APLAC)

Southern African Development Community Accreditation (SADCA)

African Accreditation Cooperation (AFRAC)

Arab Accreditation Cooperation (ARAC)

IAAC MLA signatories

Argentina, Brazil, Canada, Chile, Colombia,
Costa Rica, Cuba, Ecuador, El Salvador, Guatemala,
Jamaica, Mexico, Nicaragua, Paraguay, Peru, Uruguay, USA

THANK YOU

Randy Dougherty, IAAC

rdougherty@anab.org

Liliane Somma, IAAC Vice-Chair

lilianesomma@yahoo.es

Victor Gandy, IAAC Secretary

secretariat@iaac.org.mx

www.iaac.org.mx

資料D

Creando una Asociación de Laboratorios en Colombia

Gabriel Fonseca R.
Director Ejecutivo
ASOCOLAB

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Una Golondrina No Llama Verano

Desde la creación del Organismo Nacional de Acreditación Colombiano ONAC, se vio la necesidad de reunir a los diferentes sectores directos de la Conformidad, por grupos, dado que cada uno debía elegir a su representante, al Consejo Directivo de ONAC.

Inicialmente se unifico toda la Conformidad en una sola agremiación.

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Las necesidades y las características de los Laboratorios obligo a crear una agremiación, dado que el número de laboratorios de pruebas y ensayos, calibración, forenses y clínicos superaba hasta tres veces a la suma del resto de organismos (de producto, inspección y sistemas)

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Quien es ASOCOLAB

Somos una asociación sin ánimo de lucro que pretendemos asesorar, unificar criterios, actualizar la información y liderar los principios de Ética dentro de sus asociados.

Actualmente estamos asociados a ONAC, somos miembros de partes interesadas de IAAC, miembros de UILI y de ASTM.

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Desconocimiento de la Contratación Estatal en la Conformidad

Se ha hecho necesario defender en la Contratación Estatal, a los laboratorios por el reconocimiento de sus actividades y no restringirles la libre actividad de sus funciones, cuando el Estado o varias instituciones de orden nacional, tiene sus propios laboratorios y obliga al mercado a que solo usen estos laboratorios, mediante pliegos de condiciones de las licitaciones publicas y cuando les adjudica los negocios por contrato, desconociendo el Decreto 1595 de 2015.

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Desconocimiento del Consumidor Final como Funciona la Calidad

Es necesario unir esfuerzos y recursos para informar, divulgar y promocionar la Conformidad al consumidor, porque mientras el consumidor no exija la calidad, todos los operadores de la Conformidad no tenemos mercado, no tenemos demanda de nuestros servicios y la que tenemos es muy débil.

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Esta es una primordial necesidad común, que requiramos de todos los laboratorios, que unamos fuerzas para emprender tareas conjuntas y efectivas, a solucionar el bajísimo conocimiento del Mercado de como funciona la Conformidad, para garantizarle a los ciudadanos la Calidad de los productos que compra y usa.

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

El Subsistema Nacional de la Calidad

ASOCOLAB, participo con sus opiniones e interacciones en la creación del Subsistema Nacional de la Calidad.

Actualmente en Colombia el SICAL funciona con 5 grandes organismos, en el cual cada uno desempeña una función especifica y complementaria y los coordina el Ministerio de Comercio, Industria y Turismo.

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

- ONAC
- ICONTEC
- Entes reguladores (Ministerios)
- Instituto Nacional de Metrología
- SuperIntendencia de Industria y Comercio

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

Gracias por su atención

III Congreso de la Conformidad en los Laboratorios – Versión Internacional

Gabriel Fonseca R.
Director Ejecutivo
ASOCOLAB

ASOCOLAB
ASOCIACIÓN COLOMBIANA DE LABORATORIOS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料 E

LABORATORY ASSOCIATIONS IN AFRICA, OFFERING VALUE ADDED SERVICES TO THE INDUSTRY

A PRESENTATION AT THE 2017 UILI LABMEETING
IN BOGOTA, COLUMBIA ON AUGUST 22,2017
BY

MARY-ANNE ADEEKO M.SC. CHEM, FIPAN
UILI SECRETARY GENERAL
MANAGING DIRECTOR
FRALS LABORATORY & CONSULTING SERVICES LTD,

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

CONTENT

- Africa
- Laboratory Industry -History
- Future of African Economy
- Independent National/Regional Laboratory Associations (INLA/IRLA)
- Value added benefits of INLA
- Summary

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

AFRICA

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

AFRICA

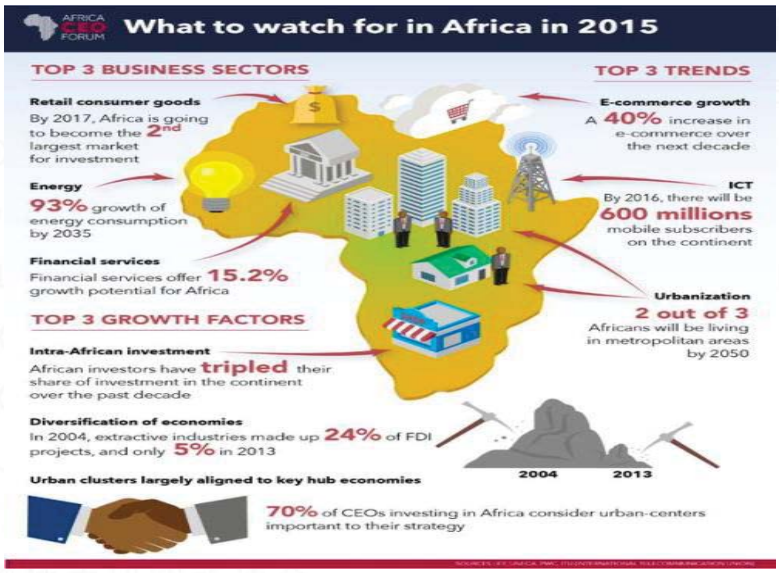
- Population of 1.22 billion (2016)
- 3rd World's population in 54 Countries
- World's 2nd largest and 2nd most-populous continent
- Covers 1/3 of the world space
- 50% of Africans are under 19 years of age.
- Each country has its own political, economic and cultural dynamics—and its own pace of development

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

INVESTMENTS IN AFRICA (2015)

- Economic boom in the early 2000s
- Attracted local & international Investment in telecoms, finance and agric business
- Dependent on government patronage



UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

LABORATORY INDUSTRY-HISTORY (1)

- Started as government regulatory or research establishments
- Supported with government budget and international donor funds.
- Management decision on laboratory issues were taken by others in government relying on the donors recommended or preferred guidelines & standards e.g World Health Organization (WHO) , Food and Agriculture Organization (FAO) , International Atomic Energy Agency (IAEA) , etc..
- Government guidelines & laws were restrictive with little room for innovations.
- No National laws to guide the setting up of laboratories

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

LABORATORY INDUSTRY- HISTORY (2)

- Independent laboratories emerged during the boom years
- Legally registered , worked with regulatory bodies desiring to meet international compliance or to resolve environmental ,safety or business issues (like dumping of toxic wastes , importation of fake products, testing of product importation etc.)
- But depended on government patronage , working with the restrictive standards & resulting in little or no development of the Business sector
- Introduction of laboratory standard (ISO /IEC 17025) was seen as a business tool and not promoted .
- The Independent labs became orphans in the economy with no voice and no growth

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

FUTURE OF AFRICAN ECONOMY

- In recent years , the economy is facing crisis leading to indebtedness , low Investment and macroeconomic imbalances.
- Re-thinking of Africa's business
  - Increase role of the private sector for Sustainability.
  - increase Africa's attractiveness to international investors, using innovation and entrepreneurial energies .
  - To improve the competitiveness and support in the creation of more export-orientated activities

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

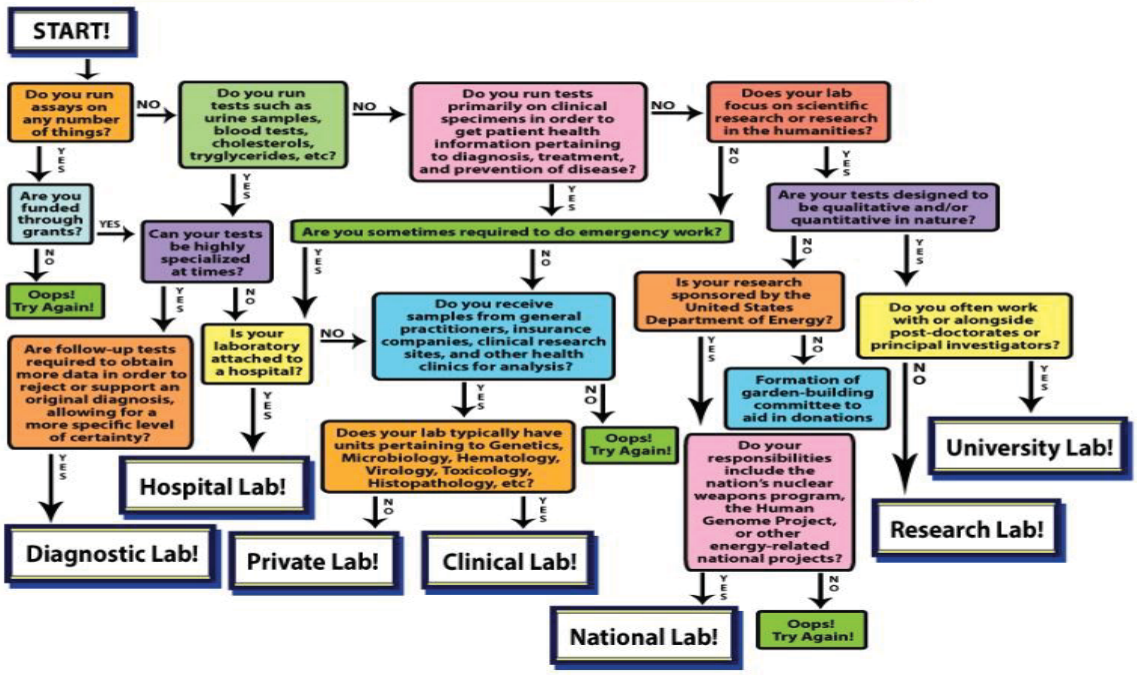
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

HOW CAN THE LABORATORY INDUSTRY CONTRIBUTE TO THE FUTURE OF AFRICA ECONOMY

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

Which Type of Laboratory Are You?



UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

TYPES OF LABORATORIES

- Diagnostics
- Hospital
- Private
- Clinical
- National
- Research
- University

- Government Funding
- National or International Donors funding
- Grants
- Guaranteed patronage
- Data not dependable

- Independent Laboratories → Private funding , poor return on investment , few samples , poor data

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

LABORATORY - CHALLENGES

- Group 1 :
  - Government ownership with restricted laws , dwindling government / donor funding
- Group 2:
  - Private ownership / funding , high investment , limited improvement due to poor return on investment
- In general, both groups face same problems with poor quality infrastructure, training , no quality policy & integrity of data
- Representation :
  - Clustered in associations with limited interaction, broken into sectors with overlapping roles & operating different quality assurance guidelines and standards
  - No Unified voice

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

CONSEQUENCES OF THE CHALLENGES

1. Poor state of laboratories
2. Very few accreditation
3. Lack of capacity to provide timely and reliable results
4. Poor participation in international technical activities
5. Poor service to customer
6. No trust

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

WHAT HAS BEEN DONE? REGIONAL/NATIONAL QUALITY ACTIONS

- Establishment of the 4 pillars of the Pan African Quality Infrastructure (PAQI) namely:
  - The African Accreditation Cooperation (AFRAC)
  - Intra-Africa Metrology System (AFRIMETS)
  - African Organization for Standardization (ARSO)
  - African Electro technical Standardization Commission (AFSEC)
- Establishment of National Quality Infrastructure projects
  - Policy development and implementation
  - Standards and quality control bodies development within the framework of the National Quality Infrastructure (NQI)
  - Formation of National Accreditation Bodies

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

KEY GAP

- All the 4 pillars depend on Laboratory but no organization representing Laboratory issues

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

WHAT NEEDS TO BE DONE?

- Add Laboratory voice at the decision making point
- Break the wall within the lab associations
- Build strong independent National /Regional Laboratory Association
  - Promote Laboratory policy
  - Bring together all lab sectors
  - Include other stakeholders(suppliers, Accreditation Bodies (AB), investors etc.)
  - Create a level playing field through collaboration with other regional/International Lab organizations
  - Build a robust reporting system databases

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

INDEPENDENT NATIONAL /REGIONAL LAB ASSOCIATIONS (INLA /IRLA)

- INLA is a stakeholder body that represents the voice of National /Regional laboratories.
  - non-profit , registered in country as agreed , have a board of directors elected from its members , may coopt other members from relevant stakeholders
  - Stakeholders may include heads of National/international accreditation body, Standards organization, Metrology, equipment manufacturer /representative , maintenance bodies etc.
  - affiliated/registered with the UILI International Body
- Membership open to all laboratories .Large laboratories mandatory , but may be open and voluntary for small laboratories
  - members are representative of the different activities within testing and calibration service
  - Individual Laboratories may be - a for-profit company , a non-profit. university, a government organization or research

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

ROLE OF INLA

- Creation of a strong institutional support for laboratories (National /Regional Association)
  - be a truly representative association for all laboratories government / private involved with measuring, testing, calibration, verification as well as operating in areas of R&D in the natural and applied sciences.
- Represent laboratories activities on a technical, ethical and commercial level.eg represent the experience, knowledge and formulated opinions
  - to promote lab activities and ensure lab representation in Technical Committees TC for standard reviews
- Communication :
  - To establish effective communication channels for technology transfer , capacity and capability development with organizations that have similar objectives e.g. UILI, Lab Manager ,Lab Equipment etc.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

ROLE OF INLA (2)

- Promote the use of laboratory management standard , provide data on lab improvements and conduct comparison programs e.g. PTP and ILC
- Accreditation / Recognition :
  - To establish a singular interface of representation of its members with accreditation bodies and relevant international bodies
  - To identify national/regional accreditation needs and represent the interests and opinions in the interpretation of accreditation requirements
- Training
  - To provide a mechanism for training and technology transfer among its members by means of workshops, seminars, symposia, specialist interest groups, printed reports and newsletters.
  - To establish the register of lab trainers and persons certification bodies to ensure adequacy of technical training

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

VALUE ADDED BENEFITS OF INLA

- Provide Leadership on Laboratory Industry issues
- Influence Policies and Strategic Plans internationally
- Increase Investors confidence
- Resource capacity & capability improvement
- Professional Training & Development
- Infrastructure improvement
- Proficiency Testing Programs PTP /Interlaboratory Comparison
- Collaboration on accreditation of laboratories
- Sustainable link to other lab stakeholders
- Improved quality & integrity of lab services
- Timely communication of information & technology
- Impact measurement & improvement

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

SUSTAINABILITY

- Finance :
  - Membership annual dues
  - Seek donations , grants and support National & International for capacity building ,
  - Hold workshops ,conferences and exhibitions
  - Conduct training & certification of technical personnel ISO 17024
  - Provision / coordinate training on PT & ILC programs ISO 17043
  - Promote & Coordinate technical training on implementation of ISO 17025
- Administrative
  - Provision of centralized internet /database to enhance reporting
  - Liaison with stakeholders through virtual meetings
  - Provide technical input to National issues
  - Print books/journals relevant to lab
  - Liase with Accreditation bodies on laboratory issues
  - Improvement monitoring
  - Liase with ministries of commerce & trade

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

SUSTAINABILITY (2)

- Technical
  - Seminar with stakeholders eg Equipment upgrade , performance and maintenance , improvement in Chemical ,reagents , Reference Materials & Standards (New ISO/ REMCO)
- Donation & Sponsors /Funding
  - Official Development Assistance **(ODA**) funding (Organization for Economic Co-operation and Development (OECD) term for funds spent on the welfare and economic development of developing countries)

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

INTERNATIONAL COORDINATION

- UILI to coordinate the global unification of Laboratories (associations) using following suggested smatter ways to perform and deliver laboratory service
  - Collaboration of laboratories within countries (public /private) and regions to improve capacity and share best practices
  - Cooperation with relevant international organizations for technical contact to advise on updates , training of trainers for timely updates for better development , centralized communication , strategy and action
  - Cooperation with other International laboratories that will enhance conformity assessment activities and ensure confidence & integrity in performance & service delivery
  - International alignments/support that will reduce the high cost of laboratory inputs and ensure competiveness and profitable outputs

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

SUMMARY- CREATION OF INLA

- Open up the laboratory industry and enable it fit into the future of Africa economic plan
- Increase its role as a private sector for sustainability.
- Open up the sector to national / international investors.
- Improve the competitiveness of its services that supports export business

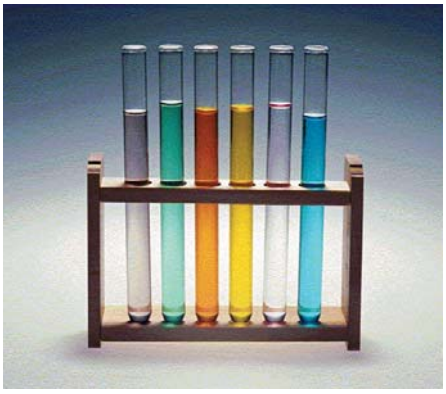
REFERENCES

- International/National Associations:
  - National Association of Testing Authorities ,Australia NATA
- Amir Ben Yahmed, president of the AFRICA CEO FORUM 2017 (edition of 20 and 21 March), in Geneva.
- UILI presentation to UNIDO, June 2017
- A practical guidebook for meeting the requirements of laboratory accreditation schemes based on ISO 17025:2005 or equivalent national standards by United Nations Industrial Development Organization (UNIDO)

JEMCA

資料 F

Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association

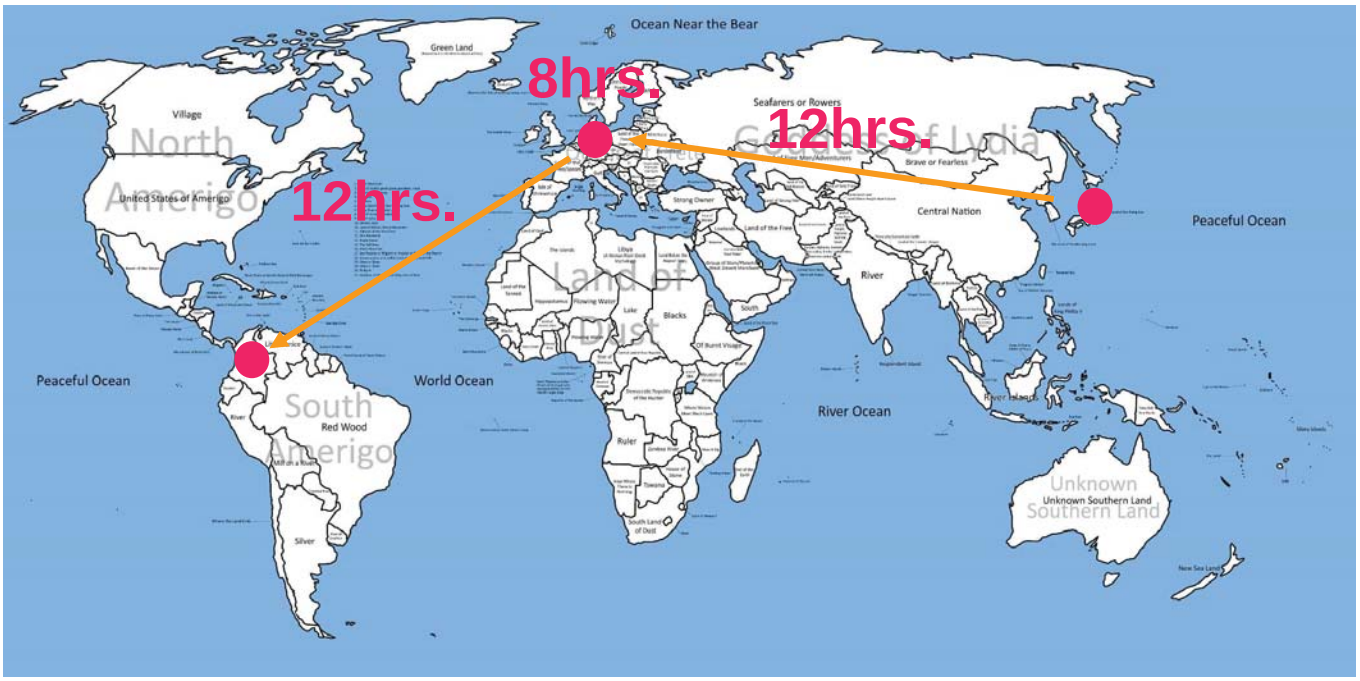


Thursday, 24th August, 2017

Toru Matsumura, Dr.,Sc. (President)

Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association

Where is Japan?



Organizational Structure

Establishment : 1973

Membership : 685 (Mar., 31st, 2017)

Full membership(Testing Laboratory) : 462

Supporting : 223

Budget (income) : ca. 2 million USD/year

General Incorporated Association (Foundation)

Ministry of Economy, Trade and Industry

Ministry of the Environment

TITLE	NAME	FIRM
President	Toru Matsumura	IDEA Consultants, Inc.
Vice President	Kazuhiro Sekiguchi	Naitoh Env, Sci, Co.
Vice President	Tatsuro Kono	Tokai Technology Center Association
Senior-Managing Director	Kinichi Sudo	JEMCA

Organizational Structure

JEMCA (owned) Building, Tokyo

Construction completed on April 4th, 2002

A Five-Storeyed Building

Plottage(Lot Area):375m²

Building Area:262m²

Architectural Area(Floor Area):1,272m²

Office

Meeting Room

Seminar Room

Laboratory
(chemical analysis

Organizational Structure

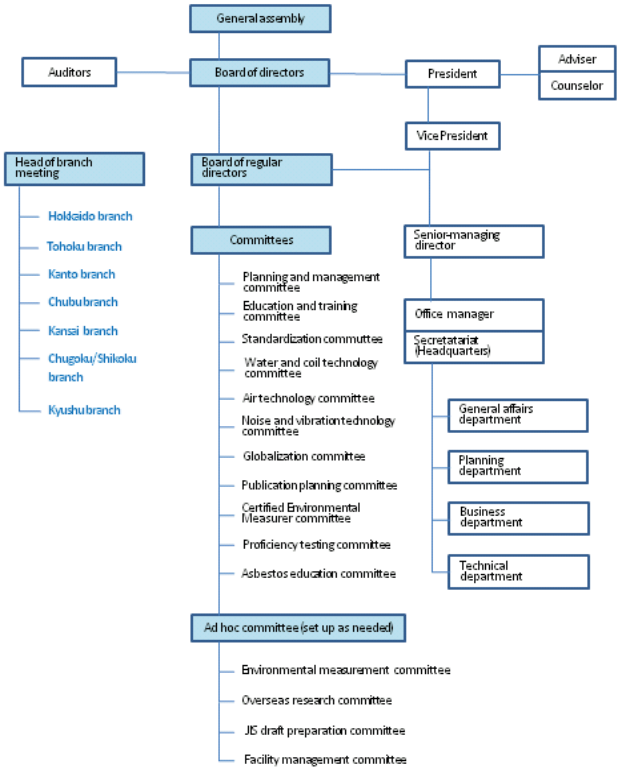
Meeting/Lecture Room

Office Space

Training Laboratory

Outline of Activities

Outline of Activities (Organizational Structure)



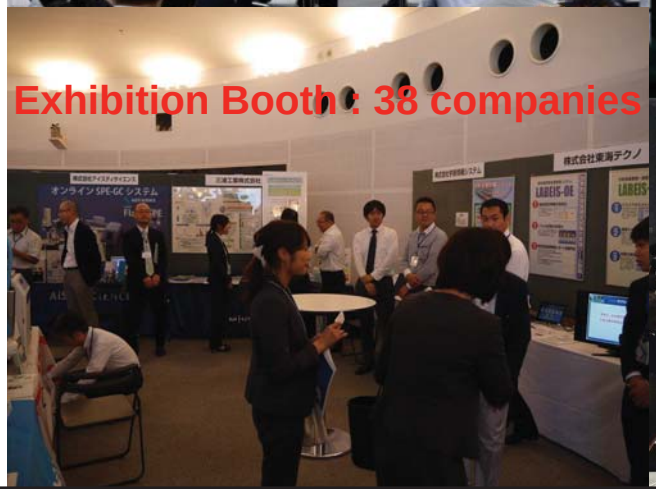
＊ Asbestos (ISO−22262-1) education committee began in 2014

Outline of Activities

1. Studies for Environmental Measurement Technologies (Water/Soil/Air, noise and vibration, Method Development)
2. Education/Training (seminar for technician/manager)
3. Qualification (Accreditation for Individual technician)
4. Standardization (Method(National/ISO), CRM)
5. Quality Management (PT)
6. International Relationship (UILI)
7. Ultra Trace Analysis (Stockholm POPs, Radioactivity, Asbestos)
8. Publication (Text Book)
9. Monthly Journal (Environment and Measurement Technique)

VIEW OF JEMCA 24TH(2016) ANNUAL CONFERENCE

JEMCA



SOCIAL GATHERING IN ANNUAL MEETING

JEMCA

Waiting for your coming

JEMCA

THE 2017 UILI LABMEETING
Bogotá, Colombia
Thursday, 24th August, 2017

Laboratory Accreditation System of China and Situation of Testing Laboratory Business

Toru Matsumura, Dr.Sc.
松村 徹
松村 彻 (sōng cūn chè)
โทรุ มาซึมูระ

President
JEMCA : Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association

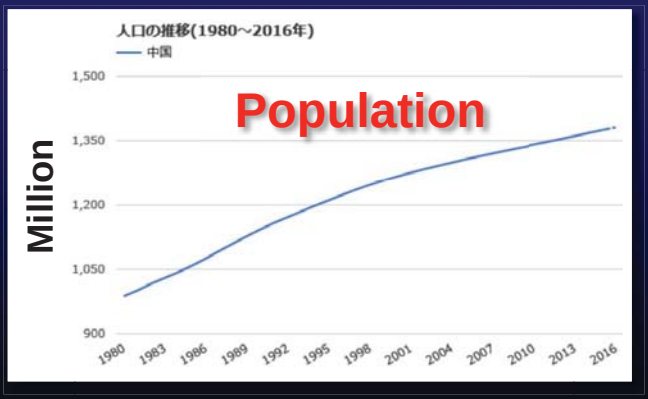
Executive Director of the Board
IDEA Consultants, Inc.

IDEA Consultants, Inc.

IDEA Consultants, Inc.

Basic information of People's Republic of China
中华人民共和国

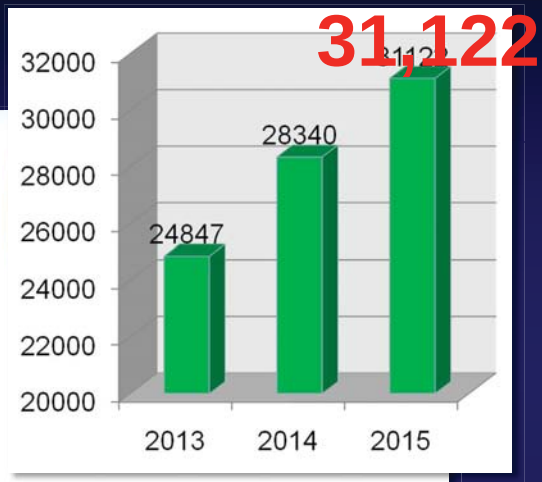
Area : 133,734,680m^2 (km2)
Population : 1,382million
GDP : 11,795 (Billion USD)
Import Amount : 1,959 (Billion USD)
Export Amount : 2,342 (Billion USD)

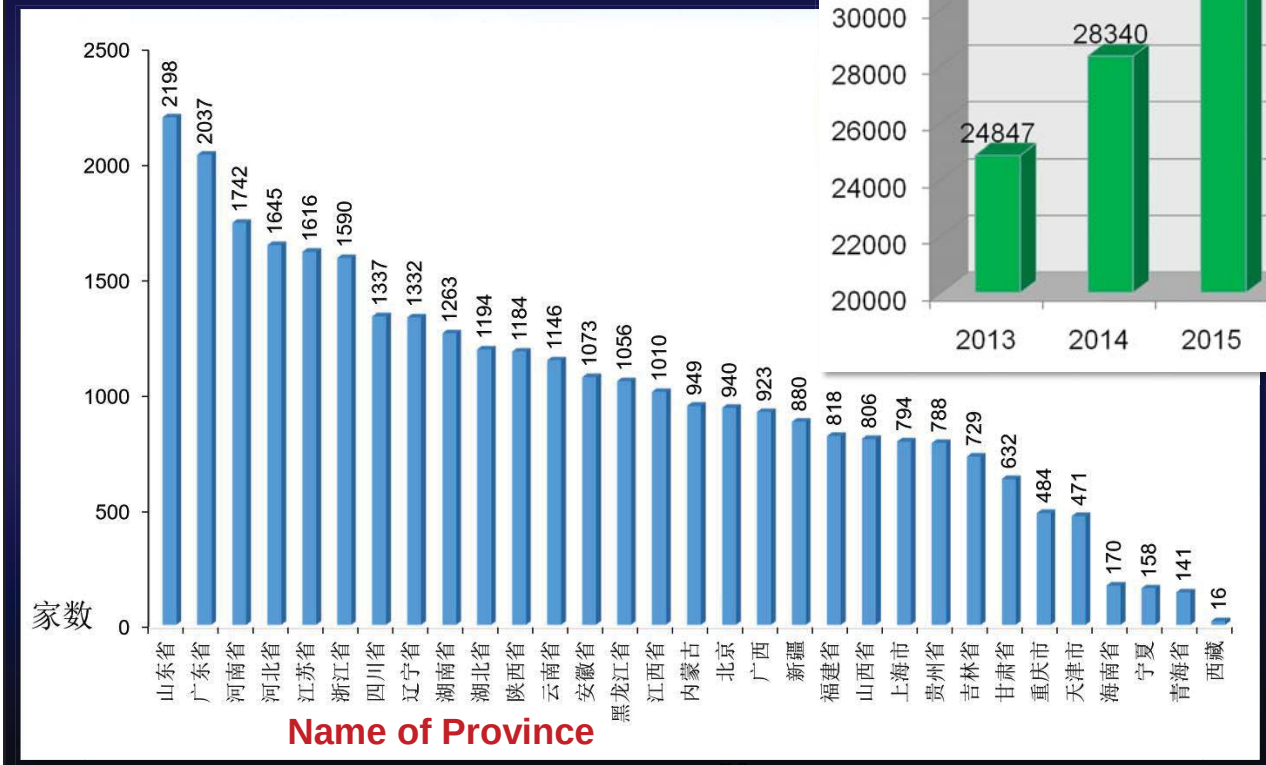


IDEA Consultants,Inc.

Number of Testing Laboratory

General Administration of Quality Supervision
Inspection and Quarantine of the People's Republic of China

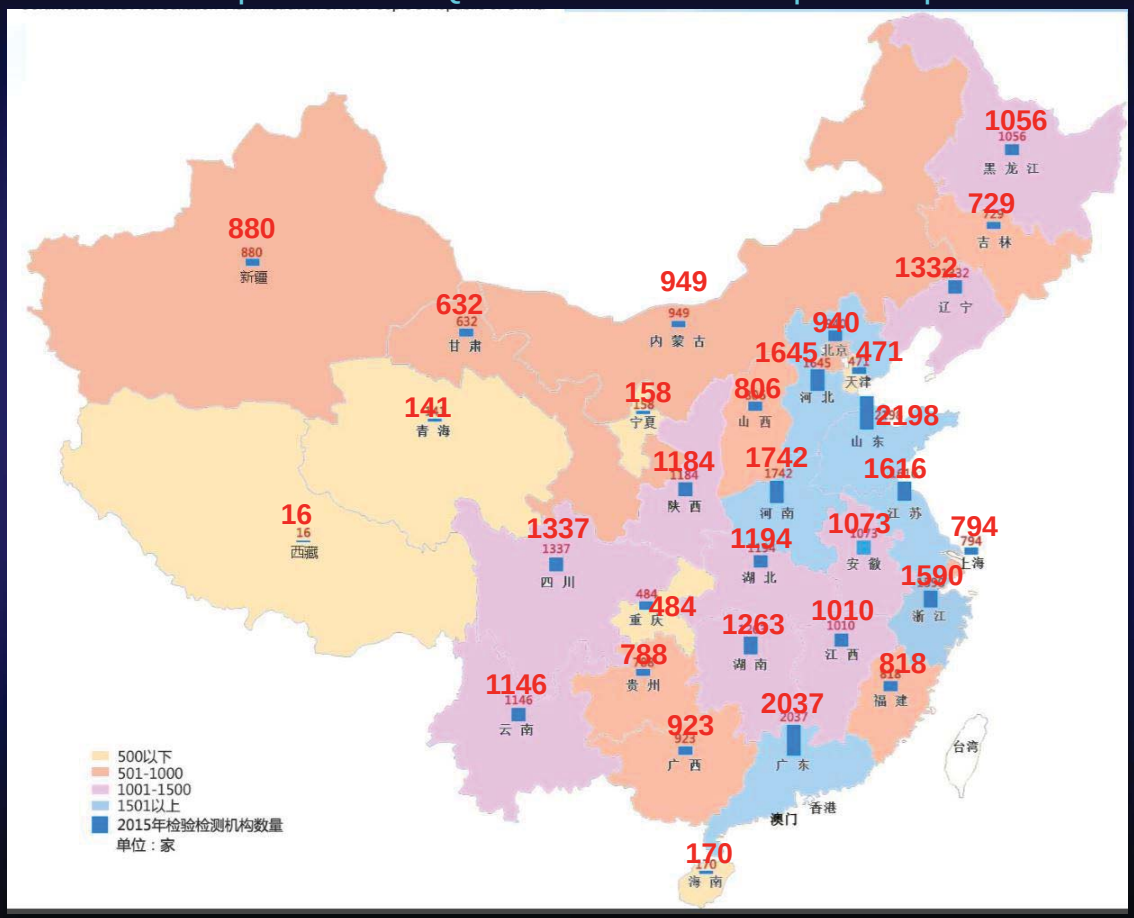




IDEA Consultants,Inc.

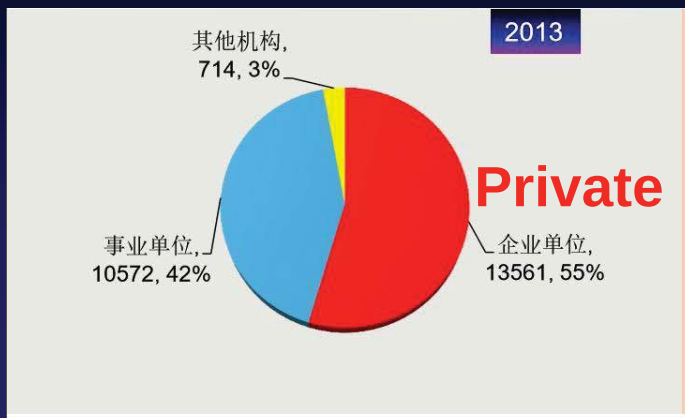
Number of Testing Laboratory

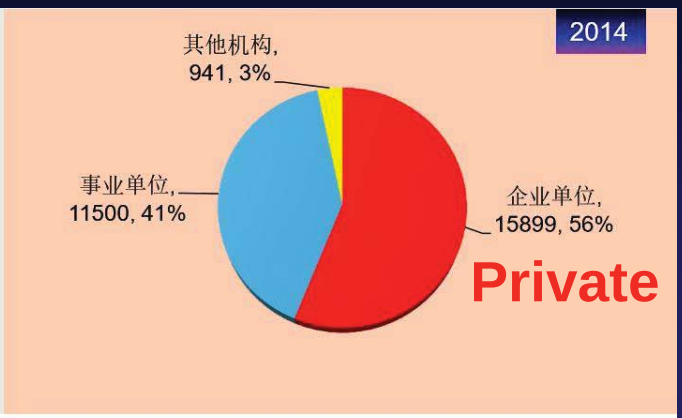
General Administration of Quality Supervision
Inspection and Quarantine of the People's Republic of China

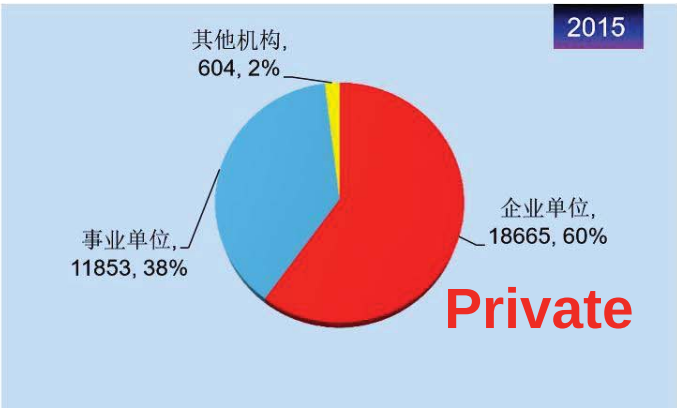


IDEA Consultants, Inc.

% of Private Enterprise



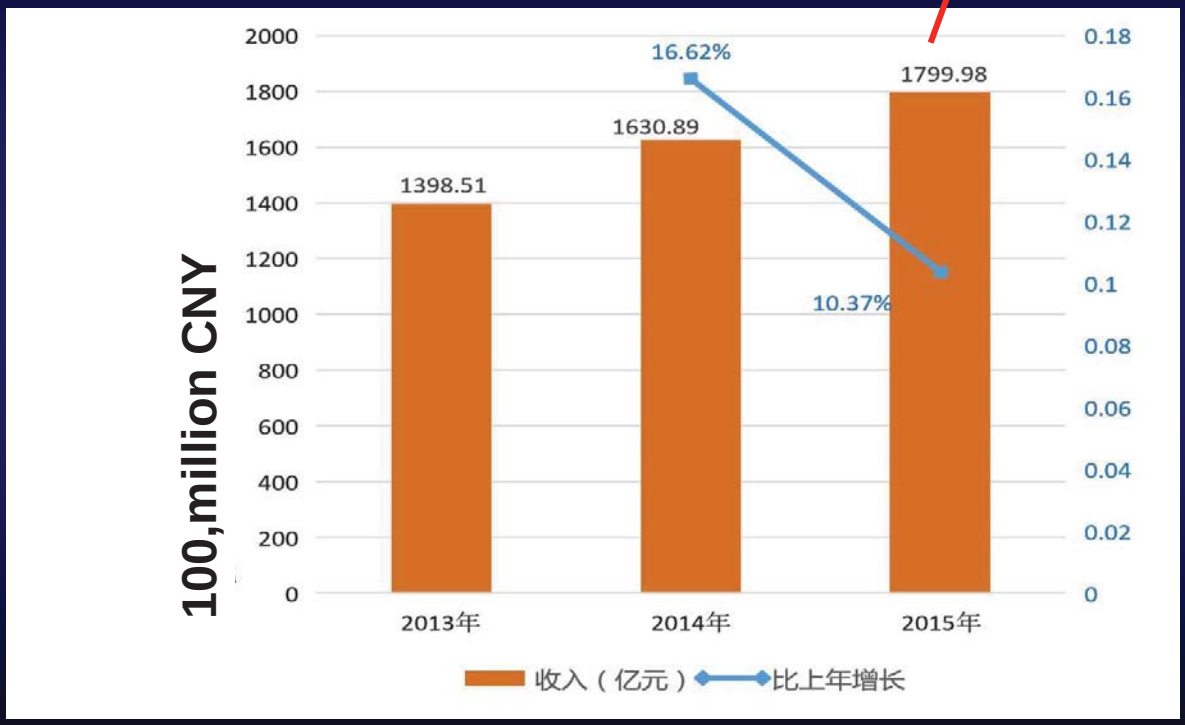




IDEA Consultants, Inc.

Total Operating Income of Testing Laboratory

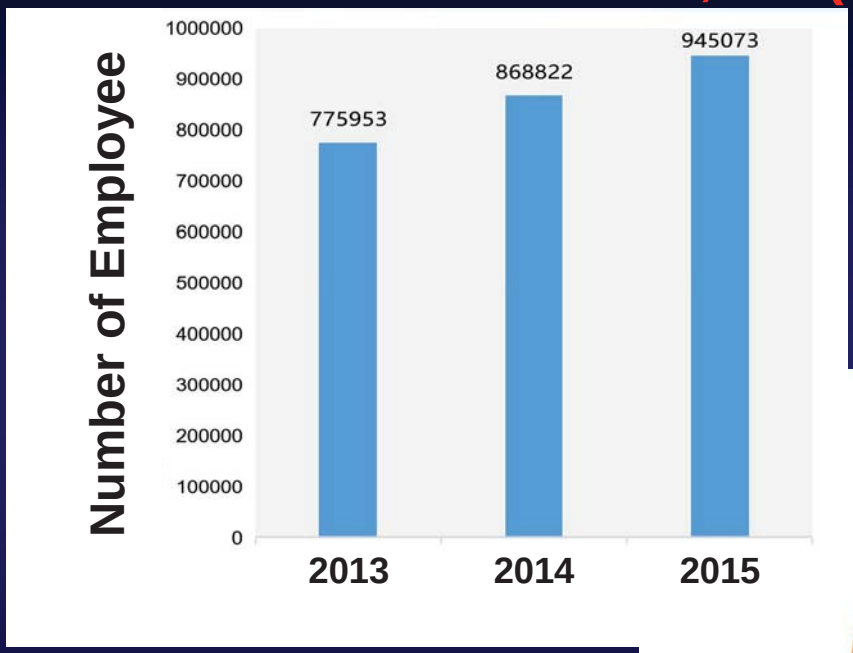
27～30 Billion USD



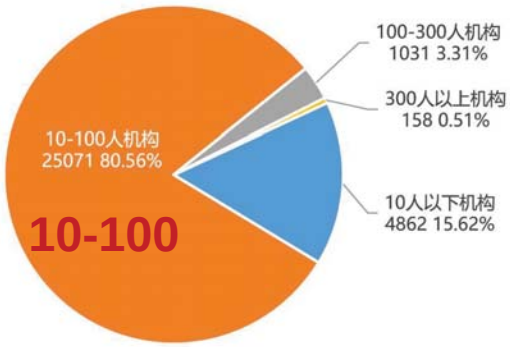
IDEA Consultants,Inc.

Number of Employee for Testing Laboratory

945,073 (almost 1 million)



Scale of Laboratory (Employee)

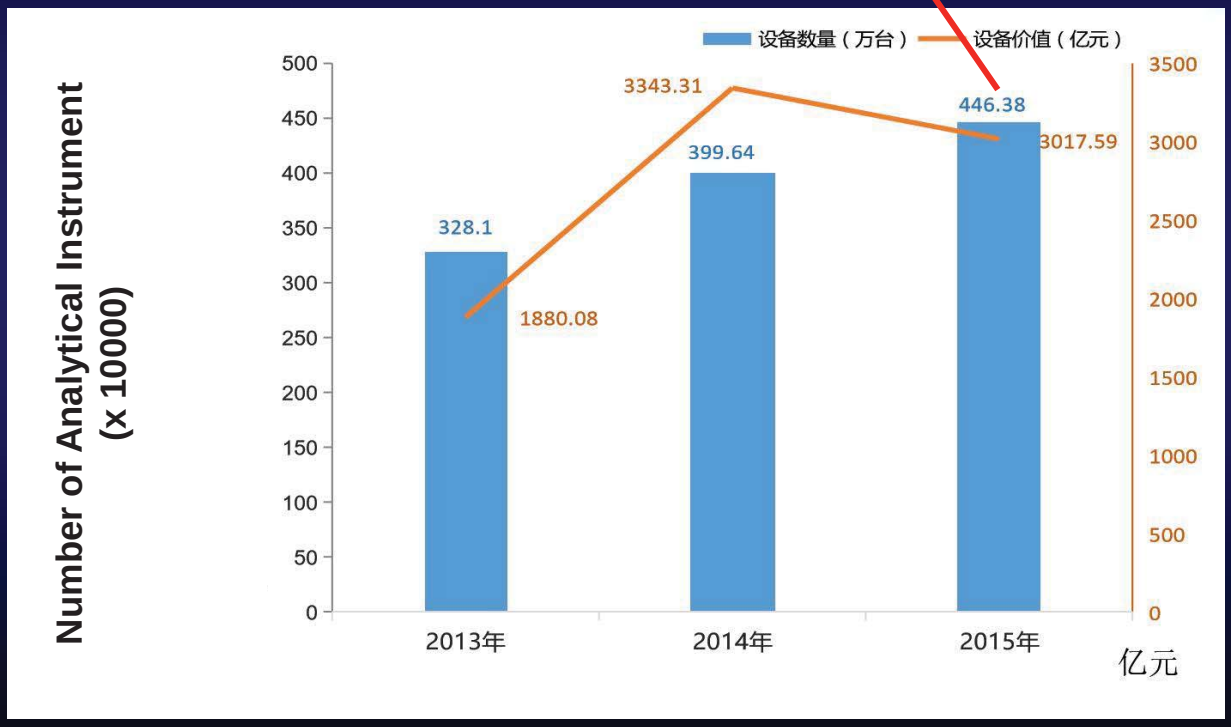


検験検測機関の96.2%は従業員100人未満
平均従業員数32人
82%は所在都市（省区）のみでサービス

IDEA Consultants,Inc.

Facility/Equipments

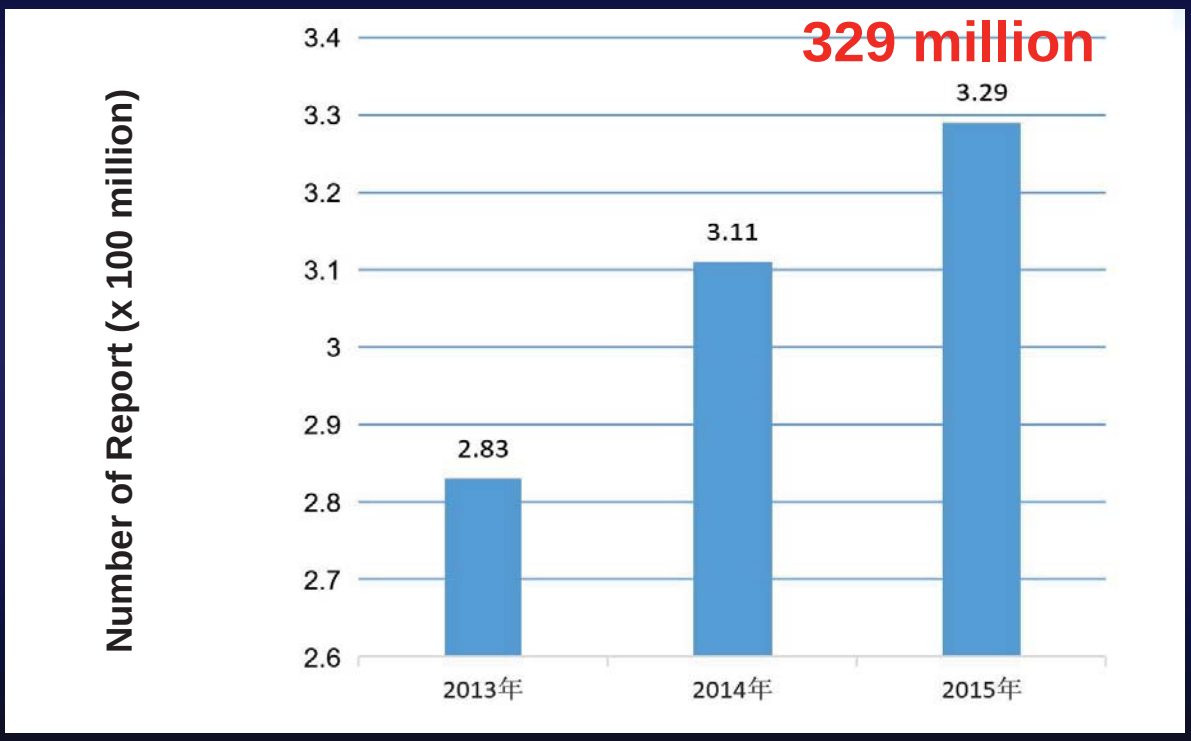
446 million Instruments
(45.3 Billion USD)



IDEA Consultants,Inc.

Number of Report for Testing Results

329 million



IDEA Consultants,Inc.

Scale of major Laboratory

Name of Company	Number of staff	Number of Lab.	Number of Office	Sales (USD)
華測検測	>4500	>90	>40	264 million USD（会計監査前）
PONY	>4000	22	>40	Unpublished (estimation: same as ↑)
中一検測	300（2016年上半期）	6	7	Unpublished（estimation: 20 million USD）

Number of Laboratory (2015):31,122

Sales of Chinese Testing Laboratory

SoftBank 4G 14:44 23%

戻る 嘉峪检测网 •••

2016年国内上市检测公司营业额、净利润一览

中检集团2016年数据

2016年中检集团业绩一览：

1. 资产总额同比增长了10.46%
2. 营业收入同比增长了14.32%
3. 税前利润同比增长了12.23%

全文地址：

http://www.anytesting.com/news/353442.html

Assets

Operating income

Net profit

检测机构	营业额（万元）	同比增长	净利润（万元）	同比增长
华测检测	164,636.73	27.84%	14,089.3	-34.61%
国检集团	66,501.14	11.39%	11,577.3	10.39%
电科院	55,341.03	32.58%	7,067.07	169.68%
苏交科	420,125.96	63.95%	37,920.9	22.08%
广电计量	56,460.30	36.70%	6,431.17	54.78%
中检测试	14,909.75	16.04%	2,314.91	26.58%
安车检测	31,818.12	12.96%	4,723.19	17.39%
浦公检测	12,107.58	18.76%	2,935.35	28.67%

SoftBank 4G 14:53 23%

戻る 嘉峪检测网 •••

中环检测	2,322.59	46.59%	178.40	236.81%
美信检测	2,055.27	54.89%	408.38	103.12%
祥源科技	2,011.56	13.92%	310.40	-4.43%
中持检测	1,981.24	41.29%	201.70	0.16%
奥测世纪	1,814.86	44.09%	32.03	-71.33%
普研标准	1,823.58	29.19%	-1282.38	-99.17%
环湾检测	1,504.54	32.38%	25.05	35.98%
顶柱检测	1,530.63	-15.60%	51.05	-79.79%
华新检测	1,110.13	21.98%	44.67	55.09%
华夏检验	1,109.78	-8.10%	51.88	-44.15%
瑞博检测	726.82	3.00%	51.90	-
衡标检测	664.39	13.94%	-31.34	5.60%

检测实验有困难，找嘉峪检测网
客服中心：400-818-0021

Requirements for Testing Laboratory in China

ISO 14001

ISO 9001

OHSAS 18001

Occupational Health and Safety Assessment
（職業上の健康と安全に関する評価）
↓
ISO 45001
（November, FDIS）

CNAS

ISO/IEC 17025

CMA

中国計量認証

IDEA Consultants, Inc.

CMA

China Meteorological Administration

中国计量认证、中国計量認証

●Organization　担当組織

General Administration of Quality Supervision, Inspection and Quarantine of the People's Republic of China

国家质量监督检验检疫总局(国家品質監督検験検疫総局)

地方政府等の品質技術監督部門

CNAS

China National Accreditation Service for Conformity Assessment Laboratory Accreditation Certificate

中国合格评定国家認可委員会、中国合格評定国家認可委員会

● Organization　担当組織

China National Accreditation Service

中国合格評定国家認可委員会

IDEA Consultants, Inc.

Structure of Chinese Laboratory Accreditation

AQSIQ
General Administration of Quality Supervision, Inspection and Quarantine of the People's Republic of China
中国国家质量监督检验检疫总局
中国国家品質監督検験検疫総局

CNCA
Certification and Accreditation Administration of the People's Republic of China
中国国家认证认可监督管理委员会
中国国家認証認可監督管理委員会
※国家級CMA (National Level)

（直轄事業単位）
CNAS
China National Accreditation Service for Conformity Assessment
中国合格评定国家认可委员会
中国合格評定国家認可委員会

（地方政府管轄）
省级地方质量技术监督局
省級地方品質技術監督局
※地方級CMA (Local Level)

IDEA Consultants,Inc.

National Regulation for Testing Laboratory

CMA

《検験検測機構資質認定評価審査準則》:CMA準則
（中国語）检验检测机构资质认定评审准则

CNAS

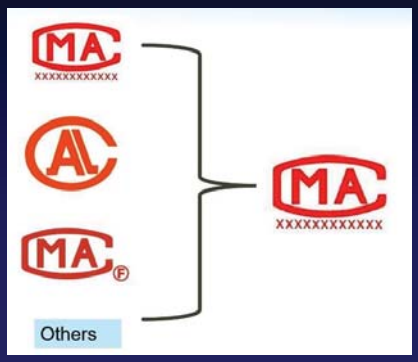
CNAS-CL01:2006
《検測と校正実験室能力認可準則》
（中国語）检测和校准实验室能力认可准则
規則 Regulation (R, RL)
准則 Guideline (CL) ← ISO
指南 Guidance (GL)

別途、中国国家規格は、整然と整理されている）

IDEA Consultants,Inc.

Accreditation Fields

- CMA
  Now, Institutional reform



- CNAS
  14 fields

①Organism (生物)
②Chemistry (化学)
③Machinery (機械)
④Electricity (電気)
⑤convenience goods (日用品)
⑥plant quarantine (植物検疫)
⑦health quarantine (衛生検疫)
⑧Medical instrument (医療器械)
⑨Veterinarian (獣医)
⑩Construction process/materials (建設プロセスと建材)
⑪Nondestructive inspection (非破壊検査)
⑫Electromagnetic compatibility (電磁両立性)
⑬Special Facility (特殊設備と関係設備)
⑭Software/Data (ソフトウェア製品とデータ安全製品)

IDEA Consultants,Inc.

Characteristics of Chinese License (1)

- Examination (Organization and Individual) and Registration
  登録審査制度
  ・Personal License : High Level Engineer (高級工程師)
  Curriculum vitae (specialty(Univ. and occupation)), Paper examination(specialty, English, Computer), In-site interview, Foreigner: OK
  ・Analysis by unknown actual test samples (at the audit day)

- For Commercial Activity → Must need CMA License
  External Audit (update renewed) → /6years
  Unannounced audit

- Hard Punishment → Cancellation/Loosing a License
  Publication (announcement) → by web, WeChat etc.

- All documents (QM, SOPs)→ can be shared between CMA and CNAS

IDEA Consultants,Inc.

Characteristics of Chinese License (2)

- All apparatus/instruments →
  must be certificated by National Calibration Organization

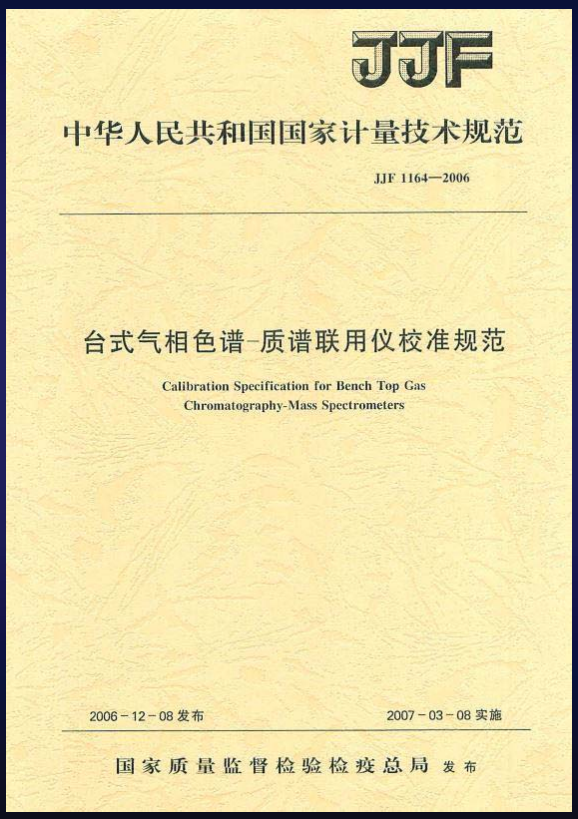
Example

・Measuring Glassware →
Return back to Laboratory after Calibration with Uncertainty Certificate (in measurement)

・Instruments→
Inspector visit Laboratory to check the performance
There are National Inspection Manual for each instrument
《中華人民共和国強制検定の業務計量器具検定管理弁法》
《中華人民共和国強制検定の業務計量器具明細目録》

IDEA Consultants,Inc.

One example of Examination manual (GC/MS)



JJF

中华人民共和国国家计量技术规范

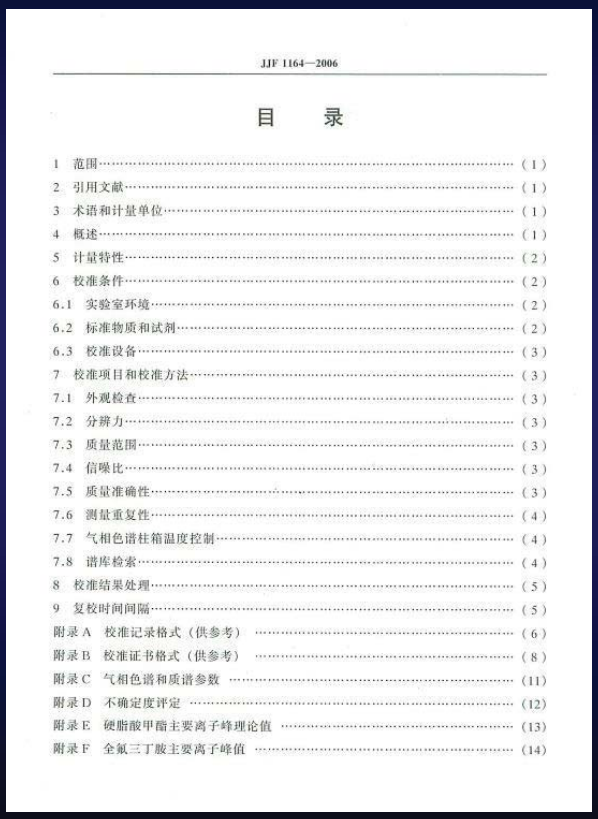
JJF 1164—2006

台式气相色谱-质谱联用仪校准规范

Calibration Specification for Bench Top Gas Chromatography-Mass Spectrometers

2006－12－08 发布　　2007－03－08 实施

国家质量监督检验检疫总局 发布



JJF 1164—2006

目　录

1 范围……（1）
2 引用文献……（1）
3 术语和计量单位……（1）
4 概述……（1）
5 计量特性……（2）
6 校准条件……（2）
6.1 实验室环境……（2）
6.2 标准物质和试剂……（2）
6.3 校准设备……（3）
7 校准项目和校准方法……（3）
7.1 外观检查……（3）
7.2 分辨力……（3）
7.3 质量范围……（3）
7.4 信噪比……（3）
7.5 质量准确性……（3）
7.6 测量重复性……（4）
7.7 气相色谱柱箱温度控制……（4）
7.8 谱库检索……（4）
8 校准结果处理……（5）
9 复校时间间隔……（5）
附录A 校准记录格式（供参考）……（6）
附录B 校准证书格式（供参考）……（8）
附录C 气相色谱和质谱参数……（11）
附录D 不确定度评定……（12）
附录E 硬脂酸甲酯主要离子峰理论值……（13）
附录F 全氟三丁胺主要离子峰值……（14）

IDEA Consultants,Inc.

計量器等の検定(立入検定)
GC/MS検定結果(校正証書)

中国计量科学研究院

校 准 证 书

证书编号 HXyj2015-0178

客户名称	中持依迪亚（北京）环境检测分析股份有
器具名称	气相色谱/高分辨质谱联用仪
型号/规格	Agilent7890B/JMS-800D ultra Focus
出厂编号	GC CN14273055 /MS1333000970097
生产厂商	日本电子
客户地址	北京市海淀区西小口路 66 号
校准日期	2015 年 03 月 09 日

批准人：何世靖

中国计量科学研究院 2 校准专用章

地址：北京 北三环东路 18 号　邮编：100029
电话：010-64525569/74　传真：010-64271948
网址：http://www.nim.ac.cn　电子邮箱：kehufuwu

第 1 页 共 3 页

中国计量科学研究院

证书编号 HXyj2015-0178

中国计量科学研究院是国际计量委员会《国家计量基(标)准和国家计量院签发的证书互认协议》的签署成员，经亚太计量规划组织同行评审后的校准和测量能力量局关键比对数据库中公布。
中国计量科学研究院是国家法定计量检定机构，检定和校准资格获得国家质量监疫总局授权，授权证书号为：(国)法计(2012)01001 号。
中国计量科学研究院的质量管理体系符合 ISO/IEC17025 标准的要求，并经中国家认可委员会认可，认可证书号：CNAS L0502。

校准所依据的技术文件（代号、名称）
台式气相色谱-质谱联用仪校准规范 JJF1164-2006

校准环境条件及地点：
温　度：23　℃　地　点：该单位实验室
湿　度：40　%RH　其　它：/

校准使用的计量基（标）准装置（含标准物质）/主要仪器

名　称	测量范围	不确定度/准确度等级	证书编号	证书有效期 (YYYY-MM-DD)
气相色谱-质谱联用仪校准装置	标准物质：10mg/μL	标准物质：(3-5)%，k=2 温度计，二等	[2007]标计 025 GB#(E) 130246	2016-05-

第 2 页 共 3 页

中国计量科学研究院

证书编号 HXyj2015-0178

校 准 结 果

质谱检测器：
电离方式：EI+。
质谱类型：高分辨磁质谱。
外观：正常。
1.质谱灵敏度
样品：六氯苯-异辛烷；浓度：10.2 pg/μL；进样方式：不分流；进样量 1.0μL；扫描方式：SIM；结果: m/z=283.8102 处信噪比 S/N 为 7928:1。
2.质谱分辨率(FWHM)
样品：全氟煤油(PFK)；调节方式：手动；结果 m/z=268.9819，5%峰高分辨率大于 10000。
3.定量重复性：
样品：六氯苯-异辛烷；浓度：10.2 pg/μL；进样方式：不分流；进样量 1.0μL；连续六次进样，RSD=3.77%。

以下空白

说明：
根据客户要求和校准文件的规定，通常情况下 24 个月校准一次。

声明：
1. 我院仅对加盖"中国计量科学研究院校准专用章"的完整证书负责。
2. 本证书的校准结果仅对本次所校准的计量器具有效。

校准员：　核验员：

2014-jz

第 3 页 共 3 页

IDEA Consultants, Inc.

計量器等の検定(持込検定)
Measuring flask 検定結果(検定証書)

北京市计量检测科学研究院

检 定 证 书

证书编号：RC14J-BA0387 号

送检单位	中持依迪亚（北京）环境检测分析股份有限公司
计量器具名称	容量瓶
型号/规格	5mL-10mL
出厂编号	见背面
制造单位	/
检定依据	JJG 196-2006
检定结论	准予做常用玻璃量器使用

批准人
核验员
检定员

检定日期　2014 年 6 月 5 日
有效期至　2017 年 6 月 4 日

计量检定机构授权证书号：（国）法计（2012）01007　电话：010-64925849
地址：北京市朝阳区安苑东里一区12号　邮编：100029
传真：010-64925849　EMAIL：jly@bjtsb.gov.cn

北京市计量检测科学研究院

证书编号：RC14J-BA0387 号　第 2 页共 2 页

北京市计量检测科学研究院是依法设置的法定计量检定机构		
检定依据	JJG 196-2006《常用玻璃量器》国家计量检定规程	
计量标准名称	玻璃量器检定装置	
不确定度/准确度/最大允许误差	±（0.00008~0.06）mL	
社会公用计量标准证书	编号	[2003]国社量标华北证字第109号
	有效期至	2018-4-3
计量标准溯源性	本次检测所使用的测量设备量值可溯源至国等级结构组国家标准	
检定地点	北京市计量检测科学研究院容量实验室	
环境条件	室温：22.5 ℃；相对湿度：/ %；水温：23.1 ℃	

检 定 结 果

器具名称	器号	标称值 (mL)	容量允差 (mL)	流出时间 (s)	密合性	检定结果
容量瓶	1	5	±0.040	/	合格	B级
容量瓶	2	10	±0.040	/	合格	B级

以下空白

注：1. 本证书检定结果仅对该计量器具有效；
2. 本证书未加盖检定专用章无效；
3. 下次检定时请携带（出示）此证书。

来经授权，不得部分复印本证书。

IDEA Consultants, Inc.

Inspection / External Audit

PT

- China has National PT Data Database (by 17043)

  Laboratory can select PT from this data base.
  (no need to search)

技能試験 (Proficiency Testing)

実験室能力検証実施方法（認監委2006年公告第9号）
国家認証認可監督管理委員会（CNCA）

Ａ類　CNCAが募集・審査・発布する技能試験プログラムで、CNCAが交付した実験室資質認定証書を取得して且つ関係の測定項目で既に資質認定を取得した実験室は必ず参加。省レベルの品質技術監督局が資質認定証書を交付した実験室や、企業・学校等その他実験室の自主参加を奨励。2017年度A類は20項目。

Ｂ類　CNCAが募集・審査・発布する技能試験プログラムで、各種実験室の自主参加を奨励。2017年度B類は26項目。

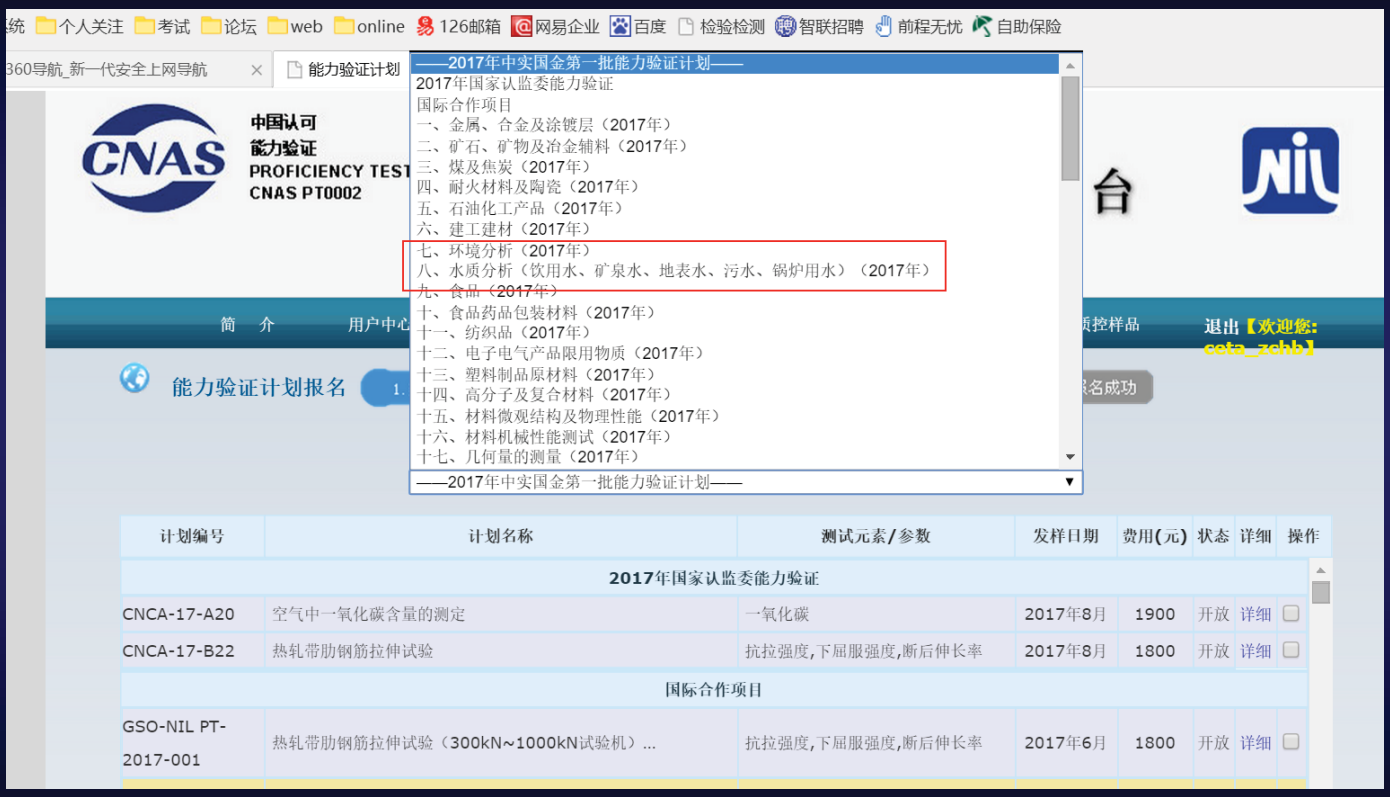
Ｃ類　CNCAが確定する技能試験組織者が組織・実施する技能試験プログラム。技能試験組織者は、国家認可機関が認可する“技能試験提供者(PTP)”を含み、また関係の技術能力を備え、技能試験の組織経験のあるその他技術機関を含む。必要に応じて随時調整して発布できる。各種実験室の自主参加を奨励。

IDEA Consultants,Inc.

技能試験 (Proficiency Testing)

IDEA Consultants,Inc.

技能試験 (Proficiency Testing)



IDEA Consultants,Inc.

技能試験 (Proficiency Testing)

IDEA Consultants,Inc.

CRM / RM

http://www.ncrm.org.cn/Web/Material/List?lingyuAutoID=3&scope=lingyu&pageIndex=1

IDEA Consultants,Inc.

Punishment of License by CNAS announcement

認可停止suspended・取消cancellation・抹消deletion; erasingの公告

Audit for 31,000 Laboratories (2015)

Punishment : 1415 Laboratories

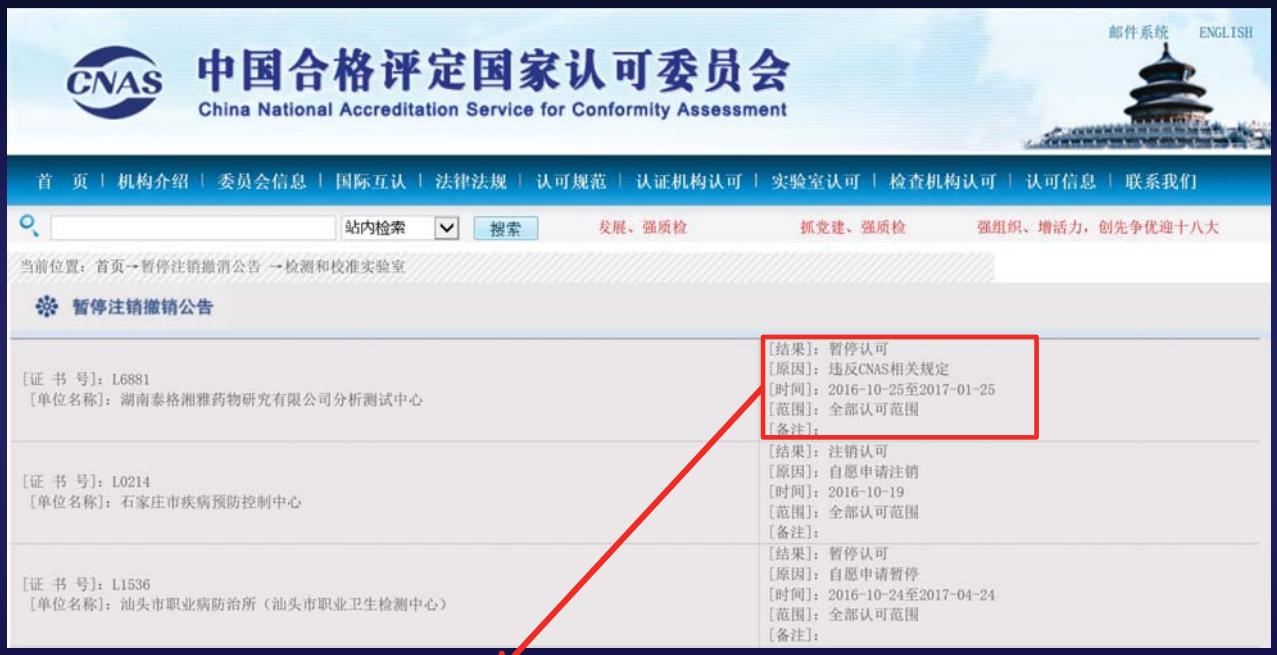
IDEA Consultants,Inc.

Punishment of License by CNAS

認可停止suspended・取消cancellation・抹消deletion; erasingの公告

IDEA Consultants,Inc.

CNAS認可 停止・取消・抹消の公告 (web版)



[結果] 認可停止(Stop of License)
[原因] CNASの規定に違反(breach)
[時間] 2016年10月25日から2017年1月25日まで
[範囲] 全認可範囲(all items)

Announcement of punishment
(Smartphone 微信(WeChat))

序号	机构名称	暂停原因	暂停期限
1	广州奥的斯电梯有限公司中心实验室	自愿申请	自2017年1月6日起，暂停6个月
2	句容市环境监测站	自愿申请	自2017年1月12日起，暂停6个月
3	济宁出入境检验检疫局综合技术服务中心	自愿申请	自2017年1月17日起，暂停6个月

序号	机构名称	撤销/注销原因	批准日期
1	东莞市天纺检测技术有限公司	自愿申请注销	2017年1月9日
2	苏州飞翔新材料研究院有限公司检测中心	自愿申请注销	2017年1月12日
3	吉林建龙钢铁有限责任公司理化检测中心	超过暂停期限，撤销	2017年1月20日
4	民丰特种纸股份有限公司检测中心	自愿申请注销	2017年1月20日
5	湛江市海洋与渔业环境监测站（湛江市渔业质量监督检验站）	自愿申请注销	2017年1月20日
6	上海市公安局浦东分局物证鉴定所	自愿申请注销	2017年1月24日
7	龙岩盛丰机械制造有限公司检测中心	自愿申请注销	2017年1月26日
8	天津航天瑞莱科技有限公司可靠性中心	自愿申请注销	2017年2月20日
9	天津航天瑞莱科技有限公司	自愿申请	2017年2

IDEA Consultants,Inc.

寧波 国家高新区 検測認証産業園
Ningbo National Measurement Scientific Park for Private Enterprise

Ca. 1600m² x 6 floors x 3 Buildings

主な入居機関
- SGS(スイス)
- BV(フランス)
- TÜV Rheinland(ドイツ)
- ITS(ITS)
- 華測(中国)
- PONY(中国)
- 浙江中一検測研究院株式有限公司(中国)
- 諾安検測服務有限公司(中国)

Sales: >200 million USD
(growth rate: >20%)
Number of Laboratory: >100
Asset of equipments: >20 million USD
Staff: >10000
外資:民間(内資):国有の組織数比率=40:20:40
ラボ面積10万m²以上
分析機器設備資産総額8億元以上
うち大型分析機器2400台弱
分析測定従業員数1万人以上
資格を有する実験室従業員数3千人
営業収入1000万元以上11企業

その他の同様なサポート実施地区
- ●中国常州検験検測認証産業園（江蘇省）
- ●襄阳市検測認証産業園（湖北省）

IDEA Consultants,Inc.

Summary

- China has World Strategy for Testing Service
- Combination between…….
  - Private Enterprise (Commercial)
  - Government Backup/Support
    (Law, Accreditation, System….)
  - Public Institute/University
- System is…….
  Speedy Improvement, Beautiful and (almost) Perfect

IDEA Consultants,Inc.

IDEA Consultants,Inc.

資料G

Situation of Private Food Testing Laboratories in South America

Alfredo M. Montes Nino
President
Microbioticos Laboratories

Overview

- Past of Food Testing schemes;
- Present of Food Testing Laboratories requirements;
- What we expect for the future regarding efficient processes of laboratory accreditation?
- Making sure that food is safe in the 21st century – Conclusions.

In the Beginning...

- Why does people require food safety monitoring?

1970´s

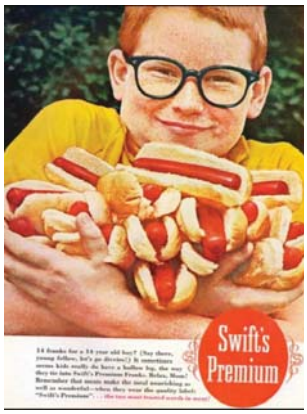
- The kick off...
- People concern about what they eat.
  - World Food Conference- FAO-UN Rome -1974:
    - Famine in Bangladesh two years before;
    - Food policies and safety from local to global level;
      - Government agencies model chosen.;
      - Business, or private models also;
    - Objective: Food regulation. Standards for food assistance programs, safety of food supply, product qualifications.

1980´s

- Food Control Programs by:
- Food Companies:
- Safe products.
  - Laboratory Testing...
    - Avoid legal actions
    - conflict of interest?
- Governments: people exposed to safe food:
  - People see no conflict of interest, but...
  - Is this true?

1990´s

- People are getting smart...
- Start a quality revolution:
- Establishment of ISO 9000. "testing" but for product certification...
  - Similar for food testing;
- Needs third party evaluation: If Food testing alright, performed with competence and proficient and approved procedures;
  - 1994: ISO Guide 25 – Food testing done properly and with confidence;



– Globalization:

– Markets equivalence in testing.

– Increasing food demand;

– Companies and governments adopt it;

– Legislation. (Who, How and When);

– Conflict of interest: real concern

Food Testing

- So, the question: Why does people require food safety monitoring in food?
- **Have a new answer:**
- To attend Legislative requirements (national and international);
- To attend Public health concerns and consumer protection;
- To detect and prevent abuse of prohibited substances in the food chain and…
- To facilitate trade in food and food products SAFE FOOD.

Why does people require food safety monitoring?

- **South America:**
- Government focus attention of food testing
- Testing **"free of interest"** on government laboratories as in the 70´s and 80´s. but…
- In the 90´s effects of the lack of the financial of the 70´s and 80´s began to appear;
- Budget constrains on government:
  - Government Food testing laboratories affected;
  - Outsourcing to private laboratories.

Why does people require food safety monitoring?

- South America – 90´s :
- Government agencies and bodies: Start to create regulations on how to approve other private laboratories to carry on the analytical work.
- **Based on government regulations;**
- But what about ISO standards for laboratories?
  - Point for a strong debate nowadays.

ISO X Government Regulations Laboratories in South America

- ISO 25 – Was a new thing
- On the Beginning it was understood that most of specialists on food testing were located on governments, and private industries;
- There is the need of additional procedures to complement ISO– 25 guidelines;
- In a first moment it was also understood the need of assessments and audits from Government (mainly) and accreditation bodies for (ISO–25) but not a serious issue.

ISO X Government Regulations South America – Nowadays

- ISO 25 – Evolution to ISO 17025 and then ISO 17025:2005
  - Accreditation bodies have capacitated their assessors;
  - Includes complex management issues ;
  - Includes Costumer satisfaction issues;
  - Deals with independence of testing laboratories.
- Government bodies in South America stills bureaucratic:
  - Difficult to deal with the 21 century dynamics,
- Region consolidated as the world greatest food production;
- Increased demands for food in the world;
- Increased need of warranties to be provided by food import countries.

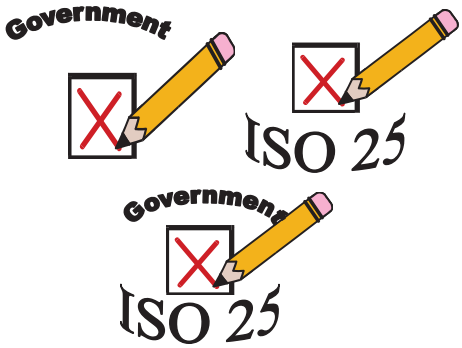
ISO X Government Regulations South America – Nowadays

- So, governments in South American Countries with their food testing schemes:
- More than a tool of provide food safety following the 21 century demands:
- Now a way of warrant that the food production machine operates properly and with no rejection specially from import countries;
  - Don´t want troubles with local and global food industries (FI);
  - "Arm" of Representation of FI overseas
- So, What about the conflict of interest?

"So, I'm the only one who sees a conflict of interest here?"

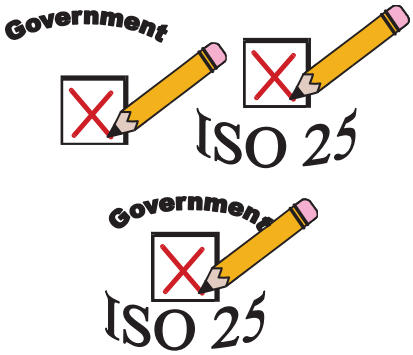
ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

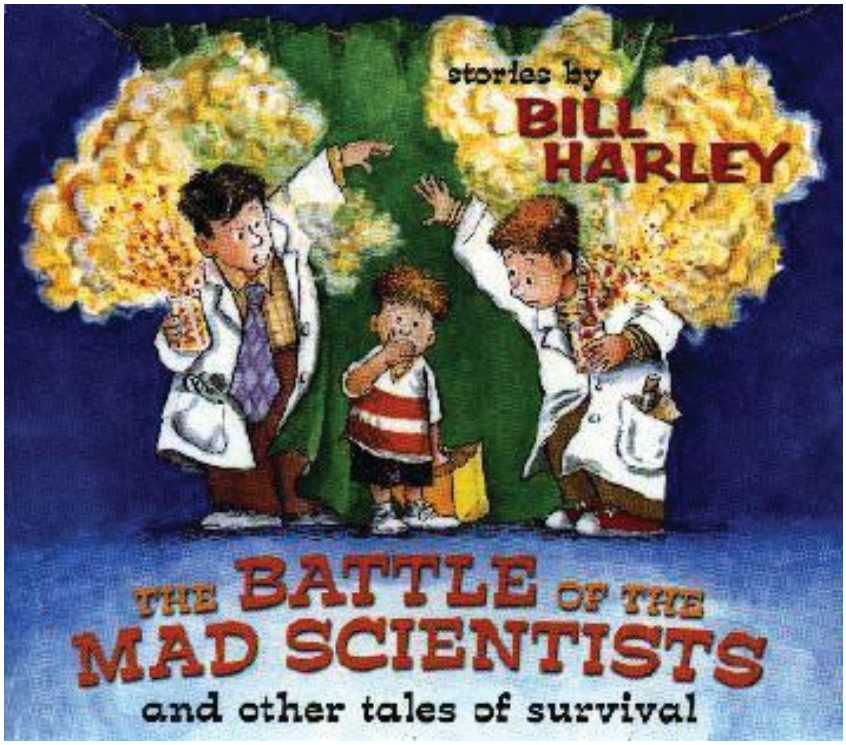
- Government Regulations and ISO Guidelines are almost the same;
- ISO 17025 Mandatory for all testing labs willing to participate in government regulatory programmes;
- But laboratories are also subjected to government competent authorities audits;
- Different visions on the same documents;
- Go to the absurd of being approved by the National Accreditation bodies but not by the government by the same rules;
- Who is the real accreditation body?



ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- Accreditation Bodies evolved to a mutual recognition between them;
- Government still to concentrate on maintain it power and not to deal with laboratory competence;
  - Are not anymore free of interest bodies so the possibility of carry on analytical routine should be reviewed.





ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- Government Laboratories as Reference Laboratories:
  - **Lack of understanding what a Reference Laboratory really means**
  - Lack of Reference Laboratory activities:
  - Training;
  - Chemical Reference Materials for food testing source;
  - Initiative of organization of national Proficiency Tests schemes;
    - International schemes are expensive;
    - International schemes delays to reach laboratories because of customs regulations in South America;
    - **National schemes by the other hand** can provide a better assessment of laboratory capabilities and proficiency as it is prepared with coutries "real samples".

ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- But the reality is:
  - Because of the lack of understanding what a reference laboratory is:
  - **Argentina:** OAA– Accreditation Body ; SENASA– Agriculture and Livestock Department requires accreditation duplicity (OAA and SENASA).
  - INAL – Instituto Nacional de Alimentos requires accreditation duplicity. (INAL and OAA);
  - **Brazilian Ministry of Agriculture (MAPA)** : Requires accreditation duplicity (MAPA and INMETRO, the National Accreditation body). Despiting the fact that there is agreements signed on certain areas.
  - Mutual recognition accreditation agreements beween accreditation bodies (MRA´s) ignored;
  - Pressure and persecution on private laboratories by MAPA to maintain it´s power;
  - **Paraguay:** ONA– National Accreditation body. And Agriculture and livestock Department SENACSA (requires accreditation duplicity).Mutual recognition accreditation agreements between accreditation bodies ignored;
  - **Uruguay:** MGAP: National Agriculture and Livestock Authority accreditation is mandatory but also demands as OUA (National Accreditation Body) accreditation. Te MRA´s are ignored in the schemes also.

ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- But the reality is:
  - Because of the lack of understanding what a reference laboratory is:
  - **Government Food laboratories spent 10% or more of National budgets for Agriculture;**
  - **Under a heavy bureaucratic system: Bad use of money**
  - **Trend to be worse– Corruption cases on some countries on the region;**
  - This spent represent a big waste of money as:

    South American Food Testing Private and independent sector together with Regional Accreditation bodies systems evolved to a point that they do no need anymore that Governments do the operational testing work.

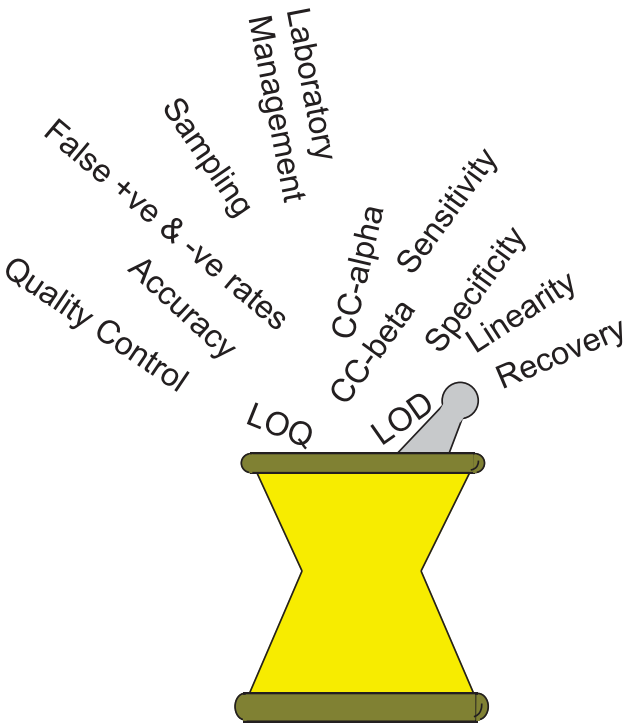
ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- The real (expected) roles:
  - South American Countries competent food authorities have other priorities as:
  - Promote agriculture and livestock production;
  - Fight Starving (still an issue in South American countries).
  - Save budget to these priorities and do not spend public money in doing analysis (or paying for them, but this is subject of another talk)
  - **Forget the concept of "state capitalism". History proves it is ineffective.**
  - **Control the procedures done by the productive sector (independent laboratories) instead of "doing" productive sector work!**
  - There is already in the region competent accreditation bodies fully capacitated in:
  - Warrant that food testing laboratories are independent and in compliance with food laboratory quality procedures and being operated by competent people and **Just once!**
    - Accreditation bodies have the tools and competence to do the above better!

– In a more proper way with more proper means.

ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- The real (expected) roles:
  - Competent authorities on food sector:
  - Create rules for:
    - **Laboratories competencies;**
    - **Quality Control Criteria on analytical data produced;**
    - **Analytical Method validation schemes;**
    - **Sampling needs.**
  - **But leave the operational work to assess the compliance to these rules to Accreditation Bodies accepting its rules of Mutual Recognition.**



ISO X Government Regulations South America – Food Testing Labs.

- <u>Government Food Authorities Role:</u>
- Approve a procedure for specific operation of food testing labs;
- Leave accreditation for accreditation bodies;
- Preparation of National reference materials;
- Create and lead National proficiency testing schemes (as a part of approved procedures).

Accreditation Bodies Roles

- To promote the environment to evaluate the compliance of independent laboratories in order to be recognized by Government Competent Food Authorities to carry on analysis in attendance of official programmes;
- Without the need of any other procedure or step...
- Involve Accreditation cooperation for mutual recognition in this process.

Proposed Solution

- Government Food Competent Authority

Just need the INDEPENDENT Testing Laboratory

If willing to participate in official control schemes

To present the ISO 17025 certificate issued by an Accreditation Body

With the analytical tests object to routine analysis as part of the scope

Food testing Reference Materials Provider

National Food Testing Proficiency Test Organizer

Making sure that food is safe in the 21st century – Conclusions

Food Control System

- Competent authorities elaborate requirements
- Competent authorities elaborate control schemes (Reference Materials and Proficiency Testing).
- Accreditation Bodies assess testing laboratories for compliance under ISO 17025:2005
- Accredited Laboratories to do the analytical job!

Thank You!

Alfredo M. Montes Nino
President - Microbioticos Laboratories
presidente@microbioticos.com

資料（和訳）:
LABMEETING

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

FOUNDED 1961

資料A

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

27th General Assembly
Governing Board and
Working Group Meetings
Bogota, Colombia

FOURTH ANNOUNCEMENT
REGISTER NOW - JUNE 2017

THE 2017 UILI LABMEETING

Creating the level playing field in global testing

Annual forum
In conjunction with the annual meeting of IAAC
InterAmerican Accreditation Cooperation

AUGUST 22 - 23 - 24TH 2017, BOGOTA, COLOMBIA

UILI Welcome at the 2017 UILI LABMEETING

Dear friends of laboratory industry,

It gives me great pleasure to invite you to attend the '2017 UILI LABMEETING – 27th General Assembly, Governing Board and Working Group Meetings' that the International Union of Independent Laboratories (UILI) will organize on August 22, 23 and 24, 2017 in Bogota, Colombia.

Our event will be hosted by ASOCOLAB, the Asociación Colombiana de Laboratorios and will accommodate the annual meeting of the IAAC.

Our '2017 UILI LABMEETING' should be seen as an initiative to raise awareness for the importance of the laboratory industry societal level. From this perspective, it also forecasts composite talks: many social and economic aspects of laboratory testing do pass in review by prominent speakers from around the globe. I refer to the website of UILI (www.uili.org). There you can find all information and documentation concerning the activities.

UILI members, I would like to welcome to our 27th General Assembly. I express the expectation that the '2017 UILI LABMEETING' will give a valuable contribution to the image and authority of the laboratory industry in Colombia.

Yours sincerely,

UILI - Union Internationale des Laboratoires Indépendants

On behalf of the Governing Board,

Drs L.H.A. Scholtis
14th UILI President

UILI LABMEETING WELCOMES

The UILI LABMEETING is open to all UILI Members, representatives of laboratories and laboratory associations and their stakeholders. UILI invites all registered attendees of the 2017 IAAC annual meeting.

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI) is an international organization representing the laboratory industry. Established in 1960, UILI membership includes over 1000 laboratories through Member Associations as well as individual ordinary Members.

PROGRAM 2017 UILI LABMEETING
GOVERNING BOARD AND WORKING GROUP MEETINGS

時間　8月22日(火)

Time	Tuesday August 22
09:00 – 12:00	**IAAC Subcommittee of Laboratories** IAAC試験所小委員会
13:00 – 14:00	Welcome lunch ウェルカムランチ
14:00 – 17:00	**UILI Members Update - Masterclass** UILI報告 - マスタークラス (UILI会員、Asocolab会議出席者向け) Meeting is open to all UILI Members and attendees of the Asocolab Conference **UILI Master Class - Uncertainty in measurement Monaco Method** 測定の不確かさ monaco法 Alvaro Silva Ribeiro, Vice-President of UILI ｱﾙﾊﾞﾛ･ｼﾙﾊﾞ･ﾘﾍﾞｲﾛ,UILI副会長
14:00 – 14:45	**UILI Members Update - Working Groups - Governing Board Meeting** Meetings are open to all UILI Members and attendees of the Asocolab Conference UILI報告 - ワーキンググループ - 役員会 (UILI会員、Asocolab会議出席者向け) *Standardization* 標準化 **UILI Governing Board - Members Update - ISO 17025 and ISO/Casco-ISO/REMCO Working Group** UILI役員会 - UILI報告 - ISO17025、REMCO WG
14:45 – 15:30	*Proficiency testing* 技能試験 **UILI Governing Board - Members Update - Interlaboratory Practice and ILP Working Group** ILP program 2017-2018 UILI役員会 - UILI報告 - 試験所比較試験およびILP WG ILP 2017-2018
15:30 – 16:15	*Innovation and Industrial development* 技術革新と産業の発展 **UILI Governing Board - Members Update - UNIDO** UILI役員会 - UILI報告 - UNIDO
16:15 – 17:00	*Organisation development and membership* 協会の発展と会員 **UILI Governing Board - Members Update - UILI - Eurolab Strategic Alliance Working Group** UILI役員会 - UILI報告 - UILI-EUROLAB戦略的提携契約 WG
20:00 – 23:00	**Welcome dinner for board members and spouses** ウェルカムディナー(役員・同伴者)

UILI How to build great walls in testing

UILI *How to build great walls in testing*

時間 8月23日(水)

Time	Wednesday August 23
09:00 – 13:00	**LabTour visit to Colombian laboratories, INVIMA and ATLAS laboratory** ラボツアー：INVIMAおよびATLAS Laboratory
13:00 – 14:00	Lunch ランチ
14:00 – 14:15 14:15 – 14:30	2017Labmeeting世界の分析業界に公平性を LabMeeting 2017 ***Creating the level playing field in global testing*** 開会 • **Opening:** -ﾙｰｸ・ｼｮﾙﾃｨｽ博士,UILI14代会長,VRS元会長,LabWing B.V.社CEO - **Drs. Luc Scholtis**, 14th President of UILI, Union Internationale des Laboratoires Indépendants, Past-President of VRS, Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria and CEO of LabWing B.V. (the Netherlands). - **Randy Dougherty**, IAAC Chair -ﾗﾝﾃﾞｨ・ﾄﾞｱﾃｨ氏,IAAC会長
14:30 – 14:50 14:50 – 15:10 15:10 – 15:30	試験所や分析協会が分析業界を公平にするための役割 ***How can laboratories and laboratory associations create a level playing field in testing?*** ﾓﾃﾞﾚｰﾀｰ:ﾏﾅﾍﾝ・ﾌｪﾙﾅﾝﾃﾞｽ博士, 前UILI会長,AELI元会長(ｽﾍﾟｲﾝ) **Moderator: Dr. Manahén Fernández,** Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain). 「協力の力」ｱﾙﾊﾞﾛ・ｼﾙﾊﾞ・ﾘﾍﾞｲﾛ博士,UILI副会長,RELACRE会長,EUROLAB会長(ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ) • 'The power of cooperation', **Dr. Álvaro Silva Ribeiro**, Vice-President of UILI, President of RELACRE, Associaçao de Laboratórios Acreditados de Portugal and President of EUROLAB, European Federation of National Associations of Measurements, Testing and Analytical Laboratories (Portugal). 「ｺﾛﾝﾋﾞｱに試験所協会を設立して」ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ・ﾌｫﾝｾｶ博士,ASOCOLAB会長(ｺﾛﾝﾋﾞｱ) • 'Creating a laboratory association in Colombia, **Dr. Gabriel Fonseca,** Executive Director of ASOCOLAB, Asociación Colombiana de Laboratorios (Colombia). 「ｱﾌﾘｶの試験所協会による業界への貢献」ﾏﾘｱﾝﾇ・ｱﾃﾞｺ氏,UILI事務局長(ﾅｲｼﾞｪﾘｱ) • 'Laboratory Associations In Africa, offering value added services to the industry, **Mrs. Mary-Anne Adeeko**, Secretary-General of UILI (Nigeria).
15:50 – 16:10 16:10 – 16:30 16:30 – 16:50 16:50 – 17:10	認定・認証機関が分析業界で公平性を築く方法 ***How can accreditation and notification bodies create a level playing field in testing?***ﾓﾃﾞﾚｰﾀｰ:ﾏﾅﾍﾝ・ﾌｪﾙﾅﾝﾃﾞｽ博士, 前UILI会長,AELI元会長(ｽﾍﾟｲﾝ) **Moderator: Dr. Manahén Fernández,** Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain).「ｱｼﾞｱ試験所業界の発展と試験所間比較試験の効果」松村徹博士,UILI財務担当,JEMCA副会長,いであ㈱常務取締役(日本) • 'Developments in the Asian laboratory industry - the power of interlaboratory testing', **Dr. Toru Matsumura,** Treasurer of UILI, President of JEMCA and executive director of IDEA Consultants, Inc. (Japan).「ﾖｰﾛｯﾊﾟ試験所業界における貿易の障壁とｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝや文書解釈による影響」ﾔﾝ・ｿｰﾙｽ氏,UILI非協会会員代表,GEOS N.V.社 CEO(ﾍﾞﾙｷﾞｰ) • 'Barriers to trade for the European laboratory industry - the power of guidelines and interpretation documents' **Ir Jan Soers**, UILI Unaffiliated ordinary members representative and CEO of GEOS N.V. (Belgium). • 'Inter American Cooperation creating the level playing field', **Dr. Alfredo Montes-Niño,** , UILI Unaffiliated ordinary members representative and Managing Director of Microbióticos Paraguay-Uruguay-Brasil.「ｱﾒﾘｶ大陸間の協力で公平性を築く」ｱﾙﾌﾚﾄﾞ・ﾓﾝﾃｽ・ﾆﾉ博士,UILI非協会会員代表,Micriobióticos Paraguay-Uruguay-Brasil取締役 • Discussion ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ
20:00 – 22:00	LabMeeting dinner LABMEETINGﾃﾞｨﾅｰ

時間 8月24日(木)

Time	Thursday August 24
08:00 – 10:00	Stakeholders Committee IAAC IAACステークホルダー委員会
10:00 – 13:00	UILI Governing Board Meeting UILI役員会
13:00 – 14:00	Lunch ランチ
14:00 – 17:00	UILI 27th General Assembly UILI第27回総会
20:00 – 22:00	Gala dinner for UILI and ASOCOLAB members UILIとASOCOLABとのガラディナー

時間 8月25日(金)

Time	Friday August 25
09:00 – 18:00	IAAC General Assembly IAAC総会

時間 8月26日(土)

Time	Saturday August 26
09:00 – 17:30	Tour ツアー

UILI会員、および現地主催協会の紹介

UILI MEMBER ASSOCIATION AND LOCAL HOST

Asociación Colombiana de Laboratorios - ASOCOLAB - is a non-profit organization, which aims to advise, contact, train all kinds of accredited and non-accredited laboratories in Colombia. ASOCOLAB represents them in developing Colombian and international technical standards.

ASOCOLABはｺﾛﾝｺﾞｱの非営利協会で、国内における認定・非認定試験所へのｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞや技術訓練等を行っている。協会は発展途上のｺﾛﾝﾋﾞｱにおいて、認定および国際標準に携わっている。

We represent the interests of the public:

www.asocolab.com
info@asocolab.com
PBX: (57-1) 405 4111 EXT 105
Calle 17 No. 68B - 68
Edicio Vestigium
Colombia

DATE AND PLACE

From Tuesday 22th to Saturday August 26th in Bogota, Colombia. Sheraton Hotel Bogota.

会議日程および開催場所

CALL FOR SPONSORS

Given the worldwide nature and perspective of this meeting, we consider it to be a good opportunity for international suppliers to the laboratory sector to be represented in such a relevant event. For this reason if your company is interested in being one of our main sponsors, together with other influential companies from our sector please contact us by sending an e-mail to secretariat@uili.org and we will provide you all the information about it.

国際的に活躍する試験所業界提供事業社の皆様には,本会議の国際的な特質をご利用する良い機会です。ご協賛にご興味のあります企業様につきましては,事務局secretariat@uili.orgまでご連絡ください。追って詳細をご連絡させていただきます。

参加登録

REGISTRATION

Interested parties can register as a participant through online registration form via the website UILI: www.uili.org or by sending an e-mail to the UILI (secretariat@uili.org) or ASOCOLAB (info@asocolab.com) secretariat.

COSTS

- 280EUR(学生93EUR)もしくは相当ｺﾛﾝﾋﾞｱﾍﾟｿ
- Registration fee will cost € 280,00 (€ 93,00 for students) or equivalent in Colombian pesos at the exchange rate of the day. • ASOCOLABもしくはUILI会員は半額
- ASOCOLAB or UILI Member 50% discount
- The registration fee includes:
  - Access to all sessions
  - First day lunch, coffee breaks
  - Abstracts
- Gala diner € 75
- Saturday tour p.m.
  - 8/24(木)ｶﾞﾗﾃﾞｨﾅｰ 別途75EUR
  - 8/26(土)午後ﾂｱｰ代金別途

• 参加費に含むもの
-全ｾｯｼｮﾝへの参加
-初日昼食,ｺｰﾋｰﾌﾞﾚｲｸ
-要旨集

UILI How to build great walls in testing

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

WE INVITE OUR UILI MEMBERS TO THE LABMEETING:

ABOUT UILI

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants is the worldwide organisation for independent testing and calibration laboratories and for independent consultancy organisations.

Besides receiving regular information on developments of interest to members, their interests are represented at international forums such as ILAC, ISO and UNIDO.

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants was registered in France in 1961 as an international association of independent laboratories and consultants. UILI operates under the terms of its Constitution adopted, under its current form, by the 26th General Assembly held in Buenos Aires on September 17, 2015.

A Governing Board, elected by the Ordinary Members through their Member Associations, exercises policy control over all UILI activities. Independent Laboratories and consultants may enjoy membership of UILI either through membership of a Member Association, itself being recognised by UILI, or by individual non-affiliated ordinary membership.

The Constitution permits ordinary membership within a country that has a recognised Member Association. In addition, to accommodate the breadth of scientific disciplines that seek membership of UILI, the constitution permits more than one Member Association per country.

The present membership represents over one thousand laboratories offering a diverse range of laboratory testing and consulting services. UILI has members throughout Europe, North- and South America, Africa and the Middle and Far East.

UILI

WWW.UILI.ORG ■ SECRETARIAT@UILI.ORG

ABN AMRO BANK ■ BIC: ABNANL2A ■ IBAN: NL79ABNA0533251109

資料B

1st. INTERNATIONAL CONGRESS OF CONFORMITY OF THE LABORATORIES

第1回 試験所の適合性に係る国際会議

2017年8月22～24日 Bogotá DC, 22 - 24 August, 2017

シェラトン・ホテル開催 SHERATON HOTEL - MEZZANINE

第1回 試験所の国際会議 ワークショップ

Ref: Workshopping 1st. International Congress of Laboratories.

The Colombian Association of Laboratories コロンビア試験所協会- ASOCOLAB は、2017年8月22、23、24日にボゴタのシェラトン・ホテルにて開催予定の「1st. International Congress of CONFORMITY IN LABORATORIES（第1回試験所の適合性に係る国際会議）」についてご案内申し上げます。

The Colombian Association of Laboratories - ASOCOLAB invites you to participate in the 1st. International Congress of CONFORMITY IN LABORATORIES, to be held on 22, 23 and 24 August 2017, at the Sheraton Hotel in Bogotá.

ASOCOLABは、2017年8月23および24日に同会場にて「Commercial Trade Show」を開催いたします。

On behalf of ASOCOLAB, I present our portfolio of options in the Commercial Trade Show of the Congress, which will be held, on 23 and 24 August 2017, in the same place.

This is a space for your company to establish and develop business relationships, either as a buyer, supplier, public body, sales representative or strategic ally of international companies. For ASOCOLAB, it would be very pleasant and valuable to have you, in the commercial exhibition of the Congress.

会場内にスペースをご用意し、グローバル企業（バイヤー、供給者、公共機関、営業、企画）が事業交流を行う場を提供いたします。ASOCOLABは、ビジネス展示への皆様のご参加をお待ちいたします。

Any questions or concern, please contact us.
Email: Info@asocolab.com ご質問等はこちらまでご連絡下さい。
Email: Info@asocolab.com

With my best regards,

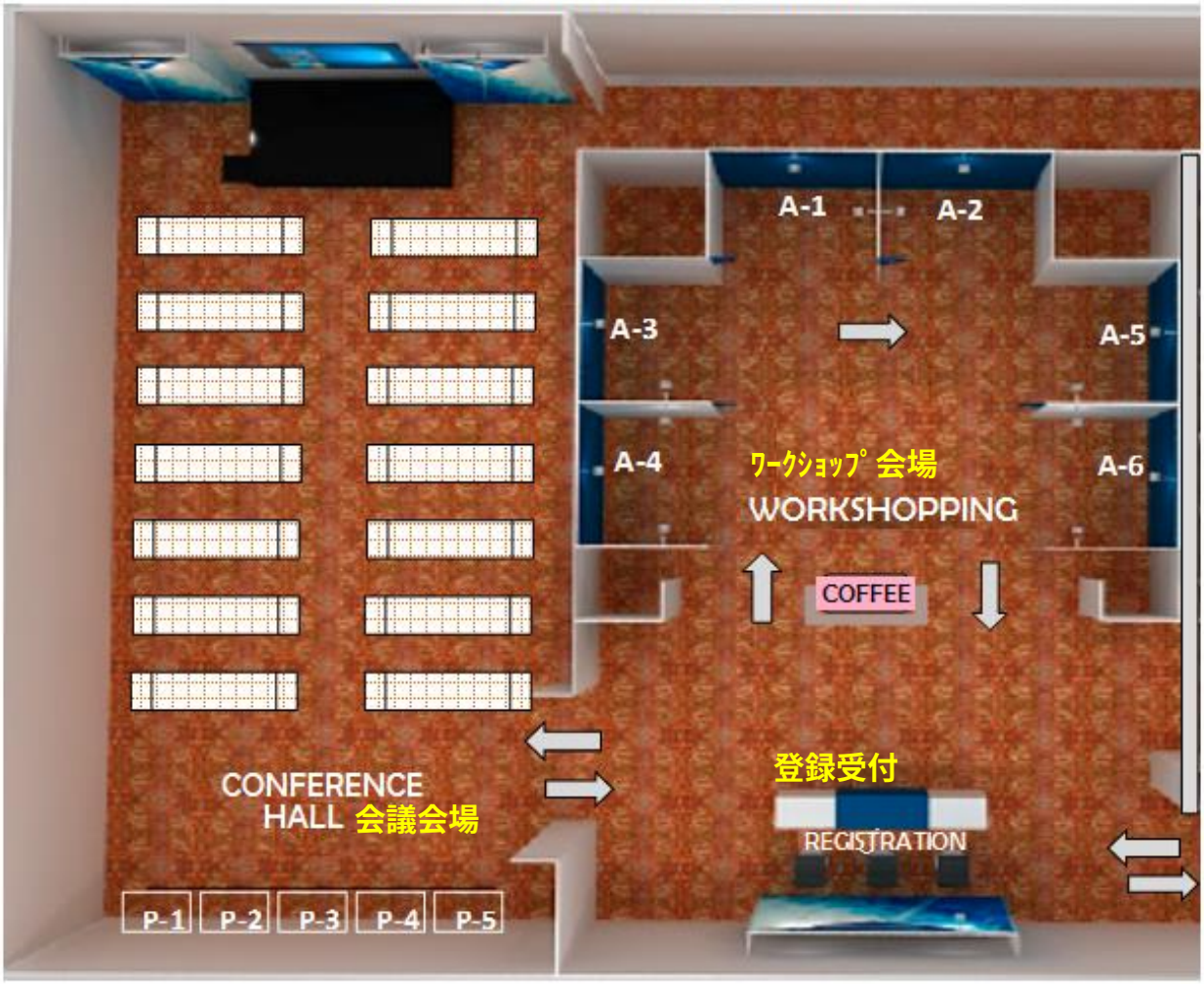
ガブリエル・フォンセカ・R

Gabriel Fonseca R.
Executive Director
Asociación Colombiana de Laboratorios
Phone: 57 1 4054111
Bogotá D.C. – Colombia

ワークショップ参加費用
FARE FOR WORKSHOPPING

CATEGORY ブース種別		Spaces available ブース数	Fare until 15/june/17 6/15まで	Fare after 16/june/17 6/16以降
A-1, A-2	GOLD STAND	2	535USD	600USD
A-3,4,5,6	SILVER STAND	4	467USD	534USD
P-1,2,3,4,5	INSTITUTIONAL BANNER	5	267USD	300USD

HOTEL SHERATON - MEZZANINE ホテル・シェラトン



資料：役員会

資料H

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

Governing Board Meeting 2017/02 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

Thursday August 24th, 2017
Sheraton Hotel Bogota
Commencing at 10:00 AM

AGENDA

1. Welcome
2. Roll call of members and apologies for absence
3. Approval of the agenda
4. Review and approval of minutes of Governing Board Meeting 17/01 held by videoconference on April 11, 2017 and Minutes of the meetings of the Executive Committee
5. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda
6. Updates from member associations and the unaffiliated ordinary members' representatives (The member association reports should be presented at the General Assembly)
7. President's presentation
   - 7.1. Eurolab Strategic Alliance Agreement GA Bologna
     - 7.1.1. Report from UILI-EUROLAB WG
   - 7.2. ILAC – LC Frankfurt – Vancouver
   - 7.3. UNIDO June 30th meetings in Vienna
   - 7.4. External representatives at International Organizations
8. ILP Committee, update ILP Program 2016-2017
9. Standardization working group
   - 9.1. ISO/CASCO Report on ISO 17025
   - 9.2. ISO/REMCO Berlin

10. Treasurer's report
    - 10.1. Transfer of UILI Bank Accounts to ABN AMRO BANK N.V.
    - 10.2. Financial statements as of July 31th 2017
    - 10.3. Membership – unpaid dues
    - 10.4. Budget and rolling forecast 2017
    - 10.5. Budget proposal 2018 and 2019
11. Election of officers of the Governing Board to be presented for election by the Governing Board to the 27th General Assembly
    - 11.1. President, Vice-Presidents, Hon. Treasurer and Secretary General
12. Membership recruitment
13. Update of activities for the promotion and expansion of UILI.
    - 13.1. AOIL – Association of Indian Laboratories, India
    - 13.2. Other Associations
    - 13.3. Evaluation of new Membership Applications:
        - 13.3.1. Hamed Beik Absarkavir Lab
14. Dates and venues upcoming meetings
    - 14.1. 2018/01 – Friday April 20, 2018
    - 14.2. 2018/02 – Friday November 2, 2018
15. Any other business properly approved by the president
16. Adjournment

資料Ⅰ

Draft Minutes Governing Board Meeting 2017/01
Wednesday April 11th, 2017

PARTICIPANTS

Association	Board Member	Country	Local Time	Skype
VRS	Drs Luc H. A. Scholtis President	Netherlands	13:00	luc_scholtis
AELI	Dr. Manahén Fernandez Alonso Past-President	Spain	13:00	manahen.fernandez1
RELACRE	Dr. Álvaro Silva First Vice President	Portugal		
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés Second Vice President	Spain	13:00	jordi.oliver.rodes
JEMCA	Dr Toru Matsumura Treasurer (Incorporate at 22:00 hr)	Japan	21:00	vaio-z21
IPAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko Secretary-General	Nigeria	13:00	subomi.adeeko
CALIBA	Dr Horacio Denari/ Marta Sancho	Argentina	9:00	Horadenari
CCIL	Mr. Gib McIntee	Canada	8:00	gilbert.mcintee
VRS	Drs Hans J.H.F. van der Wart	Netherlands	13:00	hansvdwart
ASOCOLAB	Ms Marilyn	Colombia	6:00	atlasgabrielfonseca
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Mr. Jan Soers	Belgium	13:00	jan.soers
Unaffiliated members Southern Hemisphere	D. Alfredo Montes Niño	Brasil	9:00	montesninio
Secretariat	Melissa Fernández Valero Secretary	Spain	13:00	melissafeva

1. Welcome

Drs Scholtis welcomed all the board members that attended the meeting.

2. Roll call of members and apologies for absence

Mrs. Fernández informed that apologies for absence were received from Dr Oyediran, Mr. Tanaka and Mr. Fonseca.

She also said that Dr. A.K. Nehra is in a trip but he said that would try to join the meeting for a while. We have sent him the skype invitation but he has to accept it to add to our call.

3. In Memoriam of Dr Benito Oliver Rodes, Honorary member of UILI

Drs Scholtis had eloquent and personal words about the death of Dr. Benito Oliver Rodés, he expressed how much he was appreciated and the relevant role he played in UILI and he also said that he would like to have some time in Bogotá's General Assembly to remember him.

Mr. Jordi Oliver-Rodés thanked the words of Drs Scholtis and all the messages he had received from Board members and he commented that his father was always very involved in UILI´s activities.

4. Approval of the agenda

Drs Scholtis commented that the agenda had been sent in advance for review to all Board members and he asked if there was any comment and there was no response. The agenda was then approved.

Drs Scholtis pointed out that at this meeting it would be discussed the issue of the potential membership of EUROLAB and he expressed that Dr Alvaro Silva, UILI's vice president has addressed to him telling if it would be advisable for him to attend this meeting given his position of Eurolab´ s President and the relevance of this decision. Drs Scholtis said to him that he would appreciate his attendance at this meeting.

Dr Fernández expressed that Dr Silva is very much able to separate both roles not creating a conflict of interests and he could perfectly attend the meeting.

Mr. Oliver Rodés agreed with him.

5. Review and approval of minutes of Governing Board Meeting 16/02 held in Nueva Delhi on October 27th and 28th, 2016

5.1. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda

Mrs. Fernández said that minutes had been sent in advance for review to all Board members and no observations were received.

Drs Scholtis revised all the action items from New Delhi's board meeting.

6. Legal situation of UILI

6.1. Register of UILI in Netherlands

Drs Scholtis updated the legal situation of UILI. He informed that UILI was no longer properly registered according to European banking rules and for this reason, the Danske bank decided that our banks accounts had to be closed unless we would make a proper registration in Denmark with a Danish national.

He added that Mrs. Fernández and he have tried to contact the French authorities in many different ways in order to get confirmation that UILI ‘s French Registration was still in place but no positive answer was received and UILI does not appear in the French database of associations and we have not received any confirmation regarding the possible validity of its registration in France. From paper supplied by Mr. Oliver Rodés it became clear that the last communication with the French Authorities has been in 1984 when the secretariat and the seat of the Association moved to Barcelona, Spain. Therefore, it was decided that a new registration should be made.

Drs Scholtis then said that after evaluating several options had arrived that the best given the time constraints was to register the Association in the Dutch Chamber of Commerce, where it has been registered as an Association with limited legal capacity

Mr. Montes Niño commented that he thinks that also the Belgian legislation is the only one that considers international non-profit associations.

Dr Fernández said that in a previous Board meeting the same example of EUROLAB registered in Belgium was commented but Dr Silva didn’t suggest to do it with UILI. He also asked Drs Scholtis what would be the procedure from now on in order to not to have tax problems with the registration.

Drs Scholtis said that ILAC is an association registered in Holland with a similar law but it is very important to have someone in the country to follow up this registration. He added that the UILI´s bank account right now is to the name of UILI and that finally he had managed to open it. From the Dutch tax authorities, he got confirmation that assets from UILI would be considered separately from his personal accounts.

Drs Scholtis confirmed that a letter from tax authorities of the Netherlands was received saying that UILI based on our current activities was registered with the Dutch Tax authorities but will not be asked to register for VAT and Income and or Corporation Tax at this point in time.

Drs Scholtis proposed to get a full association registration with a Dutch Notary and asked the board if they could agree with such a full registration.

Dr Fernández agreed with this option of registering UILI in the Netherlands.

Dr Silva said that the registration of EUROLAB in Belgium is not an easy issue so he thinks that the best option is to make the new registration in the Netherlands.

Drs Scholtis informed that he would try to prepare the best translation possible of the Bylaws in order to facilitate it to the authorities of the Netherlands.

Everyone agreed, therefore, it was approved to initiate the procedures for the new legal registration of UILI in the Netherlands.

6.2. Closing Bank account in Danske Bank and opening account in AMRO Bank.

Drs Scholtis informed that all the money from the Danske bank has been transferred to the new bank account in ABN AMRO bank.

7. Treasurer's report

7.1. Profit/Loss and Balance statements 2016

Mrs. Fernández shared and explained the financial statements as of March 20th 2017.

GEN. STATEMENT ACCOUNTS AS OF M

UILI PROJECTED BUDGET 2016 AND 2

Drs Scholtis said that after talking to AOIL and the IPAN's experience, maybe in the developing countries UILI¨s membership fee is high and we should maybe do something about but he hasn't any proposal at this moment.

Mr. Montes-Niño suggested to increase the fees of most relevant transnational companies members of UILI.

Drs Scholtis said that some of these companies are members of UILI in different countries or associations such as SGS that is in VRS and in AELI too so they pay twice.

Dr Fernández agreed with Drs Scholtis that maybe fees should be revised.

Drs Scholtis suggested to ask the treasurer to make a small working group to study the fees for the years coming up and to be presented at the General Assembly to be approved.

Mr. McIntee, Dr Matsumura and Mrs. Adeeko joined the conversation at 14 pm.

Drs Scholtis expressed to Mrs. Adeeko his condolences on behalf of all the board members for the death of her son. Mrs. Adeeko thanked all the support received from Board members these days of her deep sorrow.

Drs Scholtis summarized for the three new participants, the issues dealt with so far and then he continued with the agenda

8. Activities for next 27th General Assembly in Bogotá, Colombia

8.1. Preliminary program, 23th to 25th August 2017 with activities

Mrs. Marilyn from ASOCOLAB confirmed that the hotel for Bogotá's meeting will be the Sheraton hotel which is very near from the hotel where the IAAC congress will take place.

Drs Scholtis summarized the draft program for Bogotá's meeting and he indicated that it is necessary to coordinate the activities of UILI with the Congress of ASOCOLAB and the one of the IAAC. He confirmed that they are still working on the development of the program in collaboration with ASOCOLAB and in the following days this draft program will be sent to the Board members.

8.2. LabMeeting 2017: still working on it**.**

9. Membership recruitment

9.1. Activities for the promotion and expansion of UILI.

9.1.1. ASOCOLAB – Asociación Colombiana de Laboratorios

9.1.2. AOIL – Association of Indian Laboratories, India

Drs Scholtis informed that he met Dr Nehra in ILAC's meeting in Frankfurt and he was able to understand the reason why they hadn't confirmed their membership to UILI yet. They explained

that they face difficulties in India and so they have some problems to be able to pay the membership fees of UILI. Dr. Nehra promised him to send in the membership application of AOIL.

9.1.3. RELABSA – Red Nacional de Laboratorios de Salud y Ambiente, Guatemala

Mrs. Fernández commented that she had tried to contact them many times but no answer had been received.

Mr. Montes-Niño offered to try to contact this lady, Mrs. Del Cid in order to have a response.

9.1.4. MANUFACTURING AND INDUSTRIAL RESEARCH OF ABSARKAVIR, Ira

Mrs. Fernández informed that this membership was approved.

10. ILP Committee, update ILP Program 2017-2018

Dr Matsumura said that ILP for 2018 was not confirmed yet. He also asked if there will be people interested in ILP with sample of PCB in oil.

Mrs. Adeeko asked if the PCB sample would be instead of water samples or both would be proposed.

Dr Matsumura said that in 2017, the water sample will remain as programed but in for 2018 would be proposed only the PCB oil sample, not the water samples.

Mrs. Fernandez said that she thinks it may be necessary to program a meeting of the ILP W.G. to discuss all these issues.

11. External representation and Working Groups

11.1. ILAC – LC WG - Frankfurt

Drs Scholtis informed that he attended the ILAC-LC meeting and some relevant steps were taken. He added that some of the decisions made in India influenced a lot in the accreditation process.

Dr Silva said a survey was prepared I order to know the lack of harmonization regarding the world of accreditation. During this month the questionaries' will be ended the and will be send for the survey in May and the answers will be presented as a proposal at the next LC ILAC assembly in October to inform of the issues that worries the laboratories worldwide. He said that it would be very good many replies from all the members of UILI to have a good representation.

Drs Scholtis summarized that is very important for UILI members to participate in this survey in order to make a very global real input.

Mrs. Sancho asked who will send this survey.

Drs Scholtis answered that it will be sent to the members through a link by UILI's secretariat with a system called survey monkey.

Dr Silva said that UILI secretariat will send this link so everyone can participate in this survey.

11.2. ISO/CASCO - Report from ISO 17025 WG

Drs Scholtis informed that the work on revision of ISO 17025 is almost ended.

Mr. Montes-Niño wondered if it will be discussed when it is going to be enforced to the laboratories.

Mr. McIntee said that next week is a meeting in Vancouver and probably there this item will be defined.

Mrs. Adeeko said that it is necessary to spread information about the new requirements of 17025 and what UILI could do about.

Drs Scholtis said that maybe we should go back to the UILI 17025 W.G. He also commented that in some developing countries there is interest in these kind of activities as trainings but the problem is who could organize it.

Dr Silva informed that EUROLAB is organizing some documents related to the revision of the ISO17025 and they could collaborate with UILI in providing this information such as a webinar.

Drs Scholtis suggested that the ISO WG group picks it up to be followed up.

11.3. EUROLAB - Report from UILI-EUROLAB WG

Drs Scholtis said that since New Delhi's meeting last year this WG has been working on a proposal how EUROLAB could become a new member of UILI.

He commented that a draft strategic alliance agreement has been prepared and sent to board members for revision.

Drs Scholtis added that in his view, if UILI wants to start helping developing countries the original founders of UILI should come back to be members in order to set a good basis.

He said that he had received remarks from JEMCA and from CCIL and he had already answered both e-mails but he would like to have a final proposal to present in Bologna at EUROLAB's meeting.

Dr Silva said that in his view is better for him no to be present in this moment of discussion. He said that from EUROLAB point of view this union would be very interesting in order to work as a network to improve the position of laboratories worldwide and that the most relevant issue is accreditation and how it affects the competitiveness and is a good way to make a stronger position al laboratory community.

Dr Silva left the meeting at this point.

Mrs. Adeeko supported this union with EUROLAB because the mission of UILI is to reach other labs and working with big associations as EUROLAB could help to make a stronger position and to reach more labs worldwide. She also added that as a 3 year plan it could be revised later.

Dr Fernández said that since as President he signed the M.O.U., he has been participating on the working group that has been developing this alliance proposal and he commented that this issue has been discussed deeply for many years and to develop this document has taken a considerable amount of time. He said that we have to adapt to the new reality of the activities of laboratories, so he's actually in favor of the acceptance of EUROLAB as a member of UILI because from his point of view, it will contribute to growth of UILI and to become a more worldwide representative organization. He also commented that the membership of EUROLAB will reinforce UILI's position in those international organizations such as ILAC, ISO, UN and also, because EUROLAB is very well organized and they have high qualified human resources to work on relevant issues for labs, it will help to give added value to UILI's members. In any case, after the 3 years we can evaluate the situation and then we decide to go back or not.

Dr Matsumura said that JEMCA has no opinion because Japan and Europe are very far apart and JEMCA don't exactly know the activities of EUROLAB. He also added that some people in JEMCA think that this Alliance could make the power of UILI stronger.

Mr. Montes-Niño said that he thinks this union would be positive for UILI.

Mrs. Sancho expressed on behalf of CALIBA that they would agree with this union.

Mr. Soers said that his conclusion is that with this Strategic Alliance UILI could get a better position and he is in favor of this decision.

Mr. McIntee expressed that in Canada the word independent means that labs are fully private and EUROLAB includes also government laboratories within its members, but he is prepared to accept EUROLAB´S as a UILI member if other Board members do.

Drs Scholtis commented that he tried to answer his e-mail as good as possible explaining the situation of European labs. He also expressed that he very well know that UILI comes from independent laboratories.

Dr Matsumura agreed with the proposal of inviting EUROLAB to become member of UILI.

Drs Scholtis asked if everyone agreed with the motion to allow the President to sign the strategic alliance agreement with EUROLAB and to welcome EUROLAB as a member of UILI. All were in favor and supported the proposal.

Drs Scholtis thanked everyone for this support and he added that this could be an historical decision for UILI.

11.4. ISO/REMCO

Mrs. Adeeko suggested Mr. Montes-Niño could complete the report-survey asked for ISO/REMCO.

Mr. Montes-Niño said that given that UILI is not a reference material producer he has already responded that UILI has no comments on that. He informed that a very interesting issue of this committee now is the accreditation of reference material manufacturers.

11.5. UNIDO

Drs Scholtis explained that Don Alfredo provided the contacts and a meeting was held with two officers of UNIDO and it seems that we are in the good mood to improve UNIDO-UILI relationship. At the meeting UNIDO´s representative explained briefly the way in which UNIDO works. He expressed that the point now is that UILI should see how it can provide through our Association support for laboratories in developing countries. Drs Scholtis is invited to come to Vienna in June and further discuss with the officers of UNIDO.

Mrs. Sancho commented how important it is this issue for them to improve the support for Argentinian laboratories.

Mr. Montes-Niño offered himself in revising the projects because of his experience in this field.

Mrs. Adeeko informed that the experience of UNIDO in Nigeria has not been very good but she also added that she would revise the brochures that Mrs. Fernández send in order to send some proposals.

Mrs. Marilyn from ASOCOLAB said that they also will send proposals from Colombia.

Dr. Matsumura said that some of the training programs of UNIDO are very interesting and he also added that UNEP could be also interested in having some relationship with UILI.

12. Dates and venues upcoming meetings

12.1. 2017/02 - August 25th, 2017 – Bogotá, Colombia

12.2. Skype Board meeting 2018-1, 10th April 2018

13. Any other business properly approved by the president

14. Adjournment

15. Action items:

- *To follow up the process of legal status of UILI in The Netherlands – Drs Scholtis.*
- *To ask the treasurer to make a small working group to study the fees for the years coming up and to be presented at the General Assembly to be approved – Drs Scholtis Mrs. Fernández.*
- *To contact ASOCOLAB in order to finish immediately the program for Bogota's meeting 2017.- Drs Scholtis Mrs. Fernández, Dr. Fernandez*
- *To contact again REBLASA to follow up their interest in becoming members of UILI.-Melissa-Don Alfredo Montes Niño*
- *To program an ILP W.G. meeting to discuss all pending issues.-Melissa*
- *To send to the members through a link the survey for ILAC LC.*

- *To program an UILI ISO W.G. meeting to work with Eurolab in organizing some documents related to the revision of the ISO17025 that can be distributed among members. –Melissa-Mary-Anne Adeeko*
- *To follow up the application of EUROLAB as new member of UILI – Drs Scholtis.*
- *To continue preparing the list of proposals and contact again UNIDO – Melissa, Drs. Scholtis*

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPE
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORAT
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料 J

UILI EXECUTIVE COMMITTEE
Skype Meeting hold
On May 9th 2017 commencing at
TIME: 11:00 HR GMT

EXECUTIVE COMMITTEE	COUNTRY	LOCAL TIME	SKYPE ADDRESS
DRS. LUC SCHOLTIS / PRESIDENT / VRS	NETHERLANDS	13:00 H	luc_scholtis
DR. ALVARO SILVA / VICE-PRESIDENT / RELACRE	PORTUGAL	12:00 H	relacre
MR. JORDI OLIVER / VICE-PRESIDENT / AELI	SPAIN	13:00 H	jordi.oliver.rodes
MRS. MARY-ANNE ADEEKO / SECR.-GENERAL / IPAN	NIGERIA	12:00 H	subomi.adeeko
DR. MATSUMURA / TREASURER / JEMCA	JAPAN	20:00 H	vaio-z21
DR. MANAHEN FERNANDEZ / PAST-PRESIDENT / AELI	SPAIN	13:00 H	manahen.fernandez1
MRS. MELISSA FERNANDEZ / SECRETARY	SPAIN	13:00 H	melissafeva

1. **Roll-call of attendants**

   Drs Scholtis expressed apologies received from members who couldn't attend. However, it was agreed that the three members present could go through the matters arising from previous meetings.

2. **Approval of the agenda**

3. **Matters arising from Exco Meeting of Feb 7, 2017 and the Governing Board Meeting:**

   3.1 Membership :

   3.1.1 To prepare a letter inviting the Brazilian association of laboratories, ABRAC, to become member of UILI and send it to Mr. Montes Niño and know about his opinion

Drs Scholtis suggested to confirm if ABRAC is included in our database and if they receive our information. He also commented that he would like to prepare a good membership recruitment package and he said that at the meeting of Eurolab in

Bologna they provided him an USB with all the recruitment documents of EUROLAB that we could use as example to prepare UILI's package.

3.1.2 To send an e-mail to Dr Nehra, Dr Dewari and the President of FARELABS in order to set a skype call with Drs Scholtis using President's e-mail address.

Mrs. Fernández informed that she had sent this e-mail but no response was received.

Drs Scholtis explained that he met Dr Nehra in Frankfurt and they discussed about the membership of AOIL in UILI .He expressed that they were facing internal difficulties. In any case, Dr Nehra promised that they would become member of UILI. Drs Scholtis suggested to prepare a letter confirming their membership based on the conversation they held in Frankfurt. He also commented that he agreed with Dr Nehra that we could make a discount on fees if we knew exactly the real number of members of AOIL.

3.1.3 To contact again REBLASA to follow up their interest in becoming members of UILI.-Melissa-Don Alfredo Montes Niño

Mrs. Fernández informed that she had sent at least three e-mails to the contact person that she has in RELABSA but no answer was received yet. She also confirmed that she had talked to Mr. Montes Niño that morning and he offered to try to contact her again to follow up this issue.

Drs Scholtis asked Mrs. Fernández to prepare a list with all potential members of UILI for instance, RELABSA AOAC, South African, ISTA, Congolese laboratory association…

3.2 To confirm who from JEMCA will attend June 2017 Geneva's meeting of ISO 17025 :

Dr Matsumura sent an e-mail explaining that JEMCA hasn't yet this information but they would try to confirm as soon as possible.

Regarding the ISO 17025 meeting, Drs Scholtis proposed to call Mr. McIntee in order to ask him about his attendance in Bogotá and get the input from Vancouver's meeting of ISO 17025v. Drs Scholtis requested Mrs. Fernández to ask for his availability to Mr. McIntee to have a skypecall.

3.3 To send the questionnaire prepared by EUROLAB to all the Board members asking for input.

Mrs. Fernández said that it has just been received.

Drs Scholtis commented that now that the ILAC LC survey is ready, it has to be sent to all UILI contacts on the database. He commented that the aim of this questionnaire is to bring real and useful information from laboratories worldwide to ILAC. In this mail it should be included the link sent by EUROLAB. He asked Mrs. Fernández to prepare this e-mail.

Mrs. Adeeko suggested to include the due date very clear in the e-mail so that people can know the dates when the have to answer.

3.4 To prepare official documents to transfer the money from the Danske bank to the AMRO bank. Three different documents should be prepared one for each bank account:

Drs Scholtis explained that all the bank changes have been properly done and he informed that it is needed a notary to register UILI in the Netherlands and he will make sure that is done in a next future.

3.5 To revise the financial documents together between Drs Scholtis and Mrs. Fernández before sending them to the other Board members for revision.

Mrs. Fernández confirmed that this was already done.

3.6 Annual fees revision :

To ask the treasurer to make a small working group to study the fees for the years coming up and to be presented at the General Assembly to be approved – Drs Scholtis & Mrs. Fernández.

Drs Scholtis commented that this hasn't been done yet but should be programmed before Bogota's meeting.

3.7 To program a UILI ISO W.G. meeting to work with Eurolab in organizing some documents related to the implementation of the revised ISO 17025 that can be distributed among members. –Melissa- Mary-Anne Adeeko

Drs Scholtis proposed to set new ways of collaboration with Eurolab to work in different fields as in the revision of the ISO 17025.

Mrs. Adeeko agreed with organizing the WG again and she suggested to get the contact of Eurolab people who have expertise in this issue so that she could contact them. Mrs. Adeeko also suggested that the UILI could start with an Online training on that issue that if possible people interested could pay for that.

Drs Scholtis commented that this should be discussed to find a good solution because implementation of ISO 17025 could mean long work.

Mrs. Adeeko said that she thought in a training mainly in the changes after revision of ISO 17025.

Drs Scholtis said that the first idea was to make a paper about revision of ISO 17025 and how these changes affect the laboratories but the training is something else which is very fine but first the contacts with Eurolab should be made.

Mrs. Fernández confirmed that she would find these contacts in order to start up this working group.

3.8 UILI-Eurolab (Dr. Á. Silva Ribeiro): To prepare a draft document for revision of the MOU of UILI-EUROLAB and send it to Mrs. Fernández and Dr Fernández for review before sending it to Mr. José Luis Sánchez.

Drs Scholtis informed that this was done and already signed by EUROLAB.

Drs Scholtis announced that there are very good news because the agreement with EUROLAB was perfectly signed. He said ~~told~~ that he had an introduction talk at the General Assembly in Bologna and later it was unanimously voted in favour of this agreement.

He expressed that he would like to make a press release expressing that now we are the largest laboratory association in the world and to spread this news directly to the board members and later to other press Media.

Drs Scholtis said that he would prepare the press release regarding the Eurolab incorporation in UILI.

3.9 ILP Committee (Dr. T. Matsumura): To set an urgent meeting of the ILP committee as soon as possible to confirm the proposal for the 2018 ILP and to provide update on 2016 (10th, 11th, 12th, 13th) and Program 2017 – 2018

Drs Scholtis said that Dr Matsumura would confirm the program in this week. Drs Scholtis confirmed that he's just waiting for the information from JEMCA to send the 2017 ILP announcement.

Dr Matsumura said in his e-mail that during this week he would send the information.

Please note that the 2018 ILP proposal was not addressed. So committee meeting and proposal are still pending.

3.10 27th General Assembly & LabMeeting 2017 Bogota: To contact ASOCOLAB in order to finish immediately the program for Bogota's meeting 2017.- Drs Scholtis Mrs. Fernández, Dr. Fernandez

After discussing different possibilities to set the final program, Drs Scholtis requested Mrs. Fernández Valero to ask Mr. Montes-Niño if UILI became a stakeholder where exactly it would participate at the congress of IAAC in Bogotá in order to confirm the plan.

4. UILI-UNIDO. (Drs L.H.A. Scholtis)

Drs Scholtis informed that Mrs. Fernández is trying to check if she can find a reasonable flight from Málaga to Vienna so that both could attend the meeting with UNIDO. He also said that from the proposals that we got from members a power point presentation should be prepared for discussions at the meeting. He asked Mrs. Adeeko about the project in South Africa to set a good accreditation body.

Mrs. Adeeko expressed that the South African region is the best organized and the accreditation system has already a good experience there.

Drs Scholtis said that laboratory in developing countries should be profitable.

Mrs. Adeeko said that Independent laboratories in Africa need UILI's help to achieve profitability and relevance . She said most functional labs belong to Government that work with grants from International organisations , and the private labs don't have equipment's , right infrastructure , funding …

Drs Scholtis said that he together with Mrs. Adeeko would make a first draft of this Power Point presentation and send it also to the other board members for revision.

Mrs. Fernández offered to assist as intermediate between UILI and UNIDO but she expressed that in her view is people expertise as Mrs. Adeeko who has to be the ones who give the ideas and the proposal for UNIDO because she hasn't this technical knowledge.
Mrs. Adeeko confirmed that UNIDO is supporting Nigeria with a grant of 12.000.000 euros for quality infrastructure including an Accreditation Body. Some laboratories received training but the private labs still do not have equipment and good infrastructure to deliver quality results.

5. **External representation:**

ISO/CASCO, ISO/REMCO, ILAC/Laboratory Committee

6. **Next meetings**

<u>ACTION ITEMS:</u>

1. To prepare a membership recruitment package using the information received from EUROLAB as example. -> Labwing
2. To prepare a letter confirming membership of AOIL based on the conversation that Drs Scholtis had with Dr Nehra in Frankfurt -> Drs Scholtis and Mrs. Fernández
3. To confirm who from JEMCA will attend June 2017 Geneva's meeting of ISO -> Dr Matsumura
4. To ask for availability to Mr. McIntee to have a skypecall with Drs Scholtis.
5. To prepare and send an e-mail to send the survey of ILAC LC to all laboratories included in UILI's database -> Mrs. Fernández and Labwing
6. To send the announcement of the ILP program -> Drs Scholtis (when information from JEMCA is received)
7. To contact the notary to register UILI as an association in the Netherlands -> Drs Scholtis
8. To ask the treasurer to make a small working group to study the fees for the years coming up and to be presented at the General Assembly to be approved –> Drs Scholtis / Mrs. Fernández.
9. To prepare a list with all potential members of UILI –> Mrs. Fernández
10. To contact EUROLAB to get the information of ISO 17025 expertise and send it to Mrs. Adeeko -> Mrs. Fernández
11. To prepare a press release to inform about the signature of UILI-EUROLAB agreement -> Drs Scholtis / Mrs. Fernández
12. To ask Mr. Montes Niño the best moment to participate in IAAC congress and to hold UILI's labmeeting in Bogotá -> Mrs. Fernández Valero
13. UNIDO Meeting and presentation-> Drs Scholtis and Mrs. Adeeko

資料K

ISO/REMCO
Committee on reference materials

Email of secretary: sauvage@iso.org
Secretariat: ISOCS

Approved resolutions of the 40th meeting of REMCO Berlin 27-29 June 2017

Document type: Resolution

Date of document: 2017-06-29

Expected action: INFO

Background:

Committee URL: http://isotc.iso.org/livelink/livelink/open/remco

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Date 2017-06-29	Reference number ISO/REMCO **N** 1509
Supersedes document	

ISO/REMCO

Committee on Reference Materials

Secretariat:

Stéphane Sauvage
ISO Central Secretariat
1, ch. de la Voie-Creuse
P.O. Box 56
CH-1211 Geneva 20
Switzerland

Telephone: +41 22 749 72 77
Facsimile: +41 22 749 73 49
E-mail: *sauvage@iso.org*
Web URL: www.iso.org/REMCO

REQUESTED ACTION

Circulated to REMCO members, and to technical committees and organizations in liaison for:

☒ **information for REMCO members**

☐

☐ comments by

☐ voting (P-members only)

P-members of REMCO have an obligation to vote.

Title: **Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting Berlin, 27-29 June 2017**

Source: Stephane SAUVAGE

Project(s):

Status:

Additional information:

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 1/2017
ISO/REMCO minutes
ISO/REMCO unanimously approves the report of the 39th annual ISO/REMCO meeting, document ISO/REMCO N 1457.

Resolution 2/2017
WGs and AHGs – Summary of discussions in meetings during the annual meeting
ISO/REMCO requests its WG and AHG convenors to upload the summary of discussions during their WG and AHG meetings held in Berlin in their WG and AHG folders in eCommittee by **2017-07-31** including their action plan for the progress with their projects (2017-06-29 to 2018-07-09).

Resolution 3/2017
WGs and AHGs – Meetings
ISO/REMCO reiterates its request to its WG and AHG convenors to arrange additional meetings (using the new ISO meeting platform) or correspondence, as necessary, to progress with their work programmes. WG and AHG convenors are requested to make use of all available communication tools (e.g. teleconference, e-mails, etc...) between ISO/REMCO annual meetings. ISO/REMCO requests its WG and AHG convenors to report the summary of discussions in these additional meetings in eCommittee.

Resolution 4/2017
Annual meeting preparation
In preparation of its next annual meeting, ISO/REMCO reiterates its request to its secretariat and convenors to circulate working documents not later than 6 weeks prior to the meeting. Documents received later than 6 weeks prior to the annual REMCO meeting will not be considered during the meeting concerned.

The deadline for the circulation of documents to ISO/REMCO members and liaisons for the annual ISO/REMCO meeting to be held in June 2018 will be **2018-05-29.**

Resolution 5/2017
Late correction to ISO Guide 35
Noting that the correction proposed in ISO/REMCO N1508 does not constitute a change to the technical provisions of ISO Guide 35 which can be verified by comparison with ISO Guide 35:2006, and is important for understanding of equation (B.11), ISO REMCO kindly requests ISO/CS to make the proposed change as a proof correction before issue of ISO Guide 35:2017.

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 6/2017

WG6 – Information services - promotion of REMCO deliverables

ISO/REMCO requests WG6 to continue to monitor, and collate details on the publication of appropriate support "documents" in the form of presentations, articles, etc. to promote all the new, and existing REMCO deliverables. These documents will be used to promote REMCO deliverables among our stakeholders, and the chronology of their publication will be reviewed at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

Resolution 7/2017

WG6 – Information services – Report of 40th REMCO meeting for ACQUAL

ISO/REMCO requests WG6 to produce a meeting report suitable for publication by **2017-08-31**.

Resolution 8/2017

REMCO Chair – Summary report of 40th REMCO meeting

ISO/REMCO requests its REMCO Chair to provide a short summary of this meeting report by **2017-09-30** and to make it available for REMCO liaison representatives and members. The ISO/REMCO secretariat will upload it on the ISO/REMCO website.

Resolution 9/2017

WG6 – Information services – REMCO webpage

Following the WG6 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG6 to finalize the REMCO webpage by **2017-09-30** to be able to make it 'live'.

Resolution 10/2017

WG6 – Information services - Website improvement

ISO/REMCO requests WG6 to continue to:

- Maintain, and update the 'live' REMCO webpage up-to-date as needed on periodic review, at least once a quarter,
- coordinate training presentations,
- keep a look out for the presence of REMCO information in search engines such as Google.

The progress will be reported at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

..

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 11/2017

WG17 – template reports for members and liaisons

ISO/REMCO requests the WG17 convenor to produce a revised template report that will be suitable for both members and liaisons by **2017-12-31** and to explore the possibility of gathering members and liaisons information on line.

Resolution 12/2017

WG17 – Member and liaison reports

ISO/REMCO requests its secretariat to contact ISO/REMCO members and liaison representatives by **2017-12-31** to provide their reports to the WG17 convenor by **2018-05-29** for discussion during the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

Resolution 13/2017

WG17 – Liaison with PDG

Following the WG17 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG17 convenor to contact USP and JP as members of PDG to invite them to participate in REMCO. The progress will be reported at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

Resolution 14/2017

WG17 – Liaison with TC229

Following the WG17 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG17 convenor to provide guidance to TC229 on its query on how to best specify the use of CRMs in an ISO document describing a measurement method.

Resolution 15/2017

WG17 – Review of liaisons

Following the WG17 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO agrees to create the liaison from ISO/REMCO towards ISO/TC276 and ISO/TC34/SC2 to SC18. ISO/REMCO agrees to stop the liaison at the TC level with ISO/TC34.

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 16/2017

WG17 – International liaison coordination

The following experts as shown in the table below are appointed as ISO/REMCO liaison representatives for the respective liaison. ISO/REMCO requests its WG17 to review this table by **2018-04-15** in order to update it and identify (if needed) possible ISO/REMCO members directly linked to these liaisons so that ISO/REMCO liaison representatives will be able to be appointed accordingly during the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018)

ISO committees in liaison	ISO/REMCO Liaison Representatives	ISO/REMCO Deputy Liaison Representatives
ISO/CASCO	Lorraine Turner (UKAS)	
ISO/TC24/SC4	Thomas Linsinger (EC)	
ISO/TC34/SC2 to SC18	Stephane Sauvage (ISO/CS)	
ISO/TC69 Statistics	Steve Ellison (LGC)	Ilya Kuselman (SII)
ISO/TC158 Gas analysis	Adriaan van der Veen (VSL)	Wolfram Bremser (BAM)
ISO/TC164 Mech. Test.	Stephane Lefrançois (LNE)	Gert Roebben (EC)
ISO/TC212 In vitro diag.	Heinz Schimmel (EC)	
ISO/TC229 Nano	Gert Roebben (EC)	Michael Winchester (NIST)
ISO/TC276 Biotech	Stefanie Trapmann (EC)	
International organizations in liaison	**ISO/REMCO Liaison Representatives**	**ISO/REMCO Deputy Liaison Representatives**
AOAC (A)	Michael Winchester (NIST)	Alfredo Montes Nino (UILI)
BIPM (A)	Angelique Botha (NMISA)	Steven Westwood (BIPM)
CITAC (A)	Ilya Kuselman (SII)	
EC (A)	Stefanie Trapmann (EC)	
EURACHEM (A)	Steve Ellison (LGC)	
IAEA (A)	Ales Fajgelj (IAEA)	
IAG (A)	Thomas Meisel (MUL)	Jacinta Enzweiler (UNICAMP)
IFCC (A)	Heinz Schimmel (EC)	
ILAC (A)	Lorraine Turner (UKAS)	He Ping (SAC)
IUPAC (A)	Zoltan Mester (NRC)	Ilya Kuselman (SII)
JCGM/WG1	Adriaan van der Veen (VSL)	Angelique Botha (NMISA)
JCGM/WG2	Stefanie Trapmann (EC)	Steven Westwood (BIPM)
JCTLM	Steven Westwood (BIPM)	
OIML (A)	Olga Kremleva (UNIIM)	
PDG (A)	Andrea Lodi (EDQM)	Venkat Surendra Nath Koduru (USP)
UILI (A)	Alfredo Montes Nino (UILI)	Toru Matsumura (UILI)
UNESCO (A)		
WASPaLM (A)		
WHO (A)		

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 17/2017
WG13 – Qualitative RMs – Liaison with JCGM/WG2
Following the WG13 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO agrees that its WG13 continues the interaction with JCGM/WG2 to be able to provide recommendations to ISO/REMCO and input in JCGM/WG2.

Resolution 18/2017
WG13 – Qualitative RMs – New work item proposal
Following the WG13 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG13 convenor to draft a new work item proposal by **2017-09-30** for a guidance document for the production of qualitative reference materials and requests REMCO secretariat to launch a 3 months CIB in view to agree to forward the proposal to TMB for approval of new work item.

Resolution 19/2017
AHG4 – "Purity RMs for small organic molecules"
Following the AHG4 meeting held in Berlin on 2017-06-27, ISO/REMCO agrees to change the title of AHG4 to "Purity RMs for small organic molecules " and ISO/REMCO requests AHG4 convenor to draft a new work item proposal by **2017-09-30** for a guidance document on the production of purity RMs for small organic molecules. This should include provisions for:

- Terminology relating to materials sold as pure or as sufficiently pure for a specified end use;
- Characterization, including general methods (direct/indirect), treatment of data including non-detects, dilution to form solutions or mixtures, and uncertainty evaluation;
- Special considerations for homogeneity and stability assessment of pure materials in accordance with Guide 35;
- Minimum information requirements for 'pure' RMs.

REMCO requests its secretariat to launch a 3 months CIB in view to agree to forward the proposal to TMB for approval of new work item.

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 20/2017
AHG6 – "Purity RMs for inorganic materials"
ISO/REMCO agrees to create AHG6 "Purity RMs for inorganic materials" and appoints Dr. Zoltan Mester as convenor. ISO/REMCO/AHG6 will review the existing documents on purity RMs for inorganic materials. ISO/REMCO requests AHG6 to prepare a draft for the Terms of Reference for the future work of the group or for a new work item proposal for discussion during the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

Resolution 21/2017
AHG5 – "Recent advancements in the assessment of homogeneity and stability for reference materials"
Following the AHG5 meeting held in Berlin on 2017-06-27, ISO/REMCO requests AHG5 to complete RMP and ICH searches, consider in detail the publications and other sources of information compiled from all searches and to report to REMCO with recommendations for further action at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

Resolution 22/2017
Reference materials for process analytical technologies
ISO/REMCO requests Dr. Wolfram Bremser to provide a proposal for an enquiry about the need for developing guidance for RMs in process analytical technologies and for characterization of RMs for multi-variate properties to REMCO secretariat by **2017-09-30** to launch a 3 months CIB for REMCO members to express their interest in the topic and future work in view of discussion at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

Resolution 23/2017

Chair – WG and AHG mid-term reports

The WG and AHG convenors are requested to provide mid-term progress reports to the ISO/REMCO Chair by **2018-01-15**.

Resolution 24/2017

Chair – Letter to REMCO members on ISO/IEC 17043

ISO/REMCO requests its Chair to draft a letter by **2017-09-30** for a 3 months REMCO CIB in view to propose to CASCO to consider the opening of early SR of ISO/IEC 17043.

Resolution 25/2017
CAG - Chairman's Advisory Group

ISO/REMCO requests its CAG to (virtually) meet by **2018-02-28** in order to review the progress of work.

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 26/2017

ISO/REMCO – Strategic business plan

ISO/REMCO requests its Vice Chair, John P. Hammond, to fundamentally review, and update the strategic business plan by including the outcome of the 40th ISO/REMCO meeting **2018-01-31**, for CAG review at the February 2018 WebEx.

Resolution 27/2017

Chair & Vice Chair appointments

ISO/REMCO agrees to appoint Dr. Angelique Botha as REMCO Chair for a second term of three years. Accordingly, the REMCO secretariat will ask ISO/TMB to approve the extension of REMCO Chair mandate for the period 2018-2020.
ISO/REMCO notes the appointment of Mr. John P. Hammond as REMCO Vice-Chair for a second term of three years (2018-2020) by the REMCO Chair.

Resolution 28/2017

REMCO meeting in 2018

ISO/REMCO decides to hold its 41st meeting in Ottawa, Canada in July 2018 (from 10 to 13 to be finalized). The corresponding invitation from SCC and NRC is appreciated.

Resolution 29/2017

Acknowledgement of host

ISO/REMCO expresses its special thanks to DIN and BAM for the excellent meeting arrangements and social events of its 40th meeting.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNI
UNIÓN INTERNATIONA
МЕЖДУНАРОДНЫЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

議事録原文

Governing Board Meeting 2017/02 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

Thursday August 24th, 2017 Sheraton Hotel Bogota commencing at 10:30 hours

1. **Welcome**

   Drs Scholtis welcomed all the attendees and apologized for the delay which was due to his presentation at the IAAC Stakeholders committee meeting.

2. **Roll call of members and apologies for absence**

   Drs Scholtis expressed apologies for absence from Drs van der Wart, Mr. Soers, Mr. Oliver Rodés, Mr. McIntee and Dr Oyediran.

   He also congratulated Dr Matsumura for his new presidency of JEMCA and he asked him about who would be the alternate of JEMCA from now on.

   Dr Matsumura confirmed that it would be one of the two vice-presidents and he would inform the secretary of UILI about his name.

3. **Approval of the agenda**

   Drs Scholtis asked the members present whether there was any proposed change in the agenda, all said no and everyone approved it.

4. **Review and approval of minutes of Governing Board Meeting 17/01 held by videoconference on April 11, 2017 and Minutes of the meetings of the Executive Committee**

   Drs Scholtis revised briefly the last minutes and all members approved them.

   Drs Scholtis made a revision of the action items derived from the last GB meeting:

- *To follow up the process of legal status of UILI in The Netherlands – Drs Scholtis.*

  Regarding this issue he recounted all the difficulties encountered when Melissa and himself tried to confirm the legal status of UILI in France and given that it could not be confirmed, the Board finally decided to make the arrangements to register UILI in Holland.

  Mr. Montes-Niño said that given that in the future, maybe the presidency can be in another country, maybe the best option would be to register as AISBL in Belgium because Belgium is the only legislation that allows international association registration.

  Drs Scholtis answered that a lot of work has been already made and now UILI is already in the process of getting the registration in Holland.

  Dr Fernández said that this was already discussed and approved to be done in Holland and he asked what the next steps are.

  Drs Scholtis responded that the articles of association should be registered in a notary and after presented to ~~in~~ the Dutch authorities to fulfil the requirements for registration.

  Mrs. Adeeko asked if there are any limitations for UILI regarding the registration in Holland. Drs Scholtis answered that limitations are only regarding the money due to the taxes.

  Mrs. Adeeko supported the registration of UILI in registering in The Netherlands.

- *To ask the treasurer to make a small working group to study the fees for the years coming up and to be presented at the General Assembly to be approved – Drs Scholtis Mrs. Fernández.*

  Drs Scholtis asked Dr Matsumura if he could prepare a proposal for a next meeting.

Dr Silva expressed that there are different new situations due to the incorporation of EUROLAB in UILI and it needs a reflexion on the fee structure. He thinks it is a major issue if UILI wants to think in a really global way.

Drs Scholtis asked if he thought that it would be important to include it in the articles of association.

Dr Silva said that it would be important to revise well these articles to see if is there is anything that is necessary to be changed.

Drs Scholtis proposed to create a small group to meet by skype who would be in charge of revising the draft for the notary based on the articles of the association.

Mr. Montes-Niño commented the example of ACIL and he also proposed to make some kind of draft in writing so that could be distributed among the group for revision. He also suggested Drs Scholtis to select some key points that he consider the most important to be checked in order not to revise the full articles.

Drs Scholtis finally said that these articles of associations are on website so he asked members to download them and send comments to the President. After that it will be organised a skype meeting to confirm the document for the notary.

- *To contact ASOCOLAB in order to finish immediately the program for Bogota's meeting 2017.- Drs Scholtis, Mrs. Fernández, Dr. Fernandez*

  It was done.

- *To contact again **RELABSA**~~REBLASA~~ to follow up their interest in becoming members of UILI.-Melissa-Don Alfredo Montes Niño.*

  Don Alfredo tried to contact them but finally he said that was better to wait until they solve some organization problems.

- *To program an ILP W.G. meeting to discuss all pending issues.-Melissa*

  It was done.

- *To send to the members through a link the survey for ILAC LC.*

It was done.

- *To program an UILI ISO W.G. meeting to work with Eurolab in organizing some documents related to the revision of the ISO17025 that can be distributed among members. –Melissa- Mary-Anne Adeeko*

  It was done.

- *To follow up the application of EUROLAB as new member of UILI – Drs Scholtis***.**

  It was done.

- *To continue preparing the list of proposals and contact again UNIDO – Melissa, Drs. Scholtis*

  It was done.

5. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda

No other issues were presented.

6. Updates from member associations and the unaffiliated ordinary members' representatives (The member association reports should be presented at the General Assembly)

JEMCA – no remarks

IPAN – Mrs. Adeeko remarked that they don't have ~~more~~ accredited labs yet . She expressed that it would be very good if they could receive some support from UILI in this issue. She also added that regarding the ILP it would be very good for IPAN if bulk samples could be purchased for distribution to other labs within the country.

RELACRE – Dr Silva highlighted that the process of accreditation of ILP is going on. He also said that RELACRE with the collaboration of FELAB are preparing an Ibero-American Congress of laboratories in Lisbon for 2018. They are also preparing the world conference for non-destructive testing for 2022.

He said that Portugal is very interested in industry labs and maybe UILI could have connections with labs of industry and provide some training. Regarding ISO 17025 he said that EUROLAB has 34 guides on the application of this standard and these guides will be revised and they will be open and free for all people and maybe it could be an added value for UILI's members and could also be translated in different languages. He added that this will help to share experiences among the experts of different parts of the world.

Unaffiliated - Mr. Montes-Niño said that his lab is a member of ABRAC and he thinks that they could be interested in becoming member of UILI but when decided, it would be through a MOU. He commented that UILI is now member of IAAC so it would be very important to continue the presence and participation of UILI in that organization.

Drs Scholtis said that first it would be important to learn more and find who would make the liaison between UILI and ABRAC and from there on UILI would start the communication with them and later it could be decided the kind of relationship that will be appropriate with UILI.

Inspection Bodies:

Mrs. Adeeko asked about the possibility of including inspection bodies in UILI.

Drs Scholtis answered that according to the constitution they could be accepted.

Dr Silva responded that for the national association's members it would be very useful to have a union also with inspection bodies because it would facilitate a way of communication.

Mrs Adeeko then suggested that it will be good for UILI to have contact with the International Confederation of Inspection and Certification Organisations CEOC Secretariat in Belgium.

CALIBA- Dr Denari said that the most important for them is what he can take in his pocket from this UILI meeting that could help the labs in CALIBA. He expressed that through UILI they can spread their views in a more global level but this is not enough. He commented the example of the necessary equipment for laboratories and that people in Argentina can't buy. He expressed the possibility a facilitator to different institutions that could obtain some money for the renewal of equipment.

Drs Scholtis commented that the TIC industry is growing very fast and maybe the best idea would be to have a crowdfunding platform where these industries could invest in different

issues. He also said that in general in any laboratory if it has samples enough the money is not a problem.

Mr. Montes-Niño expressed that may be because they don't have enough samples labs can't afford the money to buy these equipment. He also said that CALIBA is now a federation of two associations

Mrs. Sancho asked UILI for help to improve the technical and business activities of the developing countries and she proposed to prepare business workshops between national experts and international experts.

Drs Scholtis concluded that all this issues have to be studied and also that UILI should be open for inspection bodies.

AELI- no comments.

VRS- Drs Scholtis informed that Dr Van der Wart had left the VRS presidency and Mr. van den Ende is the new president.

7. President's presentation

Drs Scholtis expressed that he is very happy for all the things that have been done since Buenos Aires meeting.

7.1. Eurolab Strategic Alliance Agreement GA Bologna

7.1.1. Report from UILI-EUROLAB WG

Drs Scholtis said that the incorporation of EUROLAB in UILI is properly in progress. He added that Mr. Sánchez will become the representative of EUROLAB in UILI and the UILI-EUROLAB WG is working on finding the best way of how this new alliance should work. He commented that they are going to prepare a document of the main objectives and they will be implemented.

7.2. ILAC – LC Frankfurt – Vancouver

Drs Scholtis said that the survey proposed by Dr Silva in Delhi finally was successfully passed.

7.3. UNIDO June 30th meetings in Vienna

Drs Scholtis informed that Mrs. Fernández and he had a meeting at UNIDO's headquarters in Vienna and they concluded that provide them a strategic plan for Accreditation Bodies in developing countries but at the end UNIDO needs the help of experts and project leaders to achieve their goals and there is where UILI can maybe collaborate with them. They also are very much interested in the ILP program and he has being helping them in searching for some specialized company to prepare and send some samples to Malawi---.

7.4. External representatives at International Organizations

Drs Scholtis expressed that several steps should be taken for the next years in order to help the members and give them added value from the representation of UILI in International organizations. He asked the representatives of each association to concrete what UILI can do for them and what can they do for UILI.

8. ILP Committee, update ILP Program 2016-2017

Mrs. Fernández informed that samples and final results for 10th and 11th ILP were properly sent to participants.

She also said that samples for the 13th ILP were sent last year but they are still waiting report from CALIBA.

She provided the following information:

2016- 23 participants (around 6 unpaid)

2017- 23 Applicants

14th ILP samples - already sent the samples to participants (problems with Spanish labs).

15th ILP – To be sent soon.

16th ILP – no participants.

17th ILP- CALIBA couldn't finally send the samples and a discussion started there trying to find a solution through JEMCA or RELACRE.

Drs Scholtis expressed that the ILP must ~~to~~ run better because now it is not working well and it is a huge amount of work for UILI's secretary and the idea was different because it was supposed that UILI would spread the information but each provider should be in charge of the management.

Dr Matsumura suggested that UILI could become a PT provider. ---

Mrs. Adeeko suggested to have an interface well prepared.

Mrs. Fernández suggested to have a coordinator for ILP.

Drs Scholtis said that they should maybe prepare a letter for participants in the 17th ILP explaining the reasons why it had to be cancelled or postponed.

Mrs. Fernández asked if it wouldn't be possible to see if RELACRE could do the 17th ILP and in case it doesn't CALIBA should write a letter giving an explanation to participants.

Drs Scholtis said that CALIBA should in any case write that letter apologizing for the situation.

9. Standardization working group

9.1. ISO/CASCO Report on ISO 17025

Mrs. Adeeko confirmed that the revision of 17025 has finished but there are still some ballots. She suggested to spread this ballot through EUROLAB's secretariat too.

9.2. ISO/REMCO Berlin

Dr Matsumura commented that the start of a new standard will come in 2020.

Drs Scholtis commented that in his view the representation of UILI in each international organization is not clear yet and he expressed that he would like to have a good proposal of how and who is doing this representation in international associations.

Dr Silva gave a proposal saying that UILI should confirm the associations where UILI has to be present, who is the representative and the reporting should also be improved.

Drs Scholtis confirmed that the Secretary General should have this coordination role.

Dr Silva offered that people from EUROLAB can send the reports of different meetings and also UILI could send them.

10. Treasurer's report

10.1. Transfer of UILI Bank Accounts to ABN AMRO BANK N.V.

10.2. Financial statements as of July 31th 2017

Dr Matsumura commented that all the financial documents should be revised more deeply after this meeting.

10.3. Membership – unpaid dues

Drs Scholtis commented that some of the unpaid invoices have been paid recently and those are not reflected in the last statements sent to the treasurer for review.

Mrs. Fernández summarized the situation as it is right now:

UNAFFILIATED: Total 13 ->8 unpaid unaffiliated (Ekosmyrna and Oikonomidis unpaid also 2016)

ASSOCIATIONS: Total 9 -> 3 unpaid (AELI, CALIBA and AOIL)

10.4. Budget and rolling forecast 2017

10.5. Budget proposal 2018 and 2019

Drs Scholtis commented that the budget is going to be treated in the general Assembly

.

11. Election of officers of the Governing Board to be presented for election by the Governing Board to the 27th General Assembly

11.1. President, Vice-Presidents, Hon. Treasurer and Secretary General

Drs Scholtis asked to the officers, If they would be willing to continue in office for the next term.

All the officers present accepted to continue for one more term, so the Board for 2018-2019 continues with the current officers. This will be presented to the General Assembly.

12. Membership recruitment:

New approved members:

1. Associations:

a. ASOCOLAB

b. EUROLAB (formal application in course)

2. Unaffiliated:

a. Hamed Beik Absarkavir Lab – Iran

13. Update of activities for the promotion and expansion of UILI.

13.1. AOIL – Association of Indian Laboratories, India

13.2. Other Associations

13.2.1. Potential new members

13.2.1.1. RELABSA – Guatemala

13.2.1.2. ASOSEC – Colombia

13.3. Evaluation of new Membership Applications:

14. Dates and venues upcoming meetings

14.1. 2018/01 – Friday April 20, 2018

14.2. 2018/02 – Friday November 2, 2018

Given to the strength of time this point was not treated

15. Any other business properly approved by the president

No other business were treated.

16. Adjournment

Being 13:10 Hours meeting was ended.

15. Action items:

- To follow up the process of legal status of UILI in The Netherlands: to register the articles of association in a notary and after present in the Dutch authorities to fulfil the requirements for register. These articles of associations are on website so members must to download them and send comments to the President. After that it will be

organised a skype meeting to confirm the document for the notary- All the members, Melissa and Drs Scholtis.

- To ask the treasurer Dr Matsumura if he could prepare a proposal for a next meeting to study the fees for the years coming having in mind that there are different new situations due to the incorporation of EUROLAB in UILI and it needs a reflexion on the fee structure: Dr Matsumura.

- External representatives at International Organizations: To ask the representatives of each association to concrete what UILI can do for them and what can they do for UILI.

- UNIDO: to provide them a strategic plan for Accreditation Bodies in developing countries.

- 17th ILP : To contact RELACRE asking if it wouldn't be possible to prepare the exercise and in case it doesn't CALIBA should write a letter giving an explanation to participants.- Melissa, Claudia(RELCRE), Marta(CALIBA)

  Drs Scholtis said that CALIBA should in any case write that letter apologizing for the situation.

- Standardizing working group: to have a good proposal of how and who is doing this representation in international associations. The proposal should confirm the associations where UILI has to be present, who is the representative and the reporting should also be improved.

- To contact Associations from Guatemala, RELABSA, ASOSEC, Colombia and ABRAC, Brazil to follow up their interest in becoming members of UILI.-Melissa-Don Alfredo Montes Niño

- To define dates and venues upcoming meetings

  2018/01 – Friday April 20, 2018

2018/02 – Friday November 2, 2018

資料（和訳）: 役員会

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料H

2017年第2回 UILI役員会

Governing Board Meeting 2017/02 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

2017年8月24日(木)10:00開始
於・コロンビア、ホテル・シェラトン・ボゴタ

Thursday August 24th, 2017

Sheraton Hotel Bogota

Commencing at 10:00 AM

アジェンダ

AGENDA

1. Welcome 歓迎
2. Roll call of members and apologies for absence 出席者の確認と欠席のお詫び
3. Approval of the agenda アジェンダの承認
4. Review and approval of minutes of Governing Board Meeting 17/01 held by videoconference on April 11, 2017 and Minutes of the meetings of the Executive Committee
   2017年4月11日ﾃﾚﾋﾞ会議にて開催された2017年第1回UILI役員会および幹部会議事録の承認
5. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda ｱｼﾞｪﾝﾀﾞ外、議事録からの懸案事項
6. Updates from member associations and the unaffiliated ordinary members' representatives (The member association reports should be presented at the General Assembly)
   会員協会･非協会会員代表からの活動報告(総会にて発表)
7. President's presentation 会長からの報告
   - 7.1. Eurolab Strategic Alliance Agreement GA Bologna Eurolab戦略的合意契約 ﾎﾞﾛｰﾆｬ総会
     - 7.1.1. Report from UILI-EUROLAB WG UILI-EUROLAB WG報告
   - 7.2. ILAC – LC Frankfurt – Vancouver ILAC-LC バンクーバー会議 報告
   - 7.3. UNIDO June 30th meetings in Vienna 6月30日ウィーン開催 UNIDO会議
   - 7.4. External representatives at International Organizations UILI加入国際団体活動
8. ILP Committee, update ILP Program 2016-2017 ILP委員会より2016-2017年ILP報告
9. Standardization working group 規格化WG
   - 9.1. ISO/CASCO Report on ISO 17025 ISO 17025に係るISO/CASCO報告
   - 9.2. ISO/REMCO Berlin ISO/REMCOベルリン会議

10. Treasurer's report 財務報告

    10.1. Transfer of UILI Bank Accounts to ABN AMRO BANK N.V. ABN AMRO銀行へのUILI口座移転

    10.2. Financial statements as of July 31th 2017 2017年7月31日現在財務諸表

    10.3. Membership – unpaid dues 未払い会費

    10.4. Budget and rolling forecast 2017 2017年予算とローリングフォーキャスト

    10.5. Budget proposal 2018 and 2019 2018・2019年予算案

11. Election of officers of the Governing Board to be presented for election by the Governing Board to the 27th General Assembly 第27回総会における役員改選に向けた候補者の選出

    11.1. President, Vice-Presidents, Hon. Treasurer and Secretary General 会長、副会長、名誉財務担当、事務局長

12. Membership recruitment 会員勧誘活動

13. Update of activities for the promotion and expansion of UILI. UILI拡大・促進のための活動報告

    13.1. AOIL – Association of Indian Laboratories, India AOIL:インド試験所協会

    13.2. Other Associations その他協会

    13.3. Evaluation of new Membership Applications: 加入希望事業所の検討評価

        13.3.1. Hamed Beik Absarkavir Lab Hamed Beik Absarkavir Lab

14. Dates and venues upcoming meetings 今後の会議予定

    14.1. 2018/01 – Friday April 20, 2018 2018年第1回-2018年4月20日(金)

    14.2. 2018/02 – Friday November 2, 2018 2018年第2回-2018年11月2日(金)

15. Any other business properly approved by the president その他(会長承認)

16. Adjournment 閉会

資料Ⅰ

2017 年第 1 回役員会 議事録（案）
2017 年 4 月 11 日(水)

出席者

協会	役員	国	現地開始時間	Skype
VRS	Drs Luc H. A. Scholtis President	Netherlands	13:00	luc_scholtis
AELI	Dr. Manahén Fernandez Alonso Past-President	Spain	13:00	manahen.fernandez1
RELACRE	Dr. Álvaro Silva First Vice President	Portugal		
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés Second Vice President	Spain	13:00	jordi.oliver.rodes
JEMCA	Dr Toru Matsumura Treasurer (21:00 より参加)	Japan	20:00	vaio-z21
IPAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko Secretary-General	Nigeria	13:00	subomi.adeeko
CALIBA	Dr Horacio Denari/ Marta Sancho	Argentina	9:00	Horadenari
CCIL	Mr. Gib McIntee	Canada	8:00	gilbert.mcintee
VRS	Drs Hans J.H.F. van der Wart	Netherlands	13:00	hansvdwart
ASOCOLAB	Ms Marilyn	Colombia	6:00	atlasgabrielfonseca
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Mr. Jan Soers	Belgium	13:00	jan.soers
Unaffiliated members Southern Hemisphere	D. Alfredo Montes Niño	Brasil	9:00	montesninio
Secretariat	Melissa Fernández Valero Secretary	Spain	13:00	melissafeva

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
國際聯盟的獨立實驗室
国際独立研究所連合

1. 歓迎

ショルティス博士は役員一同を歓迎した。

2. 出席者の確認と欠席の連絡

フェルナンデス氏はオイディラン博士と田中氏、フォンセカ氏より欠席の連絡があったことを報告した。

A･K･ネーラ博士は出張先から短時間でも会議に参加したいとのことで Skype 接続を試みたが、応答がなかった。

3. UILI 名誉会員ベニト・オリバー・ロデス博士 追悼

ショルティス博士はベニト・オリバー・ロデス博士の訃報に触れ、博士に対する深い感謝の気持ちを表し、博士の UILI での功績を語った。また、ボゴタ総会で博士を追悼する時間を設けることを提案した。

ジョルディ・オリバー・ロデス氏はショルティス博士の言葉に、また、多くの役員から寄せられたお悔やみのメッセージに感謝を表し、ご尊父は常に UILI 活動に係っていたと述べた。

4. アジェンダの承認

ショルティス博士は、アジェンダが事前に役員に配布済であることを説明し、修正等の意見はないか確認したところ応答はなかった。よって、アジェンダは承認された。

ショルティス博士は、本日は EUROLAB の入会に係る議事があるが、副会長アルバロ･シルバ博士から、EUROLAB 会長の立場として本会議に出席することに問題はないかの確認があったことを述べた。ショルティス博士はシルバ博士に対し、出席に感謝すると伝えた。

フェルナンデス博士は、シルバ博士は彼の持つ二つの役割をしっかりと使い分け、会議上で両協会の意見の衝突を避けることができると説明した。

オリバー・ロデス氏は博士に同意した。

5. 2016 年 10 月 27・28 日ニューデリー開催の 2016 年第 2 回役員会議事録の承認

5.1. 議事録に係る懸案事項（アジェンダ外）

フェルナンデス氏は、前回議事録は事前に役員間に配布されたが、応答がなかったことを報告した。

ショルティス博士はニューデリー役員会でのアクションアイテムを確認した。

6. UILI の登記に係る活動報告

6.1. オランダにおける UILI 登記について

ショルティス博士は UILI 登記手続きの状況を報告した。ヨーロッパ銀行規定によると、UILI は現在正式に登記がなされておらず、ダンスケ銀行から、デンマークに登記しない限りは口座を閉鎖せざるを得ない旨通告を受けたことを報告した。更に、フェルナンデス氏がフランス政府に対し UILI のフランス登記について何度も問い合わせたが、フランス政府の協会データベースに登録がなく、結果としては、現在、協会はフランスに登記されている事実が確認できなかったことを報告した。オリバー・ロデス氏から提供された書類よると、フランス政府と最後に接触したのは 1984 年のことで、協会の事務局がスペイン・バルセロナに移った時に遡るとのこと。よって、新たな登記を行う決断に至ったことが説明された。

ショルティス博士は、いくつかの可能性を検討した結果、時間の制約もあり、法的に限定された協会としてオランダ商工会議所に登録することが最良である考えに至ったことを説明した。

モンテス・ニノ氏は、その他の選択肢として、ベルギーでは世界で唯一国際的な非営利協会が認可されると述べた。

フェルナンデス博士は、これまでの役員会でも EUROLAB がベルギーに登録されていることに触れたが、シルバ博士は、UILI についてはこれを勧めないとしていたことを述べた。博士はまたショルティス博士に対し、登記上、納税の問題にどう対処するのかを質問した。

ショルティス博士は、ILAC はオランダの似た法律の下登録されていることに触れ、その登記を国内で対処できる人物がいることがとても重要であると述べた。加えて、UILI の現在の取引口座は、自身の名義で開設できたものであると加えた。オランダ国税庁からは UILI 資産は、ショルティス博士の個人資産とは別のものと認識しているとの確認がなされたとのこと。

ショルティス博士は、オランダ国税庁からの書簡には UILI が現在の活動内容でオランダ国税庁に登記されたが、現時点で VAT（付加価値税）、所得税、法人税の納税義務はないことが記されていたことを説明した。

ショルティス博士は、オランダ公証役場への正式な登記を提案し、役員へその賛否を確認した。

フェルナンデス博士は、UILI のオランダへの登記に賛成した。

シルバ博士は EUROLAB のベルギーでの登記は容易なものではなかったことに触れ、オランダに登記する考えに賛成した。

ショルティス博士は、UILI 規約について、可能な限りの良い翻訳版を用意し、オランダ政府機関に提出すると述べた。

一同が合意し、UILI のオランダ登記手続きを開始することが承認された。

6.2. ダンスケ銀行口座閉鎖とアムロ銀行口座開設について

ショルティス博士は、ダンスケ銀行に残された現金は全て ABN アムロ銀行に移されたことを報告した。

7. 財務報告

7.1. 2016 年 貸借対照表および損益計算書

フェルナンデス氏は 2017 年 3 月 20 日現在の財務報告を行った。

GEN. STATEMENT ACCOUNTS AS OF N

UILI PROJECTED BUDGET 2016 AND 2

ショルティス博士は、AOIL と IPAN の経験から、途上国にとって UILI の会費は高く、対処が必要となる可能性に触れ、しかしながら現時点では案がないことを述べた。

モンテス・ニノ氏は、UILI の多国籍企業の会費値上げを提案した。

ショルティス博士は、これらの企業は異なる国や協会を通じて UILI に入会しており、例えば VRS と AELI 両方の会員である SGS 社は既に会費を二か所に払っていると述べた。

フェルナンデス博士は、ショルティス博士の会費見直しの提案に賛成した。

ショルティス博士は財務担当に対し、少人数のワーキンググループを作り、今後の年会費を調査、成果を総会で発表、そして承認を得ることを提案した。

14：00 マケンティ氏、松村博士、アデコ博士が会議に参加した。

ショルティス博士はアデコ氏に対し、役員を代表してご子息の訃報にお悔やみの言葉を述べた。アデコ氏は、役員らから寄せられたメッセージが、この悲しみの時期の支えになっていると感謝を述べた。

ショルティス博士は合流した 3 名の出席者に、これまでの会議の議事内容をかいつまんで説明し、アジェンダに戻った。

8. 次回 コロンビア・ボゴタ開催の第 27 回総会 会議運営

8.1. 2017 年 8 月 23～25 日の活動・会議プログラム案

ASOCOLAB マリリン氏は、ボゴタ会議のホテルはシェラトンになることと、IAAC の会議会場にとても近いことを報告した。

ショルティス博士はボゴタ会議プログラムを簡単に説明し、UILI 行事を ASOCOLAB や IAAC の会議と調整する必要があると述べた。また、プログラムは ASOCOLAB と準備中で、近日中に役員へ配信されると述べた。

8.2. LabMeeting 2017: 準備中

9. 会員増強活動

9.1. UILI 広報活動

9.1.1. ASOCOLAB – Asociación Colombiana de Laboratorios（コロンビア試験所協会）

9.1.2. AOIL – Association of Indian Laboratories, India（インド試験所協会）

ショルティス博士は、ILAC フランクフルト会議でネーラ博士に会い、UILI への入会の話が進まない理由を聞いたことを述べた。インド国内で問題が起きていて、UILI 年会費が支払えないことを心配する声が挙がっていることとのこと。ネーラ博士は、AOIL の入会申込書を提出することを約束したとのこと。

9.1.3. RELABSA – Red Nacional de Laboratorios de Salud y Ambiente, Guatemala（全国保健・環境試験所ネットワーク、グアテマラ）

フェルナンデス氏は、何度か協会に問い合わせるものの応答がないことを報告した。

モンテス・ニノ氏は、担当の女性デル・シド氏に連絡をとることを申し出た。

9.1.4. MANUFACTURING AND INDUSTRIAL RESEARCH OF ABSARKAVIR, Iran（ABSARKAVIR 製造および産業研究、イラン）

フェルナンデス氏は、本件は入会が承認されたことを報告した。

10. ILP 委員会、2017-2018 年 ILP 経過報告

松村博士は、2018 年の ILP 計画についてはまだ準備中であると述べた。博士は、ILP で油中の PCB の分析があったら興味はあるか一同に聞いた。

アデコ氏は、それは PCB の分析のみ、それとも PCB と水の 2 つの分析を行う提案なのかを質問した。

松村博士は、2017 年 ILP については予定通り水の分析を行い、2018 年分について油中の PCB のみで、水の分析は行わない提案であると説明した。

フェルナンデス氏は、本件については別途 ILP WG を開催することを提案した。

11.加入団体・ワーキンググループ活動

11.1. ILAC‐LC WG‐フランクフルト

ショルティス博士は ILP-LC 会議に出席し、いくつか関係のある事柄が前進したと述べた。更に、インド会議で決議された事項のいくつかが認定のプロセスに大きく影響してくると加えた。シルバ博士は、アンケート調査は、認定システムの不調和部分を確認する目的で実施されることを説明した。今月末までに調査内容が完成、5 月に実施、その回答は 10 月開催の次回 ILAC LC 総会にて報告され世界の試験所が抱えている問題が発表されるとのこと。彼はまた、UILI の積極参加の一環として本調査への協力は良い機会であると述べた。

ショルティス博士は UILI 会員が本調査に協力し、真にグローバルな情報提供を行うことは我々にとって重要であると述べた。

サンチョ氏は、UILI からの回答は誰が用意するのかを確認した。

ショルティス氏は、UILI 事務局から会員へ、システム survey monkey を通じて、アンケート調査のリンクを送ると答えた。

シルバ博士は、UILI 事務局からのリンクがあれば誰でも調査に参加できると述べた。

11.2. ISO/CASCO - ISO 17025 WG 報告

ショルティス博士は ISO 17025 改訂作業は終盤を迎えていると述べた。

モンテス・ニノ博士は、改訂版が試験所に対して効力を発揮する前に議論が交わされるのか不明であると述べた。

マケンティ氏は、本件については恐らく次週のバンクーバー会議で確定すると説明した。

アデコ氏は、17025 の新しい要求事項に係る情報を共有し、UILI ができることを検討する必要があると述べた。

ショルティス博士は、本件については UILI 17025 WG にて議論を交わすこととし、途上国の中には教育研修に興味がある国もあるが、誰がそのプログラムを運営するかが問題であると述べた。

シルバ博士は、EUROLAB は ISO 17025 に係る文書を作成中で、オンラインセミナー等で発表する予定だが、その運営に UILI が協力参加することを提案した。

ショルティス博士は本件を ISO WG グループで取り上げることとした。

11.3. EUROLAB - UILI-EUROLAB WG 報告

ショルティス博士は、昨年ニューデリー会議で本 WG が EUROLAB の UILI 入会検討に取り組んだことを説明した。

博士はまた、戦略提携契約（案）が作成され、役員間へ配布され意見を求めたことを述べた。

ショルティス博士は、自身の考えとして、UILI は途上国支援を始めたいこと、基盤作りのため UILI の創設メンバーを再度入会させたいことを述べた。

博士は、JEMCA と CCIL から問い合わせがあり、回答済であることを説明した。また、本日最終案を用意しボローニャで開催予定の EUROLAB 会議に提出したいと述べた。

シルバ博士は、ここで会議を退席することを申し出た。EUROLAB は、この連合組織は、ネットワークを構築することで世界の試験所の地位を向上させ、共に認定が競争に与える影響に関心を持ち、試験所コミュニティでの立場を強化させる存在となる考えていると述べた。

シルバ博士は退席した。

アデコ氏は、EUROLAB との提携で、UILI のミッションにもあるように、UILI が他の試験所や EUROLAB のような大きな組織と協力してその立場を強化させ、世界の試験所とより強く結びつくことができるようになるため、これに賛成すると述べた。彼女はまた、3 カ年計画をたて、今後内容を改訂できるようにすることを提案した。

フェルナンデス博士は、自身が会長を務めていた時 MOU に署名して以来 本ワーキンググループに係っているが、この提携契約については長年議論を重ねており、本文書を作成するのに大変な時間が費やされていることを説明した。博士はまた、我々は試験所の新しい活動傾向に適応するため EUROLAB の入会に賛成すること、自身としては、それで UILI が成長し、より世界を代表する組織になる考えでいることを述べた。更には、EUROLAB は組織力が強く、優秀な人材が試験所関連業務に携わっていることに触れ、これらが UILI に付加価値を与えるため、EUROLAB の入会で ILAC、ISO、UN のような国際組織における UILI の立場が強化されることを説明した。いずれにしても、3 年で状況をみて判断し、その後の方針を決めることとすると述べた。

松村博士は、日本とヨーロッパは大変離れており、JEMCA としては EUROLAB の詳しい活動内容がわからないため、JEMCA としては特に意見はないと述べた。博士は、JEMCA の中で、本提携によって UILI が力を持つようになる可能性があると考える者もいると加えた。

モンテス・ニノ氏は、自身がこの連合組織は UILI に良い影響を与える考えであると述べた。

サンチョ氏は、CALIBA を代表して、本連合組織体制に賛成の考えを示した。

ソレス氏は、結果として、UILI 戦略提携により地位向上が望めるため、賛成すると述べた。

マケンティ氏は、カナダにおいて「独立」という言葉は、試験所が完全に民間であることを示し、EUROLAB 会員には政府系試験所も存在することがわかっているが、他の役員が賛成するのであれば EUROLAB 入会を受け入れる考えであることを述べた。

ショルティス博士は、返信メールでは、ヨーロッパの試験所の状況について可能な限り詳細に説明したと述べた。また、UILI が独立系試験所で成り立っていることについてもよく理解していると述べた。

松村博士は EUROLAB の UILI 入会に賛成した。

ショルティス博士は、EUROLAB との戦略提携契約書に会長が署名し、EUROLAB の UILI 入会に合意するか動議を出した。一同これに合意し、提案を支持した。

ショルティス博士は一同の協力に感謝を述べ、これは UILI にとって歴史的な決断となったと加えた。

11.4. ISO/REMCO

アデコ氏は、モンテス・ニノ氏に ISO/REMCO の報告調査作成を依頼した。

モンテス・ニノ氏は、UILI が標準物質の製造者ではないため、UILI からはコメントがない旨連絡済みであると答え、また、委員会で今最も関心が寄せられているのは、標準物質製造の認定であることを報告した。

11.5. UNIDO

ショルティス博士は、アルフレド氏の紹介で UNIDO 職員 2 名と会議を行い、UNIDO と UILI が良い関係を築ける手ごたえを感じたことを報告した。会議上で、UNIDO 職員から UNIDO の仕組みについて説明を受けたとのこと。博士は、現時点のポイントは、UILI が途上国の試験所に支援を行う手段を探すことであると述べた。

ショルティス博士は 6 月にウィーンへ招待を受け、UNIDO 職員と議論を深める予定とのこと。

サンチョ氏は、この件はアルゼンチンの試験所への支援向上に大変重要であると述べた。

モンテス・ニノ氏は、自身の専門分野であることから、プロジェクト検討作業への参加を申し出た。

アデコ氏は、UNIDO のナイジェリアでのプロジェクトの経験から良い印象を持っていないが、フェルナンデス氏から届く UNIDO の冊子に目を通し意見を出すことを申し出た。

ASOCOLAB マリリン氏は、コロンビアからも意見を出すことを申し出た。

松村博士は UNIDO の教育訓練プログラムには大変興味深いものもあるが、UILI が関係を持つ先として UNEP も面白いと述べた。

12. 今後の会議予定

12.1. 2017 年第 2 回役員会 - 2017 年 8 月 25 日 - コロンビア・ボゴタ

12.2. 2018 年 Skype 第 1 回役員会 2018 年 4 月

13. その他（会長承認）

14. 閉会

15. アクションアイテム:

- *オランダ政府への UILI 登記手続き – ショルティス博士*
- *財務担当が今後数年間の年会費に係る小ワーキンググループを立ち上げ、その成果を総会に提出、承認を受ける – ショルティス博士、フェルナンデス氏*
- *ASOCOLAB に連絡をとり、早急に 2017 年ボゴタ会議プログラムを完成させる.- ショルティス博士は、フェルナンデス氏、フェルナンデス博士*
- *RECLASA に再度連絡をとり、UILI への入会を勧める – フェルナンデス氏、アルフレド･モンテス･ニノ氏*
- *ILP WG 会議を開催し、懸案事項を解消する – フェルナンデス氏*
- *ILAC LC のアンケート調査のリンクを関係者へ配信する*

- *UILI ISO WG 会議を開催し、Eurolab が会員へ配布予定の ISO 17025 改訂に係る文書作成に取り組む – マリアンヌ・アデコ氏*
- *EUROLAB の UILI 入会手続きを進める - ショルティス博士*
- *引き続き UNIDO への提案事項をまとめ、先方へ連絡する – フェルナンデス氏、ショルティス博士*

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDE[illegible]IES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABOR[illegible]TES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗА[illegible]
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料 J

UILI 幹部会
Skype 会議
2017 年 5 月 9 日
開始時間: 11:00 HR GMT

幹部会委員	国	現地時間	SKYPE ADDRESS
DRS. LUC SCHOLTIS / PRESIDENT / VRS	NETHERLANDS	13:00 H	luc_scholtis
DR. ALVARO SILVA / VICE-PRESIDENT / RELACRE	PORTUGAL	12:00 H	relacre
MR. JORDI OLIVER / VICE-PRESIDENT / AELI	SPAIN	13:00 H	jordi.oliver.rodes
MRS. MARY-ANNE ADEEKO / SECR.-GENERAL / IPAN	NIGERIA	12:00 H	subomi.adeeko
DR. MATSUMURA / TREASURER / JEMCA	JAPAN	20:00 H	vaio-z21
DR. MANAHEN FERNANDEZ / PAST-PRESIDENT / AELI	SPAIN	13:00 H	manahen.fernandez1
MRS. MELISSA FERNANDEZ / SECRETARY	SPAIN	13:00 H	melissafeva

1. **出席者の確認**

   ショルティス博士は欠席者からの連絡を報告した。出席者は 3 名だが会議を行い、前回会議からの懸案事項を取り上げることで合意した。

2. **アジェンダの承認**

3. **2017 年 2 月 7 日開催の幹部会からの懸案事項:**

   3.1 会員 :

   3.1.1 ブラジル協会 ABRAC に宛てた入会案内を、モンテス・ニノ氏へ送り、意見を聞く

ショルティス博士は、ABRAC を UILI のメーリングリストに入れ、協会の情報を配信することを提案した。また、入会案内の改訂を検討しており、EUROLAB ボローニャ会議で EUROLAB の入会案内を入手したので参考にしたいと述べた。

3.1.2 ネーラ博士、デワリ博士、FARELABS 宛てに UILI 会長アカウントから e メールを送り、ショルティス博士との Skype 会議を設定する

フェルナンデス氏は e メールを発信したが、回答を得られていないことを報告した。

ショルティス博士はフランクフルトでネーラ氏に再会し、AOIL の UILI 入会について会話を交わしたことを報告した。ネーラ氏は協会内で問題を抱えていると説明したとのこと。ともかく、ネーラ博士は UILI に入会することを約束したとのこと。ショルティス博士は、フランクフルトでの約束を確認するためのメッセージを送ることを提案した。ショルティス博士は、ネーラ博士とは、AOIL の正確な会員数がわかれば会費を割引くことで合意していることを報告した。

3.1.3 REBLASA へ連絡をとり入会について再確認する – フェルナンデス氏、アルフレド･モンテス･ニノ博士

フェルナンデス氏は、RELABSA 担当者へ最低 3 通メールを送ったが回答がないことを報告した。フェルナンデス氏は朝モンテス・ニノ氏と話し、ニノ氏が先方へ連絡をとり本件のフォローを申し出たとのこと。

ショルティス博士は、フェルナンデス氏へ、RELABSA や AOAC、南アフリカ、ISTA、コンゴ試験所協会など、UILI に入会可能性のある団体の一覧の作成を依頼した。

3.2 2017 年ジュネーブ開催 ISO17025 会議への JEMCA 出席者の確認：

松村博士からメールで連絡があり、まだ情報がないが、至急確認することを約束したとのこと。

ショルティス博士はマケンティ氏へ電話し、ボゴタ会議への出欠を確認した上で ISO17025 バンクーバー会議報告を依頼することを提案した。ショルティス博士はフェルナンデス氏へ、マケンティ氏との Skype 打合せの調整を依頼した。

3.3 EUROLAB 作成のアンケート実態調査を役員へ配信し意見を求める

フェルナンデス氏は、丁度アンケートを受信したことを報告した。

ショルティス博士は、ILAC LC 調査は準備が完了しており、これを UILI メーリングリストにある全関係者へ配信することを述べた。本アンケート調査の趣旨は各国の試験所の実態や有益な情報を ILAC に集約することとのこと。UILI 関係者へ配信するメールには、EUROLAB から届いたウェブサイトのリンクを付ける。ショルティス博士は、フェルナンデス氏に対しメール配信の準備を依頼した。

アデコ氏は、配信するメールには回答期限の明確に記し、期日をわかりやすく知らせることを提案した。

3.4 Danske 銀行にある全預貯金を AMRO 銀行へ送金するための公文書を作成。口座ごとに 3 つの文書を作成:

ショルティス博士は銀行の変更手続きは無事完了したことと、オランダ公証役場に UILI を登記することが必要で、それは今後行う予定であると述べた。

3.5 ショルティス博士とフェルナンデス事務局で財務諸表を見直し、役員へ配信する

フェルナンデス氏は、本件については完了していると報告した。

3.6 年会費の見直し：

財務担当が今後数年間の年会費に係る小 WG を立ち上げ、その成果を総会に提出、承認を受ける - ショルティス博士、フェルナンデス氏

ショルティス博士は、本件はまだ行われておらず、ボゴタ会議までには計画を立てる予定であると説明した。

3.7 UILI ISO WG 会議を開催し、Eurolab が会員へ配布予定の ISO 17025 改訂に係る文書作成に取り組む - フェルナンデス氏、マリアンヌ･アデコ氏

ショルティス博士は EUROLAB と、ISO17025 改訂で行ったような協働を新たに始めることを提案した。

アデコ氏は WG を再度立ち上げることに賛成し、EUROLAB の専門家の連絡先を入手することを依頼した。アデコ氏はまた、UILI による ISO 17025 のオンライントレーニングプログラム提案し、できれば、参加者が興味をもって参加費を払うようなものにしたいと述べた。

ショルティス博士は、ISO 17025 に係る業務は長期になることが見込まれ、議論を交わし良い答えを導きたいと述べた。

アデコ氏はトレーニングプログラムは ISO 17025 の改訂個所に焦点を絞ったものを想定していたと説明した。

ショルティス博士は、当初は ISO 17025 改訂とそれが試験所に及ぼす影響についての文書を作成するだけの考えでいたが、トレーニングプログラムは大変良い提案で、まずは EUROLAB に連絡したいと述べた。

フェルナンデス氏は当 WG 立ち上げに向け、担当者をさがすことを確認した。

3.8 UILI-EUROLAB の MOU 改訂案をホセ・ルイス・サンチェス氏へ送る前に、フェルナンデス事務局とフェルナンデス博士に送付して意見を聞く

ショルティス博士は、本件は完了しており、EUROLAB も署名済であることを報告した。

ショルティス博士は、EUROLAB の当合意書への署名は完璧で、大変良い知らせができたと報告した。博士はボローニャ開催の EUROLAB 総会にて講演を行い、その後行われた当合意書への投票は満場一致で可決・承認されたと述べた。

ショルティス博士は、今、当協会は世界最大の試験所協会となったことについてプレスリリースを行い、このニュースを役員およびプレスメディアへも拡散すると述べた。
ショルティス博士は、自身で EUROLAB の UILI 加入のプレスリリースを準備すると述べた。

3.9 至急、ILP 会議を開催し、2018 年 ILP 計画、2016 年(第 10～13 回)および 2017-2018 年報告を行う

ショルティス博士は、ILP プログラムについて、松村博士から今週中に連絡がくると述べた。

ショルティス博士は、JEMCA からの情報提出を待って 2017 年 ILP 案内を発信すると述べた。

松村博士からのメールによると、情報は今週中に届く予定とのこと。

2018 年 ILP 計画は未定。委員会と計画案については保留とする。

3.10 第 27 回ボゴタ総会: ASOCOLAB に連絡し、2017 ボゴタ会議のプログラムを完成させる.- ショルティス博士、フェルナンデス氏、フェルナンデス博士

プログラム最終案確定に向けあらゆる議論が交わされた。ショルティス博士はフェルナンデス氏に対し、UILI のプログラムを確定させたいため、モンテス・ニノ博士に、仮に UILI がステークホルダー資格を得たとして IAAC ボゴタ会議で参加可能なプログラムはどこか確認してもらえるよう依頼した。

4. UILI-UNIDO. (L･H･A ショルティス博士)

ショルティス博士は、現在、ショルティス博士と 2 人で UNIDO との会議に出席できるよう、フェルナンデス氏のマラガからウィーンへ安価な航空券を探していることを報告した。役員からの提案で、会議でプレゼンするためのパワーポイントファイルを準備する予定であると述べた。ショルティス博士はアデコ氏へ、南アフリカでの認定機関立ち上げプロジェクトについて質問した。

アデコ氏は、南アフリカは最も円滑な運営がなされている地域で、認定システムは順調に実績を積んでいると説明した。

ショルティス博士は、発展途上国の試験所は利益を得なければならない、と述べた。

アデコ氏は、アフリカの独立系試験所が利益や他とのつながりを得るには UILI の助けが必要であると述べた。最も機能的に運営されているのは国際機関からの支援で運営されている政府系試験所で、民間試験所は資機材、インフラ、資金等が不十分な状況であるとのこと。

ショルティス博士はアデコ氏の協力の下で発表用パワーポイントの初案を作成し他の役員へ配信、意見を伺うこととすると述べた。

フェルナンデス氏は UILI と UNIDO の間の連絡役を申し出、自身は技術的な知識がないため、UNIDO への意見や提案は、アデコ氏のような専門家が行うものとの考えを述べた。
アデコ氏は、UNIDO が、ナイジェリアの認定機関を含めた品質保証インフラに対し 1,200 万ユーロの資金援助を行っていると述べた。一部の試験所はトレーニングプログラムを受けたが、民間の試験所には質の高い結果を出すための資機材や十分なインフラが整っていないことを説明した。

5. 加入団体活動:

ISO/CASCO, ISO/REMCO, ILAC/Laboratory Committee（試験所委員会）

6. 次回会議

<u>アクションアイテム:</u>

1. EUROLAB のものを参考に、入会案内を作成する-> Labwing
2. AOIL に対し、フランクフルトでショルティス博士とネーラ博士の間で交わされた会話を元に UILI への入会を確認する手紙を作成する -> ショルティス博士、フェルナンデス氏
3. 2017 年 6 月ジュネーブ開催の ISO 会議への JEMCA からの出席者を確認する -> 松村博士
4. マケンティ氏へ連絡し、ショルティス博士との Skype 会議を調整する
5. UILI メーリングリストにある全試験所に対し、ILAC LC 調査に係るメールを準備・配信する -> フェルナンデス氏および Labwing
6. ILP プログラムの案内を配信する（JEMCA から詳細が届き次第）
7. UILI を協会としてオランダに登記するため、公証役場に連絡する -> ショルティス博士
8. 財務担当へ連絡し、今後の年会費を調査検討するための小 WG を立ち上げ、成果を総会で発表、承認を得るための相談をする –> ショルティス博士/ フェルナンデス氏
9. UILI に入会可能性のある団体の一覧を作成する -> フェルナンデス氏
10. EUROLAB に連絡し、ISO17025 専門家の情報を入手、アデコ氏へ送付する -> フェルナンデス氏
11. UILI-EUROLAB 合意に係るプレスリリースを作成、配信する -> ショルティス博士 / フェルナンデス氏
12. モンテス・ニノ氏に連絡し、UILI ボゴタ会議に関連して、IAAC 会議中で UILI が出席するタイミングを確認するよう依頼する -> フェルナンデス氏
13. UNIDO 会議およびプレゼンテーション -> ショルティス博士、アデコ氏

資料K

ISO/REMCO
Committee on reference materials

Email of secretary: sauvage@iso.org
Secretariat: ISOCS

2017年6月27-29日 第40回REMCOベルリン会議 決議

Approved resolutions of the 40th meeting of REMCO Berlin 27-29 June 2017

Document type: Resolution

Date of document: 2017-06-29

Expected action: INFO

Background:

Committee URL: http://isotc.iso.org/livelink/livelink/open/remco

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Date 2017-06-29	Reference number ISO/REMCO **N** 1509
Supersedes document	

ISO/REMCO

Committee on Reference Materials

Secretariat:

Stéphane Sauvage
ISO Central Secretariat
1, ch. de la Voie-Creuse
P.O. Box 56
CH-1211 Geneva 20
Switzerland

Telephone: +41 22 749 72 77
Facsimile: +41 22 749 73 49
E-mail: *sauvage@iso.org*
Web URL: www.iso.org/REMCO

REQUESTED ACTION

Circulated to REMCO members, and to technical committees and organizations in liaison for:

☒ **information for REMCO members**

☐

☐ comments by

☐ voting (P-members only)

P-members of REMCO have an obligation to vote.

Title: **Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting**
Berlin, 27-29 June 2017
2017年6月27-29日 第40回REMCOベルリン会議 決議

Source: Stephane SAUVAGE

Project(s):

Status:

Additional information:

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 1/2017
ISO/REMCO minutes 前回（第39回）議事録承認
ISO/REMCO unanimously approves the report of the 39th annual ISO/REMCO meeting, document ISO/REMCO N 1457.

Resolution 2/2017 WGおよびAHG-年次会の議事内容の概要
WGs and AHGs – Summary of discussions in meetings during the annual meeting
ISO/REMCO requests its WG and AHG convenors to upload the summary of discussions during their WG and AHG meetings held in Berlin in their WG and AHG folders in eCommittee by **2017-07-31** including their action plan for the progress with their projects (2017-06-29 to 2018-07-09). WG AHGは、本会議中に承認された2017年6月29日-2018年7月9日活動計画を2017年7月31日までにeCommitteeに掲載する。

Resolution 3/2017
WGs and AHGs – Meetings WGおよびAHG-会議
ISO/REMCO reiterates its request to its WG and AHG convenors to arrange additional meetings (using the new ISO meeting platform) or correspondence, as necessary, to progress with their work programmes. WG and AHG convenors are requested to make use of all available communication tools (e.g. teleconference, e-mails, etc...) between ISO/REMCO annual meetings. ISO/REMCO requests its WG and AHG convenors to report the summary of discussions in these additional meetings in eCommittee.
WG、AHGは必要に応じて追加会議を行い、その内容の概要をeCommitteeに掲載する。

Resolution 4/2017
Annual meeting preparation 年会準備
In preparation of its next annual meeting, ISO/REMCO reiterates its request to its secretariat and convenors to circulate working documents not later than 6 weeks prior to the meeting. Documents received later than 6 weeks prior to the annual REMCO meeting will not be considered during the meeting concerned.
次回会議に向け事務局は会議開催6週間前までに関係資料を配信する

The deadline for the circulation of documents to ISO/REMCO members and liaisons for the annual ISO/REMCO meeting to be held in June 2018 will be **2018-05-29**.
事務局は、2018年6月開催のREMCO会議（年会）の会議資料を2018年5月29日までにREMCO会員・リエゾンへ配信する

Resolution 5/2017
Late correction to ISO Guide 35 ISOガイド35修正作業の遅れ
Noting that the correction proposed in ISO/REMCO N1508 does not constitute a change to the technical provisions of ISO Guide 35 which can be verified by comparison with ISO Guide 35:2006, and is important for understanding of equation (B.11), ISO REMCO kindly requests ISO/CS to make the proposed change as a proof correction before issue of ISO Guide 35:2017. ISO Guide 35:2017発行前までに修正作業を完了させる（ISO/REMCO N1508修正案では不十分）

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 6/2017 WG6 - 情報サービス -REMCO発行物の宣伝
WG6 – Information services - promotion of REMCO deliverables
ISO/REMCO requests WG6 to continue to monitor, and collate details on the publication of appropriate support "documents" in the form of presentations, articles, etc. to promote all the new, and existing REMCO deliverables. These documents will be used to promote REMCO deliverables among our stakeholders, and the chronology of their publication will be reviewed at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018). 第41回REMCO会議（2018年6月）にて、今ある、あるいは今後発行される文書類についてREMCOが発行するプレゼン、記事等の様式を見直す。

Resolution 7/2017 WG6 - 情報サービス - 第40回REMCO会議ACQUAL報告
WG6 – Information services – Report of 40th REMCO meeting for ACQUAL
ISO/REMCO requests WG6 to produce a meeting report suitable for publication by **2017-08-31**. WG6は2017年8月31日までに議事報告を提出する

Resolution 8/2017 REMCO委員長 - 第40回REMCO会議まとめ
REMCO Chair – Summary report of 40th REMCO meeting
ISO/REMCO requests its REMCO Chair to provide a short summary of this meeting report by **2017-09-30** and to make it available for REMCO liaison representatives and members. The ISO/REMCO secretariat will upload it on the ISO/REMCO website.
REMCO委員長は2017年9月30日までにREMCO会員・リエゾン向けに会議のまとめを作成する。事務局はこれをウェブに掲載する

Resolution 9/2017 WG6 - 情報サービス - REMCOウェブサイト
WG6 – Information services – REMCO webpage
Following the WG6 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG6 to finalize the REMCO webpage by **2017-09-30** to be able to make it 'live'.
WG6は、2017年9月30日までに、2017年6月28日ベルリン開催のWG6会議内容をウェブに掲載する。

Resolution 10/2017 WG6 - 情報サービス - ウェブサイト改善
WG6 – Information services - Website improvement

ISO/REMCO requests WG6 to continue to:

- Maintain, and update the 'live' REMCO webpage up-to-date as needed on periodic review, at least once a quarter,
- coordinate training presentations,
- keep a look out for the presence of REMCO information in search engines such as Google. WG6は、最低でも四半期に一度はウェブサイトを更新し、研修プレゼンテーションを調整、googleのようなサーチエンジでみつかるREMCO情報を監視する。

The progress will be reported at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).
2018年7月開催の第41回REMCO会議にて作業経過を報告する。

..

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 11/2017 WG17 - 会員・リエゾンの報告様式

WG17 – template reports for members and liaisons

ISO/REMCO requests the WG17 convenor to produce a revised template report that will be suitable for both members and liaisons by **2017-12-31** and to explore the possibility of gathering members and liaisons information on line.

WG17コンビーナは2017年12月31日までに会員・リエゾンに向けの報告様式を見直し、また、会員情報をオンライン上で確認できる方法を模索する

Resolution 12/2017

WG17 – Member and liaison reports WG17 - 会員・リエゾンからの活動報告

ISO/REMCO requests its secretariat to contact ISO/REMCO members and liaison representatives by **2017-12-31** to provide their reports to the WG17 convenor by **2018-05-29** for discussion during the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

事務局は2017年12月31日までにREMCO会員・リエゾンから活動報告を回収し、2018年5月29日までにWG17コンビーナへ提出しそれを2018年7月開催の第41回REMCO会議にて発表する。

Resolution 13/2017

WG17 – Liaison with PDG WG17 - PDGとのリエゾン

Following the WG17 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG17 convenor to contact USP and JP as members of PDG to invite them to participate in REMCO. The progress will be reported at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018).

WG17コンビーナはPDGメンバーとしてUSPおよびJPに連絡をとり、REMCOへ招待する。2018年7月開催の第41回REMCO会議にて経過を報告する。

Resolution 14/2017

WG17 – Liaison with TC229 WG17 - TC229とのリエゾン

Following the WG17 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG17 convenor to provide guidance to TC229 on its query on how to best specify the use of CRMs in an ISO document describing a measurement method.

WG17コンビーナはTC229からの要請に応じ、認証標準物質利用の選択に係るガイダンスとして、測定方法を記したISO文書を送付する。

Resolution 15/2017

WG17 – Review of liaisons WG17 - リエゾン資格の見直し

Following the WG17 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO agrees to create the liaison from ISO/REMCO towards ISO/TC276 and ISO/TC34/SC2 to SC18. ISO/REMCO agrees to stop the liaison at the TC level with ISO/TC34.

REMCOは、REMCOからISO/TC276、ISO/TC34/SC2からSC18へのリエゾン資格の取得と、ISO/TC34のTCレベルでのリエゾン資格を破棄することを承認した。

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 16/2017 WG17 - 国際リエゾンの調整

WG17はREMCOが有する国際リエゾン資格を2018年4月15日までに見直し、2018年7月開催の第41回REMCO会議で継続して任命できるよう調整する。

WG17 – International liaison coordination

The following experts as shown in the table below are appointed as ISO/REMCO liaison representatives for the respective liaison. ISO/REMCO requests its WG17 to review this table by **2018-04-15** in order to update it and identify (if needed) possible ISO/REMCO members directly linked to these liaisons so that ISO/REMCO liaison representatives will be able to be appointed accordingly during the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018)

ISO committees in liaison REMCOがリエゾン資格を有するISO委員会	ISO/REMCO Liaison Representatives REMCOのリエゾン代表	ISO/REMCO Deputy Liaison Representatives REMCOのリエゾン代表代理
ISO/CASCO	Lorraine Turner (UKAS)	
ISO/TC24/SC4	Thomas Linsinger (EC)	
ISO/TC34/SC2 to SC18	Stephane Sauvage (ISO/CS)	
ISO/TC69 Statistics	Steve Ellison (LGC)	Ilya Kuselman (SII)
ISO/TC158 Gas analysis	Adriaan van der Veen (VSL)	Wolfram Bremser (BAM)
ISO/TC164 Mech. Test.	Stephane Lefrançois (LNE)	Gert Roebben (EC)
ISO/TC212 In vitro diag.	Heinz Schimmel (EC)	
ISO/TC229 Nano	Gert Roebben (EC)	Michael Winchester (NIST)
ISO/TC276 Biotech	Stefanie Trapmann (EC)	
International organizations in liaison	**ISO/REMCO Liaison Representatives**	**ISO/REMCO Deputy Liaison Representatives**
AOAC (A)	Michael Winchester (NIST)	Alfredo Montes Nino (UILI)
BIPM (A)	Angelique Botha (NMISA)	Steven Westwood (BIPM)
CITAC (A)	Ilya Kuselman (SII)	
EC (A)	Stefanie Trapmann (EC)	
EURACHEM (A)	Steve Ellison (LGC)	
IAEA (A)	Ales Fajgelj (IAEA)	
IAG (A)	Thomas Meisel (MUL)	Jacinta Enzweiler (UNICAMP)
IFCC (A)	Heinz Schimmel (EC)	
ILAC (A)	Lorraine Turner (UKAS)	He Ping (SAC)
IUPAC (A)	Zoltan Mester (NRC)	Ilya Kuselman (SII)
JCGM/WG1	Adriaan van der Veen (VSL)	Angelique Botha (NMISA)
JCGM/WG2	Stefanie Trapmann (EC)	Steven Westwood (BIPM)
JCTLM	Steven Westwood (BIPM)	
OIML (A)	Olga Kremleva (UNIIM)	
PDG (A)	Andrea Lodi (EDQM)	Venkat Surendra Nath Koduru (USP)
UILI (A)	Alfredo Montes Nino (UILI)	Toru Matsumura (UILI)
UNESCO (A)		
WASPaLM (A)		
WHO (A)		

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 17/2017

WG13 – Qualitative RMs – Liaison with JCGM/WG2 WG13 - 定性的標準物質 - JCGM/WG2とのﾘｴｿﾞﾝ

Following the WG13 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO agrees that its WG13 continues the interaction with JCGM/WG2 to be able to provide recommendations to ISO/REMCO and input in JCGM/WG2.

WG13はJCGM/WG2との関係を続け、相互に情報を交換する

Resolution 18/2017

WG13 – Qualitative RMs – New work item proposal WG13 - 定性的標準物質 - 作業計画案

Following the WG13 meeting held in Berlin on 2017-06-28, ISO/REMCO requests WG13 convenor to draft a new work item proposal by **2017-09-30** for a guidance document for the production of qualitative reference materials and requests REMCO secretariat to launch a 3 months CIB in view to agree to forward the proposal to TMB for approval of new work item.

WG13コンビーナは2017年9月30日までに、定性的標準物質の生産に係るｶﾞｲﾀﾞﾝｽ文書の作業計画案を提出し、3カ月のCIBを設定、新規の作業計画案としてTMBへの提案を想定する。

Resolution 19/2017 AHG4-「有機小分子のための純粋標準物質」AHG4のｸﾞﾙｰﾌﾟ名を「有機小分子のための純粋標準物質」に変更。2017年9月30日までにｶﾞｲﾀﾞﾝｽ作成のための作業計画案を提出する

AHG4 – "Purity RMs for small organic molecules"

Following the AHG4 meeting held in Berlin on 2017-06-27, ISO/REMCO agrees to change the title of AHG4 to "Purity RMs for small organic molecules " and ISO/REMCO requests AHG4 convenor to draft a new work item proposal by **2017-09-30** for a guidance document on the production of purity RMs for small organic molecules. This should include provisions for:

- Terminology relating to materials sold as pure or as sufficiently pure for a specified end use; 特定の用途において純粋、または十分に純粋として販売されている物質に係る用語
- Characterization, including general methods (direct/indirect), treatment of data including non-detects, dilution to form solutions or mixtures, and uncertainty evaluation; 一般手法（直接/間接的)、未検知・水溶液および混合液調整のための希釈を含めたデータ処理、不確かさ評価等の特徴付け
- Special considerations for homogeneity and stability assessment of pure materials in accordance with Guide 35; ガイド35に基づいた純粋な素材の均一性・安全性評価の特記事項
- Minimum information requirements for 'pure' RMs. 「純粋」な標準物質に対する最少情報要件

REMCO requests its secretariat to launch a 3 months CIB in view to agree to forward the proposal to TMB for approval of new work item.

事務局は、新規の作業計画案としてTMBへ提案するため、3か月のCIBを設定する。

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 20/2017

AHG6 – "Purity RMs for inorganic materials" AHG6 - 「無機物質向け純粋標準物質」

ISO/REMCO agrees to create AHG6 "Purity RMs for inorganic materials" and appoints Dr. Zoltan Mester as convenor. ISO/REMCO/AHG6 will review the existing documents on purity RMs for inorganic materials. ISO/REMCO requests AHG6 to prepare a draft for the Terms of Reference for the future work of the group or for a new work item proposal for discussion during the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018). AHG6「無機物質向け純粋標準物質」を設置し、Dr.ZoltanMesterをｺﾝﾋﾞｰﾅとする。AHG6は無機物質向けの純粋標準物質に係る文書を見直し、今後の作業のため付託条項(案)を作成、2018年6月開催の第41回REMCO会議で取りあげる

Resolution 21/2017

AHG5 – "Recent advancements in the assessment of homogeneity and stability for reference materials" AHG6-「標準物質の均一性・安定性評価の進捗」

Following the AHG5 meeting held in Berlin on 2017-06-27, ISO/REMCO requests AHG5 to complete RMP and ICH searches, consider in detail the publications and other sources of information compiled from all searches and to report to REMCO with recommendations for further action at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018)AHG5はRMPおよびICH調査を完了させ、その発行およびその他の調査で得られた情報を集め、2018年6月開催の第41回REMCO会議にて提案、報告する。

Resolution 22/2017

Reference materials for process analytical technologies 工程解析システム(PAT)向け標準物質

ISO/REMCO requests Dr. Wolfram Bremser to provide a proposal for an enquiry about the need for developing guidance for RMs in process analytical technologies and for characterization of RMs for multi-variate properties to REMCO secretariat by **2017-09-30** to launch a 3 months CIB for REMCO members to express their interest in the topic and future work in view of discussion at the 41st ISO/REMCO meeting (July 2018). 工程解析ｼｽﾃﾑ向け標準物質と、多変量性標準物質の特徴づけの手引き作成への需要を受け、Dr.WolframBremserは2017年9月30日までにREMCO会員に対して3か月のCIBを設定して関心度を調査、2018年6月開催REMCO会議で取り上げる。

Resolution 23/2017

Chair – WG and AHG mid-term reports 委員長-WGおよびAHG中間報告

The WG and AHG convenors are requested to provide mid-term progress reports to the ISO/REMCO Chair by **2018-01-15**.
WGおよびAHGｺﾝﾋﾞｰﾅは、2018年1月15日までにREMCO委員長へ活動の中間報告を提出する。

Resolution 24/2017 委員長-REMCO会員に向けたISO/IEC17043に係る手紙

Chair – Letter to REMCO members on ISO/IEC 17043

ISO/REMCO requests its Chair to draft a letter by **2017-09-30** for a 3 months REMCO CIB in view to propose to CASCO to consider the opening of early SR of ISO/IEC 17043.
REMCO委員長は、2017年9月30日までに3か月のREMCO CIBを設定し、CASCOに対してISO/IEC17043のSR(ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾋﾞｽ)早期開始を要求するかを聞く。

Resolution 25/2017

CAG - Chairman's Advisory Group CAG-議長諮問グループ

ISO/REMCO requests its CAG to (virtually) meet by **2018-02-28** in order to review the progress of work.
CAGは、2018年2月28日までに会合(実際に会う)を開き、作業の進捗を確認する。

ISO/REMCO N 1509
Approved resolutions of the 40th ISO/REMCO meeting
Berlin, 27-29 June 2017

Resolution 26/2017

ISO/REMCO – Strategic business plan REMCO-戦略的ビジネス計画

ISO/REMCO requests its Vice Chair, John P. Hammond, to fundamentally review, and update the strategic business plan by including the outcome of the 40th ISO/REMCO meeting **2018-01-31**, for CAG review at the February 2018 WebEx.

副委員長John P. Hammondは、2018年1月31日までに戦略的ﾋﾞｼﾞﾈｽ計画を根本的に見直し、また第40回REMCO会議の内容を踏まえてこれを更新する。

Resolution 27/2017

Chair & Vice Chair appointments新・REMCO Chair(2018-2020) Dr. Angelique Botha, NMISA（2期目）

ISO/REMCO agrees to appoint Dr. Angelique Botha as REMCO Chair for a second term of three years. Accordingly, the REMCO secretariat will ask ISO/TMB to approve the extension of REMCO Chair mandate for the period 2018-2020.

ISO/REMCO notes the appointment of Mr. John P. Hammond as REMCO Vice-Chair for a second term of three years (2018-2020) by the REMCO Chair.

新・REMCO Vice-Chair(2018-2020) Mr. John P. Hammond, Starna Scientific Limited（2期目）

Resolution 28/2017

REMCO meeting in 2018 次回会議：第41回 カナダ・オタワ 2018年7月（10-13日予定）

ISO/REMCO decides to hold its 41st meeting in Ottawa, Canada in July 2018 (from 10 to 13 to be finalized). The corresponding invitation from SCC and NRC is appreciated.

Resolution 29/2017

Acknowledgement of host 主催者へのお礼

ISO/REMCO expresses its special thanks to DIN and BAM for the excellent meeting arrangements and social events of its 40th meeting.

REMCOは第40回会議および関連行事の運営を行ったDINおよびBAMへ特段の感謝を述べた。

資料：総会

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料 L

27th General Assembly of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

Thursday August 24th, 2017
Sheraton Hotel Bogota
Commencing at 14:00 AM

AGENDA

1. Welcome
2. Roll call of members and apologies for absence
3. Approval of the agenda
4. Review and approval of minutes of 26th General Assembly held in Buenos Aires in 2015
5. Matters arising from the previous General Assembly meeting not otherwise on the agenda
6. To receive the report of the 14th UILI President, Drs. Luc Scholtis
7. To receive the report of the Hon Treasurer, Dr. Toru Matsumura
   - 7.1. To receive the financial report as of December 31th, 2016 and projected December 31th, 2017
   - 7.2. To receive the budget for 2018 and 2019 and to set the subscription rates for 2018 and 2019
8. To elect the officers of the Governing Board as presented for election by the Governing Board to the 27th General Assembly
   - 8.1.1. President
   - 8.1.2. Vice-Presidents
   - 8.1.3. Hon. Treasurer
   - 8.1.4. Secretary General
9. To nominate the unaffiliated ordinary members representatives

10. To receive the reports on UILI external representation by the Secretary General Mrs. Mary-Anne Adeeko, the Vice President Dr. Alvaro Silva Ribeiro and the Unaffiliated ordinary members representative Dr. Alfredo Montes Nino
    - 10.1. ISO/CASCO
    - 10.2. ISO/REMCO
    - 10.3. EUROLAB
    - 10.4. ILAC
    - 10.5. UNIDO
11. To receive the report from the ILP committee by the chairman Dr. T. Matsumura
12. To receive the reports from member associations
    - 12.1. JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association) Japan Dr. Toru Matsumura
    - 12.2. AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes) Spain Dr. Manahén Fernández Alonso
    - 12.3. CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories) Canada Mr. Gib McIntee
    - 12.4. RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal) Portugal Dr. Alvaro Silva Ribeiro
    - 12.5. VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen) The Netherlands Drs. Hans van der Wart
    - 12.6. CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos Ambientales y Afines) Argentina Dr. Horacio Denari
    - 12.7. IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria) Nigeria Mrs. Mary-Anne Adeeko
    - 12.8. ASOCOLAB (Asociación Colombiana de Laboratorios) Colombia -Mr. Gabriel Fonseca.
13. Any other business properly approved by the president
14. Place and date for the 28th General Assembly to be held in Autumn 2019

15. Adjournment

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDE ES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABOR TES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料M

26th General Assembly of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants
Thursday September 17th, 2015, Auditorio del IRAM, Buenos Aires, Argentina
Commencing at 8:30AM

1.0 To approve the notice convening the meeting

Dr Fernández informs that the notice for this General Assembly was uploaded on the web and also sent in the last newsletter.

2.0 Welcome and roll call of members

MEMBERS PRESENT:

BOARD MEMBERS:

Dr Manahén Fernandez-Alonso, President

Drs Luc Scholtis – Secretary-General

Dr Toru Matsumura- UILI Treasurer

Dr Akihisa Tabata – from Idea in representation of Dr Hideo Tabata, past president

Dr Álvaro Silva Ribeiro – President of RELACRE

Dr Horacio Denari - President of Caliba

OTHER UILI MEMBERS:

Mrs. Joseani Octaviani from PA LABORATORIO DE AGUAS de Brazil

Mr. Alfredo Montes Niño, President of MICROBIOTICOS GROUP

Dr Jorge Alves, from MICROBIÓTICOS Uruguay

Several members of CALIBA, the Argentinian association

Mrs. Marta Sancho - Caliba´s Secretary in office

Dr Fernández welcomes members present and thanks on behalf of UILI to Dr Horacio Denari, President of CALIBA the Association of independent laboratories of Argentina for their continuous support in the organization of the meeting and all the events in Buenos Aires.

He proceeds to next point on agenda.

3.0 Apologies for absence (if any)

Apologies from absence have been received from:

- Dr Hideo Tabata, our past president, from IDEA, Japan.
- Mr. Gib McIntee our vice president, from CCIL, Canada.
- Jordi Oliver Rodés President of AELI, Spain.
- Drs Hans van der Wart President of VRS. The Netherlands.
- Dr Oyediran President of IPAN, the association from Nigeria.
- Mrs. Mary-Anne Adeeko, from IPAN, Nigeria

He expresses that also UILI´s secretary, Melissa, wants to apologize for not being able to attend the meeting.

4.0 Introduction of members and guests

Dr Fernández asks each attendee to present himself and also inform the company where they come from.

5.0 Approval of the agenda

Dr Fernández explains that the agenda has been sent to all members by the secretary. He asks if is there any other item to add or to modify.

No changes are proposed, so the agenda is approved.

6.0 To approve the minutes of the 25th General Assembly held on November 29th, 2013 at Majestic Hotel & Spa, Barcelona, Spain

Dr Fernández informs that the minutes of the 25th General Assembly of UILI held in Barcelona on 2013 were sent by e-mail by the secretary and no comments were received. He asks if is there any other item to add or to modify.

No changes are proposed, so minutes are approved.

7.0 Matters arising from the previous General Assembly meeting

Dr Fernández comments that two years ago in Barcelona it was informed that the Governing Board was thinking in hiring a lawyer since Paris' meeting to solve the controversy had with ACIL. At that 24th General Assembly, Mr. McIntee suggested that he would contact the responsible people from ACIL and

discuss directly with them but Dr Fernández also expresses that unfortunately Mr. McIntee is not here today to inform about this issue.

8.0 To receive the report of the 13th UILI President, Dr. M. Fernandez-Alonso

Dr Fernández informs that during the time from the last meeting to now they have been implementing activities to achieve the goals proposed in the strategic plan for UILI that he presented in Barcelona´s assembly.

He says that in the last four years that he has been president he tried with varying success to impulse a positive change in the disastrous trend that our association had inherited from ACIL´s Secretariat. During first term 2012-2013 he could not have a full commitment and dedication to work for UILI because he had other obligations to his former company and neither the former secretariat helped much in implementing proposed growth goals for UILI, but in this last term, 2014-2015 he could dedicate a considerable time to UILI and he has been able to work very close with the secretary Melissa and also they had the continuous collaboration of Labwing therefore it has been possible to get good results in the management and organization of UILI.

Given that there were several problems with the internet in CALIBA's office, Dr Fernández couldn't present the Prezi prepared by Melissa to summarize the results of the plan, therefore he presents just the slides in an alternative document also prepared by the secretary, Melissa. Here is the resume of its 2014/15 term achievements:

MEMBERSHIP:

1. We have created a world-wide lab list with thousands of laboratories

2. We have spread information about what is UILI and the benefits for its members in English and Spanish

3. We got the following new members:

- 3 associations:
    - RELACRE (Portugal) 2012/13
    - IPAN (Nigeria)
    - CALIBA (Argentina)
- 5 unaffiliated labs:
    - EKOSMYRNA
    - NESTEC
    - FRALS TESTING
    - MICROBIÓTICOS URUGUAY

- MICROBIÓTICOS PARAGUAY
- MICROBIÓTICOS BRASIL
- PA LABORATORIO DE AGUAS

ECONOMY:

- INCOME:

1. UILI has increased the real income from membership.

2. UILI has got income also from sponsors for Labmeeting's events

3. UILI has reduced income from ILP ⬇

4. The bank interest of bonds were reduced ⬇

- EXPENSES:

1. UILI has reduced Secretariat's expenses

2. UILI has reduced Board Meeting organization expenses

- ACCOUNTING

1. UILI has improved UILI's net balance of results

2. UILI improved accounting statements of UILI with real updated information

INTERNATIONAL RELASHIONSHIPS:

1. The MOU with EUROLAB has been implemented

2. UILI has more presence in international associations

- UILI - EUROLAB MOU:
  - Joint positions for ISO 17025 revision
  - Creation of a world-wide list of labs
- ISO / CASCO
  - It has been created an internal WG for the revision of the ISO 17025
  - Two representatives of UILI are working in ISO W.G. 44. in Geneva
- ILAC
  - UILI keeps its membership of ILAC and its position in LLC

INTERNAL ORGANIZATION:

1. UILI has already candidates for unaffiliated Board position

2. Board members do actively participate in UILI's W.G.

3. 17025, ILP, UILI-EUROLAB W.G. have been created

4. No headquarter of UILI yet

UILI'S INTERNAL ORGANIZATION:

1. WEB

2. Newsletter

3. Working Groups

4. ILP

5. LABMEETINGS

SEE HERE THE COMPLETE PREZI PRESENTATION

9.0 To receive the report of the Hon Treasurer, Dr. Toru Matsumura

The Hon. Treasurer, Dr Matsumura presents the financial statements and he says that the 2014 statements and accounts have been audited and were found correct.

Then he presents the following financial reports:

9.1 To receive the financial reports of December 31th, 2013 and December 31th, 2014

UILI 2013- 2014 Budget (FINAL).xls

9.2 To receive the budget for 2016/2017 and to set the subscription rates for 2016/2017

5 - UILI 2016-17 MODIFIED.xls

The budgets were presented and approved.

There is no discussion about the membership fees for 2016/17 term.

10.0 To receive the report of the Secretary-General, Drs Luc Scholtis

The Secretary General, Drs Luc Scholtis makes a presentation of all the activities carried out by him in 2014/15 term. The presentation is uploaded on the website.

Dr. Fernández thanks Drs Scholtis for all the work done by the secretary and also for his continuous support and advice to the presidency.

11.0 To announce the result of the election of the unaffiliated ordinary members' representative on the UILI Governing Board

For the position of unaffiliated member's representative Dr Fernández says that two candidacies were received and sent to all the unaffiliated labs for election. Several answers from the labs were received and in any case they let the election to Governing Board decision.

Dr Fernández comments that during the Board Meeting held the day before they discussed about this point and he wants to present a suggestion to the General Assembly to approve a modification of the Constitution so that there can be more than one representative of unaffiliated members coming from different regions. Then Dr Fernández asks Drs Scholtis to describe the right necessary change in the Constitution to be submit it for approval in this General Assembly.

Drs Scholtis explains that in point 5.6 of the Constitution states the following for the election of the unaffiliated ordinary members' representative: *"5.6 The Governing Board shall consist of one delegate for each Member Association, and one ordinary member representing the other ordinary members"* And the Board proposes the following change in this paragraph: *"5.6 The Governing Board shall consist of one delegate for each Member Association, and two ordinary members representing the other ordinary members"*

Drs Scholtis moved the motion and it was approved by all the members present at the General Assembly.

At this point, Dr Fernández confirms that the two representatives elected by the Governing Board for this position are the following:

- Mr. Jean Soers – form GEOS, Belgium
- Dr Alfredo Montes Niño – from Microbióticos Group, Brazil, Paraguay and Uruguay

Once completed and approved by the Assembly the proposed change in the constitution the election of the two candidates is confirmed.

12.0 Election of officers of the Governing Board as presented for election by the Governing Board to the 25th General Assembly

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

At this point Dr Fernández submit to consideration of the board the following proposal for the board positions:

- Chair: Dr Luc Scholtis (VRS, The Netherlands)
- Past Presidency: Dr Manahén Fernández (Ecosur, Spain)
- Vice Presidency: Dr Álvaro Silva Ribeiro (RELACRE, Portugal) and Mr. Jordi Oliver Rodés (AELI, Spain)
- Secretary General: Mrs. Mary-Anne Adeeko (IPAN, Nigeria)
- Treasurer: Dr Toru Matsumura (JEMCA, Japan)

With no objections to the proposal this is moved, seconded and approved by all the members.

Dr Fernández congratulates the new President and all the new charges of the Board.

The elected president, Drs Scholtis, then thanks to the assistants for his election and says that he is prepared to bring the Organization one step forward, he says that UILI is now in the right track where we can grow UILI further and we have to be sure that UILI allows all the community of laboratories to be there and also that we have to deliver added value to the members he says that is needed a program of added value and he has some thoughts about that he will present these thoughts later today at the symposium.

Then he asks to the G. A. to add a point to the agenda that he had not discussed with any one included the president, he asks permission for the following: he says that Dr Fernandez in the last years of his presidency had made a tremendous well job, he has changed the face of the Organization in a way that for him has been very impressive and he proposes as Secretary General of UILI to offer in the next General Assembly, the Honorary membership to Dr Manahén Fernández Alonso for his work for UILI. Then he asks a motion for it

The proposal is moved and approved.

Dr Fernández thanks to Drs Scholtis and all the members present for this new honour received from UILI, that just to be UILI President was one of greatest honourable positions that he ever had. Then he says that he's been in UILI for over 24 years and always thought to be in an association of laboratories such as UILI or AELI, gave added value to the business of his laboratory and also says he has learned a lot within these associations that helped him to run his laboratory activity and also to make very good friends. Dr Fernandez also says that in this globalized world where International organizations dictate the rules for our activity now more than ever the union is strength in the defence of business and during his presidency he tried to defend that.

13.0 To receive the reports on UILI external representation

13.1 Report by the UILI representative Dr. T. Matsumura on the UILI-ILAC/IAF representation

13.2 Report by the UILI representative Mr. G. McIntee on the UILI-ISO/CASCO representation

13.3 Report by the UILI representative Dr. Álvaro Silva on the UILI-Eurolab Working Group on the UILI-Eurolab Memorandum of Understanding

Dr Fernández informs that given the length of all the reports received they have not been included in the folder, but they will also be uploaded on the website. He also adds that the following day will meet all the working groups and everyone is invited to attend if they want to get more information about their activities.

13.4. Report by the UILI representative Mrs. Mary-Anne Adeeko on the UILI- ISO 17025 Working Group (connected by skype)

Dr. Fernández says that the representative is Mary-Anne Adeeko, and that she is not present at the assembly in Buenos Aires, but they are going to contact her by skype to get her report. So the skype connection is made and Mary-Anne explains the following:

UILI ISO 17025 Internal Work Group was created by the UILI Board to coordinate the various issues of interest from the Association laboratories and liaise with EUROLAB Internal W.G. to ensure that both organisation utilize the opportunity and go to the ISO/CASCO ISO 17025 revision meetings preferably with common positions.

Members of the group:
Mrs. Mary-Anne Adeeko (FRALS, Nigeria) – Coordinador
Dr. Álvaro Silva Ribeiro (President of RELACRE, Portugal)
Dr. Toru Matsumura (JEMCA, Japan)
Dr. Luc Scholtis – Secretary-General
Mr. Jorge Oliver-Rodés President of AELI
Drs. Van der Wart- President of VRS.
And
Elected UILI representatives to the ISO/CASCO ISO 17025 revision meetings:
Mr. Gilbert McIntee (Canada) UILI representative in WG 44
Dr. Mitsuko Yasoshima. (JEMCA, Japan) UILI representative in WG 44

Mrs. Melissa M. Fernández Valero (UILI Secretary)

Benefit to UILI: Representatives attending ISO/CASCO ISO 17025 revision meetings on behalf of UILI will be empowered to present the voice of the association and through the cooperation with EUROLAB WG, the ISO/CASCO meeting will recognize the contribution of UILI.
The cooperation is very important for the health and wellness of the future of UILI that its name sounds clearly in meetings of all international organizations.

Activities of the IWG: Meetings were held via Skype during which activities of the ISO/CASCO WG 44 were reviewed and UILI opinions were provided to the representatives. The IWG established effective contacts with the EUROLAB 17025 WG and when necessary made some joint meeting between the two groups.

UILI position presented at the last WG 44 meeting are listed in attachment1 while Attachment 2 titled UILI Participation in ISO CASCO WG44 and Work Plans, shows the status of the revision activities and UILI participation.

Future activities: ISO CASCO WG44 will release the Committee Draft CD by September 18th for wider comments by all stakeholders. The window for comments maybe about 4 weeks UILI Associations are expected to review the CD timely and communicate their opinions and comments to UILI Secretariat for timely collation. Areas of focus are sampling clause 7.1.2, thoughts on sharing or a joint usage of equipment and sharing or a joint usage of reference materials. Explanations will be provided by the representatives on other areas.

Appreciation: I hereby express my gratitude to Dr. Fernandez and the Board members for the opportunity given me to serve on the IWG, to the EUROLAB team namely Mrs. Irache Visiers, Mr. Peter Blinksbjerg and Ms. Carol Stewart for their support and collaboration with UILI IWG. I also express my gratitude to Mrs. Melissa M. Fernandez, and all members of the IWG for their contributions to the success of the WG.

Next Meeting: Suggested date October 15th, 2015. The Secretary will send out all necessary

At this point Drs Scholtis tells to Mary-Anne that the General Assembly has accepted the Board proposal of asking her to accept the position of Secretary-General, and she says she appreciates very much the proposal which was not expected and she accepts it.

14.0 To receive the report from the ILP committee by the chairman Dr. T. Matsumura

1.1 8th UILI-ILP Report

1.2 9th UILI-ILP in process

Dr Fernández informs that given strength of time in the programming of the day, the report will not be presented now and will be uploaded on the website. He also adds that the following day will meet the ILP working group at CALIBA´s office and everyone is invited to attend.

15.0 To receive the reports from member associations

1.3 JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association) - Japan – Dr. Toru Matsumura

1.4 AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes) - Spain - Mr. J. Oliver Rodés

1.5 CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories) - Canada - Mr. G.G. McIntee

1.6 RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal) - Portugal –

Dr. A. Silva Ribeiro

1.7 VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen) -The Netherlands - Drs. J.H.F. van der Wart

1.8 CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos, Ambientales y Afines) – Argentina – Dr. Horacio Denari

1.9 IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria) – Nigeria - Dr. Femi Oyediran

Dr Fernández informs that given the length of all the reports received they have not been included in the folder, but they will also be uploaded on the website. He also adds that some of those reports are included in the presentations of the LABMMEETING and that given the strength of time in the programming of the day the reports will not be presented now in the assembly, but he invites to anyone who wants information about what is being done in each country association to visit the website and see the full report of it.

16.0 Other business properly approved by the president

No further business are proposed.

17.0 Place and date of the 27th General Assembly to be held in autumn 2017

It is decided to hold the next General Assembly on autumn 2017 in Friday 15th of September at the Netherlands. The place will be chosen in time by the president.

18.0 To transfer of powers to new President

At this point Dr Fernández congratulates once more the elected president to whom officially he should transfer the powers at that moment and ask for permission to act in office for the rest of the activities in Buenos Aires that are logically of his responsibility.

Drs Scholtis says that Dr Fernandez should continue as president during this day.

18.0 Adjournment

Dr Fernández thanks all the attendees for their participation in the meeting and being 10:09 the president adjourns the meeting.

資料N

COUNTRY REPORT FROM JAPAN

Presented by JEMCA

CONTENTS

1 JEMCA Updates

1.1 Proficiency Testing – Background and list of past & future studies. (See appendix)

1.2 CEM (Chemical Environment Measurer) on Chemical Analysis for Fiscal Year 2014 to 2016

1.2.1 CEM for FY 2014 on Chemical Analysis (Level 3)
1.2.2 CEM for FY 2014 on Noise & Vibration (Entry Level)
1.2.3 CEM for FY 2014 on Chemical Analysis (Level 2)
1.2.4 CEM for FY 2014 on Noise & Vibration (Advanced Level)
1.2.5 CEM for FY 2015 on Chemical Analysis (Level 3)
1.2.6 CEM for FY 2015 on Noise & Vibration (Entry Level)
1.2.7 CEM for FY 2015 on Chemical Analysis (Level 2)
1.2.8 CEM for FY 2015 on Chemical Analysis (Level 1)
1.2.9 CEM for FY 2016 on Chemical Analysis (Level 3)
1.2.10 CEM for FY 2016 on Noise & Vibration (Entry Level)
1.2.11 CEM for FY 2016 on Chemical Analysis (Level 2)
1.2.12 CEM for FY 2016 on Noise & Vibration (Advanced Level)
1.2.13 CEM for FY 2017 on Chemical Analysis (Level 3)
1.2.14 CEM for FY 2017 on Noise & Vibration (Entry Level)
1.2.15 CEM for FY 2017 on Chemical Analysis (Level 2) – ongoing
1.2.16 CEM for FY 2017 on Noise & Vibration (Advanced Level) – ongoing
1.2.17 Summary of Implementation Status of CEM Test in past years

1.3 JEMCA's Technical Workshops of FY 2014 and 2015

1.3.1 Technical Workshops of FY 2014
1.3.2 Technical Workshops of FY 2015
1.3.3 Technical Workshops of FY 2016

2 Report on UILI-ILP

2.1 1st UILI-ILP in 2006

2.2 2nd UILI-ILP in 2007
2.3 3rd UILI-ILP in 2008
2.4 4th UILI-ILP in 2009
2.5 5th UILI-ILP in 2010
2.6 6th UILI-ILP in 2011
2.7 7th UILI-ILP in 2012
2.8 8th UILI-ILP in 2014
2.9 9th UILI-ILP in 2015
2.10 10th UILI-ILP in 2016
2.11 14th UILI-ILP in 2017

1. JEMCA Updates.

1.1 Proficiency Testing (PT) – Background and list of past & future projects

The Proficiency Testing (PT) program started from 1999, and have cohosted with JSAC (The Japan Society of Analytical Chemistry) from the year of 2006. In 2011, JEMCA became the only host to the program. The 88th test is presently under implementation. The appendix shows past and ongoing tests implemented by JEMCA.

Appendix: JEMCA's Proficiency Testing from FY 1999 to 2016

1.2.1 CEM on Chemical Analysis for FY 2014

- **Level 3**

Schedule	Written Test: 15 June 2014
Candidates	258
Passed	166
Passed Rate	64.3%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.2 CEM on Noise and Vibration for FY 2014

- **Entry Level**

Schedule	15 June 2014
Candidates	54
Passed	36
Passed Rate	66.7%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.3 CEM on Chemical Analysis for FY 2014

- **Level 2**

Schedule	Written Test and Skills Test: 12 October 2014 Oral Test over Telephone: 11 January 2015
Candidates	17
Passed	12
Passed Rate	70.6%
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis, and 4 essay questions. Skills Test Oral Test over Telephone

1.2.4 CEM on Noise and Vibration for FY 2014

- **Advanced Level**

Schedule	Written Test: 12 October 2014 Skills Test and Oral Test: 25 January 2015
Candidates	7
Passed	4
Passed Rate	57.1%
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration. Skills Test: Oral Test:

1.2.5 CEM on Chemical Analysis for FY 2015

- **Level 3**

Schedule	Written Test: 21 June 2015
Candidates	393
Passed	264
Passed Rate	67.2%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.6 CEM on Noise and Vibration for FY 2015

- **Entry Level**

Schedule	21 June 2015
Candidates	60
Passed	38
Passed Rate	63.3%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.7 CEM on Chemical Analysis for FY 2015

- **Level 2**

Schedule	Written Test and Skills Test:14 October 2015 Oral Test over Telephone: 24 January 2015
Candidates	23
Passed	19
Passed Rate	82.6%
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. Skills Test Oral Test over Telephone

1.2.8 CEM on Chemical Analysis for FY 2015

- **Level 1**

Schedule	Written Test:14 October 2015 Oral Test: 24 January 2015
Candidates	5
Passed	3
Passed Rate	60.0%
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. Skills Test Oral Test

1.2.9 CEM on Chemical Analysis for FY 2016

- **Level 3**

Schedule	Written Test: 19 June 2016
Candidates	292
Passed	184
Passed Rate	63.0%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.10 CEM on Noise and Vibration for FY 2016

- **Entry Level**

Schedule	19 June 2016
Candidates	44
Passed	32
Passed Rate	72.7%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.11 CEM on Chemical Analysis for FY 2016

- **Level 2**

Schedule	Written Test and Skills Test:16 October 2016 Oral Test over Telephone: 22 January 2017
Candidates	17
Passed	11
Passed Rate	64.7%
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. Skills Test Oral Test over Telephone

1.2.12 CEM on Noise and Vibration for FY 2016

- **Advanced Level**

Schedule	Written Test: 16 October 2016 Skills Test and Oral Test: 5 January 2017
Candidates	3
Passed	2
Passed Rate	66.7%
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration. Skills Test: Oral Test:

1.2.13 CEM on Chemical Analysis for FY 2017

- **Level 3**

Schedule	Written Test: 18 June 2017
Candidates	346
Passed	223
Passed Rate	64.5%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.14 CEM on Noise and Vibration for FY 2017

- **Entry Level**

Schedule	18 June 2017
Candidates	40
Passed	29
Passed Rate	72.5%
Test Structure	Written Test: 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.15 CEM on Chemical Analysis for FY 2017 – ON GOING

- **Level 2**

Schedule	Written Test and Skills Test:15 October 2017 Oral Test over Telephone: 21 January 2018
Candidates	
Passed	
Passed Rate	
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. Skills Test Oral Test over Telephone

1.2.16 CEM on Chemical Analysis for FY 2017 – ON GOING

- **Level 1**

Schedule	Written Test:15 October 2017 Oral Test: 21 January 2018
Candidates	
Passed	
Passed Rate	
Test Structure	Written Test: 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. Skills Test Oral Test

1.2.17 Summary of Implementation Status of CEM Test

Number of applicants, candidates, passed candidates and passed rate of CEM Tests implemented from during past 12 years, from FY2006 to FY2017 are shown in table next page (as of August 18, 2017).

一般社団法人 日本環境測定分析協会
Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association

Certified Environmental Measurer (CEM) Test
Implementation Status

As of August 18, 2017

Category \ Fiscal Year	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	11 years total
CEM on Chemical Analysis													
Level 3 Test													
Applicants	1,483	570	548	393	416	339	255	243	284	401	303	359	5,625
Candidates	1,396	538	520	360	391	324	243	232	276	393	292	346	5,342
Successful Candidates(SC)	592	317	272	222	236	198	163	158	179	264	184	223	3,031
Pass Rate %(SC/Candidates)	42.4	58.9	52.3	61.7	60.4	61.1	67.1	68.1	64.9	67.2	63.0	64.5	56.7
Level 2 Test													
Applicants	415	258	61	45	51	17	18	13	17	24	17		936
Candidates	409	244	60	42	49	15	17	11	17	23	17	ONGOING	904
Successful Candidates(SC)	201	144	38	23	29	10	13	7	12	19	11		507
Pass Rate %(SC/Candidates)	49.1	59.0	63.3	54.8	59.2	66.7	76.5	63.6	70.6	82.6	64.7		56.1
Level 1 Test													
Applicants			57	15		8		5		5			90
Candidates	N/A	N/A	55	13	N/A	8	N/A	5	N/A	5	N/A	ONGOING	86
Successful Candidates(SC)			19	8		3		3		3			36
Pass Rate %(SC/Candidates)			34.5	61.5		37.5		60.0		60.0			41.9
CEM on Noise & Vibration													
Entry Level Test													
Applicants			106	145	111	77	75	45	56	63	46	44	768
Candidates	N/A	N/A	97	134	107	71	68	41	54	60	44	40	716
Successful Candidates(SC)			53	88	59	43	45	25	36	38	32	29	448
Pass Rate %(SC/Candidates)			54.6	65.7	55.1	60.6	66.2	61.0	66.7	63.3	72.7	72.5	62.6
Advanced Level Test													
Applicants						19	8		7		3		37
Candidates	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	16	6	N/A	7	N/A	3	ONGOING	32
Successful Candidates(SC)						11	4		4		2		21
Pass Rate %(SC/Candidates)						68.8	66.7		57.1		66.7		65.6
TOTAL													
Applicants	1,898	828	772	598	578	460	356	337	364	464	369	403	7,456
Candidates	1,805	782	732	549	547	434	334	320	354	453	356	386	7,080
Successful Candidates(SC)	793	461	382	341	324	265	225	216	231	302	229	252	4,043
Pass Rate %(SC/Candidates)	43.9	59.0	52.2	62.1	59.2	61.1	67.4	67.5	65.3	66.7	64.3	65.3	57.1

1.3 JEMCA's Technical Workshops of FY 2014 to 2016

1.3.1 Technical Workshops of FY 2014

Name of Workshop	Date	Number Expected	Number Participated
Workshop on Certified Environmental Measurer CPD[1]	13 JUN 2014	20	37
Training Workshop on Measurement			
1st	26 and 27 JUN 2014	12	16
2nd	17 and 18 JUL 2014	12	12
3rd	11 and 12 SEP 2014	12	9
Program for Developing Fiber Counting Techniques of Asbestos (PCM Method)	Round1：15 JUL 2014 Round2：10 NOV 2014	S1：40 S2：30	S1：39 S2：30
Training Workshop on Polarizing Microscope		16	16
1st (Construction Material Course)	4 and 5 JUN 2014	16	16
2nd (Construction Material Course)	1 and 2 OCT 2014	16	16
3rd (Construction Material Course)	3 and 4 DEC 2014	16	14
4th (Construction Material Course)	3 and 4 FEB 2015	12	12
1st (Air Course)	6 JUN 2014	12	12
2nd (Air Course)	3 OCT 2014	12	12
3rd (Air Course)	5 DEC 2014	36	23
One-day Air Course (3 times)	From 30 JUL to 1 AUG 2014		
Workshop on Measurement Management	5 DEC 2014	50	71

Proficiency Testing	Sample Sent	Number of Participants expected	Number of Participants
Test No.72: Heavy metal analysis in water	JUN 2014	400	388
Test No.73: Total Nitrogen and Phosphorus in water	SEP 2014	400	383
Test No.74: Anion analysis in water	OCT 2014	400	419
Test No.75: Analysis of general items in water	DEC 2014	400	397
Test No.76: Residual pesticides analysis in water	FEB 2015	250	309

SELF[2] (Sample Sent)	Target	Number of Participants expected	Number of Participants
119th (MAY 2014)	Cd	400	312
120th (AUG 2014)	Se		314
121st (NOV 2014)	Total CN		314
122nd (FEB 2015)	Cr^{6+}		320

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number of Participants
Cross-check in Dioxins Analysis	Soil	AUG 2014	67 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Oil	OCT 2014	96 labs

[1] Continuing Professional Development
[2] Analytical Data Self Control Member

1.3.2. Technical Workshops of FY 2015

Name of Workshop	Date	Expected Number	Participant Number
Training Workshop on Measurement			
1st	18 and 19 JUN 2015	12	18
2nd	30 and 31 JUL 2015	12	16
3rd	10 and 11 SEP 2015	12	12
Program for Developing Fiber Counting Techniques of Asbestos (PCM/PLM Method)	24 SEP 2015 -	50	33
Training Workshop on Polarizing Microscope			
Construction Material Course (1st)	2 and 3 JUN 2015	16	16
(2nd)	3 and 4 DEC 2015	16	16
Air Course (1st)	4 JUN 2015	8	16
(2nd)	5 JUN 2015	12	3
Construction Material Advanced Course (1st)	6 and 7 OCT 2015	16	16
(2nd)	1 and 2 DEC 2015	16	18
Proficiency Testing on Asbestos			
JIS A 1481-1 (experts)	4 to 7 AUG 2015	—	44
JIS A 1481-1 (labs)	1 to17 DEC 2015		41 labs
Phase Difference / Fiber Counting (labs)	AUG 2015 -		45 labs
Workshop on Measurement Management	12 JUN 2015	60	96

Proficiency Testing	Sample Sent	Number Expected	Number Participated
Test No.77: Total Nitrogen and Phosphorus in water	JUN 2015	400	407
Test No.78: Anion Analysis in water	JUL 2015	400	423
Test No.79: Total Boron and Metals in water	SEP 2015	400	446
Test No.80: Analysis of general items in water	NOV 2015	400	402
Test No.81: Gas Analysis	FEB 2016	230	249

SELF[3] (Sample sent Date)	Target	Number Expected	Number Participated
123rd (MAY 2015)	TOC	300	280
124th (AUG 2015)	Lead		296
125th (NOV 2015)	Fluorine		296
126th (FEB 2016)	1,4-dioxane		281

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number Participated
Cross-check in Dioxins Analysis	prepared effluent (spiked)	JUL 2015	54 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Oil	DEC 2015	99 labs
MLAP[4] Proficiency Testing	Soil	MAY 2015	94 labs

[3] Analytical Data Self Control Member
[4] Specified Measurement Laboratory Accreditation Program

1.3.3 Technical Workshops of FY 2016

Name of Workshop	Date	Expected Number	Participant Number
Training Workshop on Measurement			
1st	9 and 10 JUN 2016	12	14
2nd	30 and 31 JUL 2016	12	19
Program for Developing Fiber Counting Techniques of Asbestos (PCM/PLM Method)	24 OCT– 22 NOV 2016 (Term from sample distribution to analysis)	50	23
Training Workshop on Polarizing Microscope			
Construction Material Qualitative Course (1st)	1 and 2 JUN 2016	16	16
(2nd)	19 and 20 JAN 2017	16	17
Construction Material Quantitative Course (1st)	3 and 4 AUG 2016	16	16
(2nd)	8 and 9 DEC 2016	16	12
Air Course	3 JUN 2016	16	14
Construction Material Qualitative - Advanced Course (1st)	2 AUG 2016	16	15
(2nd)	7 DEC 2016	12	5
Workshop for trainers	28 JUN - 1 JUL 2016	12	8
Proficiency Testing on Asbestos			
JIS A 1481-1 (experts)	13 - 15 AUG 2016	—	39
JIS A 1481-1 (labs)	18 OCT 2016		38 labs
Phase Difference / Fiber Counting (labs)	NOV 2016 -		39 labs
Workshop on Measurement Management			
Noise and Vibration	17 JUN 2016	80	66
Concentration	15 JUN 2016	80	79

Proficiency Testing	Sample Sent	Number Expected	Number Participated
Test No.82: Total Nitrogen and Phosphorus in water	JUN 2016	410	427
Test No.83: Total Boron and Metals in water	JUL 2016	410	443
Test No.84: Anion Analysis in water	SEP 2016	400	418
Test No.85: Detection test of Metals related to the Soil Contamination Control Law	NOV 2016	350	323
Test No.86: VOC analysis in water	JAN 2017	350	379

SELF[5] (Sample sent Date)	Target	Number Expected	Number Participated
127rd (MAY 2016)	Total vapor residues	300	309
128th (AUG 2016)	Nitrite nitrogen		311
129th (NOV 2016)	Zinc		314
130th (FEB 2017)	Calcium & Magnesium		308

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number Participated
Cross-check in Dioxins Analysis	Dust	JUL 2016	58 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Oil	OCT 2016	91 labs

[5] Analytical Data Self Control Member

2. Report on UILI-ILP

2.1 The 1st UILI-ILP

According to resolution of the UILI International Proficiency Testing Committee in September 2006, the program was named as "Inter Laboratory Practice (ILP)".

- Hosted by: UILI
- Co-hosted by: JEMCA, ACIL, CCIL, AELI and VRS
- Type of the program: Proficiency Test of heavy metal in sediment.
- Target compound: Total Chromium (T-Cr), Total Lead (T-Pb), Total Nickel (T-Ni), Total Zinc (T-Zn) and Total Mercury (T-Hg)
- Method: Analyzing total concentration of metals in sediment.
- Number of labs participated: 237
- Number of labs submitted results: About 188 to 223
- Statistical Evaluation using; z-score, bar charts of z-scores in ascending order and Youden-plot

2.2 The 2nd UILI-ILP in Japan

- Type of the program: PAHs and Metals in Soil.
- Target compound: 12 PAHs and 8 Metals.
- Sample distribution finished on 7 April 2008 (delayed).
- Report date: 31 May 2008.
- Number of labs participated: 122
- Number of labs submitted results: 117
- List of result is submitted to UILI.
- For Japanese participants, JEMCA issued pre-report in October 2008.
- For Japanese participants, JEMCA issued final report which includes data from Canada and USA in February 2009. Certificate for participation has been distributed among participants who reported results..
- JEMCA distributed certificates to associations for participants from Canada and USA.

2.3. The 3rd UILI-ILP

- Analysis of POPs and Metals in sediment (powder).
- 22 POPs compounds and 8 Metals.
- For Japanese participants, prompt report was issued and distributed in July 2009.
- Final report including results from non-Japanese participants and certificates were issued and distributed in August 2009.
- Number of applicants to 3rd UILI-ILP:

Japan	84
U.S.A.	6
Canada	2
Mexico	1
Spain	2
The Netherlands	6
Total	101

2.4.The 4th UILI-ILP

- Type of the program: Heavy Metals in Water.
- Target compound: 16 Metals.
- In Japan, sample distribution finished on 1st and 2nd of February 2010. For other countries, it finished by the beginning of March 2010.
- Reporting deadline: 19 March 2010.
- JEMCA distributed final reports and certificates by the end of August 2010 to participants in Japan.
- Final report for non-Japanese participants and certificates will be issued and distributed at UILI GBM in October 2010.
- Number of applicants to 4th UILI-ILP:

Japan	143
U.S.A.	4
Spain	5
Mexico	1
Total	153

2.5 The 5th UILI-ILP

- Type of the program: Cations and Anions in Natural Water.
- Target compound: 4 Cations and 4 Anions
- In Japan, sample distribution finished on 7th and 8th of February 2011. For other countries, it finished by the end of February 2011.
- Reporting deadline: 31 March 2011.
- Number of applicants to 5th UILI-ILP:

Japan	128
Spain	4
Belgium	1
Canada	1
Korea	1
Total	135

- JEMCA distributed final reports and certificates on 1 August 2011 to participants in Japan.
- Final report of non-Japanese participants and certificates will be issued and distributed before UILI Board Meeting in Paris.

2.6 The 6th UILI-ILP

- Type of the program: Metals in Saline Water
- Target compound: 6 Metals
- In Japan, sample distribution finished on 6th and 7th of February 2012. For other countries, it finished by the end of February 2012.
- Reporting deadline: 31 March 2012.
- Number of applicants to 6th UILI-ILP:

Japan	141
Spain	3
Canada	3
The Netherlands	2
Mexico	1
Total	150

- JEMCA distributed final report to on July 2012 to Japanese participants.

- Final report for non-Japanese participants and certificates was issued and distributed on September 2012.

2.7 The 7th UILI-ILP

- Type of the program: Metals Drinking Water and Saline Water
- Target compound: 10 Metals
- In Japan, sample distribution finished on 18th and 19th of February 2013. For other countries, it finished by beginning of March 2013.
- Reporting deadline: 31 March 2013 for Japanese and 4 April 2013 for non-Japanese participants.
- Number of applicants to 7th UILI-ILP:

Japan	141
Portugal	4
Canada	3
Spain	3
The Netherlands	2
Mexico	1
China	1
Total	155

- JEMCA distributed final report to on 24 September 2013 to Japanese participants.
- Final report for non-Japanese participants and certificates has been drafted and issued on 20 December 2013.

2.8 The 8th UILI-ILP

- Type of the program: Metals in Pure Water
- Target compound: 15 Metals
- Sample distribution in Japan: 7 - 8 April 2014
- Reporting deadline: 16 May 2014 for Japanese and 23 May 2014 for non-Japanese participants
- Number of applicants reported for 8th UILI-ILP:

Japan 109
Others 10
(Canada 1, Spain 1, Portugal 4, China 1, France 1, USA 1, and Brazil 1)
Total 119

- Final report was issued on October 1, 2014.
- Final report and Certificates for Japanese participants were distributed on 1 OCT 2014.

2.9 The 9th UILI-ILP

- Type of the program: Metals in Pure Water (Drinking water)
- Target compound: 11 Metals
- Sample distribution in Japan: March 30 & 31, 2015
- Reporting deadline: May 22 for Japanese and May 31, 2015 for non-Japanese participants
- Final report was issued on October, 2015
- Number of applicants reported for 9th UILI-ILP:

Japan	94
Argentina	1
Belgium	1
China	1
Germany	1

France	1
Korea	2
Mexico	1
Portugal	1
Spain	1
Total	104

- Final report and certificates for Japanese participants was distributed on 30 OCT 2015.

2.10 The 10th UILI-ILP - ONGOING

- Type of the program: Cations and Anions in Natural Water
- Target compound: 4 Cations, 5 Anions, total 9 ions
- Sample distribution in Japan: April 25 & 26, 2016
- Reporting deadline: June 3 for Japanese and August 31, 2016 for non-Japanese participants
- Final report is expected to be issued on October 2016 for Japanese, December 2016 for non-Japanese participants.
- Number of applicants reported for 10th UILI-ILP

Japan	144 (laboratories)
Argentina	1
China	1
Nigeria	7
Spain	1
Total	154

- Final report ant certificates are expected to be distributed by the end of October 2016 for Japanese and December 2016 for non-Japanese participants.

2.11 The 14th UILI-ILP (2017) - ONGOING

- Type of the program: Nitrate, Silicate, and Phosphate in Natural Water
- Target compound: Nitrate-nitrogen (NO_3^-), Silicate-silicon (SiO_2), and Phosphate-phosphorus (PO_4^{3-})
- Application period: From 17 APR to 31 MAY 2017
- Sample distribution in Japan: 26 & 27 JUN 2017
- Reporting deadline: 10 AUG for Japanese and 1 SEP for non-Japanese participants
- Final report is expected to be issued on November 2017 for Japanese, December 2017 for non-Japanese participants.
- Number of applicants for 14th UILI-ILP

Japan	106 (laboratories)
China	2
Nigeria	5
Spain	1
Total	114

Appendix

JEMCA's Proficiency Testing
From FY 1999 to 2016

(As of AUG 18, 2017)

FY 1999 (Apr 1999 - Mar 2000)	
(1) Heavy metal analysis in prepared effluent (spiked) Unit (mg/L) Pb: 0.01, 0.02, Zn: 1.0, 1.2, Fe: 2.0, 2.5	
Date of call for applicants: 10/00	Date of Report: 12/00
Number of applicants: 338	Number of participants: 302
Total applicants: 338	Total participants: 302
Cumulative total applicants: 338	Cumulative total participants: 302

FY 2000 (Apr 2000 - Mar 2001)	
(2) VOC analysis in water-1 Unit (mg/L) Trichloroethylene: 0.150, 0.103 cis-1,2- dichloroethylene: 0.0379, 0.0282	
Date of call for applicants: 04/00	Date of Report: 09/00
Number of applicants: 344	Number of participants: 319
(3) Anion analysis in water of prepared environment (spiked)-1 Unit (mg/L) Cl^-: 1.57, 1.27 NO_3^-: 1.565, 1.86 SO_4^{2-}: 2.26, 2.66	
Date of call for applicants: 07/00	Date of Report: 11/00
Number of applicants: 390	Number of participants: 378
(4) Heavy metal analysis in prepared effluent (spiked)-2 Unit (mg/L) Pb: 0.0499, 0.0300 Total Cr: 0.0965, 0.0767 Cu: 0.299, 0.200	
Date of call for applicants: 09/00	Date of Report: 01/01
Number of applicants: 376	Number of participants: 357
(5) Heavy metal analysis in soil-1 Unit (mg/Kg) Pb: 5.495, 5.445 Zn: 118, 117 Fe: 105, 104	
Date of call for applicants: 10/00	Date of Report: 03/01
Number of applicants: 343	Number of participants: 314
(6) COD analysis in prepared effluent (spiked)-1 COD_{Mn}: 82, 101.1	
Date of call for applicants: 01/01	Date of Report: 05/01
Number of applicants: 483	Number of participants: 475
Total applicants: 1,936	Total participants: 1,843
Cumulative total applicants: 2,274	Cumulative total participants: 2,145

FY 2001 (Apr 2001 - Mar 2002)	
(7) Residual pesticides analysis in water of prepared environment (spiked)-1 Unit (mg/L) Simazine: 0.0030, 0.0036 Thiobencarb: 0.016, 0.014	
Date of call for applicants: 04/01	Date of Report: 10/01
Number of applicants: 320	Number of participants: 303
(8) Total Nitrogen, Phosphorus and Boron analysis in water of prepared environment (spiked)-1 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 1.07, 0.90 Total Phosphorus(TP): 0.079, 0.099 Boron: 1.01, 0.81	
Date of call for applicants: 07/01	Date of Report: 12/01
Number of applicants: 449	Number of participants: 433
(9) SO_x and H_2S analysis in prepared solution in which exhaust gas is absorbed (spiked)-1 Unit (mg/m^3) SO_x: 92, 138 H_2S: 285.5, 213	
Date of call for applicants: 09/01	Date of Report: 02/02
Number of applicants: 343	Number of participants: 333
(10) Heavy metal analysis in prepared effluent (spiked)-3 Unit (mg/L) Cd: 0.011, 0.014 Mn: 0.41, 0.36 Ni: 0.047, 0.056 As: 0.024, 0.019	
Date of call for applicants: 11/01	Date of Report: 04/02
Number of applicants: 413	Number of participants: 392
(11) VOC analysis in water-2 Unit (mg/L) Tetrachloroethylene: 0.0474, 0.0456 Trichloroethylene: 0.0162, 0.0170 cis-1,2-dichloroethylene: 0.177, 0.193	
Date of call for applicants: 01/02	Date of Report: 06/02
Number of applicants: 384	Number of participants: 363
Total applicants: 1,909	Total participants: 1,824
Cumulative total applicants: 4,183	Cumulative total participants: 3,969

FY 2002 (Apr 2002 - Mar 2003)	
(12) pH and COD_{Mn} analysis in environmental water-2 pH: 4.00, 4.64 CSD_{Mn}: 10.0, 15.1	
Date of call for applicants: 04/02	Date of Report: 08/02
Number of applicants: 497	Number of participants: 487
(13) F, Cl, and N analysis in water of prepared environment (spiked)-2 Unit (mg/L) F: 0.97, 1.17 Cl^-: 19.9, 15.9 NO_2^-: 6.02, 4.83 NO_3-N: 4.49, 3.59	
Date of call for applicants: 07/02	Date of Report: 11/02
Number of applicants: 450	Number of participants: 444
(14) Heavy metal analysis in soil-2 Cu: 39.1, 39.2 (mg/Kg) Fe: 31.2, 31.1 (mg/g) Mn: 680, 678 (mg/Kg)	
Date of call for applicants: 10/02	Date of Report: 01/03
Number of applicants: 374	Number of participants: 357
(15) Residual pesticides in water-2 Unit (mg/L) Iprobenfos: 0.00735, 0.00693 Fenitrothion: 0.00218, 0.00271 Isoxathion: 0.00252, 0.00202	
Date of call for applicants: 12/02	Date of Report: 04/03
Number of applicants: 214	Number of participants: 189
(16) Heavy metal analysis in water-4 Unit (mg/L) Pb: 0.0102, 0.0120 Se: 0.0114, 0.0096 Cr: 0.0495, 0.0394 Mn: 0.488, 0.602	
Date of call for applicants: 01/03	Date of Report: 05/03
Number of applicants: 431	Number of participants: 426
Total applicants: 1,966	Total participants: 1,903
Cumulative total applicants: 6,149	Cumulative total participants: 5,872

FY 2003 (Apr 2003 - Mar 2004)	
(18) Anion analysis in water-3 Unit (mg/L) F^-: 0.78, 0.97 Cl^-: 7.88, 9.80 NO_3-N: 2.95, 4.90 NO_3^-: 4.98, 7.88	
Date of call for applicants: 05/03	Date of Report: 08/03
Number of applicants: 436	Number of participants: 423
(17) Gas analysis-2 Unit (mg/m^3) SO_x: 211.38, 250.45 NO_x: 93.24, 76.54	
Date of call for applicants: 07/03	Date of Report: 12/03
Number of applicants: 270	Number of participants: 242
(19) Analysis of general items in water3 Unit (mg/L) COD_{Mn}: 8.50, 105	
Date of call for applicants: 09/03	Date of Report: 01/04
Number of applicants: 418	Number of participants: 406
(20) VOC analysis in water-3 Unit (mg/L) 1,1－dichloroethylene: 0.0105, 0.0110 cis-1,2-dichloroethylene: 0.0106, 0.0110 Trichloroethylene: 0.0490, 0.0507	
Date of call for applicants: 11/03	Date of Report: 02/04
Number of applicants: 323	Number of participants: 311
(21) Metal analysis in water-5 Unit (mg/L) Cd: 0.009765, 0.007750 Mn: 0.1880, 0.2340 Cu: 0.7895, 0.9845 Zn: 0.03910, 0.02990	
Date of call for applicants: 01/04	Date of Report: 04/04
Number of applicants: 452	Number of participants: 442
Total applicants: 1,899	Total participants: 1,824
Cumulative total applicants: 8,048	Cumulative total participants: 7,696

FY 2004 (Apr 2004 - Mar 2005)	
(22) Analysis of general items in water-4 Unit (mg/L) COD: 7.10, 9.00 Total Phosphorus(TP): 0.0470, 0.0640	
Date of call for applicants: 04/04	Date of Report: 06/04
Number of applicants: 439	Number of participants: 421
(23) Residual pesticides analysis in water-3 Unit (mg/L) Thiobencarb: 0.03800, 0.02520 Fenitrothion: 0.0039900, 0.003180 Simzine: 0.003125, 0.004650	
Date of call for applicants: 06/04	Date of Report: 08/04
Number of applicants: 258	Number of participants: 256
(24) Metal analysis in soil-3 Unit (mg/Kg) Cd: 0.22, 0.22 Pb: 30.3, 31.2 As: 0.42, 0.43	
Date of call for applicants: 08/04	Date of Report: 10/04
Number of applicants: 354	Number of participants: 324
(25) Metal analysis in water-6 Unit (mg/L) Pb: 0.0480, 0.0380 T-Cr: 0.2820, 0.3790 Zn: 0.2910, 0.1960 Ni: 0.4760, 0.5760	
Date of call for applicants: 10/04	Date of Report: 12/04
Number of applicants: 384	Number of participants: 373
(26) Anion analysis in water-4 Unit (mg/L) F^-: 0.4910, 0.3910 Cl^-: 3.940, 5.130 NO_3-N: 4.350, 3.440 SO_4^{2-}: 4.975, 3.460	
Date of call for applicants: 12/04	Date of Report: 02/05
Number of applicants: 407	Number of participants: 396
Total applicants: 1,863	Total participants: 1,774
Cumulative total applicants: 9,911	Cumulative total participants: 9,470

FY 2005 (Apr 2005 - Mar 2006)		FY 2006 (Apr 2006 - Mar 2007)		FY 2007 (Apr 2007 - Mar 2008)		FY 2008 (Apr 2008 - Mar 2009)		FY 2009 (Apr 2009 - Mar 2010)	
(27) VOC analysis in soil-1 Unit (volppm) 1,1-dichloroethylene: 0.970, 0.775 cis-1,2-dichloroethylene: 0.830, 0.665 1,1,1-Trichloroethane: 0.910, 0.720 Trichloroethylene: 0.825, 0.650 Tetrachloroethylene: 0.795, 0.640		**(32) Gas analysis-3** Unit (mg/m^3) SO_x: 200, 258 NO_x: 82, 123		**(37) Anion analysis in water-5** Unit (mg/L) F^-: 0.7, 0.9 Cl^-: 40, 35 NO_3^-: 20, 18 NO_2^-: 16, 14		**(42) Heavy metal analysis in water-10** Unit (mg/L) Fe: 4.5, 5.0 Cu: 2.0, 1.8 Total Cr: 5.5, 5.0 Mn: 1.8, 2.0		**(47) Anion analysis in water-6** Unit (mg/L) F^-: 0.9, 1.1 Cl^-: 90, 80 NO_3^-: 20, 23 SO_4^{2-}: 14, 20	
Date of call for applicants: 04/05	Date of Report: 05/05	Date of call for applicants: 04/06	Date of Report: 08/06	Date of call for applicants: 04/07	Date of Report: 09/07	Date of call for applicants: 04/08	Date of Report: 09/08	Date of call for applicants: 04/09	Date of Report: 09/09
Number of applicants: 483	Number of applicants: 475	Number of applicants: 237	Number of participants: 251	Number of applicants: 472	Number of participants: 463	Number of applicants: 463	Number of participants: 448	Number of applicants: 459	Number of participants: 453
(28) Metal analysis in water-7 Unit (mg/L) Pb: 0.0490, 0.0570 Zn: 2.950, 2.450 Total Cr: 0.0470, 0.0380 As: 0.0290, 0.0240 Sb: 0.0200, 0.0240		**(33) Analysis of general items in water-6** Unit (mg/L) COD_{Mn}: 6.0, 8.0		**(38) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 4** Cd: 13.68, 12.69 Pb 16.61, 15.54 Cr^{6+}: 12.16, 10.76 As: 15.60, 14.11		**(43) Total Nitrogen and Phosphorus in water-3** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.820, 1.030 Total Phosphorus(TP): 0.0880, 0.0690		**(48) Heavy metal analysis in water-11** Unit (mg/L) Cd: 0.007, 0.009 Total Cr: 0.06, 0.05 As: 0.020, 0.025 Pb: 0.055, 0.045	
Date of call for applicants: 06/05	Date of Report: 08/05	Date of call for applicants: 06/06	Date of Report: 09/06	Date of call for applicants: 06/07	Date of Report: 12/07	Date of call for applicants: 06/08	Date of Report: 11/08	Date of call for applicants: 06/09	Date of Report: 11/09
Number of applicants: 428	Number of applicants: 410	Number of participants: 419	Number of applicants: 410	Number of applicants: 415	Number of participants: 395	Number of applicants: 451	Number of participants: 444	Number of applicants: 450	Number of participants: 437
(29) Analysis of general items in water-5 Unit (mgO/L) COD_{Mn}: 5.70, 3.70		**(34) Aldehydes analysis in water - 1** Unit (mg/m^3) Acetaldehyde: 7.9, 6.0 Formaldehyde: 6.2, 4.2		**(39) Analysis of general items in water-7** Unit (mg/L) COD_{Mn}: 37.4, 42.5		**(44) Residual pesticides analysis in water-5** Unit (mg/L) Thiobencarb: 0.019970, 0.016480 Isoxathion: 0.002210, 0.002950 Fenitrothion: 0.004430, 0.003550		**(49) Analysis of general items in water-9** COD_{Mn}: 22.18 mg/L	
Date of call for applicants: 09/05	Date of Report: 11/05	Date of call for applicants: 08/06	Date of Report:: 11/06	Date of call for applicants: 12/08	Date of call for applicants: 12/08	Date of call for applicants: 08/08	Date of Report: 01/09	Date of call for applicants: 08/09	Date of Report:: 12/09
Number of applicants: 406	Number of applicants: 401	Number of participants: 181	Number of applicants: 177	Number of applicants: 388	Number of applicants: 388	Number of applicants: 236	Number of participants: 217	Number of applicants: 382	Number of participants: 379
(30) Total Nitrogen and Phosphorus in water-2 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.910, 0.710 Total Phosphorus(TP): 0.0910, 0.0690		**(35) Metal analysis in water-3** Unit (mg/L) Pb: 0.04, 0.05 Total Cr: 0.40, 0.30 Mn: 0.50, 0.60 Cu: 0.90, 0.80		**(40) Metal analysis in water-4** Unit (mg/L) Cd: 0.005, 0.007 Pb: 0.03, 0.02 As: 0.010, 0.015 Zn: 0.50, 0.45		**(45) Gas analysis-4** Unit (mg/m^3) SO_x: 182.355, 209.565 NO_x: 83.540, 101.590		**(50) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law – 5** Unit (mg/kg) Cd: 18, 16 Pb 15, 17 Cr^{6+}: 42, 38 As: 33, 36	
Date of call for applicants: 11/05	Date of Report: 01/06	Date of call for applicants: 11/06	Date of Report: 01/07	Date of call for applicants: 10/07	Date of Report: 03/08	Date of call for applicants: 10/08	Date of Report: 03/09	Date of call for applicants: 10/09	Date of Report: 2010
Number of applicants: 432	Number of applicants: 413	Number of participants: 444	Number of applicants: 433	Number of applicants: 441	Number of participants: 431	Number of applicants: 226	Number of participants: 215	Number of applicants: 337	Number of participants: 327
(31) VOC analysis in water-4 Unit (mg/L) cis-1,2-dichloroethylene: 0.6230, 0.6340 Trichloroethylene: 1.1230, 1.1030 Tetrachloroethylene: 0.9870, 0.9270 Chloroform: 4.3980, 4.4400		**(36) Residual pesticides analysis in water-4** Unit (mg/L) Iprobenfos: 0.010, 0.012 Fenitrothion: 0.0045, 0.0035 Simazine: 0.004, 0.0045		**(41) VOC analysis in water-5** Unit (mg/L) Dichloromethane: 0.020, 0.025 Trichloroethylene: 0.04, 0.03 1,1,2-Trichloroethane: 0.006, 0.008 Benzene: 0.012, 0.010		**(46) Analysis of general items in water-8** COD_{Mn}: 18,15 mg/L Cl^-: 2000 mgCl/L		**(51) VOC analysis in water-6** Unit (mg/L) Dichloromethane: 0.020, 0.025 Trichloroethylene: 0.04, 0.03 1,1,2-Trichloroethane: 0.006, 0.008 Benzene: 0.012, 0.010	
Date of call for applicants: 02/06	Date of Report:: 04/06	Date of call for applicants: 12/06	Date of Report:: 03/07	Date of call for applicants: 12/07	Date of Report:: 04/08	Date of call for applicants: 12/08	Date of Report:: 04/09	Date of call for applicants: 12/09	Date of Report:: 05/10
Number of applicants: 330	Number of applicants: 324	Number of participants: 233	Number of applicants: 1,214	Number of applicants: 364	Number of participants: 349	Number of applicants: 388	Number of participants: 384	Number of applicants: 362	Number of participants: 348
Total applicants: 2,079	Total participants: 2,033	Total applicants: 1,528	Total participants: 1,485	Total applicants: 2,097	Total participants: 1,588	Total applicants : 1,764	Total participants: 1,708	Total applicants: 1,990	Total participants: 1,944
Cumulative total applicants: 11,990	Cumulative total participants: 11,503	Cumulative total applicants: 13,518	Cumulative total participants: 12,974	Cumulative total applicants: 15,615	Cumulative total participants: 14,993	Cumulative total applicants: 17,379	Cumulative total participants: 16,701	Cumulative total applicants: 19,369	Cumulative total participants: 18,654

FY 2010 (Apr 2010 - Mar 2011)		FY 2011 (Apr 2011 – Mar 2012)		FY 2012 (Apr 2012 – Mar 2013)		FY 2013 (Apr 2013 – Mar 2014)		FY 2014 (Apr 2014 – Mar 2015)	
(52) Total Nitrogen and Phosphorus in water-4 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.50, 0.70 Total Phosphorus(TP): 0.06, 0.04		**(57) Anion analysis in water-8** Unit (mg/L) NO_2^-: 20, 18 NO_3^-: 14, 16 Cl^-: 55, 50 F^-: 0.7, 0.9		**(62) Anion analysis in water-9** Unit (mg/L) NO_2^-: 16, 19 NO_3^-: 5.0, 4.0 Cl^-: 80, 70 F^-: 1.0 0.8		**(67) Heavy metal analysis in water-15** Unit (mg/L) Mn: 0.20, 0.30 Cu: 2.2, 2.0 Zn: 0.16, 0.10 Cd: 0.010, 0.008		**(72) Heavy metal analysis in water-16** Unit (mg/L) Total Cr: 0.3, 0.4 Fe: 2.0, 1.5 Zn: 0.45, 5.0 Pb: 0.1, 0.1	
Date of call for applicants: 4/10	Date of Report: 09/10	Date of call for applicants: 04/11	Date of Report:: 09/11	Date of call for applicants: 04/12	Date of Report: 09/12	Date of call for applicants: 04/13	Date of Report: 09/13	Date of call for applicants: 04/14	Date of Report: 09/14
Number of applicants: 446	Number of participants: 438	Number of applicants: 415	Number of participants: 404	Number of applicants: 446	Number of participants: 438	Number of applicants: 416	Number of participants: 410	Number of applicants: 371	Number of participants: 359
(53) Heavy metal analysis in water-12 Unit (mg/L) Zn: 1.00, 0.90 Fe: 3.0, 3.5 Cu: 1.20, 1.00 Mn: 1.50, 1.60		**(58) Metal analysis in water-13** Unit (mg/L) Zn: 0.50, 0.45 Fe: 3.0, 3.5 Cu: 1.5, 1.2 Pb: 0.045, 0.050 Al: 0.20, 0.18		**(63) Metal analysis in water-14** Unit (mg/L) Total Cr: 0.06, 0.08 Mn: 2.00, 1.80 Fe: 2.0, 2.5 Pb: 0.055, 0.050		**(68) Anion analysis in water-10** Unit (mg/L) F^-: 0.5, 0.4 Cl^-: 2.2, 2.0 Nitrite nitrogen: 4.0, 3.0 Nitrate nitrogen: 5.0, 6.0		**(73) Total Nitrogen and Phosphorus in water-8** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.3, 0.4 Total Phosphorus(TP):2.0, 1.5	
Date of call for applicants: 06/10	Date of Report: 06/10	Date of Report: 06/11	Date of Report: 12/11	Date of call for applicants: 12/12	Date of call for applicants: 12/12	Date of call of participants: 06/13	Date of Report: 12/13	Date of call for applicants: 06/14	Date of Report: 12/14
Number of applicants: 439	Number of participants: 439	Number of participants: 428	Number of participants: 419	Number of applicants: 389	Number of participants: 389	Number of applicants: 425	Number of participants: 418	Number of applicants: 368	Number of participants: 349
(54) Analysis of general items in water-10 Unit (mg/L) COD_{Mn}:25, 21		**(59) Analysis of general items in water-11** Unit (mg/L) COD_{Mn}: 24, 28		**(64) Analysis of general items in water-12** Unit (mg/L) COD_{Mn} : 38, 34		**(69) Total Nitrogen and Phosphorus in water-7** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.6, 0.5 Total Phosphorus(TP): 0.05, 0.06		**(74) Anion analysis in water-11** Unit (mg/L) F^-: 0.6, 0.8 Cl^-: 50, 45 Nitrite nitrogen: 4.0, 4.5 Nitrate nitrogen: 6.5, 7.5	
Date of call for applicants: 08/10	Date of Report: 08/10	Date of call for applicants: 08/11	Date of Report: 1/12	Date of call for applicants: 04/12	Date of Report: 09/12	Date of call of participants: 08/13	Date of Report: 02/14	Date of call for applicants: 08/14	Date of Report: 01/15
Number of applicants: 382	Number of participants: 382	Number of applicants: 381	Number of participants: 373	Number of applicants: 446	Number of participants: 438	Number of applicants: 396	Number of participants: 392	Number of applicants: 400	Number of participants: 382
(55) Anion analysis in water-7 Unit (mg/L) F^-: 0.90, 0.70 Cl^-: 90, 100 NO_3^-: 25, 22 SO_4^{2-}: 14, 16		**(60) Total Nitrogen and Phosphorus in water-5** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.70, 0.90 Total Phosphorus(TP): 0.08, 0.06		**(65) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 6** Unit (mg/kg) Cr^{6+}: 40, 36 As: 33, 35 Cd: 17, 16 Pb: 14, 16		**(70) Analysis of general items in water-13** Unit (mg/L) COD_{Mn} : 30, 34		**(75) Analysis of general items in water-14** Unit (mg/L) COD_{Mn} : 14, 16	
Date of call for applicants: 10/10	Date of Report:: 03/11	Date of call for applicants: 12/11	Date of Report: 03/12	Date of call for applicants: 10/12	Date of Report: 03/13	Date of call of participants: 10/13	Date of Report: 03/14	Date of call for applicants: 08/14	Date of Report: 03/15
Number of applicants: 400	Number of participants: 394	Number of applicants: 404	Number of participants: 393	Number of applicants: 317	Number of participants: 307	Number of applicants: 407	Number of participants: 400	Number of applicants: 380	Number of participants: 378
(56) Residual pesticides analysis in water-6 Unit (mg/L) Thiobencarb: 0.025, 0.020 Simazine: 0.0035, 0.0040 Fenitrothion: 0.0035, 0.0030		**(61) Gas analysis-5** Unit (mg/m^3) SO_x: 258, 287 NO_x: 102, 123		**(66) Total Nitrogen and Phosphorus in water-6** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.6, 0.5 Total Phosphorus(TP): 0.05, 0.06		**(71) VOC analysis in water-7** Unit (mg/L) Dichloromethane: 0.025, 0.022 Trichloroethylene: 0.03, 0.035 1,1,2-Trichloroethane: 0.006, 0.008 Benzene: 0.010, 0.012		**(76) Residual pesticides analysis in water-7** Unit (mg/L) Simazine: 0.0030, 0.0025 Thiobencarb: 0.015, 0.020	
Date of call for applicants: 12/10	Date of Report:: 2011	Date of call for applicants: 12/11	Date of Report: 4/12	Date of call for applicants: 12/10	Date of call for applicants: 12/10	Date of call of participants: 01/14	Date of Report: 06/14	Date of call for applicants: 11/14	Date of Report: 03/15
Number of applicants: 264	Number of participants: 240	Number of applicants: 230	Number of participants: 211	Number of applicants: 264	Number of participants: 264	Number of applicants: 357	Number of participants: 336	Number of applicants: 303	Number of participants: 286
Total applicants: 1,931	Total participants: 1,881	Total applicants: 1,858	Total participants: 1,800	Total applicants: 1,931	Total participants: 1,931	Total applicants: 2,001	Total participants: 1,956	Total applicants: 1,822	Total participants: 1,754
Cumulative total applicants: 21,300	Cumulative total participants: 20,526	Cumulative total applicants: 23,158	Cumulative total participants: 22,326	Cumulative total applicants: 21,300	Cumulative total participants: 21,300	Cumulative total applicants: 27,139	Cumulative total participants: 26,224	Cumulative total applicants: 28,961	Cumulative total participants: 27,978

FY 2015 (Apr 2015 - Mar 2016)		FY 2016 (Apr 2016 – Mar 2017)		FY 2017 (Apr 2017 – Mar 2018)					
(77) Total Nitrogen and Phosphorus in water-9 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN):0.6, 0.5 Total Phosphorus(TP): 0.06, 0.08		**(82) Total Nitrogen and Phosphorus in water-10** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN):1.1, 0.9 Total Phosphorus(TP): 0.11, 0.09		**(87) Analysis of general items in water -16** Unit (mg/L) COD_{Mn} : 25, 30					
Date of call for applicants: 03/15	Date of Report: 03/15	Date of call for applicants: 03/16	Date of Report: 03/16	Date of call for applicants: 04/17	Date of Report:				
Number of applicants: 378	Number of participants: 378	Number of applicants: 396	Number of participants: 396	Number of applicants: 430	Number of participants: 417				
(78) Anion analysis in water-12 Unit (mg/L) F^-: 0.7, 0.5 Cl^-: 60, 70 Nitrite nitrogen: 25, 22 Nitrate nitrogen: 6.0, 5.0		**(83) Total Boron and Metals in water - 18** Unit (mg/L) Boron: 0.7, 0.9 Total Chromium (T-Cr): 0.5, 0.4 Fe: 3.0, 2.5 Pb: 0.03, 0.04		(88) Heavy metal analysis in water-19 Unit (mg/L) Al: Mn: Zn: Cd:					
Date of call for applicants: 05/15	Date of Report: 11/15	Date of call for applicants: 05/16	Date of Report: 11/16	Date of call for applicants: 05/17	Date of Report:				
Number of applicants: 409	Number of participants: 397	Number of applicants: 423	Number of participants: 414	Number of applicants:	Number of participants:				
(79) Total Boron and Metals in water - 17 Unit (mg/L) Boron: 0.8, 0.7 Mn: 0.15, 0.20 Cu: 1.0, 0.8 Cd: 0.005, 0.003		**(84) Anion analysis in water-13** Unit (mg/L) F^-: 0.6, 0.5 Cl^-: 45, 40 NO_3-N: 10, 8 SO_4^{2-}: 17, 19		**(89) Anion analysis in water-14** Unit (mg/L) Cl^-: NO_3^-: PO_4^{3-}: SO_4^{2-}:					
Date of call for applicants: 06/15	Date of Report: 01/16	Date of call for applicants: 06/16	Date of Report: 01/17	Date of call for applicants: 06/17	Date of Report:				
Number of applicants: 428	Number of participants: 416	Number of applicants: 401	Number of participants: 383	Number of applicants:	Number of participants:				
(80) Analysis of general items in water-15 Unit (mg/L) COD_{Mn} : 10, 8		**(85) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 7** Unit (mg/kg) Cr^{6+}: 40, 46 As: 35, 31 Cd: 18, 15 Pb: 15, 13		**(90) Total Nitrogen and Phosphorus in water-11** Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): Total Phosphorus(TP):					
Date of call of participants: 08/15	Date of Report: 03/16	Date of call for applicants: 08/16	Date of Report: 03/17	Date of call for applicants: 8/17	Date of Report:				
Number of applicants: 386	Number of participants: 371	Number of applicants: 318	Number of participants: 308	Number of applicants:	Number of participants:				
(81) Gas analysis-6 Unit (mg/m^3) SO_x: 229, 272 NO_x: 133, 113		**(86) VOC analysis in water-8** Unit (mg/L) Benzene: 0.011, 0.009 Dichloromethane: 0.035, 0.030 Trichloroethylene: 0.010, 0.012 1,1,2-Trichloroethane: 0.008, 0.006		**(91) Residual pesticides analysis in water-8** Unit (mg/L)					
Date of call for applicants: 10/15	Date of Report: 05/16	Date of call of applicants: 11/16	Date of Report: 05/17	Date of call for applicants:	Date of Report:				
Number of applicants: 233	Number of participants: 214	Number of applicants: 371	Number of participants: 349	Number of applicants:	Number of participants:				
Total applicants: 1,834	Total participants: 1,773	Total applicants: 1,909	Total participants: 1,842	Total applicants:	Total participants:				
Cumulative total applicants: 30,795	Cumulative total participants: 29,751	Cumulative total applicants: 32,704	Cumulative total participants: 31,593	Cumulative total applicants:	Cumulative total participants:				

- END -

資料O

Asociación Española de Laboratorios Independientes
CIF G-08822959 – Domicilio social: c/. Alenza, 1 – 28003 Madrid
Teléfono y Fax: 91 399 01 74 – e-mail: aeli@aeli.org

Spanish Association of Independent Laboratories

REPORT OF ACTIVITIES FROM SPAIN ON 2016

Madrid, July 2017

INDEX

1.
AELI Meetings, Assemblies and Boards of Directors

2.
Meetings: Laboratory Networks / Sectorial Technical Groups of Laboratories

2.1 - Meetings of network of Laboratory for Pharmaceutical and Medical Devices (AELI).
2.2 - Group Meetings "Ad-hoc NT-19" (FELAB NT-19)
2.3 - Group Meetings "Ad-hoc NT-32" (FELAB NT-32)
2.4 - Group Meetings "Ad-hoc NT-Test Methods" (FELAB NT-ME)
2.5 - Group Meetings "Ad-hoc CGA" (FELAB CGA)
2.6 – Group Meetings "Ad-hoc Guide Kits" (FELAB G-Kits)
2.7 – Group Meetings "Ad-hoc NT-Prog. Accreditation" (FELAB Prog. Accreditation)
2.8 – Group Meetings "Ad-hoc CEA-ENAC (FELAB CEA-ENAC)

3.
Events: Symposium, Conferences and Congresses

3.1 - XII Symposium FELAB

4.
Another meeting of AELI and FELAB

4.1 - Other meetings under AELI
4.2 - Other meetings under FELAB
4.3 - Other meetings / Events / Conferences.

5.
Other activities of Technical Groups or networks

5.1 - Metrology network

6.
Meetings with the Administration and other Organizations: allegations, meetings and technical documents

6.1 - Allegations legislative projects
6.1.1 - Allegations to legislative projects from AELI
6.1.2. - Allegations to legislative projects from FELAB
6.2 - Meetings with Administration and other Organizations
6.2.1 - Meetings with Administration and other Organizations AELI
6.2.2 - Meetings with Administration and other Organizations FELAB
6.3 - Technical documents that AELI / FELAB has collaborated with ENAC

7.
Communication and broadcast: circulars, newsletters, websites and social networks

8.
Formation Plan

9.
Inter-comparison

10.
Social policy of AELI / FELAB and his collaborators

11.
Support for the business of the laboratories

12.
AELI representatives in UILI to 31/12/2016

13.
The Board of AELI (31/12/2016)

14.
AELI partners

1.
AELI Meetings, Assemblies and Boards of Directors

- Ordinary Meeting / General Assembly 1/2016 → 2016-05-03
- Board Meeting 1/2016 → 2016-05-03
- Board Meeting (Constitution new Board of Directors) 2/2016 → 2016-05-03
- Board Meeting 3/2016 → 2016-11-30

2.
Meetings: Laboratory Networks / Sectorial Technical Groups of Laboratories

2.1 Meetings of network of Laboratory for Pharmaceutical and Medical Devices (AELI).

On November 16 2011, the AELI Board approved the creation of the Representation of AELI for the Pharmaceutical and Health Products Sector.

The main task of such a group is to act as interlocutor with the Spanish Agency of Medicines and Health Products (Competent Authority), under the Ministry of Health, Social Services and Equality.

Representative to the AEMPS, is:

Dña. Ana Escario García-Trevijano (BIOLAB, S.L.)

Meetings during 2016: not relevant activity.

2.2 Group Meetings "Ad-hoc NT-19" (FELAB NT-19)

The "Ad-hoc NT-19" is a group whose mission is to track revisions of the NT-19 "Testing Laboratories: accreditation of analysis of pesticide residues in food products".

During 2016, the have been no meeting of that Group. The previous review of the NT-10 was in 2011.

The group coordinators to ENAC are:

D. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)
Dña. Arancha Benito Navarro (AGQ Labs & Tech Corporate, S.L.)

2.3 Group Meetings "Ad-hoc NT-32" (FELAB NT-32)

The "Ad-hoc NT-32" Group is a group whose mission is to track revisions of the NT-32 "Microbiological Analysis: Explanatory Document".

During 2014, we have begun to develop internal works in order to raise the review of the NT-32 ENAC jobs. The above mentioned works at present, 2016, are stopped, provided that after the meeting that was kept with ENAC, the information requested by ENAC on real cases would imply the laboratories identification, which we understand that it does not proceed.

The group coordinators to ENAC are:

D. Francisco Andrés García Andreu (LABAQUA, S.A.)
D. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)
D. Pedro Pablo Morillas Bravo (CANAL ISABEL II Gestión, S.A.)

Support to the Group:

D. Antonio Rosado Sanz (IPROMA, S.A.)
Dña. Arancha Benito Navarro (AGQ Labs & Tech Corporate, S.L.)

2.4 Group Meetings “Ad-hoc NT-Test Methods” (FELAB NT-ME)

The “Ad-hoc NT-Test Methods” Group, is a group whose mission is to represent FELAB at the possibility of development by ENAC a Technical Note on Test Methods.

During 2016 it has not had activity, since from ENAC it has not returned to raise the possible draft of the mentioned Technical Note.

The group coordinators to ENAC are:

D. Francisco Andrés García Andreu (LABAQUA, S.A.)
D. Antonio Rosado Sanz (IPROMA, S.A.)
D. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)

2.5 Group Meetings “Ad-hoc CGA” (FELAB CGA)

The "Ad hoc CGA" Group is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to track document reviews CGA-ENAC-LEC "General Criteria for creaditación of Testing and Calibration Laboratories according to UNE-EN ISO/IEC 17025”.

During 2016 the group has not supported activity since the last review of CGA-ENAC-LEC's document, it was in October, 2014.

The group coordinators to ENAC are:

Dña. Irache Visiers Sanz (APPLUS)
D. Francisco Andrés García Andreu (LABAQUA, S.A.)

Support to the Group:

D. Pedro Pablo Morillas Bravo (CANAL ISABEL II Gestión, S.A.)
D. Antonio Rosado Sanz (IPROMA, S.A.)
D. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)

2.6 Group Meetings “Ad-hoc Guide Kits” (FELAB G-Kits)

The "Ad hoc Guide Kits" Group is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to track documents that may be issued by ENAC in relation to test kits. This group was set up in 2016 at the request of ENAC to write a document on test kits. Finally, the type of document written by ENAC has been a Guide, which is not obligatory, instead of a Technical Note.

2.7 Group Meetings “Ad-hoc NT-Prog. Accreditation” (FELAB Prog. Accreditation)

The "Ad hoc NT-Prog. Accreditation" Group is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to track documents that may be issued by ENAC in relation to the Accreditation Programs.

This group was set up in 2016 at the request of ENAC to write a document on Accreditation Programs. Finally, it has given rise to three documents published by ENAC in January 2017.

- NT-70.01 Rev. 1 Accreditation Program: Essays for Nutrition Information (January 2017)
- NT-70.02 Rev. 1 Accreditation Program: Microbiological food testing (January 2017)
- NT-70.03 Rev. 1 Accreditation Program: Gluten and food allergen trials (January 2017)

The group interlocutors to ENAC are:

D. José Mestres Lagarriga (SILLIKER, S.A.)
D. Julio Hernández Pérez (Laboratorios ECOSUR, S.A.)
D. Miguel Sánchez Fernández (FELAB-AELI/EUROLAB-)

The group in this case, is the database of all associates who have provided information.

2.7 Group Meetings “Ad-hoc CEA-ENAC” (FELAB CEA-ENAC)

The "Ad hoc CEA-ENAC" Group is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to follow up documents that may be issued by ENAC in relation to the use of the ENAC mark.

This group was set up in 2016 at the request of ENAC to draw up a document on the use of the ENAC mark. Finally, it has given origin to the documents published by ENAC:

- CEA-ENAC-01 “Criteria for the use of the ENAC mark or reference to the accredited status” (April 2016).

Replaced by

- CEA-ENAC-01 “Criteria for the use of the ENAC mark or reference to the accredited status” (October 2016).

The group interlocutors to ENAC are:

D. José Mestres Lagarriga (SILLIKER, S.A.)
D. Miguel Sánchez Fernández (FELAB-AELI/EUROLAB-)

The group in this case, is the database of all associates who have provided information.

3.
Events: Symposium, Conferences and Congresses

3.1 XII Symposium of FELAB

Under the heading "Present and Future of the conformity assessment sector. Follow-up of legal and technical issues", the XII Symposium FELAB was held in Madrid on 24 February 2016, organized by FELAB with the collaboration of:

AELI, EUROLAB-Spain, Basque government, ENAC, AEGIC, FEDAOC, AECA-ITV, Ministry of Industry, Energy and Tourism, Ministry of Economy and Competitiveness, Ministry of Agriculture, Food and Environment, University of Castilla-La Mancha, Public Procurement Observatory.

Where the following conferences were held:

- **"Law 4/2015, of 25 June for the Prevention and Correction of Soil Pollution approved by the Basque Parliament":**

  Sra. Doña María Isabel Martínez Martínez
  Head of Hazardous Waste Service
  Vice-Ministry of Environment.
  Basque government.

- **"Royal Decree 817/2015, of September 11, establishing the Criteria for Monitoring and Evaluation of Surface Waters and Environmental Quality Standards":**

  Ilmo. Sr. D. Carlos Manuel Escartín Hernández.
  Deputy Director General of Integrated Management of the Public Domain Hydraulic.
  Directorate General of Water.
  Ministry of Agriculture, Food and Environment.

- **“Proposed Draft Law on Public Sector Contracts":**

  Dr. D. José Antonio Moreno Molina.
  Co-Director.
  Public Procurement Observatory.
  Professor of Administrative Law.
  University of Castilla-La Mancha.

- **"Status of the Revision of the ISO/IEC 17025 Standard":**

  Sra. Dña. Tania Marcos Paramio.
  Secretary of the AEN / CTN 66 SC 2.
  AENOR Standardization Directorate.

  Dra. Dña. Isabel de la Villa Porras
  Representative in ISO/CASCO WG 44.
  ENAC.

  Sr. D. Pedro Pablo Morillas Bravo.
  Representative in ISO/CASCO WG 44.
  Canal Isabel II / FELAB.

- **"Present and Future of the Conformity Assessment Sector":**

  Sr. D. Javier Moles Gómez.
  President
  EUROLAB-Spain.

  Dr. D. Jesús Méntrida Pisano.
  President
  AEGIC.
  FEDAOC.

Sr. D. Luis Ángel Gutiérrez Pando.
President
AECA-ITV.

Sr. D. Jorge Oliver-Rodés Sen.
President
AELI.

120 people participated.

4.
Another meeting of AELI and FELAB

4.1 Other meetings under AELI

AELI / UILI (Governing Board)

Meeting of the Governing Board of UILI, held by videoconference (Skype) with the participation of representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso and D. Jorge Oliver-Rodés Sen → 2016-04-12.

Meeting of the Governing Board of UILI, held by videoconference (Skype) with the participation of representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso and D. Jorge Oliver-Rodés Sen 2016-06-24.

Meeting of the Governing Board of UILI, held in New Delhi (India), attended by representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso → 2016-10-14 and 15.

AELI / UILI (General Assembly)

The General Assembly meeting of UILI takes place every 2 years, so in 2016 it was not held.

Governing Board:

President:
Luc Scholtis, VRS, Netherlands.
Past-President:
Manahén Fernández Alonso, AELI, Spain.
Secretary:
Mary-Anne Adeeko, IPAN, Nigeria.
Vicepresidents:
Alvaro Silva Riveiro, RELACRE, Portugal.
Jordi Oliver-Rodés, AELI, Spain.
Treasurer:
Toru Matsumura, JEMCA, Japan.

AELI / UILI (17025 WG)

Meeting of the Working Group 17025, which took place in New Delhi (India), attended by representative of AELI, Dr. D. Manahén Fernández → 2016-10-14.

AELI / UILI (ILP WG)

Interlaboratory working group meetings, attended by representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso:

- January 19, 2016 (Skype meeting)
- April 5, 2016 (Skype meeting)
- October 114, 2016 in New Delhi (India)

AELI / (UILI-EUROLAB WG)

Meeting of the Working Group's monitoring of the agreement of understanding between UILI and EUROLAB.aisbl, attended by representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso:

- October 14, 2016 in New Delhi (India)
- December 20, 20116 (Skype meeting)

4.2 Other meetings under FELAB

FELAB/AEN/CTN 66 – Management of Quality and Conformity Assessment.

During the year 2016 no meeting of the plenary, performing all the steps through e-Committee or email.
The representative of FELAB is D. Miguel Sánchez Fernández, Manager of FELAB.

FELAB/AEN/CTN 66 – Management of Quality and Conformity Assessment. SC-1: Management Systems.

No meeting SC-1 during 2016, performing all the steps through e-Committee or email.
The representative of FELAB is Dña. Irache Visiers Sanz (APPLUS-LGAI).

FELAB/AEN/CTN 66 – Management of Quality and Conformity Assessment. SC-2: Compliance Systems.

No meeting SC-2 during 2016, performing all the steps through e-Committee or email.
The representative of FELAB is Dña. Irache Visiers Sanz (APPLUS-LGAI) and D. Pedro Pablo Morillas Bravo (CANAL de ISABEL II Gestión).

Note:
The activity during 2016 has been carried out mainly in the ISO/CASCO Committee, which carries out the revision of ISO/IEC 17025, through D. Pedro Pablo Morillas Bravo as an expert in the aforementioned Committee. Informing all partners of the review of the same.

FELAB/AEN/CTN-66 – Management of Quality and Conformity Assessment. SC-3: Statistical Methods.

Meetings of the AEN/CTN-66 SC-3, in Madrid. Attended representing to FELAB, D. Feliciano Esono Abaga Biyie, Technical Secretary of FELAB:

- 2016-02-11
- 2016-04-28
- 2016-09-07

FELAB / AEN/CTN 82 – Metrology and Calibration: GT: Reference Materials.

Represents FELAB as vocal D. José Luis Prieto Calviño del LOMG. During 2016, the following meetings took place:

- 2016-01-18
- 2016-02-15
- 2016-04-11
- 2016-05-30
- 2016-06-27
- 2016-09-29
- 2016-11-24

FELAB / AEN/CTN 66 SC 2 / ISO/CASCO WG 44 (Review ISO/IEC 17025)

During the year 2016 the process of revision of ISO/IEC 17025 was continued, and voting processes were carried out on the corresponding Draft, informing all partners of the progress of the Draft. The representative of FELAB is D. Pedro Pablo Morillas Bravo of CANAL de ISABEL II Gestión

4.3 Other meetings / events / conferences that has assisted FELAB staff

Meetings or events you have attended in order to provide information, in appropriate cases, to the partners of AELI and EUROLAB-Spain.

Reference Conferences on Food Analysis.
Organized by AECOSAN and CNA in Majadahonda (Madrid). Attended by D. Feliciano Esono Abaga Biyie - Technical Secretary of FELAB 2016-06-07, 2016-06-08, 2016-06-09.

5.
Other activities of Technical Groups or networks

The following are the main issues to be discussed by the Sectoral Groups or Networks of Laboratories, which have not been mentioned in the previous sections or are considered to be of particular relevance:

5.1 Metrology network

A monthly news item is included in the EUROLAB-Spain Newsletter.

6.
Meetings with the Administration and other Organizations: allegations, meetings and technical documents

6.1 Allegations legislative projects

6.1.1 Allegations to legislative projects from AELI

ALLEGATIONS TO "PROJECT OF REAL DECREE THAT DEVELOPED THE LAW OF METROLOGY"

Allegations were sent directly to the General Secretariat of Industry of the Ministry of Industry, Energy and Tourism, as a result of the regime of incompatibilities that established for private operators, without that it would be applicable to the Centro Español de Metrología, for which sit the bases to become a great trader.

REQUEST FOR A HEARING PROCEDURE TO THE STATE COUNCIL IN RELATION TO THE "PROPOSED ROYAL DECREE DEVELOPING THE LAW DEMETROLOGY"

The hearing was requested to the Council of State in order that, if the allegations did not prosper through the Ministry, it was tried that via the Council of State were taken into account in the report that is mandatory before the Government approves a bill in the Council of Ministers.

FINALLY IN RELATION TO THE PROPOSED ROYAL DECREE THAT DEVELOPED THE LAW OF METROLOGY

- A meeting was held with the Director of the Spanish Metrology Center on 12 April 2016, at which the CEM Director informed us that all our concerns and allegations had been considered.

CONSIDERATIONS ON THE FUTURE TRANSPOSITION OF COMMISSION DIRECTIVE 2018/1787 OF 6 OCTOBER 2015 AMENDING ANNEXES II AND III OF COUNCIL DIRECTIVE 98/83 / EC ON THE QUALITY OF WATERS INTENDED FOR HUMAN CONSUMPTION IN PARTICULAR WITH THE ESTABLISHED AND IN PARTICULAR WITH THE ESTABLISHED IN PARAGRAPH 1 OF ANNEX III.

- The Ministry of Health, Social Services and Equality was informed by the industry's concern that ISO / IEC 17025 can be considered equivalent to ISO 9000, as both standards are not equivalent. In addition, it was also communicated that the laboratories carrying out the analytics affected by the aforementioned transposition should be accredited in the aforementioned analytics.

6.1.2. Allegations to legislative projects from FELAB.

ALLEGATIONS TO THE "PROPOSED ROYAL DECREE DEVELOPING THE LAW OF METROLOGY"

- FELAB reinforced the actions of AELI in this area.

COMMISSION DIRECTIVE 2018/1787 OF 6 OCTOBER 2015 AMENDING ANNEXES II AND III OF COUNCIL DIRECTIVE 98/83 / EC CONCERNING THE QUALITY OF WATER FOR HUMAN CONSUMPTION IN PARTICULAR WITH THE ESTABLISHED AND IN PARTICULAR WITH THE ESTABLISHED IN ANNEX 1 PARAGRAPH 1.

- FELAB reinforced the actions of AELI in this area.

6.2 Meetings with Administration and other Organizations

6.2.1 Meetings with Administration and other Organizations under AELI

AELI/AECOSAN - Spanish Agency of Consumption, Food Security and Nutrition - Ministry of Health, Social Services and Equality.

No meeting with AECOSAN during the year 2016.

AELI/AEMPS - Spanish Agency of Consumption, Food Security and Nutrition - Ministry of Health, Social Services and Equality.

No meeting with the AEMPS during the year 2016.

6.2.2 Meetings with Administration and other Organizations under FELAB

FELAB-AELI - Commission of Evaluation of Laboratories of Public Health of the Community of Madrid.

During the year 2016, no meeting of the Commission.

FELAB / ENAC (PERMANENT COMMITTEE):

- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2016-03-09.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2016-06-01.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2016-07-13.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2016-09-28.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2016-12-14.

FELAB / ENAC (BOARD OF DIRECTORS):

- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2016-06-01.
- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2016-09-28.
- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2016-12-14.

FELAB / ENAC (GENERAL ASSEMBLY):

- Ordinary General Assembly of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández.→ 2016-06-01.
- Ordinary General Assembly of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2016-12-14.

FELAB / ENAC:

Meeting track agreement ENAC-FELAN → 2016.06.25.

They attended by ENAC:

- Dña. Beatriz Ribera Romero (Directora General)
- D. Ignacio Pina Ledesma (Director Técnico)

and

- D. José Luis Borrego Nadal (Jefe del Departamento
- de Laboratorios y Certificación de Producto).

Attended by FELAB:

- D. Julio Hernández Pérez (Presidente de FELAB y Secretario de AELI).
- D. José Luis Sánchez Álvarez-Campana (Vocal JD de FELAB y Vicepresidente de EUROLAB-España).
- D. Manahén Fernández Alonso (Vocal JD de FELAB).

  and
- D. Miguel Sánchez Fernández (Gerente). and D. Miguel Sánchez Fernández (Gerente).

He apologized:

- D. Jorge Oliver-Rodés Sen, (Vocal JD de FELAB and President of AELI).
- D. Ramón Capellades Font (Vocal JD de FELAB y vocal JD de EUROLAB-España.
  and
- D. Javier Moles Gómez (Vicepresidente de FELAB y Presidente de EUROLAB-España).

In this meeting they were presented and delivered all comments from the members.

Also, among other things, monitoring of the technical documents on which they are working in groups of ENAC/FELAB work was addressed.

6.3 Technical documents that AELI / FELAB has collaborated with ENAC.

Collaboration with ENAC in the review of various ENAC documents has led to the following revisions:

CEA-ENAC-01 "Criteria for the use of the ENAC mark or reference to the accredited status (April 2016)".

CEA-ENAC-01 "Criteria for the use of the ENAC mark or reference to the accredited status (October 2016)".

G-ENAC-20 Rev. 1 Guide for selection and use of test kits by accredited laboratories (January 2017).

NT-70.03 Rev. 1 Accreditation Program: Gluten and food allergen trials (January 2017).

NT-70.03 Rev. 1 Accreditation Program: Gluten and food allergen trials (January 2017).

NT - 70.02 Rev. 1 Accreditation Program: Microbiological testing of food (January 2017).

NT - 70.01 Rev. 1 Accreditation Program: Essays for Nutrition Information (January 2017).

7.
Communication and broadcast: circulars, newsletters, websites and social networks

- Circulars: During this period more than 30 circulars with topics of interest have been sent to partners.

- Communication and dissemination: Newsletter AELI. During the year were edited with the AELI Newsletter bi-monthly.

- Communication and dissemination: Website of AELI

  Update data of AELI and continuation of the works of design and update web page.
  Incorporation of sponsorships on the website.
  Update activities.

- Communication and dissemination: Social Networks of AELI

- Presence on Twitter: AELI_

8.
Formation Plan

During the year 2016, the training plan was as follows: Summary training activities total 20.

9.
Inter-comparison

UILI - “10th Inter-Laboratory Practice 2016” Cation and Anions in Natural Water.

It was offered the opportunity to participate in the "10th Inter-Laboratory Practice" organized by UILI and coordinated by the Japanese Association of Laboratories - JEMCA (Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association), whose theme was Cations and Anions in Natural Water and Participating laboratories of the national associations of: Canada, Netherlands, France, Belgium, Portugal, Argentina, Spain and Japan.

UILI - “11th Inter-Laboratory Practice 2016” Fat, Acidity, Dry Matter, Protein, Ash, Content, pH in Milk.

Organized by UILI (Union Internationale des Laboratoires Indépendants, ILP Committee) and coordinated by RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal).

UILI - “12th Inter-Laboratory Practice 2016” Esterols, Erythrodiol+Uvaole, Wax, Acidity, Peroxide index, UV spectrophotometric test, Delta ECN 42 and Insoluble Impurities in Olive Oil.

Organized by UILI (Union Internationale des Laboratoires Indépendants, ILP Committee) and coordinated by RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal).

UILI - “13th Inter-Laboratory Practice 2016” Nutritional Labelling.

Organized by UILI (Union Internationale des Laboratoires Indépendants, ILP Committee) and coordinated by CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes).

FELAB – Line discount of 10% in inter-comparisons of IELAB.

After sponsorships made periodically by the IELAB company on the three associations web pages (AELI, FELAB and EUROLAB), there is a line of 10% discount on all the inter-comparisons organized by IELAB in 2015.

10.
Social policy of AELI / FELAB and his collaborators.

AELI/FELAB continues with the granting of scholarships in our training activities. The requirements that have been requested to obtain the above scholarships that they have consisted to attend some courses free of charge, have been the following:

- Be unemployed with the corresponding registration card in the INEM.

- Having a curriculum suitable to the requested training activity so well two premises could be. First, the use of the course by the scholarship and, secondly, not to distort the rhythm of work of others attending the course.

11.
Support for the business of the laboratories.

Several circulars were sent from AELI of requests for specific analytical users.

AELI offered small room meeting “free” at the Headquarters so that partners can conduct small meetings in their travel to Madrid.

12.
AELI representatives in UILI to 31/12/2016

AELI representatives in the Assembly and the Governing Council of UILI are:

Dr. D. Manahén FERNÁNDEZ ALONSO (AELI)
D. Jorge OLIVER-RODÉS SEN (President of AELI)

Note 1:
Up to September 18, 2015 UILI President was Dr. D. Manahén Fernández, from the aforementioned date is Past-President of UILI.
Note 2:
D. Jorge Oliver-Rodés is Vice President of UILI from September 18, 2015.

13.
The Board of AELI (31/12/2016)

The Board of Directors of AELI is composed of the following members:

PRESIDENT
D. Jorge OLIVER-RODÉS SEN (Lab. Dr. OLIVER RODÉS)
VICEPRESIDENT
D. Josep MESTRES LAGARRIGA (SILLIKER Ibérica)
TREASURER
D. Pedro MARTÍNEZ GONZÁLEZ (IPROMA)
SECRETARY
D. Julio HERNÁNDEZ PÉREZ (Lab. ECOSUR)
VOCALS
D. José Ángel GUERRA CUENCA (SGS TECNOS)
D. Javier MELÉNDEZ POLO (EUROFINS)
D. Salvador MUNUERA ÁLVAREZ (Lab. MUNUERA)
Dña. Blanca SAN VICENTE DE LA RIVA (LABAQUA)
D. Xavier RUIZ PEÑA (APPLUS)

14.
AELI partners.
At December 31, 2016, total associated is 22.

Portugal Country Report - Outlook & Activities 2017, August 2017

Authors: Ana Maria Duarte and Álvaro Ribeiro, 2017-08-19

資料P

RELACRE INSTITUTIONAL AND INTERNATIONAL ACTIVITIES

Institutional Activities

RELACRE ended the 25th anniversary celebration with a major event, the Symposium "Challenges of Innovation", held on the 9th of may 2017 (day of foundation of RELACRE in 1991), at LNEG Auditorium, in Alfragide.

This Symposium had the main objective of providing a talk place to the members and laboratories ro discuss topicsof interest considering today socio-economic context (namely, the 4th Industrial Revolution, BIG DATA: Application to Laboratories, Technological Interface Centers, Innovation and Development and New Challenges for management of technologies). The meeting was attended by about 140 participants and had 12 Sponsors. It also had some prominent speakers, including the former Portuguese Minister Luís Mira Amaral.

Opening Session:
- Álvaro Silva Ribeiro (RELACRE)
- Carlos Roseiro (LNEG)
- Jorge Portugal (COTEC)
- Jorge Marques dos Santos (IAPMEI)
- Ricardo Fernandes (IPQ)

Invited Speakers:
- Luis Mira Amaral (SPI – Portuguese Society for Innovation)
- Fernando Salido (ABBOTT)
- José Medina (ISQ)
- Carlos Pedro Ferreira (SONDAR)
- Ricardo Miguéis (ANI – Innovation National Agency)
- Gonçalo Rebelo de Andrade (HOVIONE Capital)
- Silvia Garcia (INCM)
- Afonso Alves (SIEMENS, S.A)
- Gabriele Dudek (BAM)
- Álvaro Ribeiro (EUROLAB / RELACRE)

4.2 – International Activities

On 2017-06-08, during the EFNDT General Assembly, RELACRE and ForumEND were elected to organize the 13th European Conference on Non-Destructive Testing (ECNDT 2022). You are all invited to participate in this big event for NDT Community.

Being this conference one of the largest in the area, which usually has around 2 000 participants and 800 exhibitors, this success fills us with pride and is undoubtedly remarkable for the Portuguese Non-Destructive Testing community.

5. RELACRE EVENTS

At a national level, and in the 1st half of the 2017, RELACRE organized 4 main events, related to different domains of interest of the Laboratories, in total attended by more than 250 participants:

- Information and discussion in Sessions concerning "*The Bio-contamination control in Laboratories*" Revision of ISO 17025 – Activity of the Laboratories Impact , 17 February 2017;
- Workshop "*The Application of the Standard ISO 11133:2014 - Microbiology of food, animal feed and water -- Preparation, production, storage and performance testing of culture media*", 6 April 2017;
- RELACRE Symposium ""Challenges of Innovation"- 9 may 2017 - 26th RELACRE Anniversary;
- Information and discussion in Sessions "*Management of Product and Services Suppliers in Laboratories*", 24 may 2017

6. RELACRE TRAINING ACTIVITIES

Training activities developed on the first half of the year, RELACRE developed 17 training actions, 399 training hours and had about 141 trainees.
Two new actions were also developed with theory & practice, involving the participation of about 35 persons. The topics were:

- Equipment and Systems qualification – References practices and Metrological aspects for Quality (8 hours)

- Uncertainty calculus – in Microbiology for Water and food (8 hours)

7. RELACRE PROFICIENCY TESTING ACTIVITIES

In the 1st half of 2017, RELACRE organized at national and international level 12 Proficiency Testing exercises in testing domain and 3 Proficiency Testing exercises in the calibration domain, being attended by 450 Participants.

- **Testing domain PT's:** drink water; waste water; sampling; In situ water testing - field Testing's for Labs and certified technicians - consume water; construction materials (soil, fine aggregate

and coarse aggregate and bituminous mixture); acoustic - building acoustics and colective equipment and, in cooperation with UILI in the 15th UILI Inter-Laboratory Practice 2017 – "Wine".

- **Calibration domain PT's:** electricity (clamp meter), dimensional (micrometer) and volume (micropipette).

8. RELACRE PERSONNEL CERTIFICATION ACTIVITIES

RELACRE continued to have a relevant activity in promoting the competence of human resources through the certification process, training and evaluating competence especially concerning consume water sampling technicians and Non-Destructive Testing (NDT) technicians.

In the end of July 2017, IPAC (Portuguese Accreditation Body) has issued a new accreditation annex to RELACRE - OCP in compliance with the standard NP EN ISO / IEC 17024: 2013.

9. RELACRE SECTORIAL COMMITTEES

Associative activities of RELACRE included the 3rd meeting of the Advisory Board, witth the participation of the several Coordinators of the RELACRE Sectorial Committees: Ambient and indoor air quality, Water, Clinical analyses and Human genetics, Food, Acoustic, Food, Metrology, NDT, Construction industry and Gas emissions.

RELACRE Working Group – Volume Metrology – will organize the "Workshop Good Practices for Calibrating and using Micropipettes", planned to take place on the 8 of November of 2017, at IPQ (Portuguese NMI and member of RELACRE).

資料Q

The analytical capacity of laboratories

Quality services for industries

BOGOTA, August 2017

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Origin

The Argentine Chamber of Independent, Bromatological, Environmental and Allied Laboratories - CALIBA, was established on October 21, 1994 as a non-profit civil association.

The House's purposes are:

- Nuclear independent laboratories dedicated to conducting bromatological, environmental and related analyzes, being understood by independent laboratories those who prove not to belong or have a dependency relation with the industrial and / or commercial companies that demand their services.
- Represent the specific sector before the public authorities, private institutions of the country and abroad, in any act or management that is necessary.

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

- Proponse to the hierarchy of the activity, ensuring compliance with commercial ethical standards, laws and regulations in force.
- Resolve in arbitration in any matter voluntarily submitted by its affiliates.
- Collaborate and provide adequate technical advice to the official bodies with competence in the activity of the Chamber, for the elaboration of norms of operation or dispositions in any of the commercial, labor or public aspects.
- To expand to new markets, to defend existing ones, to combat unfair competition, concentrating its effort on increasing the efficiency in the service provided by the partners laboratory numbers and in accordance with the legal provisions in force; Arbitrating the means to obtain from them their fulfillment.

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Benefits:
Participating in a business chamber has many different benefits, which can be grouped as follows:

From the guild-entrepreneur point of view:
- CALIBA carries out actions in the different public and private organizations that are of interest to the laboratories, which allows a strong positioning of the Chamber and therefore of its members in a particular way.

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

- Formulation, processing and monitoring of projects with subsidies for consulting services that help achieve ISO 17025 accreditation; With a reimbursement of up to 50% of the investment
- Training through a gubernamental Fiscal Credit Program that allows companies to recover by means of a Tax Certificate the investment in training their personnel. The extended certificate can be used for the payment of all taxes that are paid in AFIP such as VAT, Gains, Personal Property.
- Argentine Accreditation Body(Organismo Argentino de Acreditación) - OAA: Titular Member of the Board of Directors.
- National Registry of Chemical Precursors - RENPRE. Caliba provides the necessary assistance to carry out paperwork before this entity.

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

- The Chamber is associated with the Argentine Institute for Standardization and Certification (IRAM)(ISO representative in Argentina), which allows us to obtain a discount of up to 20% in the purchase of national and international standards, and participation in its committees
- A separate line requires the management that is being attempted, with the objective of signing a Collective Labor Agreement of the activity, which allows a better hierarchy of employees and a recognition of their knowledge and ability.
- Since October 2014 CALIBA is part of the International Union of Independent Laboratories – UILI

From the technical point of view:

Interlaboratory tests:

- Potentially contaminated surface waters (Effluents) 12 Editions
- Nutrition Labeling (Corn Flour) 9 editions
- HPLC techniques. 4 Editions

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

- Laboratory numbers participate in associated purchases of International Standard as the subscription to Standard Methods, USP and Food Chemical Codex
- Subscription to the Official Gazette of the Nation. All regulations related to: Environment, Food, Pharmacy, Waste, Fuels, etc. are sent free of charge.
- Publication of technical articles in Catlab to the laboratory numbers.
- Monthly electronic newsletter
- Training:
  - The management
  - Or Quality aspects
  - Or Environmental Sampler courses of environmental sample techniques
  - Or Virtual classroom for distance training

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Areas of work of the Steering Committee

- Foods
- Agrochemicals, Cosmetics and
- Pharmacy
- Laboratories Accreditation
- Environment aspects

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Services of the laboratories of CALIBA:

- Agro-food Studies
- Analysis for the Pharmaceutical and Cosmetic Industry
- Monitoring of external environment and work environment
- Analysis for the Mining, Petroleum and Fuel and Lubricants Industry
- Analysis for the Agrochemical and Fertilizer Industry
- Instrument calibration (mass, volume and temperature)
- Analysis of products of higienic products
- Analysis for the veterinary industry
- Safety testing in biomedical products
- Metals Analysis

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Analytical capacity installed in CALIBA

Human Capital:
In some cases analysts perform what we call pure chemistry, in the sense that the analyzes are almost manual, in others very sophisticated and complex equipment is used.
The staff required for this activity is highly qualified and permanent trained on a permanent basis.
Below is detailed the amount and specialties of the Human Capital of the Chamber

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

SPECIALTY AMOUNT	CANT
Graduates and / or Doctors in Chemical Sciences	46
PH D Biochemistry	25
Food Engineers	10
Chemical Engineers specialized in Hygiene	10
Chemical Engineers specialized in Quality Assurance (ISO and GLP)	8
Bachelor's Degree in Biology	9
Food Technology Graduates	17
Technicians: Chemicals, Electronics, Food, Biotechnology, Hygiene and Safety, Bioterios, etc.	145
Agronomists	2
Environmental engineers	2
Degree in Environmental Management	3
Pharmacists	1
Bachelor in Biotechnology	1
Hygiene and Safety Graduates	2
Industrial Engineer specialized in environment	1
veterinarians	1

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Technological Capital:

List of equipment of CALIBA Laboratories

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

TYPE OF EQUIPMENT	QUANTITY
Atomic Absorption Spectrophotometer - Flame Mode	13
Atomic absorption spectrophotometer - Electrothermal with autosampler	10
Atomic absorption spectrophotometer flame mode - Cold vapor	9
Microwave Sample Digester	1
Atomic absorption spectrophotometer flame mode - Hydride generator	10
Visible spectrophotometer associated with Flow Injection analysis	3
Spectrophotometer of atomic emission by spark	1
UV - Visible spectrophotometers	26
FTIR Spectrophotometer	2
Spectrophotometer RX Fluorescence	2
Atomic Emission Inductive Coupling Plasma (ICP / MS)	1
Mass Spectrometry Inductive Coupling Plasma (ICP / MS)	1
Karl Fischer volumetric titrators	1
Ion Chromatography	3
Gas Chromatography: - Detectors: Thermal Conductivity (TCD), Flame Ionization (FID), Electronic Capture (ECD), Flame Photometric (FPD), Alkaline Flame Ionization (NPD), Thermoionic (TID), Mass Selective), Photoionization Detector	41
CromatograGas Chromatography: - Detectors: ECO, Mass, NPD, Head Space, SPME	22
High Performance Liquid Chromatography (HPLC): - Detectors: UV, DAD, EQ, Refractive Index, Mass / Mass, Fluorescence	34

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

Quality assurance:

85% of the CALIBA laboratories have a quality system accredited to the OAA, according to ISO 17025 and / or certified according to ISO 9001. The remaining 15% is in the process of being implemented and then accredited.
These systems require an annual training plan in all their areas very rigorous, and in addition as the dynamics of the service makes the analytical techniques evolve, for which a permanent update is required.
In addition, the laboratories of our organization, are part of the SENASA official networks, (Ministry of Health and corresponding provincial states, and SENASA).

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

PRESIDENT:
DR. HORACIO DENARI

VICE PRESIDENT:
ING. MARIO ISMACH

SECRETARY:
ING. GONZALO SERRANO

TREASURER:
LIC. MARCELO FARRÁN

VOCAL HOLDER:
LIC. DIEGO RAPELA

VOCAL HOLDER:
LIC. LUIS IMPERIALE

ALTERNATE VOCAL:
DR. HERNAN FARES TAIE

ALTERNATE VOCAL:
LIC. LAURA LIVRAGHI

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

- ALIMENTARIA SAN MARTIN S.R.L.
- AMBIENTAL PEHUÉN S.A.
- BLB INGENIERIA INDUSTRIAL
- C.I.A.B.I.C.
- CENTRO DE ESTUDIOS INFECTOLÓGICOS S.A.
- CROMAQUIM S.R.L.
- DIAGNÓSTICO AMBIENTAL DIAMKO S.R.L.
- ECOTEC CONSULTORES S.A.
- FIX SUDAMERICANA S.A.
- GRUPO DE ESTUDIO DEL MEDIO AMBIENTE S.R.L.
- GRUPO INDUSER S.R.L.
- IDAC S.A.
- INDUS - LAB
- INDUSTRIA Y AMBIENTE S.A.
- INGENIERIA LABORAL Y AMBIENTAL S.A.
- INSTITUTO ANALÍTICO ESPECIALIZADO S.R.L.
- LABIC S.R.L.
- LABORATORIO BIOMÉDICO DR. RAPELA S.A.
- LABORATORIO BIOQUÍMICO MAR DEL PLATA S.A.
- LABORATORIO DR MIGUEL RÍOS
- LABORATORIO CIENTÍFICO Y AMBIENTAL S.A.
- LABORATORIO LANTOS
- LABTESA LABORATORIO TERMOIONICA S.A.
- LADIAC S.A.
- MICROQUIM S.A.
- PROANÁLISIS S.A.
- SERVICIOS ANALÍTICOS S.R.L.
- SGS ARGENTINA S.A.
- Si CONSULTORES S.R.L.
- WASSER SERVICIOS INDUSTRIALES S.A..

The analytical capacity of laboratories
Quality services for industries

THANK YOU VERY MUCH!

Dr. Horacio Denari - President

Av. De Mayo 981 2° Piso Oficina 220 – 1084- CABA
Teléphone: +54 11 5274-0444
E-mail: info@caliba.org.ar
Website: www.caliba.org.ar

資料R

Institute of Public Analysts of Nigeria (IPAN) country report presented at the 27th General Assembly of UILI held on Thursday August 24th, 2017 at the Sheraton Hotel, Bogota, Colombia

IPAN is a parastatal of the Federal Ministry of Health and has the responsibility of training, certifying and regulating the practice of Public Analysis in Nigeria.

The purpose of the establishment is to:

i. *Register persons as a member and designate members as* "Public Analyst" .The designated member *shall be eligible to practice the analysis of food, drugs, cosmetics, and medical devices*

ii. *Register members' laboratory for licensing by the appropriate authority.*

iii. *Ensure the testing certificate issued by a registered member using a register laboratory shall constitute a legal evidence.*

In fulfillment of the Institute's mandate, the Institute embarked on the following activities:

1. **Members Registration and Certification:**

   1.1 Continuous re-training of Public Analyst and Quality Control/ Assurance Managers to enhance the performance and competence of members and training of Student members as potential Public Analysts .

   1.2 In collaboration with UNIDO, the Institute has set up a Third party "Personnel Certification Body" in accordance with ISO /IEC 17024 to achieve National & International recognition of the Public Analysts Certificates. Completion of the process is expected in December 2017.

2. **Laboratory Registration /Accreditation:**

   2.1 IPAN has 30 Labs registered in UILI.

   2.2 Over 200 labs were registered in Nigeria with Nigerian Quality Infrastructure project NQIP

   2.3 Some IPAN members Laboratories were selected by UNIDO for Accreditation under the NQIP project.

2.4 Challenges : None of the Laboratories is ISO 17025 accreditation yet IPAN will need UILI support in achieving accreditation for some of its laboratories by 2018

3. **Test Data Acceptance** & Rejection of Export products :

3.1 To improve confidence in data generated by labs, member labs participated in the Interlaboratory Comparison program organized by UILI (2016 ten labs & 2017 ten labs). The labs also participated in three other Proficiency Tests (PTs) provided by other organizations such as FAO/NAFDAC on wheat, USP on Antimalarial drug, FAO on Animal feeds and one ring test on water was organized by the Institute for its member.

3.2 Collaboration with relevant government agencies and private organizations to address the issues of export product reject in order to improve export and export earnings especially in the area of agro-allied products

4. **Annual General Meeting**:

4.1 Members hold meetings twice a year (March & Nov) to discuss issues germane to the growth and development of the practice.

4.2 Other major challenges of the Institute's member are

4.2.1 procurement , maintenance and calibration of high precision analytical equipment & glassware

4.2.2 reference standards & reagents;

4.2.3 Technical training

4.2.4 Infrastructure including power supply.

We wish you a successful meeting

Presented by: Mary-Anne Adeeko FIPAN

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL U ORIES
UNIÓN INTERNATI NTES
МЕЖДУНАРОДН ИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

議事録原文

27th General Assembly of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

Thursday August 24th, 2017
Sheraton Hotel Bogota
Commencing at 14:00 hours

1. **Welcome**

   Drs Scholtis welcomed all the attendees.

2. **Roll call of members and apologies for absence**

   Drs Scholtis expressed apologies for absence from Drs van der Wart, Mr. Soers, Mr. Oliver Rodés, Mr. McIntee and Dr Oyediran.

3. **Approval of the agenda**

   After asking the members present whether there was any proposed change the agenda was approved.

4. **Review and approval of minutes of 26th General Assembly held in Buenos Aires in 2015**

   The minutes of the last General Assembly were approved by all the attendees.

5. **Matters arising from the previous General Assembly meeting not otherwise on the agenda**

   No other matters arising from the previous General Assembly.

6. **To receive the report of the 14th UILI President, Drs. Luc Scholtis**

   Drs Scholtis started thanking Mrs. Fernández for her work as secretary of UILI.

   Later he also expressed his gratitude to the Executive Committee which was created in Buenos Aires.

   He commented that a lot of important steps of improvement of UILI have been taken during the las two years.

   He commented that he felt that so far a lot of work is being done by the President and the secretary but there should be more most people involved in each one of different tasks in which UILI is involved: ILP, ISO, UNIDO…. He said that the ILP coordination, does not have to be done by

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
国際独立研究所連合

secretariat, as well as the external representation and also added that finances may be delegated to an accountant.

He highlighted the fact that UILI's voice is being listened to again in international forums such as ILAC and ~~or~~ ISO and more volunteers are needed for UILI external representations.

He added that UILI has applied to become a stakeholder of the Regional Accreditation Associations, such as IAAC, EA….IAAC has approved his application and UILI just become a member of this association and also UILI was accepted in EA, not as stakeholder but as…??? . It seems that the Accreditation associations does not want to have lab associations as stakeholder and something should be done about. We may build a stakeholders data base to get them on the table in, for instance, a global stakeholder conference.

Drs Scholtis also informed that Mrs. Fernández and he had a meeting at UNIDO's headquarters in Vienna and they concluded to provide them a strategic plan for Accreditation Bodies in developing countries but at the end UNIDO needs the help of experts and project leaders to solve their problems in accreditation and achieve their goals and that is where UILI can maybe collaborate with them. They also are very much interested in the ILP program and he added that may be UILI could accredit somehow to those labs who fulfill results in the ILP exercises.

7. To receive the report of the Hon Treasurer, Dr. Toru Matsumura

7.1. To receive the financial report as of December 31th, 2016 and projected December 31th, 2017

The reports of 2016 and 2017 were projected, revised and approved.

Melissa presented at the assistants the approved, actual and projected budgets for 2017 with a net positive result of around 4000 €.

Drs Scholtis said that the 5000 € projected for the ILP income could not be very real.

Dr Fernández said that in his opinion that amount was not going to vary considerably because they were already invoiced more than 3000 € and is pending the income from the 14th ILP from JEMCA.

Dr Matsumura said that they still do not know what will be the income for the 14th ILP.

7.2. **To receive the budget for 2018 and 2019 and to set the subscription rates for 2018 and 2019**

Drs Scholtis commented that the budget should stay more or less as it is now and try to keep a balanced budget that allows ILP assistance, international representation…

Dr Matsumura suggested to study it more thoroughly.

8. To elect the officers of the Governing Board as presented for election by the Governing Board to the 27th General Assembly

8.1.1. President

8.1.2. Vice-Presidents

8.1.3. Hon. Treasurer

8.1.4. Secretary General

Drs Scholtis said that after asking to the officers, all they would be willing to continue in office for the next term, so the Board for 2018-2019 continues with the current ~~actual~~ officers.

9. To nominate the unaffiliated ordinary members representatives

No new election has ~~being~~ taken place so far, so shall continue the actual representatives.

BEING 15:00 HRS. THE GENERAL ASSEMBLY CONTINUED INCORPORATING THE PARTICIPANTS IN THE ASOCOLAB CONGRESS

10. To receive the reports on UILI external representation by the Secretary General Mrs. Mary-Anne Adeeko, the Vice President Dr. Alvaro Silva Ribeiro and the Unaffiliated ordinary members representative Dr. Alfredo Montes Nino

10.1. ISO/CASCO

Mrs. Adeeko gave an excellent presentation about the revision of the 17025 and its future implementation in the accredited labs. This presentation is going to be available in the UILI web.

10.2. ISO/REMCO.

10.3. EUROLAB

10.4. ILAC

10.5. UNIDO

Drs. Scholtis gave a general explanation of these issues. More information can be obtained in the Board meeting minutes. Reports will be available in the web.

11. To receive the report from the ILP committee by the chairman Dr. T. Matsumura

No report was presented here. More information can be obtained in the Board meeting minutes.

12. To receive the reports from member associations

12.1. JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association) Japan Dr. Toru Matsumura

Report will be available in the web.

12.2. AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes) Spain Dr. Manahén Fernández Alonso

Report will be available in the web.

12.3. CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories) Canada Mr. Gib McIntee

Report will be available in the web.

12.4. RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal) Portugal Dr. Alvaro Silva Ribeiro

Report will be available in the web.

12.5. VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen) The Netherlands Drs. Hans van der Wart

Report will be available in the web.

12.6. CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos Ambientales y Afines) Argentina Dr. Horacio Denari.

Report will be available in the web.

12.7. IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria) Nigeria Mrs. Mary-Anne Adeeko

Report will be available in the web.

12.8. ASOCOLAB (Asociación Colombiana de Laboratorios) Colombia -Mr. Gabriel Fonseca.

Report will be available in the web.

13. Any other business properly approved by the president

No other business were treated.

14. Place and date for the 28th General Assembly to be held in Autumn 2019

It is decided that the next GA will be done in 2020 in Holland maybe jointly with EUROLAB and Fenelab.

15. Adjournment

Being 5:30 pm, 27th General Assembly was finished.

Action items:

- To build a stakeholders data base to get them on the table in, for instance, a global stakeholder conference.
- To receive the budgets for 2018-2019.

資料（和訳）：総会

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料 L

第27回 UILI総会

27th General Assembly of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

2017年8月24日(木)14:00開始
於・コロンビア、ホテル・シェラトン・ボゴタ

Thursday August 24th, 2017

Sheraton Hotel Bogota

Commencing at 14:00 AM

アジェンダ

AGENDA

1. Welcome 歓迎
2. Roll call of members and apologies for absence 出席者の確認と欠席のお詫び
3. Approval of the agenda アジェンダの承認
4. Review and approval of minutes of 26th General Assembly held in Buenos Aires in 2015
   2015年ブエノスアイレスにて開催された第26回総会議事録の承認
5. Matters arising from the previous General Assembly meeting not otherwise on the agenda
   前回総会からの懸案事項（アジェンダ外）
6. To receive the report of the 14th UILI President, Drs. Luc Scholtis
   第14代UILI会長ルーク・ショルティス博士からの報告
7. To receive the report of the Hon Treasurer, Dr. Toru Matsumura
   名誉財務担当松村徹博士からの報告
   7.1. To receive the financial report as of December 31th, 2016 and projected December 31th, 2017
   2016年12月31日実績報告と、2017年12月31日現在実績予測
   7.2. To receive the budget for 2018 and 2019 and to set the subscription rates for 2018 and 2019
   2018・2019年予算
8. To elect the officers of the Governing Board as presented for election by the Governing Board to the 27th General Assembly
   第27回UILI総会における役員改選
   8.1.1. President 会長
   8.1.2. Vice-Presidents 副会長
   8.1.3. Hon. Treasurer 名誉財務担当
   8.1.4. Secretary General 事務局長
9. To nominate the unaffiliated ordinary members representatives
   非協会会員代表の選出

10. To receive the reports on UILI external representation by the Secretary General Mrs. Mary-Anne Adeeko, the Vice President Dr. Alvaro Silva Ribeiro and the Unaffiliated ordinary members representative Dr. Alfredo Montes Nino

    10.1. ISO/CASCO
    10.2. ISO/REMCO
    10.3. EUROLAB
    10.4. ILAC
    10.5. UNIDO

事務局長マリアンヌ･アデコ氏、副会長アルバロ･シルバ･リベイロ博士、非協会会員代表アルフレド･モンテス･ニノ博士より、加入団体活動報告

11. To receive the report from the ILP committee by the chairman Dr. T. Matsumura
    松村徹委員長よりILP委員会活動報告
12. To receive the reports from member associations
    会員協会からの活動報告

    12.1. JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association) Japan Dr. Toru Matsumura
    JEMCA(日本環境測定分析協会)-日本-松村徹博士

    12.2. AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes) Spain Dr. Manahén Fernández Alonso
    AELI(スペイン独立試験所協会)-スペイン-ﾏﾅﾍﾝ･ﾌｪﾙﾅﾝﾃﾞｽ･ｱﾛﾝｿ博士

    12.3. CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories) Canada Mr. Gib McIntee
    CCIL(カナダ独立試験所協会)-カナダ-G･G･マケンティ氏

    12.4. RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal) Portugal Dr. Alvaro Silva Ribeiro
    RELACRE(ポルトガル認定試験所協会)-ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ-A･ｼﾙﾊﾞ･ﾘﾍﾞｲﾛ博士

    12.5. VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen) The Netherlands Drs. Hans van der Wart
    VRS(化学試験所諮問協会)-オランダ-J･H･Fファンデルワルト

    12.6. CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos Ambientales y Afines) Argentina Dr. Horacio Denari
    CALIBA(アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会)-ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ-ﾎﾗｼｵ･ﾃﾞﾅﾘ博士

    12.7. IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria) Nigeria Mrs. Mary-Anne Adeeko
    IPAN(ナイジェリア国家分析協会)-ナイジェリア-マリアンヌ･アデコ氏

    12.8. ASOCOLAB (Asociación Colombiana de Laboratorios) Colombia -Mr. Gabriel Fonseca.
    ASOCOLAB(コロンビア試験所協会)-コロンビア-ガブリエル・フォンセカ氏

13. Any other business properly approved by the president その他(会長承認)

14. Place and date for the 28th General Assembly to be held in Autumn 2019
    2019年秋季第28回総会予定

15. Adjournment 閉会

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPEN
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATO
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料M

Union Internationale des Laboratoires Indépendants
第 26 回総会
2015 年 9 月 17 日(木)
於・アルゼンチン・ブエノスアイレス、 Auditorio del IRAM
8:30 開始

1.0 会議開催通知の承認

フェルナンデス博士は、本総会の開催通知はウェブで公開、また、前回のニュースレターに掲載されていることを報告した。

2.0 出席者の確認

出席者:

役員:

マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士、会長

ルーク・ショルティス博士 – 事務局長

松村徹博士- UILI 財務担当

田畑彰久博士 – いであ、元会長田畑日出男博士の代理として

アルバロ・シルバ・リベイロ博士 – RELACRE 会長

ホラシオ・デナリ博士 - Caliba 会長

その他 UILI 会員:

ジョジアーヌ・オクタビアニ氏、PA LABORATORIO DE AGUAS de Brazil 社

アルフレド・モンテス・ニノ氏、MICROBIOTICOS GROUP 社長

ジョージ・アウベス博士、MICROBIÓTICOS Uruguay 社

アルゼンチン協会 CALIBA 会員数名

マルタ・サンチョ氏 - Caliba 事務局

フェルナンデス博士は出席者一同を歓迎し、アルゼンチン独立系試験所協会である CALIBA 会長のホラシオ・デナリ博士に代わり、ブエノスアイレス会議運営への協力にお礼を述べた。

次の議事に移った。

3.0 欠席のお詫び（あれば）

次の方々から欠席のお詫びがあった:

- 田畑日出男博士、元会長、IDEA 社、日本
- ギブ・マケンティ氏、副会長、CCIL、カナダ
- ジョルディ・オリバー・ロデス、AELI 会長、スペイン
- ハンス・ファン・デル・ワルト博士、VRS 会長、オランダ
- オインディラン博士、IPAN 会長、ナイジェリア
- マリアンヌ・アデコ氏、IPAN、ナイジェリア

更に、UILI 事務局メリッサから欠席のお詫びがあったことを述べた。

4.0 会員とゲストの紹介

フェルナンデス博士は出席者へ、自身の所属とともに自己紹介することを促した。

5.0 アジェンダの承認

フェルナンデス博士は、アジェンダは事務局より配信された旨を説明し、修正等意見の有無を確認した。

特に意見等はなく、アジェンダは承認された。

6.0 2013 年 11 月 29 日スペイン・バルセロナ開催の第 25 回総会の議事録の承認

フェルナンデス博士は、2013 年にバルセロナで開催された第 25 回総会の議事録は事務局より e メールにて配信済だが、特に修正等の意見は寄せられなかったと述べ、本日意見がないか確認した。

特に意見等はなく、議事録は承認された。

7.0 前回総会からの懸案事項

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

フェルナンデス博士は、2 年前バルセロナにて役員へ通知した件で、パリ会議において ACIL との論争について法の専門家への相談を検討することになっていたことに触れた。第 24 回総会で、マケンティ氏が ACIL の責任者に連絡をとって直接交渉することを提案したが、あいにくマケンティ氏は本日欠席しているため、経過を知ることができないと述べた。

8.0　第 13 代 UILI 会長 フェルナンデス・アロンソ博士からの報告

フェルナンデス会長は、自身がバルセロナ開催の総会で提案した UILI の戦略計画に係る、前回会議から本日までの活動報告に触れた。

過去 4 年間の会長在任中、ACIL 事務局によってもたらされた混乱から立て直すため様々なことに挑戦し成功を収めてきたと述べた。2012～2013 年の 1 期目では自身の前職での業務があり、また、前 UILI 事務局が UILI の成長につながる活動にあまり協力的でなかった 1 年であったのに対し、2014～2015 年の 2 期目では UILI のために多く時間を割くことができ、事務局メリッサとうまく連携をとれ、また、引き続き Labwing 社の協力によって UILI 運営管理に良い成果を出せたものと思っていると述べた。

CALIBA 事務所のインターネット環境に問題があったため、行動計画の概要報告は、メリッサが用意したプレジではなく、彼女が別途用意していた資料（スライド）を用いて発表された。2014 年および 2015 年の活動報告は次の通り。

会員:

1. 世界数千事業所が登録されている分析事業所のデータベースを作成した。

2. UILI の紹介と会員特典を英語とスペインで配信した。

3. 新規入会の報告。

- 3 協会:
    - RELACRE （ポルトガル） 2012/13
    - IPAN （ナイジェリア）
    - CALIBA （アルゼンチン）
- 5 非協会事業所:
    - EKOSMYRNA
    - NESTEC
    - FRALS TESTING
    - MICROBIÓTICOS URUGUAY
    - MICROBIÓTICOS PARAGUAY

- MICROBIÓTICOS BRASIL
- PA LABORATORIO DE AGUAS

財務:

- 収入:

1. UILI 会費により実収入が増加した

2. UILI は LABMEETING 行事への協賛金として収入があった

3. UILI は ILP による減益があった ⬇

4. 債券の利率が下がった ⬇

- 支出:

1. UILI は事務経費を削減した

2. UILI は役員会運営費を削減した

- 財務管理

1. UILI の正味残高が増加した

2. UILI は口座情報を最新のものに更新した

国際機関との活動:

1. EUROLAB との間で MOU が締結された

2. UILI 国際機関活動の機会が増えた

- UILI - EUROLAB MOU:
  - ISO 17025 改訂に係る共通意見
  - 世界の分析事業所のデータベース作成
- ISO / CASCO
  - ISO 17025 改訂に係る協会内 WG の設置
  - ジュネーブ開催の ISO WG44 へ UILI から 2 名の派遣
- ILAC
  - UILI は ILAC 会員、および LLC 委員を継続

内部組織:

1. UILI は非協会会員から役員の候補者を出す

2. 役員は UILI WG へ積極的に参加している

3. 17025、ILP、および UILI-EUROLAB WG が設置された

4. UILI は正式な本部事務所がない

UILI 内部組織:

1. ウェブサイト

2. ニュースレター

3. ワーキンググループ

4. ILP

5. LABMEETING

[プレジによる報告はこちらへ](https://prezi.com/njknoa3c8ih2/prezi-results-201415-term/)
https://prezi.com/njknoa3c8ih2/prezi-results-201415-term/

9.0 名誉財務担当松村徹博士からの報告

名誉財務担当松村博士からの報告によると、2014 年の財務諸表は監査を受け、問題は見つからなかったとのこと。

次いで、以下、会長より財務報告があった。:

9.1 2013 年 12 月 31 日現在、および 2014 年 12 月 31 日現在の報告

UILI 2013- 2014 Budget (FINAL).xls

9.2 2016・2017 年予算および 2016・2017 年会費設定

5 - UILI 2016-17 MODIFIED.xls

予算は提議、承認された。

2016・2017 年会費については議論が行われなかった。

10.0 事務局長ルーク・ショルティス博士からの報告

事務局長ルーク・ショルティス博士は、2014-2015 年の自身の活動報告を発表した。発表資料は UILI ウェブに掲載したとのこと。

フェルナンデス博士はショルティス博士へ、活動へのお礼と、会長業務へのサポートにお礼を述べた。

11.0 UILI 役員会での非協会会員代表選出の報告

非協会会員について、フェルナンデス博士は 2 名候補を挙げて全非協会会員へ配信し投票を受け付けていると述べた。いくつかの事業所から回答があり、役員会の決定に従うとの内容だった。

フェルナンデス博士は、前日の役員会議で本件について議論し、総会にて規約の変更を提議、承認を得、非協会会員代表について異なる地域からもう 1 名選出することを可能にしたい考えであることを述べた。それからショルティス博士から本総会にて承認を得るための規約の改訂案を説明するよう促した。

ショルティス博士は規約条項 5.6 を挙げ、非協会会員代表に関する記述を読み上げ、「条項 5.6 役員会は、協会会員から最低 1 名と、正会員の代表 1 名で構成される」とある個所について、役員からの改訂案で「条項 5.6 役員会は、協会会員から最低 1 名と、正会員の代表 2 名で構成される」と述べた。

ショルティス博士は本件を提議し、総会出席者一同これを承認した。

承認を得た後、フェルナンデス博士は、役員会で選出された代表 2 名について以下の通り発表した。:

- ヤン・ソレス氏 – GEOS、ベルギー
- アルフレド・モンテス・ニノ博士 – Microbióticos Group, Brazil, Paraguay and Uruguay

総会において規約の改訂案が承認され、候補者 2 名の選出が認められた。

12.0 第 25【訂正：26】回総会へ提議の新役員案

フェルナンデス会長は新役員案を提案した。:

- 会長: ルーク・ショルティス博士（VRS、オランダ）
- 前会長: マナヘン・フェルナンデス（Ecosur、スペイン）
- 副会長: アルバロ・シルバ・リベイロ博士（RELACRE、ポルトガル）、ジョルディ・オリバー・ロデス氏（AELI、スペイン）
- 事務局長: マリアンヌ・アデコ氏（IPAN、ナイジェリア）
- 財務担当: 松村徹博士（JEMCA、日本）

これに反対意見はなく、提議、指示され、出席者により承認された。

フェルナンデス博士は新会長を始め新役員の就任を祝した。

新任の会長、ショルティス博士は今回就任にあたり協力していただけたことへのお礼と、組織運営の改善に尽くす準備ができていること、UILI は更なる成長に向け正しい方向性を持っていること、UILI は現在の試験所業界の維持に努めること、会員に向けたサービス向上に努めることを挙げ、サービス向上に関して本日開催されるシンポジウムで考えを発表したいと述べた。

更にショルティス博士は役員に対し、会長を含めまだ誰とも話していない件についてアジェンダに追加したく、その許可を求めた。内容は、フェルナンデス博士の会長在職中の数年間で彼は大変良く務め、組織の印象させも変えたその功績に、事務局長として、次回総会にて名誉会員の称号を与えることを提案し、これを総会に提議した。

提議は動議され、承認された。

フェルナンデス博士はショルティス博士と出席者へ、UILI 会長を務めたことから大変な栄誉であったが、今回の更なる栄誉に、感謝を述べた。続けて、過去 24 年 UILI に携わって感じたのは、UILI や AELI のような試験所協会に係ることが自身の試験所ビジネスに価値を与え、日頃から感じるのは協会活動から試験所経営を学ぶことが多かった、また、多くの大切な友人を得ることができたと述べた。また、国際機関が我々試験所に対し活動ルールを決めている今日のグローバル社会で、協会はこれまで以上に経済界をこれら勢力から守る立場を強め、会長在職中はその役割を果たすのに努めたと述べた。

13.0 加入協会活動報告

13.1 UILI-ILAC/IAF の UILI 代表松村徹博士からの報告
13.2 UILI-ISO/CASCO の UILI 代表ギブ・マケンティ氏からの報告

13.3 UILI-Eurolab ワーキンググループの UILI 代表アルバロ・シルバ博士から UILI-Eurolab MOU に係る報告
フェルナンデス博士は、受け取った文書類については本日の配布資料には入れていないが、ウェブに掲載予定であると述べた。明日以降、ワーキンググループを開くので、興味のある会員は出席を歓迎することを加えた。

13.4. ISO 17025 ワーキンググループ UILI 代表マリアンヌ・アデコ氏からの報告（Skype による参加）

フェルナンデス博士は、マリアンヌ・アデコ氏が UILI からの登録代表であることと、会議には出席していないが Skype にて報告を行うことが説明された。その後 Skype が接続されたマリアンヌによる報告がなされた。:

UILI ISO 17025UILI 内ワーキンググループは UILI 役員により設置され、協会試験所の意見を集め、EUROLAB 内ワーキンググループと協働し、ISO/CASCO ISO 17025 改訂の会議において可能な限り共通の意見を持つようにしている。

ワーキンググループの会員:
マリアンヌ・アデコ氏（FRALS 社、ナイジェリア） – コーディネーター
アルバロ・シルバ・リベイロ博士（RELACRE 会長、ポルトガル）
松村徹博士（JEMCA、日本）
ルーク・ショルティス博士 — 事務局長
ジョルディ・オリバー・ロデス氏　AELI 会長
ハンス・ファン・デル・ワルト博士 — VRS 会長
および、
ISO/CASCO 17025 改訂会議への UILI 代表:
ギルバート・マケンティ（カナダ） WG44 における UILI 代表
八十島光子博士（JEMCA、日本） WG44 における UILI 代表
メリッサ・M・フェルナンデス・バレロ氏（UILI 事務局）

UILI のメリット：ISO/CASCO ISO17025 改訂会議に出席の UILI 代表は EUROLAB WG と協働して協会の声を届け、ISO/CASCO は UILI の活動への寄与を認識する。
この協力関係は、UILI が将来健全であるために重要で、すべての国際協会の会議において UILI の名前が明確に認識されることになる。

UILI 内ワーキンググループの活動：会議は Skype で行われ、ISO/CASCO WG44 の活動報告がなされ、本 WG への出席者へ UILI からの意見が託された。UILI 内ワーキンググループは EUROLAB 17025 WG と密に連絡をとっており、必要に応じて合同会議が開催されている。

前回 WG44 における UILI の活動は添付資料 1 に記載した。添付資料 2 はそのタイトルは ISO CASCO WG44 への参加と事業計画で、そこには改訂や活動の詳細と UILI の参加の様子が記されている。

今後の活動：ISO CASCO WG44 は委員会原案（CD）を 9 月 18 日までに発行し、全ステークホルダーからの意見を募集する。意見の募集期間は恐らく 4 週間で、UILI は CD を確認し、とりまとめた意見を UILI 事務局へ提出する。注目している個所は条項 7.1.2 のサンプリングで、分析機器や標準物質の共同利用の考え方についてである。その他の分野については別途 WG44 への代表参加者より説明がある。

お礼：フェルナンデス博士および役員へ UILI 内 WG で務める機会をいただけたことに、EUROLAB のイラチェ・ヴィジアス氏、ピーター・ブリンクスビアウ氏、キャロル・スチュワート氏へ UILI 内 WG への協力に感謝の気持ちを述べた、更には、メイッサ・M・フェルナンデス氏をはじめ、UILI 内 WG の全会員に対し、WG の成功の向けての協力にお礼を述べた。

次回会議：2015 年 10 月 15 日が提案された。詳細は追って事務局から通知される。

ここで、ショルティス博士から、役員からのマリアンヌへの事務局長就任案に対し、総会が承認したことが伝えられ、就任への意思が確認された。彼女は感謝を述べ、自身で予期していなかった提案に深く感謝し、これを承知した。

14.0 委員長松村徹博士から、ILP 委員会報告

1.1 第 8 回 UILI-ILP 報告

1.2 第 9 回 UILI-ILP 経過報告

フェルナンデス博士は、本日は時間に限りがあるため、発表できないがウェブ内容はウェブに掲載されると述べた。また、次いで CALIB 事務所で ILP ワーキンググループを行うので、出席を歓迎すると述べた。

15.0 会員協会からの報告

1.3 JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association/一般社団法人日本環境測定分析協会) - 日本 – 松村徹博士

1.4 AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes/スペイン独立試験所協会) – スペイン – J・オリバー・ロデス氏

1.5 CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories/カナダ独立試験所協会) – カナダ - G.G.マケンティ

1.6 RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal/ポルトガル認定試験所協会) – ポルトガル – A. シルバ・リベリオ博士

1.7 VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen/化学試験所諮問協会) –オランダ - J.H.F. ファン・デル・ワルト博士

1.8 CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos, Ambientales y Afines / アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会) – アルゼンチン – ホラシオ・デナリ博士

1.9 IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria/ナイジェリア国家分析協会) – ナイジェリア - フェミ・オインディラン博士

フェルナンデス博士は、当議事は内容が多いため発表資料は配布資料には含めておらず、ウェブに掲載すると述べた。また、LABMEETING の発表資料として配布されているものもあるが、時間に限りがあるため当総会で発表することは控え、特に関心のある方はウェブサイトよりプレゼン資料全文をダウンロードすることを勧めた。

16.0 その他（会長承認）

その他、議事の追加意見はなかった。

17.0 2017 年秋開催の第 27 回総会予定

次回総会は、2017 年 9 月 15 日(金)にオランダにて開催予定。会場は会長が決定予定。

18.0　会長交代

フェルナンデス博士は再度新会長の就任を祝し、ここで正式に会長の権限を移行するが、ブエノスアイレス会議の残りの行程を主催者としての責任もあるため事務方を務めることの許可を申し出た。

ショルティス博士は、フェルナンデス博士が本日の残りの時間について会長を務めることを承認した。

18.0　閉会

フェルナンデス博士は参加者へ出席のお礼を述べ、会長は 10：09 に会議を閉会した。

資料N

目　次

1. JEMCA 活動報告

1.1. JEMCA 技能試験の概要

1.2. 環境測定分析士の認定制度について

1.2.1. 2014 度 3 級試験の結果(全国一斉試験及び分析実務研修に伴う試験)

1.2.2. 2014 年度初級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.3. 2014 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.4. 2014 年度上級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.5. 2015 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.6. 2015 年度初級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.7. 2015 年度 2 級試験(全国一斉試験)

1.2.8. 2015 年度 1 級試験(全国一斉試験)

1.2.9. 2016 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.10. 2016 年度初級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.11. 2016 年度 2 級試験(全国一斉試験)

1.2.12. 2016 年度上級試験(全国一斉試験)

1.2.13. 2017 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.14. 2017 年度初級試験の結果(全国一斉試験)

1.2.15. 2017 年度 2 級試験(全国一斉試験：実施中)

1.2.16. 2017 年度上級試験(全国一斉試験：実施中)

1.2.17. 環境測定分析士試験の実施状況一覧表

1.3. 研修会等実施状況

1.3.1. 平成 26 年度の研修会等実施状況

1.3.2. 平成 27 年度の研修会等実施状況

1.3.3. 平成 28 年度の研修会等実施状況

2. 2006 年第 1 回 UILI-ILP の実施概要

3. 2007 年第 2 回 UILI-ILP の実施概要

4. 2008 年第 3 回 UILI-ILP の実施概要

5. 2009 年第 4 回 UILI-ILP の実施概要

6. 2010 年第 5 回 UILI-ILP の実施概要

7. 2011 年第 6 回 UILI-ILP の実施概要

8. 2012 年第 7 回 UILI-ILP の実施概要

9. 2014 年第 8 回 UILI-ILP の実施概要

10. 2015 年第 9 回 UILI-ILP の実施概要

11. 2016 年第 10 回 UILI-ILP の実施概要

12. 2017 年第 14 回 UILI-ILP の実施概要

1. JEMCA の活動報告

1.1　JEMCA 技能試験の概要

(1) 1999 年に技能試験の提供を開始し、現在、日環-88 を実施中である。

(2) 2006 年より、日環協として技能試験の提供を開始した。

(3) 2011 年より、日本分析化学会と共同提供を解消し、単独での提供を開始した。

(4)詳細については、添付資料を参照のこと。

1.2　環境測定分析士の認定制度について

1.2.1　2014 年度 3 級試験の結果

(2014 年 6 月 15 日実施)

(1) 受験者数　258　名

(2) 合格者数　166　名

(3) 合格率　64.3 %

①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題。

1.2.2　2014 年度初級試験の結果(2014 年 6 月 15 日実施)

(1) 受験者数　54　名

(2) 合格者数　36　名

(3) 合格率　66.7 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題。

1.2.3　2014 年度 2 級試験の結果

(2014 年 10 月 12 日筆記試験及び実技試験)

(2015 年 1 月 11 日電話ヒヤリング試験)

(1) 受験者数　17　名

(2) 合格者数　12　名

(3) 合格率　70.6 %

①化学分析の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問)

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.4　2014 年度上級試験の結果

(2014 年 10 月 12 日筆記試験)

(2015 年 1 月 25 日実技試験及び面接試験)

(1) 受験者数　7　名

(2) 合格者数　4　名

(3) 合格率　57.1 %

①騒音・振動の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問

②実技試験

③面接試験

1.2.5　2015 年度 3 級試験の結果

(2015 年 6 月 21 日実施)

(1) 受験者数　　393　名

(2) 合格者数　　264　名

(3) 合格率　　67.2 %

①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題。

1.2.6　2015 年度初級試験の結果(2015 年 6 月 21 日実施)

(1) 受験者数　　60　名

(2) 合格者数　　38　名

(3) 合格率　　63.3 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題。

1.2.7　2015 年度 2 級試験

(2015 年 10 月 14 日筆記試験及び実技試験)

(2016 年 1 月 24 日電話ヒヤリング試験)

(1) 受験者数　　23　名

(2) 合格者数　　19　名

(3) 合格率　　82.6 %

①化学分析の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問)

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.8　2015 年度 1 級試験

(2015 年 10 月 14 日筆記試験)

(2016 年 1 月 24 日面接試験)

(1) 受験者数　　5　名

(2) 合格者数　　3　名

(3) 合格率　　60.0 %

①化学分析の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問

②実技試験

③面接試験

1.2.9　2016 年度 3 級試験の結果

(2016 年 6 月 19 日実施)

(1) 受験者数　　292　名

(2) 合格者数　　184　名

(3) 合格率　　63.0 %

①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題

1.2.10　2016 年度初級試験の結果

(2016 年 6 月 19 日実施)

(1) 受験者数　　44　名

(2) 合格者数　　32　名

(3) 合格率　　72.7 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題

1.2.11　2016 年度 2 級試験の結果

(2016 年 10 月 16 日筆記試験及び実技試験)

(2017 年 1 月 22 日電話ヒヤリング試験)

(1) 受験者数　　17　名

(2) 合格者数　　11　名

(3) 合格率　　64.7 %

①化学分析の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問)

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.12　2016 年度上級試験の結果

(2016 年 10 月 16 日筆記試験)

(2017 年 2 月 5 日実技試験及び面接試験)

(1) 受験者数　　3　名

(2) 合格者数　　2　名

(3) 合格率　　66.7 %

①騒音・振動の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問

②実技試験

③面接試験

1.2.13　2017 年度 3 級試験の結果

(2017 年 6 月 18 日実施)

(1) 受験者数　　346　名

(2) 合格者数　　223　名

(3) 合格率　　64.5 %

①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題。

1.2.14　2017 年度初級試験の結果

(2017 年 6 月 18 日実施)

(1) 受験者数　　40　名

(2) 合格者数　　29　名

(3) 合格率　　72.5 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で 4 択問題。

1.2.15　2017 年度 2 級試験（実施中）

(2017 年 10 月 15 日筆記試験及び実技試験)

(2018 年 1 月 21 日電話ヒヤリング試験)

①化学分析の知識に関する 4 択問題 20 問及び記述問題 4 問)

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.16　2017 年度 1 級試験（実施中）

(2017 年 10 月 15 日筆記試験及び実技試験)

(2018 年 1 月 21 日面接試験)

①化学分析の知識に関する記述問題 4 問

②実技試験

③面接試験

1.2.17　環境測定分析士試験の実施状況一覧表

①2006 年度～2017 年度間(12 年間)の応募者数、受験者数、合格者数、合格率等を一覧表にまとめた(但し、2017 年 8 月 18 日現在とする)。

環境測定分析士試験の実施状況一覧表最新版

平成 29 年 8 月 18 日 修正

	2006年度実績	2007年度実績	2008年度実績	2009年度実績	2010年度実績	2011年度実績	2012年度実績	2013年度実績	2014年度実績	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績	合計実績
3 級試験													
応募者数	1,483	570	548	393	416	339	255	243	284	401	303	359	5625
受験者数	1,396	538	520	360	391	324	243	232	276	393	292	346	5342
合格者数	592	317	272	222	236	198	163	158	179	264	184	223	3031
合格率%	42.4	58.9	52.3	61.7	60.4	61.1	67.1	68.1	64.9	67.2	63.0	64.5	56.7
2 級試験													
応募者数	415	258	61	45	51	17	18	13	17	24	17		936
受験者数	409	244	60	42	49	15	17	11	17	23	17	実施中	904
合格者数	201	144	38	23	29	10	13	7	12	19	11		507
合格率%	49.1	59.0	63.3	54.8	59.2	66.7	76.5	63.6	70.6	82.6	64.7		56.1
1 級試験													
応募者数			57	15		8		5		5			90
受験者数	未実施	未実施	55	13	未実施	8	未実施	5	未実施	5	未実施	実施中	86
合格者数			19	8		3		3		3			36
合格率%			34.5	61.5		37.5		60.0		60.0			41.9
初級試験													
応募者数			106	145	111	77	75	45	56	63	46	44	768
受験者数	未実施	未実施	97	134	107	71	68	41	54	60	44	40	716
合格者数			53	88	59	43	45	25	36	38	32	29	448
合格率%			54.6	65.7	55.1	60.6	66.2	61.0	66.7	63.3	72.7	72.5	62.6
上級試験													
応募者数						19	8		7		3		37
受験者数	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	16	6	未実施	7	未実施	3	未実施	32
合格者数						11	4		4		2		21
合格率%						68.8	66.7		57.1		66.7		65.6
合　　計													
応募者数	1,898	828	772	598	578	460	356	337	364	464	369	403	7456
受験者数	1,805	782	732	549	547	434	334	320	354	453	356	386	7080
合格者数	793	461	382	341	324	265	225	216	231	302	229	252	4043
合格率%	43.9	59.0	52.2	62.1	59.2	61.1	67.4	67.5	65.3	66.7	64.3	65.3	57.1

1.3 研修会等実施状況

1.3.1 平成 26 年度の研修会等実施状況

研修会等	開 催 日	当初予定 受講者数	受講者数
環境計量士ＣＰＤ研修会	平成 26 年 6 月 13 日（金）	20 名	37 名
分析実務者研修会			
第 1 回	平成 26 年 6 月 26 日（木）～27 日（金）	12 名	16 名
第 2 回	平成 26 年 7 月 17 日（木）～18 日（金）	12 名	12 名
第 3 回	平成 26 年 9 月 11 日（木）～12 日（金）	12 名	9 名
アスベスト繊維計数技能向上プログラム（位相差顕微鏡法）	Round1：平成 26 年 7 月 15 日（火）～ Round2：平成 26 年 11 月 10 日（月）～	S1：40 名 S2：30 名	S1：39 名 S2：30 名
偏光顕微鏡実技研修			
第 1 回（建材コース）	平成 26 年 6 月 4 日(水)～ 6 月 5 日(木)	16 名	16 名
第 2 回（建材コース）	平成 26 年 10 月 1 日(水)～10 月 2 日(木)	16 名	16 名
第 3 回（建材コース）	平成 26 年 12 月 3 日(水)～12 月 4 日(木)	16 名	16 名
第 4 回（建材コース）	平成 27 年 2 月 3 日(火)～ 2 月 4 日(水)	16 名	14 名
第 1 回（大気コース）	平成 26 年 6 月 6 日(金)	12 名	12 名
第 2 回（大気コース）	平成 26 年 10 月 3 日(金)	12 名	12 名
第 3 回（大気コース）	平成 26 年 12 月 5 日(金)	12 名	12 名
大気 1 日コース（3 回）	平成 26 年 7 月 30 日(水)～8 月 1 日(金)	36 名	23 名
計量管理講習会	平成 26 年 12 月 5 日（金）	50 名	71 名

技能試験	試料の配付月	当初予定参加者数	参加組数
日環－72「水中の金属分析」	平成26年 6月	400	388
日環－73「水中の富栄養化成分分析」	平成26年 9月	400	383
日環－74「水中の陰イオン分析」	平成26年10月	400	419
日環－75「水中の生活環境項目試験」	平成26年12月	400	397
日環－76「水中の残留農薬分析」	平成27年 2月	250	309

ＳＥＬＦ	分析項目	当初予定参加者数	参加者数
第 119 回（5 月配付）	カドミウム	400	312
第 120 回（8 月配付）	セレン		314
第 121 回（11 月配付）	全シアン		314
第 122 回（2 月配付）	六価クロム		320

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	土壌	平成26年8月	67 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油	平成26年10月	96 事業所

1.3.2 平成 27 年度の研修会等実施状況

研修会等	開 催 日	予定数	参加数
分析実務研修会			
第 1 回	平成 27 年 6 月 18 日（木）～19 日（金）	12 名	18 名
第 2 回	平成 27 年 7 月 30 日（木）～31 日（金）	12 名	16 名
第 3 回	平成 27 年 9 月 10 日（木）～11 日（金）	12 名	12 名
アスベスト繊維計数技能向上プログラム（PCM/PLM 法）	平成 27 年 9 月 24 日（木）～	50 名	33 名
偏光顕微鏡実技研修			
第 1 回（建材コース）	平成 27 年 6 月 2 日（火）～ 3 日（水）	16 名	16 名
第 2 回（建材コース）	平成 27 年 12 月 3 日（水）～ 4 日（木）	16 名	16 名
第 1 回（大気コース）	平成 27 年 6 月 4 日（木）	8 名	16 名
第 2 回（大気コース）	平成 27 年 6 月 5 日（金）	12 名	3 名
第 1 回（建材ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾞｺｰｽ）	平成 27 年 10 月 6 日（火）～ 7 日（水）	16 名	16 名
第 2 回（建材ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾞｺｰｽ）	平成 27 年 12 月 1 日（火）～ 2 日（水）	16 名	18 名
アスベスト技能試験			
JIS A 1481-1(技術者)	平成 27 年 8 月 4 日～7 日	―	44 名
JIS A 1481-1(試験所)	平成 27 年 12 月 1 日～17 日		41 試験所
位相差／繊維計数(試験所)	平成 27 年 8 月～		45 試験所
計量管理講習会	平成 27 年 6 月 12 日（金）	60 名	96 名

技能試験	試料配付	予定組数	参加組数
日環－77：水中の富栄養化成分分析	平成27年 6月	400	407
日環－78：水中の陰イオン分析	平成27年 7月	400	423
日環－79:水中のほう素及び金属分析	平成27年 9月	400	446
日環－80：水中の生活環境項目試験	平成27年11月	400	402
日環－81：排ガス中の成分分析	平成28年 2月	230	249

ＳＥＬＦ	分析項目	予定数	参加者数
第 123 回（5 月配付）	TOC	300	280
第 124 回（8 月配付）	鉛		296
第 125 回（11 月配付）	ふっ素		296
第 126 回（2 月配付）	1,4-ジオキサン		281

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	模擬排水	平成27年7月	54 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油	平成27年10月	99 事業所
ＭＬＡＰ技能試験	土 壌	平成27年5月	94 事業所

1.3.3 平成 28 年度の研修会等実施状況

研修会等	開 催 日	予定数	参加数
分析実務研修会			
第 1 回	平成28年 6月 9日(木)～10日(金)	12 名	14 名
第 2 回	平成27年 7月30日(木)～31日(金)	12 名	19 名
アスベスト繊維計数技能向上プログラム（PCM/PLM 法）	平成28年10月24日(月)～11月22日(火)（試料配付・検鏡期間）	50 名	23 名
偏光顕微鏡実技研修			
建材定性コース（第 1 回）	平成28年 6月 1日(水)～ 2日(木)	16 名	16 名
（第 2 回）	平成29年 1月19日(木)～20日(金)	16 名	17 名
建材定量コース（第 1 回）	平成28年 8月 3日(水)～ 4日(木)	16 名	16 名
（第 2 回）	平成28年12月 8日(木)～ 9日(金)	16 名	12 名
大気コース	平成28年 6月 3日(金)	16 名	14 名
建材定性ｴｷｽﾊﾟｰﾄｺｰｽ			
（第 1 回）	平成28年 8月 2日(火)	16 名	15 名
（第 2 回）	平成28年12月 7日(水)	12 名	5 名
トレーナー研修	平成28年 6月28日(火)～7月1日(金)	12 名	8 名
アスベスト技能試験			
JIS A 1481-1(技術者)	平成 28 年 9 月 13 日～15 日	—	39 名
JIS A 1481-1(試験所)	平成 28 年 10 月 18 日～		38 試験所
位相差／繊維計数(試験所)	平成 28 年 11 月～		39 試験所
計量管理講習会			
騒音・振動	平成28年 6月17日(金)	80 名	66 名
濃度	平成28年 7月15日(金)	80 名	79 名

技能試験	試料配付	予定組数	参加組数
日環-82：水中の富栄養化成分分析	平成28年 6月	410	427
日環-83：水中のほう素及び金属分析	平成28年 7月	410	443
日環-84：水中の陰イオン分析	平成28年 9月	400	418
日環-85：土壌汚染対策法における重金属の含有量試験	平成28年11月	350	323
日環-86：水中の揮発性成分分析	平成29年 1月	350	379

ＳＥＬＦ	分析項目	予定数	参加者数
第 127 回（ 5 月配付）	全蒸発残留物	300	309
第 128 回（ 8 月配付）	亜硝酸性窒素		311
第 129 回（11 月配付）	亜鉛		314
第 130 回（ 2 月配付）	カルシウム・マグネシウム		308

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	ばいじん	平成28年7月	58 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油	平成28年10月	91 事業所

2. 2006 年第 1 回 UILI-ILP の実施概要

2006 年　UILI 国際技能試験報告書(ILP)の概要

☆2006 年 9 月に開催された UILI 国際技能試験会議で、報告書のプログラムのタイトルとして、“Inter Laboratory Practice”略称“ILP”が承認された。

(1)実施機関　主催者　UILI

共催者　JEMCA、ACIL、CCIL、AELI、VRS

(2)識別　粉体中の重金属の技能試験

(3)試験項目　全クロム、全鉛、全ニッケル、全亜鉛、全水銀

(4)試験方法　粉体中の全濃度測定

(5)参加状況　参加試験所数　237　試験所

報告試験所数　188～223　試験所

(6)主な内容　① 測定値の Z スコア

② Z スコアの昇順バーチャート

③ 複合評価図

3. 2007 年第 2 回 UILI-ILP の実施概要

(1)識別　粉体中の PAHs 及び金属の分析

(2)試験項目　金属類 8 項目、PAHs 12 項目

(3)予定より遅れたが、4 月 7 日に試料の配付を完了した。

(4)分析値の報告期限を 5 月 31 日とした。

(5)参加状況　参加試験所数　122　試験所

報告試験所数　117　試験所

(6)提出された分析値を整理して、UILI 事務局に報告した。

(7)日本については、日本だけのデータで速報版を作成し、2008 年 10 月に参加試験所に仮報告書として送付した。

(8)日本については、外国のデータを追加した正式報告書に参加証を添付して 2009 年 2 月に試験所に送付した。

(9) 日本以外の試験所(アメリカ、カナダ)についても、参加証を送付した。

4. 2008 年第 3 回 UILI-ILP の実施概要

(1)識別　粉体中の POPs 及び金属の分析

(2)試験項目　POPs 22 項目、金属類 8 項目

(3)日本については、2009 年 7 月に第 3 回 UILI 国際技能試験報告書日本版(速報版)

を作成、印刷して参加試験所に配付した。

(4)第 3 回 UILI 国際技能試験報告書(世界版)の配付及び参加証の送付を、2009 年 8 月に完了した。

(5)参加試験所数	日本	84	試験所
	アメリカ	6	試験所
	カナダ	2	試験所
	メキシコ	1	試験所
	スペイン	2	試験所
	オランダ	6	試験所
	合計	101	試験所

5. 2009 年第 4 回 UILI-ILP の実施概要

(1)識別　　水中の重金属分析

(2)試験項目　　金属類 16 項目

(3)日本については、2010 年 2 月 1,2 日に試料配付を完了した。外国についても、3 月上旬までに試料配付を完了した。

(4)分析値の報告期限は、2010 年 3 月 19 日とした。

(5)日本については、第 4 回 UILI-LIP 国際技能試験報告書(世界版)の配付及び参加証の送付を 2010 年 8 月末日に完了した。

なお、今回は速報版の作成、配付はなしとした。

(6)外国については、参加証を 2010 年 10 月の UILI 委員会で配付した。

(7)参加試験所数	日本	143	試験所
	アメリカ	4	試験所
	スペイン	5	試験所
	メキシコ	1	試験所
	合計	153	試験所

6. 2010 年第 5 回 UILI-ILP の実施概要

(1)識別　　自然水中の陽イオン及び陰イオン分析

(2)試験項目　　陰イオン 4 項目、陰イオン 4 項目、合計 8 項目

(3)日本については、2010 年 2 月 7,8 日に試料配付を完了した。外国についても、2 月中に試料配付を完了した。

(4)分析値の報告期限は、2010 年 3 月 31 日とした。

(5)参加試験所数	日本	128	試験所
	スペイン	4	試験所
	カナダ	1	試験所
	韓国	1	試験所
	ベルギー	1	試験所

合計	135	試験所

(6)日本については、第5回UILI-LIP国際技能試験報告書及び参加証の送付を2011年8月1日に完了した。なお、今回は速報版の作成、配付はなしとした。

(7)外国については、第5回UILI-LIP国際技能試験報告書(英語版)を作成、参加証と一緒に9月中旬に送付完了した。

7. 2011年第6回UILI-ILPの実施概要

(1)識別　高濃度塩水中の金属分析

(2)試験項目　金属類6項目

(3)日本については、2012年2月6,7日に試料配付を完了した。外国についても、2月中に試料配付を完了した。

(4)分析値の報告期限は2012年4月27日とし報告が完了したので、統計解析、報告書の作成を行った。

(5)参加試験所数

日本	141	試験所
スペイン	3	試験所
カナダ	3	試験所
オランダ	2	試験所
ベルギー	1	試験所
合計	151	試験所

(6)日本については、第6回UILI-LIP国際技能試験報告書及び参加証を2012年7月中旬に送付完了した。

(7)外国については、第6回UILI-LIP国際技能試験報告書(英語版)及び参加証を9月初旬に送付完了した。

8. 2012年第7回UILI-ILPの実施概要

(1) 識別　飲料水及び塩水中の金属分析

(2) 試験項目　金属類10項目

(3) 申込受付　平成24年12月6日(木)～平成25年1月31日(木)

(4) 日本については、2013年2月18,19日に、外国については、2月中に試料配付した。

(5)分析値の報告期限は、日本は2013年3月31日、外国は2013年4月7日とし、予定通り報告を受け付けた。

(6)参加試験所数

日本	141	試験所
カナダ	3	試験所
オランダ	2	試験所
メキシコ	1	試験所
スペイン	3	試験所
ポルトガル	4	試験所
中国	1	試験所

合計	155	試験所

(7) 日本については、第 7 回 UILI-LIP 国際技能試験報告書及び参加証を 2013 年 9 月 24 日に送付した。

(8) 外国については、第 7 回 UILI-LIP 国際技能試験報告書(英語版)を作成し、2013 年 12 月 20 日に UILI 事務局に送付した。

9．2014 年第 8 回 UILI-ILP の実施概要

(1) 識別　純水中の金属分析

(2) 試験項目　金属類 15 項目

(3) 申込受付　2014 年 2 月 14 日～3 月 20 日

(4) 試料配付　2014 年 4 月 7 日又は 8 日

(5) 報告期限　2014 年 5 月 16 日（日本）　5 月 23 日（外国）

(6) 報告書発行　2014 年 9 月 30 日

(7) 参加試験所数

日本	109	試験所
カナダ	1	試験所
スペイン	1	試験所
ポルトガル	4	試験所
中国	1	試験所
アメリカ	1	試験所
ブラジル	1	試験所
フランス	1	試験所
合計	119	試験所

(8) 日本については、第 8 回 UILI-LIP 報告書及び参加証を 2014 年 10 月 1 日に送付した。

10. 2015 年第 9 回 UILI-ILP の実施概要

(1) 識別 純水中の金属元素分析

(2) 試験項目　金属類 11 項目

(3) 申込受付　2015 年 2 月 16 日～3 月 13 日

(4) 試料配付　2015 年 3 月 30 日又は 31 日

(5) 報告期限　2015 年 5 月 22 日（日本）　5 月 31 日（海外）

(6) 報告書発行　2015 年 10 月 30 日（日本）

(7) 参加試験所数

日本	94	試験所
アルゼンチン	1	試験所
ベルギー	1	試験所
中国	1	試験所
ドイツ	1	試験所
フランス	1	試験所

韓国	2	試験所
メキシコ	1	試験所
ポルトガル	1	試験所
スペイン	1	試験所
合計	104	試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書及び参加証を 2015 年 10 月 30 日に送付した。

11. 2016 年第 10 回 UILI-ILP の実施概要

(1) 識別　天然水中の陽イオン及び陰イオン

(2) 試験項目　陽イオン 4 項目、陰イオン 5 項目、合計 9 項目

(3) 申込受付　2016 年 2 月 29 日～3 月 25 日

(4) 試料配付　2016 年 4 月 25 日又は 26 日

(5) 報告期限　2016 年 6 月 3 日（日本）　8 月 31 日（海外）

(6) 報告書発行　2015 年 10 月予定（日本）

(7) 参加試験所数

日本	144	試験所
アルゼンチン	1	試験所
中国	1	試験所
ナイジェリア	7	試験所
スペイン	1	試験所
合計	154	試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書及び参加証を 2016 年 10 月中に送付する予定である。

12. 2017 年第 14 回 UILI-ILP の実施概要

(1) 識別　天然水中の硝酸、けい酸及びりん酸

(2) 試験項目　硝酸イオン（NO_3^-）、イオン状シリカ（SiO_2）、りん酸イオン（PO_4^{3-}）

(3) 申込受付　2017 年 4 月 17 日～5 月 31 日

(4) 試料配付　2017 年 6 月 26 日又は 27 日

(5) 報告期限　2017 年 8 月 10 日（日本）　9 月 1 日（海外）

(6) 報告書発行　2017 年 11 月予定（日本）

(7) 参加試験所数

日本	106	試験所
ナイジェリア	5	試験所
中国	2	試験所
スペイン	1	試験所
合計	114	試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書及び参加証を 2017 年 11 月頃送付予定。

■技能試験実績一覧表（平成 11 年～平成 29 年）

平成 29 年 8 月 18 日現在

平成 11 年度		平成 12 年度		平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度		平成 16 年度	
（日環―１）「模擬排水中の重金属分析」 鉛（0.01, 0.02）、亜鉛（1.0, 1.2）、鉄（2.0, 2.5）mg/L		（日環―２）「水中の揮発成分の分析」① トリクロロエチレン、(0.150,0.103) シス-1,2-ジクロロエチレン (0.0379,0.0282) mg/L		（日環―７）「模擬環境水中の残留農薬試験」① シマジン(0.0030,0.0036)、mg/L チオベンカルブ(0.016,0.014)		（日環―12）「環境水中の pH,COD_{Mn} の分析」② ｐＨ(4.00,4.64), COD_{Mn}(10.0,15.1) mg/L		（日環―18）「水中の陰イオン分析」③ ふっ素イオン(0.78,0.97)、mg/L 塩化物イオン(7.88,9.80)、 硝酸性窒素(2.95,4.90)、 硫酸イオン(4.98,7.88)		（日環―22）「水中の生活環境項目分析」④ COD(7.10,9.00) mg/L 全りん(0.0470,0.0640)	
募集 11 年 10 月	報告書 12 年 2 月	募集 12 年 4 月	報告書 12 年 9 月	募集 13 年 4 月	報告書 13 年 10 月	募集 14 年 4 月	報告書 14 年 8 月	募集 15 年 5 月	報告書 15 年 8 月	募集 16 年 4 月	報告書 16 年 6 月
参加数　338	報告数　302	参加数　344	報告数　319	参加数　320	報告数　303	参加数　497	報告数　487	参加数　436	報告数　423	参加数　430	報告数　423
		（日環―３）「模擬環境水中の陰イオン分析」① 塩化物イオン（1.57,1.27）、mg/L 硝酸イオン(1.565,1.86)、 硫酸イオン(2.26,2.66)		（日環―８）「模擬環境水中の全窒素、全りん、ほう素分析」① 全窒素(1.07,0.90)、mg/L 全りん(0.079,0.099)、 ほう素(1.01,0.81)		（日環―13）「模擬環境水中のふっ素、塩素及び窒素の分析」② ふっ素(0.97,1.17)、 塩化物イオン(19.9,15.9)、mg/L 亜硝酸性窒素(6.02,4.83), 硝酸性窒素(4.49,3.59)		（日環―17）「ガス分析」② SO_X(211.38,250.45) mg/m^3 NO_X(93.24,76.54)		（日環―23）「水中の残留農薬分析」③ チオベンカルブ(0.03800,0.02520) ﾌｪﾆﾄﾛﾁｵﾝ(0.0039900,0.003180) シマジン(0.003125,0.004650) mg/L	
		募集 12 年 7 月	報告書 12 年 11 月	募集 13 年 7 月	報告書 13 年 12 月	募集 14 年 7 月	報告書 14 年 11 月	募集 15 年 7 月	報告書 15 年 12 月	募集 16 年 6 月	報告書 16 年 8 月
		参加数　390	報告数　378	参加数　449	報告数　433	参加数　450	報告数　444	参加数　270	報告数　242	参加数　288	報告数　258
		（日環―４）「模擬排水中の重金属分析」② 鉛(0.0499,0.0300)、mg/L 全クロム(0.0965,0.0767), 銅(0.299,0.200)		（日環―９）「排ガス模擬吸収液中の硫黄酸化物と塩化水素の分析」① 硫黄酸化物(92,138)mg/m^3、 塩化水素(285.5,213)		（日環―14）「土壌中の重金属分析」② 銅(39.1,39.2)mg/kg, (鉄 31.2,31.1)mg/g、 マンガン(680,678)mg/kg		（日環―19）「水中の生活環境項目試験」③ COD_{Mn}(8.50,105) mg/L		（日環―24）「土壌中の金属分析」③ カドミウム（0.22,0.22） 鉛（30.3,31.2） 砒素（0.42,0.43）mg/kg	
		募集 12 年 9 月	報告書 13 年 1 月	募集 13 年 9 月	報告書 14 年 2 月	募集 14 年 10 月	**→１７年度に実施**	募集 15 年 9 月	報告書 16 年 1 月	募集 16 年 8 月	報告書 16 年 10 月
		参加数　376	報告数　357	参加数　343	報告数　333	参加数　374	報告数　357	参加数　418	報告数　406	参加数　354	報告数　324
		（日環―５）「土壌中の重金属含有量試験」① 鉛(5.495,5.445)、mg/Kg 亜鉛(118,117)、 鉄(105,104)		（日環―10）「模擬環境水中の重金属分析」③ カドミウム(0.011,0.014)、mg/L マンガン(0.41,0.36)、 ニッケル(0.047,0.056)、 ひ素(0.024,0.019)		（日環―15）「水中の残留農薬分析」② イプロベンホス(0.00735,0.00693)、 フェニトロチオン(0.00218,0.00271)、 イソキサチオン(0.00252,0.00202) mg/L		（日環―20）「水中の揮発性成分の分析」③ 1.1ーｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（0.0105,0.0110） ｼｽー1.2ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(0.0106,0.0110) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(０.0490,0.0507) mg/L		（日環―25）「水中の金属分析」⑥ 鉛（0.0480,0.0380） 全クロム（0.2820,0.3790） 亜鉛（0.2910,0.1960） ニッケル（0.4760,0.5760）mg/L	
		募集 12 年 10 月	報告書 13 年 3 月	募集 13 年 11 月	報告書 14 年 4 月	募集 14 年 12 月	報告書 15 年 4 月	募集 15 年 11 月	報告書 16 年 2 月	募集 16 年 10 月	報告書 16 年 12 月
		参加数　343	報告数　314	参加数　413	報告数　392	参加数　214	報告数　189	参加数　323	報告数　311	参加数　384	報告数　373
		（日環―６）「模擬排水中の COD 分析」① COD_{Mn}(82,101.1) mg/L		（日環―11）「水中の揮発性成分の分析」② テトラクロロエチレン(0.0474,0.0456)、 トリクロロエチレン (0.0162,0.0170)、 シス-1.2-ジクロロエチレン (0.177,0.193) mg/L		（日環―16）「水中の重金属分析」④ 鉛(0.0102,0.0120) mg/L、 セレン(0.0114,0.0096)、 クロム(0.0495,0.0394)、 マンガン(0.488,0.602)		（日環―21）「水中の金属分析」⑤ カドミウム(0.009765,0.007750) マンガン(0.1880,0.2340) 銅(0.7895,0.9845) 亜鉛(0.03910,0.02990) mg/L		（日環―26）「水中の陰イオン分析」④ ふっ化物イオン(0.4910,0.3910) 塩化物イオン(3.940,5.130) 硝酸イオン（4.350,3.440） 硫酸イオン（4.975,3.460）mg/L	
		募集 13 年 1 月	報告書 13 年 5 月	募集 14 年 1 月	報告書 14 年 6 月	募集 15 年 1 月	報告書 15 年 5 月	募集 16 年 1 月	報告書 16 年 4 月	募集 16 年 12 月	報告書 17 年 2 月
		参加数　483	報告数　475	参加数　384	報告数　363	参加数　431	報告数　426	参加数　452	報告数　442	参加数　407	報告数　396
参加数計　338	報告数計　302	参加数計　1,936	報告数計　1,843	参加数計　1,909	報告数　1,824	参加数計 1,966	報告数計　1,903	参加数計　1,899	報告数計　1,824	参加数計　1,863	報告数計　1774
参加数累計 338	報告数累計 302	参加数累計 2,274	報告数累計 2,145	参加数累計 4,183	報告数累計 3,969	参加数累計 6,149	報告数累計 5,872	参加数累計 8,048	報告数累計 7,696	参加数累計 9,911	報告数累計 9,470

平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度	
（日環—27）「土壌ガス測定」① 1.1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(0.970,0.775) ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(0.830,0.665) 1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ(0.910,0.720) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(0.825,0.650) ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(0.795,0.640) vol ppm		（日環—32）「ガス中の成分分析」③ SOx（200、258） mg/㎥ NOx（82,123） mg NO_2 /㎥		（日環－37）「水中の陰イオン分析」⑤ ふっ化物ｲｵﾝ(0.7,0.9) 塩化物ｲｵﾝ(40,35) 硝酸ｲｵﾝ(20,18) 亜硝酸ｲｵﾝ(16,14) mg/L		（日環－42）「水中の重金属」⑩ 鉄（4.5,5.0） 銅（2.0,1.8） 全クロム（5.5,5.0） マンガン（1.8,2.0）mg/L		（日環－47）「水中の陰イオン分析」⑥ ふっ化物イオン（0.9,1.1） 塩化物イオン（90,80） 硝酸イオン（20,23） 硫酸イオン（14,20）mg/L		（日環－52）「水中の富栄養化成分分析」④ 全窒素（0.50/0.70） 全りん（0.06/0.04）mg/L	
募集 13 年 1 月	報告書 13 年 5 月	募集 18 年 4 月	報告書 18 年 8 月	募集 19 年 4 月	報告書 19 年 9 月	募集 20 年 4 月	報告書 20 年 9 月	募集 21 年 4 月	報告書 20 年 9 月	募集 22 年 4 月	報告書 22 年 9 月
参加数 483	報告数 475	参加数 251	報告数 237	参加数 472	報告数 463	参加数 463	報告数 448	参加数 459	報告数 453	参加数 446	報告数 438
（日環—28）「水中の金属分析」⑦ 鉛(0.0490,0.0570) 亜鉛(2.950,2.450) 全クロム(0.0470,0.0380) ひ素(0.0290,0.0240) アンチモン(0.0200,0.0240) mg/L		（日環—33）「水中の生活環境項目試験」⑥ COD_{Mn}(6.0,8.0) mg/L		（日環－38）「土壌汚染対策法における含有量試験」④ ｶﾄﾞﾐｳﾑ(13.68,12.69) 鉛(16.61,15.54) 六価ｸﾛﾑ(12.16,10.76) 砒素(15.60,14.11) mg/kg		（日環－43）「水中の富栄養化成分分析」③ 全窒素（0.820、1.030） 全りん（0.0880、0.0690）mg/L		（日環－48）「水中の重金属分析」⑪ カドミウム（0.007,0.009） 全クロム（0.06,0.05） ひ素（0.020,0.025） 鉛（0.055,0.045）mg/L		（日環－53）「水中の重金属分析」⑫ 亜鉛（1.00/0.90） 鉄（3.0/3.5） 銅（1.20/1.00） マンガン（1.50/1.60）mg/L	
募集 17 年 6 月	報告書 17 年 8 月	募集 18 年 6 月	報告書 18 年 9 月	募集 19 年 6 月	報告書 19 年 12 月	募集 20 年 6 月	報告書平成 20 年 11 月	募集 21 年 6 月	報告書 21 年 11 月	募集 22 年 6 月	報告書 22 年 11 月
参加数 428	報告数 410	参加数 419	報告数 410	参加数 415	報告数 395	参加数 451	報告数 444	参加数 450	報告数 437	参加数 439	報告数 433
(日環—29)「水中の生活環境項目分析」⑤ COD_{Mn}(5.70,3.70) mg/L		（日環—3 4）「大気中のアルデヒド類の測定」① ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（7.9,6.0） mg/㎥ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（6.2,4.2）		（日環－39）「水中の生活環境項目試験」⑦ COD_{Mn}(37.4,42.5) mg/L		（日環－44）「水中の残留農薬分析」⑤ ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ（0.019970、0.016480） ｲｿｷｻﾁｵﾝ（0.002210、0.002950） ﾌｪﾆﾄﾛﾁｵﾝ（0.004430、0.003550）mg/L		（日環－49）「水中の生活環境項目試験」⑨ COD_{Mn}（22,18）mg/L		（日環－54）「水中の生活環境項目試験」⑩ COD_{Mn}（25/21）mg/L	
募集 17 年 9 月	報告書 17 年 11 月	募集 18 年 8 月	報告書 18 年 11 月	募集 19 年 8 月	報告書 20 年 2 月	募集 20 年 8 月	平成 21 年 1 月	募集 21 年 8 月	報告書 21 年 12 月	募集 22 年 8 月	報告書 23 年 1 月
参加数 406	報告数 401	参加数 181	報告数 177	参加数 405	報告数 381	参加数 236	報告数 217	参加数 382	報告数 379	参加数 382	報告数 376
（日環—30）「水中の富栄養化成分分析」② 全窒素(0.910,0.710) 全りん(0.0910,0.0690) mg/L		（日環—35）「水中の金属分析」⑧ 鉛（0.04,0.05） mg/L 全クロム（0.40,0.30） ﾏﾝｶﾞﾝ（0.50,0.60） 銅（0.90,0.80）		（日環－40）「水中の金属分析」⑨ カドミウム（0.005,0.007） 鉛 (0.03,0.02) ヒ素 (0.010,0.015) 亜鉛 (0.50,0.45) mg/L		（日環－45）「ガス中の成分分析」④ 硫黄酸化物（182.355、209.565） 窒素酸化物（83.540、101.590）mg/m³		（日環－50）「土壌汚染対策法における重金属の含有量試験」⑤ ｶﾄﾞﾐｳﾑ(18,16) 鉛(15,17) 六価ｸﾛﾑ(42,38) 砒素(33,36) mg/kg		（日環－55）「水中の陰イオン分析」⑦ ふっ化物イオン（0.90/0.70） 塩化物イオン（90/100） 硝酸イオン（25/22） 硫酸イオン（14/16）mg/L	
募集 17 年 1 1 月	報告書 18 年 1 月	募集 18 年 11 月	報告書 19 年 1 月	募集 19 年 10 月	報告書 20 年 3 月	募集 20 年 10 月	報告書 21 年 3 月	募集 21 年 10 月	報告書 22 年	募集 22 年 10 月	報告書 23 年 3 月
参加数 432	報告数 423	参加数 444	報告数 433	参加数 441	報告数 431	参加数 226	報告数 215	参加数 337	報告数 327	参加数 400	報告数 394
(日環—31)「水中の揮発性成分の分析」④ ｼｽ 1.2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（0.6230,0.6340） ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（1.1230,1.1030） ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（0.9870,0.9270） ｸﾛﾛﾎﾙﾑ（4.3980,4.4400）mg/L		（日環—36）「水中の残留農薬分析」④ ｲﾌﾟﾛﾍﾞﾝﾎｽ(0.010、0.012) ﾌｪﾆﾄﾛﾁｵﾝ(0.0045、0.0035) ｼﾏｼﾞﾝ(0.004、0.0045) mg/L		（日環－41）「水中の揮発性成分分析」⑤ ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ (0.020,0.025) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ (0.04,0.03) 1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ (0.006,0.008) ベンゼン (0.012,0.010) mg/L		（日環－46）「水中の生活環境項目試験」⑧ COD_{Mn}（18,15）mg/L 塩化物イオン濃度 2000mgCl/L		（日環－51）「水中の揮発性成分分析」⑥ ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ (0.020,0.025) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ (0.04,0.03) 1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ (0.006,0.008) ベンゼン (0.012,0.010) mg/L		（日環－56）「水中の残留農薬分析」⑥ ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ（0.025/0.020） シマジン（0.0035/0.0040） ﾌｪﾆﾄﾛﾁｵﾝ（0.0035/0.0030）mg/L	
募集 18 年 2 月	報告書 18 年 4 月	募集 18 年 12 月	報告書 19 年 3 月	募集 19 年 12 月	報告書 20 年 4 月	募集 20 年 12 月	報告書 21 年 4 月	募集 21 年 12 月	報告書 22 年 5 月	募集 22 年 12 月	報告書 23 年
参加数 330	報告数 324	参加数 233	報告数 214	参加数 364	報告数 349	参加数 388	報告数 384	参加数 362	報告数 348	参加数 264	報告数 240
参加数計 2,079	報告数計 2,033	参加数計 1,528	報告数計 1,471	参加数計 2,097	報告数計 2,019	参加数計 1.764	報告数計 1,708	参加数計 1,990	報告数計 1,944	参加数計 1,931	報告数計 1,881
参加数累計 11, 990	報告数累計 11, 503	参加数累計 13,518	報告数累計 12,974	参加数累計 15,615	報告数累計 14,993	参加数累計 17,379	報告数累計 16,701	参加数累計 19,369	報告数累計 18,654	参加数累計 21,300	報告数累計 20,526

平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
（日環－57）「水中の陰イオン分析」⑧ 硝酸イオン(20/18) 亜硝酸イオン(14/16) 塩化物イオン(55/50) ふっ化物イオン(0.7/0.9) mg/L		（日環－62）「水中の陰イオン分析」⑨ 硝酸イオン(16/19) 硫酸イオン(5.0/4.0) 塩化物イオン(80/70) ふっ化物イオン(1.0/0.8) mg/L		（日環－67）「水中の金属分析」⑮ ﾏﾝｶﾞﾝ（0.20/0.30） 銅（2.2/2.0） 亜鉛（0.16/0.10） ｶﾄﾞﾐｳﾑ（0.010/0.008）mg/L		（日環－72）「水中の金属分析」⑯ 全クロム（0.3/0.4） 鉄（2.0/1.5） 亜鉛（0.45/0.50） 鉛（0.1/0.1）mg/L		（日環－77）「水中の富栄養化成分分析」⑨ 全窒素（0.6/0.5） 全りん（0.06/0.08）mg/L		（日環－82）「水中の富栄養化成分分析」⑩ 全窒素（1.1/0.9） 全りん（0.11/0.09）mg/L	
募集 23 年 4 月	報告書 23 年 9 月	募集 24 年 4 月	報告書 24 年 9 月	募集 25 年 4 月	報告書 25 年 9 月	募集 26 年 4 月	報告書 26 年 9 月	募集 27 年 3 月	報告書 27 年 9 月	募集 28 年 3 月	報告書 28 年 9 月
参加数　415	報告数　404	参加数　446	報告数　438	参加数　416	報告数　410	参加数　371	報告数　359	参加数　378	報告数　375	参加数　396	報告数　388
（日環－58）「水中の金属分析」⑬ 亜鉛(0.50/0.45) 鉄(3.0/3.5) 銅(1.5/1.2) 鉛(0.045/0.050) ｱﾙﾐﾆｳﾑ 0.20/0.18) mg/L		（日環－63）「水中の重金属」⑭ 全クロム（0.06/0.08） マンガン（2.00/1.80） 鉄（2.0/2.5） 鉛（0.055/0.050）mg/L		（日環－68）「水中の陰イオン分析」⑩ ふっ化物イオン（0.5/0.4） 塩化物イオン（12/14） 亜硝酸態（性・体）窒素（4.0/3.0） 硝酸態（性・体）窒素（5.0/6.0）mg/L		（日環－73）「水中の富栄養化成分分析」⑧ 全窒素（0.3/0.4） 全りん（2.0/1.5）mg/L		（日環－78）「水中の陰イオン分析」⑫ ふっ化物イオン（0.7/0.5） 塩化物イオン　(60/70) 硝酸イオン　(25/22) 硫酸イオン　(6.0/5.0) mg/L		（日環－83）「水中のほう素および金属分析」⑱ ほう素　(0.7/0.9) 全クロム（0.5/0.4） 鉄　(3.0/2.5) 鉛　(0.03/0.04)　mg/L	
募集 23 年 6 月	報告書 23 年 11 月	募集 24 年 6 月	報告書 24 年 11 月	募集 25 年 6 月	報告書 25 年 12 月	募集 26 年 6 月	報告書 26 年 12 月	募集 27 年 5 月	報告書 27 年 11 月	募集 28 年 5 月	報告書 28 年 11 月
参加数　428	報告数　419	参加数　430	報告数　423	参加数　425	報告数　418	参加数　368	報告数　349	参加数　409	報告数　397	参加数　423	報告数　414
(日環－59)「水中の生活環境項目分析」⑪ COD_{Mn}（24/28）mg/L		（日環－64）「水中の生活環境項目分析」⑫ COD_{Mn}（38/34）mg/L		（日環－69）「水中の富栄養化成分分析」⑦ 全窒素（0.6/0.5） 全りん（0.05/0.06）mg/L		（日環－74）「水中の陰イオン分析」⑪ ふっ化物イオン（0.6/0.8） 塩化物イオン（50/45） 亜硝酸態（性・体）窒素（4.0/4.5） 硝酸態（性・体）窒素（6.5/7.5）mg/L		（日環－79）「水中のほう素及び金属分析」⑰ ほう素　(0.8/0.7) マンガン　(0.15/0.20) 銅　(1.0/0.8) カドミウム（0.005/0.003）mg/L		（日環－84）「水中の陰イオン分析」⑬ ふっ化物イオン（0.6/0.5） 塩化物イオン　(45/40) 亜硝酸イオン　(10/8) 硝酸イオン　(17/19)　mg/L	
募集 23 年 8 月	報告書 23 年 12 月	募集 24 年 8 月	報告書 25 年 1 月	募集 25 年 8 月	報告書 26 年 2 月	募集 26 年 8 月	報告書 27 年 1 月	募集 27 年 6 月	報告書 28 年 1 月	募集 28 年 6 月	報告書 29 年 1 月
参加数　381	報告数　373	参加数　398	報告数　393	参加数　396	報告数　392	参加数　400	報告数　382	参加数　428	報告数　416	参加数　401	報告数　383
（日環－60）「水中の富栄養化成分分析」⑤ 全窒素（0.70/0.90） 全りん（0.08/0.06）mg/L		（日環－65）「土壌汚染対策法における重金属の含有量試験」⑥ mg/kg 六価クロム(40/36) ひ素(33/35) カドミウム(17/16) 鉛(14/16)		（日環－70）「水中の生活環境項目分析」⑬ COD_{Mn}（30/34）mg/L		（日環—75）「水中の生活環境項目分析」⑭ COD_{Mn}（14/16）mg/L		（日環－80）「水中の生活環境項目試験」⑮ COD_{Mn}（10/8）mg/L		（日環－85）「土壌汚染対策法における重金属の含有量試験」⑦ 六価クロム（40/46） ひ素　(35/31) カドミウム（18/15） 鉛　(15/13)　mg/kg	
募集 23 年 10 月	報告書 24 年 2 月	募集 24 年 10 月	報告書 25 年 3 月	募集 25 年 10 月	報告書 26 年 3 月	募集 26 年 9 月	報告書 27 年 3 月	募集 27 年 8 月	報告書 28 年 3 月	募集 28 年 8 月	報告書 29 年 3 月
参加数　404	報告数　393	参加数　317	報告数　307	参加数　407	報告数　400	参加数　380	報告数　378	参加数　386	報告数　371	参加数　318	報告数　308
(日環－61)「ガス中の成分分析」⑤ mg/m^3 硫黄酸化物（258/287） 窒素酸化物（102/123）		（日環－66）「水中の富栄養化成分分析」⑥ 全窒素（0.6/0.5） 全りん（0.05/0.06）mg/L		（日環－71）「水中の揮発性成分分析」⑦ ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ　(0.025,0.022) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ　(0.03,0.035) 1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ（0.006,0.008) ベンゼン　(0.010,0.012) mg/L		（日環－76）「水中の残留農薬分析」⑦ シマジン（0.0030/0.0025） ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ（0.015/0.020）mg/L		（日環－81）「排ガス中の成分分析」⑥ 硫黄酸化物（229/272） 窒素酸化物（133/113）mg/m^3		（日環－86）「水中の揮発性成分分析」⑧ ベンゼン　(0.011/0.009) ジクロロメタン（0.035/0.030) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ　(0.010/0.012) 1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ（0.008/0.006）　mg/L	
募集 23 年 12 月	報告書 24 年 4 月	募集 24 年 12 月	報告書 25 年	募集 26 年 1 月	報告書 26 年 6 月	募集 26 年 11 月	報告書 27 年 6 月	募集 27 年 10 月	報告書 28 年 5 月	募集 28 年 11 月	報告書 29 年 5 月
参加数　230	報告数　211	参加数　389	報告数　381	参加数　357	報告数　336	参加数　303	報告数　286	参加数　233	報告数　214	参加数　371	報告数　349
参加数計　1,858	報告数計　1,800	参加数計　1,980	報告数計　1,942	参加数計　2,001	報告数計　1956	参加数計　1822	報告数計　1754	参加数計　1834	報告数計　1773	参加数計　1909	報告数計　1842
参加数累計 23, 158	報告数累計 22, 326	参加数累計 25, 138	報告数累計 24, 268	参加数累計 27,139	報告数累計 26,224	参加数累計 28961	報告数累計 27978	参加数累計 30795	報告数累計 29751	参加数累計 32704	報告数累計 31593

平成 29 年度											
（日環-87）「水中の生活環境項目試験」⑯ COD_{Mn}（25/30）　mg/L											
募集 29 年 4 月	報告書										
参加数　430	報告数　417										
（日環-88）「水中の金属分析」⑲ アルミニウム マンガン 亜鉛 カドミウム　mg/L											
募集 29 年 5 月	報告書										
参加数	報告数										
(日環-89)「水中の陰イオン分析」⑭ 塩化物イオン 硝酸イオン りん酸イオン 硫酸イオン　mg/L											
募集 29 年 6 月	報告書										
参加数	報告数										
（日環-90）「水中の富栄養化成分分析」⑪ 全窒素 全りん　mg/L											
募集 29 年 8 月	報告書										
参加数	報告数										
(日環-91)　「水中の残留農薬分析」⑧											
募集	報告書										
参加数	報告数										
参加数計	報告数計	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計
参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計

JEMCA

資料：IAAC 総会

Inter American Accreditation Cooperation

22nd IAAC GENERAL ASSEMBLY DRAFT RESOLUTIONS

August 25, 2017 – Bogota, Colombia

22a. ASAMBLEA GENERAL DE IAAC BORRADOR DE RESOLUCIONES

25 de agosto de 2017 – Bogota, Colombia

GA/2017/01	IAAC Chair report and the IAAC Strategic Plan
The General Assembly notes the IAAC Chair's report. The General Assembly acknowledges the progress achieved on the 2016-2020 IAAC Strategic Plan.	

GA/2017/01	Informe de presidencia y el plan estratégico de IAAC
La Asamblea General toma nota del informe de la Presidencia de IAAC. La Asamblea General toma nota de los avances logrados en el plan estratégico de IAAC de 2016-2020.	

GA/2017/02	Internal Audit and Management Review
The General Assembly notes the status of the progress achieved on the corrective actions to address the findings that resulted from the IAAC internal audit carried out in March 2017. The General Assembly ratifies the IAAC management review report performed in March 2017.	

GA/2017/02	Auditoría Interna y Revisión por la Dirección
La Asamblea General toma nota del estado de avance de las acciones correctivas para atender los hallazgos de la auditoría interna de IAAC realizada en marzo 2017. La Asamblea General ratifica el informe de la revisión por la dirección de IAAC realizado en marzo 2017.	

GA/2017/03	Approval of UILI as an IAAC Stakeholder member
The General Assembly approves the membership application of UILI and welcomes it as an IAAC Stakeholder member. The General Assembly approved this application via electronic ballot on April 27, 2017.	

GA/2017/03	Aprobación de UILI como miembro de parte interesada
La Asamblea General aprueba la solicitud de membresía de UILI y le da la bienvenida como miembro de parte interesada de IAAC La Asamblea General aprobó esta solicitud vía boleta electrónica el 27 de abril de 2017.	

GA/2017/04	Approval of Microbioticos Paraguay as an IAAC Stakeholder member
The General Assembly approves the membership application of Microbioticos Paraguay and welcomes it as an IAAC Stakeholder member. The General Assembly approved this application via electronic ballot on April 27, 2017.	

GA/2017/04	Aprobación de Microbioticos Paraguay como miembro de parte interesada
La Asamblea General aprueba la solicitud de membresía de Microbioticos Paraguay y le da la bienvenida como miembro de parte interesada de IAAC. La Asamblea General aprobó esta solicitud vía boleta electrónica el 27 de abril de 2017.	

GA/2017/05	CARAE Associate memberhship application
The General Assembly does not accept the CARAE of Argentina, Associate member application because it does not comply with the requirements for this category of membership. The General Assembly requests the IAAC Secretary to inform CARAE regarding this decision.	

GA/2017/05	Solicitud de membresía asociada de CARAE
La Asamblea General no acepta la solicitud de membresía Asociada de CARAE de Argentina debido a que no cumple con los requisitos para esta categoría de membresía. La Asamblea General solicita al Secretario de IAAC que le informe a CARAE sobre esta decisión.	

GA/2017/06	Committee and Subcommittee Reports and Resolutions
The General Assembly approves the reports and resolutions submitted by the IAAC Committees and Subcommittees during this meeting. Additionally, the General Assembly approves the resolutions of the Executive Committee, MLA Committee, Peer Evaluators Management Subcommittee and Stakeholders Committee	

meetings which were held in San Salvador, El Salvador from March 6-9, 2017.

GA/2017/06	Informes y resoluciones de comités y subcomités

La Asamblea General aprueba los informes y resoluciones de los comités y subcomités de IAAC que fueron presentados durante esta reunión.

Asimismo, la Asamblea General aprueba las resoluciones de las reuniones del Comité Ejecutivo, Comité MLA, Subcomité de Gestión de Evaluadores Pares y Comité de Partes Interesadas realizadas en San Salvador, El Salvador, del 6 al 9 de marzo de 2017.

GA/2017/07	Launching of the IAAC MLA for EnMS

The General Assembly agrees to launch the IAAC MLA for the scope of Energy Management Management Systems, (EnMS) Certification Bodies, main scope: ISO/IEC 17021-1, Level 4 ISO/TS 50003, Level 5 ISO 50001.

The General Assembly approved this resolution via electronic ballot on April 27, 2017.

GA/2017/07	Lanzamiento del MLA de IAAC para EnMS

La Asamblea General acuerda el lanzamiento del MLA de IAAC para el alcance de Organismos de certificación de sistemas de gestión de energía (EnMS), alcance principal: ISO/IEC 17021-1, Nivel 4 ISO/TS 50003, Nivel 5 ISO 50001.

La Asamblea General aprobó esta resolución vía electrónica el 27 de abril de 2017.

GA/2017/08	IAAC request to ILAC to launch the RMP MRA

The General Assembly endorses the MLA Committee's decision to request ILAC to launch the MRA for the scope of Reference Materials Producers (RMP).

The General Assembly made this decision via electronic ballot on April 27, 2017.

GA/2017/08	Solicitud de IAAC a ILAC para iniciar el MRA de RMP

La Asamblea General ratifica la decisión del Comité MLA de solicitar a ILAC que inicie el MRA para el alcance de Productores de materiales de referencia (RMP).

La Asamblea General tomó esta decisión vía electrónica el 27 de abril de 2017.

GA/2017/09	IAAC MLA extension for subscope Anti-bribery Management Systems
The General Assembly agrees to launch the IAAC MLA to the scope extension for level 3 ISO/IEC 17021-1, subscope level 5, under ISO 37001 Antibribery Management Systems Certification Bodies.	

GA/2017/09	Extension del MLA de IAAC para el subalcance de Sistemas de Gestión de Anti-soborno
La Asamblea General acuerda el lanzamiento del MLA de IAAC para el nivel 3 ISO/IEC 17021-1, subalcance nivel 5, bajo la norma ISO 37001 subalcance de Sistemas de Gestión de Anti-soborno.	

GA/2017/10	ECA of Costa Rica maintains its MLA for Testing, Calibration, QMS, EMS, Product and is accepted into the MLA for Medical Laboratories
The General Assembly notes the MLA Group's decision that the Ente Costarricense de Acreditación, (ECA), of Costa Rica, maintains its status as IAAC MLA signatory for the scopes of Testing and Calibration Laboratories (under ISO/IEC 17025); Inspection Bodies (ISO/IEC 17020); Quality Management Systems (QMS) Certification (ISO/IEC 17021-1); Environmental Management Systems (EMS) Certification (ISO/IEC 17021-1), and Product Certification Bodies (ISO/IEC 17065), as of July 8, 2017. The General Assembly also notes the MLA Group's decision that the Ente Costarricense de Acreditacion (ECA), of Costa Rica, is accepted as a signatory to the IAAC MLA for Medical Laboratories (ISO 15189), as of July 8, 2017.	

GA/2017/10	ECA of Costa Rica mantiene su MLA para ensayos y calibración, QMS, EMS, y producto y es aceptatado en el MLA de Laboratorios Clínicos
La Asamblea General toma nota de la decisión del Grupo MLA de que el Ente Costarricense de Acreditación, (ECA), de Costa Rica, mantiene su estado de signatario del MLA de IAAC para los alcances de laboratorios de ensayos y calibración (ISO/IEC 17025); organismos de inspección (ISO/IEC 17020); organismos de certificación de sistemas de gestión de la calidad (ISO/IEC 17021-1); organismos de certificación de sistemas de gestión ambiental (ISO/IEC 17021-1), y organismos de certificación de producto (ISO/IEC 17065), a partir del 8 de julio de 2017. La Asamblea General toma nota de la decisión del Grupo MLA de que el Ente Costarricense de Acreditacion (ECA), de Costa Rica, es aceptado como signatario del MLA de IAAC para el alcance de laboratorios clínicos (ISO 15189), a partir del 8 de julio de 2017.	

GA/2017/11	ANAB of USA is accepted into the MLA for Reference Materials Producers (RMP)
The General Assembly notes the MLA Group's decision that the ANSI-ASQ National Accreditation Board (ANAB) of USA is accepted as a signatory to the IAAC MLA for the scope of Reference Materials Producers (RMP), based on ISO Guide 34, as of July 8, 2017.	

GA/2017/11	ANAB de EUA es aceptado como signatario del MLA para Productores de Materiales de Referencia
La Asamblea General toma nota de la decisión del Grupo MLA de que ANSI-ASQ National Accreditation Board (ANAB) de EUA, es aceptado como signatario del MLA de IAAC para el alcance de Productores de Materiales de Referencia con base en la ISO Guía 34, a partir del 8 de julio de 2017.	

GA /2017/12	ANAB of USA maintains its MLA for QMS, EMS, FSMS, MDMS and ISMS
The General Assembly notes the MLA Group's decision that ANSI-ASQ National Accreditation Board LLC, (ANAB), of USA maintains its status as a signatory to the IAAC MLA for the scopes of Quality Management Systems (QMS) Certification Bodies (ISO/IEC 17021-1); Environmental Management Systems (EMS) Certification Bodies (ISO/IEC 17021-1); Food Safety Management Systems (FSMS) Certification Bodies (ISO/IEC 17021-1); Medical Devices Management Systems (MDMS) Certification Bodies (ISO/IEC 17021-1); and Information Security Management Systems (ISMS) Certification Bodies (ISO/IEC 17021-1).	

GA /2017/12	ANAB de EUA mantiene su MLA para los alcances de QMS, EMS, FSMS, MDMS e ISMS
La Asamblea General toma nota de la decisión del Grupo MLA de que ANSI-ASQ National Accreditation Board (ANAB) de EUA, mantiene su estado como signatario del MLA de IAAC para los alcances de organismos de certificación de sistemas de gestión de la calidad (QMS), (ISO/IEC 17021-1); organismos de certificación de sistemas de gestión ambiental (EMS), (ISO/IEC 17021-1); organismos de certificación de sistemas de gestión de inocuidad de los alimentos, (FSMS), (ISO/IEC 17021-1); organismos de certificación de sistemas de gestión de dispositivos médicos (MDMS), (ISO/IEC 17021-1); organismos de certificación de sistemas de gestión de seguridad de la información (ISMS), (ISO/IEC 17021-1).	

GA /2017/13	OAA of Argentina maintains its MLA for Testing, Medical, Calibration, Inspection, QMS, EMS, and Product
The General Assembly notes the MLA Group's decision that the Organismo Argentino de Acreditacion, (OAA) of Argentina, maintains its status as a signatory to the IAAC MLA for the scopes of Testing Laboratories (ISO/IEC 17025); Medical Laboratories, (ISO/IEC 15189); Calibration Laboratories (ISO/IEC 17025); Inspection Bodies (ISO/IEC 17020); QMS Certification Bodies (ISO/IEC 17021-1);, EMS Certification Bodies, (ISO/IEC 17021-1); and Product Certification Bodies (ISO/IEC 17065), including GLOBAL GAP.	

GA /2017/13	OAA de Argentina mantiene su MLA para ensayos, clínicos, calibración, inspección, QMS, EMS, y producto
La Asamblea General toma nota de la decisión del Grupo MLA de que el Organismo Argentino de Acreditacion, (OAA) de Argentina, mantiene su estado como signatario del MLA de IAAC para los alcances de laboratorios de ensayos (ISO/IEC 17025); laboratorios clínicos (ISO 15189); laboratorios de calibración (ISO/IEC 17025); organismos de inspección (ISO/IEC 17020), organismos de certificacion de sistemas de gestión de la calidad (QMS), (ISO/IEC 17021-1); organismos de certificación de sistemas de gestión ambiental (EMS), (ISO/IEC 17021-1); y organismos de certificación de producto (ISO/IEC 17065), incluyendo GLOBAL GAP.	

GA/2017/14	IAAC MLA Signatories new scope extensions
The General Assembly notes the MLA Group's decisions to accept the following IAAC MLA signatories applications for new scope extensions: Ema of Mexico's application to extend its MLA to include the scope of Energy Management Systems, (EnMS), Certification Bodies (ISO 50001), was approved via electronic ballot by the MLA Group, on April 27, 2017. ANAB, of USA's application to extend its MLA to include the scope of Energy Management Systems, (EnMS), Certification Bodies (ISO 50001), was approved via electronic ballot by the MLA Group, on April 27, 2017.	

GA/2017/14	Nuevas extensiones de alcance de signatarios del MLA de IAAC
La Asamblea General toma nota de la decisión del Grupo MLA de aceptar la extensión de alcances de los siguientes signatarios del MLA: La solicitud de ANAB de EUA para ampliar el alcance del MLA para organismos de certificación de sistemas de gestión de energía (ISO 50001), fue aprobada vía boleta electrónica por el Grupo MLA, el 27 de abril de 2017. La solicitud de ema de México para ampliar el alcance del MLA para organismos de certificación de sistemas de gestión de energía (ISO 50001), fue aprobada vía boleta electrónica por el Grupo MLA, el 27 de abril de 2017.	

GA/2017/15	**Reports regarding the transition to ISO/IEC 17021-1:2015, ISO 9001:2015 and ISO 14001:2015 and IAF MD documents; and ISO 17034: 2016.**
The General Assembly takes note that the MLA Group reviewed the reports submitted by the IAAC MLA signatory members for the scope of Quality Management Systems Certification Bodies, on the transitions to ISO/IEC 17021-1:2015 (final reports), ISO 9001:2015; ISO 14001:2015; and to the mandatory documents IAF MD 2:2017; IAF MD 17:2015; IAF MD 19:2016; IAF MD 20:2016 and to the ISO 17034: 2016 standard.	

GA/2017/15	**Informes sobre las transiciones a las normas ISO/IEC 17021-1:2015, ISO 9001:2015, ISO 14001:2015, documentos IAF MD; y la ISO 17034:2016;**
La Asamblea General toma nota de que el Grupo MLA revisó los informes presentados por los miembros signatarios del MLA de IAAC para el alcance de organismos de certificación de sistemas de gestión de la calidad, sobre la transición a las normas ISO/IEC 17021-1:2015 (informes finales), ISO 9001:2015; ISO 14001:2015; y a los documentos obligatorios IAF MD 2:2017; IAF MD 17:2015; IAF MD 19:2016; IAF MD 20:2016 y a la norma ISO 17034: 2016.	

GA/2017/16	**IAAC Audited Financial Statements, Financial Report and Budget**
The General Assembly approves the 2016 audited IAAC financial statements, the IAAC financial report from January to July 2017, and the 2018 IAAC Budget presented by the IAAC Treasurer.	

GA/2017/16	**Estados financieros auditados, informe financiero, y presupuesto de IAAC**
La Asamblea General aprueba los estados financieros auditados de 2016, el informe financiero de enero a julio de 2017, y el presupuesto de IAAC de 2018, presentados por el Tesorero de IAAC.	

GA/2017/17	**Approval of IAAC Documents**
The General Assembly approved the following IAAC documents during this meeting: -AD 021 MLA Group and MLA Committee Terms of Reference -AD 022 Technical Committee Terms of Reference -AD 023 Management Committee Terms of Reference	

-AD 024 Laboratories Subcommittee Terms of Reference

-AD 025 Inspection Bodies Subcommittee Terms of Reference

-AD 026 Certification Bodies Subcommittee Terms of Reference

-AD 027 Documentation Subcommittee Terms of Reference

-AD 028 Promotions Subcommittee Terms of Reference

-AD 029 Training Subcommittee Terms of Reference

-AD 032 2017-2018 Technical Committee Work Plan

-AD 033 2017-2018 Management Committee Work Plan

-AD 034 2017-2018 Laboratories Subcommittee Work Plan

-AD 035 2017-2018 Inspection Bodies Subcommittee Work Plan

-AD 036 2017-2018 Certification Bodies Subcommittee Work Plan

-AD 037 2017-2018 Documentation Subcommittee Work Plan

-AD 038 2017-2018 Promotions Subcommittee Work Plan

-AD 039 2017-2018 Training Subcommittee Work Plan

-AD 045 2017-2018 Stakeholders Committee Work Plan

The General Assembly approved the following IAAC documents via electronic ballot:

-MD 028 IAAC Mandatory and Non-mandatory application for the assessment and accreditation of Reference Materials Producers. Approved via electronic ballot on April 27, 2017.

-PR 005 Procedure for Handling of Appeals and Complaints. Approved via electronic ballot on May 27, 2017.

-PR 011 Procedure for Management Review and Internal Audits. Approved via electronic ballot on May 27, 2017.

-AD 021 MLA Group and MLA Committee Terms of Reference. Approved via electronic ballot on May 27, 2017.

-AD 031 MLA Committee Work Plan. Approved via electronic ballot on May 27, 2017.

-AD 046 Peer Evaluators Management Subcommittee Terms of Reference. Approved via electronic ballot on May 27, 2017.

GA/2017/17	Aprobación de documentos de IAAC

La Asamblea General aprobó los siguientes documentos de IAAC durante esta reunión:

-AD 021 Términos de referencia del Grupo MLA y del Comité MLA de IAAC

-AD 022 Términos de referencia del Comité Técnico

-AD 023 Términos de referencia del Comité de Gestión

-AD 024 Términos de referencia del Subcomité de laboratorios

-AD 025 Términos de referencia del subcomité de organismos de inspección

-AD 026 Términos de referencia del subcomité de organismos de certificación

-AD 027 Términos de referencia del subcomité de documentación

-AD 028 Términos de referencia del subcomité de promoción

-AD 029 Términos de referencia del subcomité de capacitación

-AD 032 2017-2018 Plan de Trabajo del Comité Técnico

-AD 033 2017-2018 Plan de Trabajo del Comité de Gestión

-AD 034 2017-2018 Plan de Trabajo del subcomité de laboratorios

-AD 035 2017-2018 Plan de Trabajo del subcomité de organismos de inspección

-AD 036 2017-2018 Plan de Trabajo del subcomité de organismos de certificación

-AD 037 2017-2018 Plan de Trabajo del subcomité de documentación

-AD 038 2017-2018 Plan de Trabajo del subcomité de promoción

-AD 039 2017-2018 Plan de Trabajo del subcomité de capacitación

-AD 045 2017-2018 Plan de Trabajo del Comité de Partes Interesadas

La Asamblea General aprobó los siguientes documentos de IAAC vía votación electrónica:

-MD 028 Aplicación obligatoria y no obligatoria de IAAC para la evaluación y acreditación de productores de materiales de referencia. Aprobado vía votación electrónica el 27 de abril de 2017.

-PR 005 Procedimiento para el manejo de quejas y apelaciones. Aprobado vía votación electrónica el 27 de mayo de 2017.

-PR 011 Procedimiento para la revisión por la dirección y para auditoría interna. Aprobado vía votación electrónica el 27 de mayo de 2017.

-AD 021 Términos de referencia del Grupo MLA y del Comité MLA de IAAC. Aprobado vía votación electrónica el 27 de mayo de 2017.

-AD 031 2017-2018 Plan de Trabajo del Comité MLA. Aprobado vía votación electrónica el 27 de mayo de 2017.

-AD 046 Términos de referencia del subcomité de gestión de evaluadores pares, (PEMS). Aprobado vía votación electrónica el 27 de mayo de 2017.

GA/2017/18	IAF-ILAC documents adopted by IAAC in 2017

The General Assembly acknowledges that the following IAF-ILAC documents which are mandatory for the IAAC MLA, were automatically adopted by IAAC upon publication by IAF-ILAC:

-IAF/ILAC A1:03/2017 IAF/ILAC Multi-Lateral Mutual Recognition Arrangements (Arrangements): Requirements and Procedures for Evaluation of a Regional Group.

-IAF/ILAC A2:03/2017 IAF/ILAC Multi-lateral Mutual Recognition Arrangements (Arrangements): Requirements and Procedures for Evaluation of a Single Accreditation Body.

-IAF MD 2:2017 IAF Mandatory Document for the Transfer of Accredited Certification of Management Systems

-IAF MD 8:2017 Application of ISO/IEC 17011:2004 in the Field of Medical Device Quality Management Systems (ISO 13485)**.**

-IAF MD 9:2017 Application of ISO/IEC 17021 in the Field of Medical Device Quality Management Systems (ISO 13485)

-ILAC P5:06/2017 ILAC Mutual Recognition Arrangement: Scope and Obligations

Guidance document adopted by IAAC:

-ILAC P4:06/2017 ILAC Mutual Recognition Arrangement: Policy and Management

GA/2017/18	Documentos de IAF-ILAC adoptados por IAAC en 2017

La Asamblea General toma nota de que los siguientes documentos de IAF-ILAC que son obligatorios para el MLA de IAAC, fueron adoptados automáticamente por IAAC al ser publicado por IAF e ILAC:

-IAF/ILAC A1:03/2017 Acuerdos de Reconocimiento Mutuo Multi-lateral de IAF/ILAC (Acuerdos): Requisitos y procedimientos para la evaluación de un grupo regional.

-IAF/ILAC A2:03/2017 Acuerdos de Reconocimiento Mutuo Multi-lateral de IAF/ILAC (Acuerdos): Requisitos y procedimientos para la evaluación de un solo organismo de acreditación.

-IAF MD 2:2017 Documento obligatorio de IAF para la transferencia de certificación acreditada de sistemas de gestión.

-IAF MD 8:2017 Aplicación de la ISO/IEC 17011:2004 en el campo de sistemas de gestión de dispositivos médicos (ISO 13485).

-IAF MD 9:2017 Aplicación de la ISO/IEC 17021 en el campo de sistemas de gestión de dispositivos médicos (ISO 13485).

-ILAC P5:06/2017 Acuerdo de reconocimiento mutuo de ILAC: Alcance y obligaciones.

Guidance document adopted by IAAC:

-ILAC P4:06/2017 Acuerdo de reconocimiento mutuo de ILAC, política y gestión.

GA/2017/19	**Status of 3 Technical Cooperation Projects with PTB**
The General Assembly acknowledges the status report of the 3 Technical Cooperation Projects as presented by Victor Gandy, IAAC Secretary, and prepared by María Miranda of ONARC, Cuba. The projects are titled "Quality Infrastructure Services for Renewable Energies and Energy Efficiency (R3E) in Latin America and the Caribbean"; “Quality Infrastructure Regional Fund for Biodiversity & Climate Protection in Latin America and the Caribbean”; and “Promoting Innovation in the Green Economy by including Quality Infrastructure In Latin America and the Caribbean”. The 3 projects are executed between IAAC, COPANT, SIM, and are sponsored by the Physikalisch-Technische Bundesanstalt (PTB) of Germany and supported by the Organization of American States (OAS).	

GA/2017/19	**Estado de los 3 Proyectos de Cooperación Técnica con el PTB**
La Asamblea General toma nota del informe sobre el estado de los 3 proyectos de cooperación técnica presentados por Victor Gandy, Secretario de IAAC, y preparado por María Miranda de ONARC, Cuba. Los proyectos se titulan "Servicios de la infraestructura de la calidad para energías renovables y eficiencia energética en América Latina y el Caribe"; “Fondo regional de la infraestructura de la calidad para la biodiversidad y la protección al clima en América Latina y el Caribe”; y “Promover la Inovación en la economía verde al incluir la infraestructura de la calidad en América Latina y el Caribe”. Los 3 proyectos se ejecutan entre IAAC, COMPANT SIM, con el patrocinio del Physikalisch-Technische Bundesanstalt (PTB) de Alemania y con el apoyo de la Organización de los Estados Americanos, (OEA).	

GA/2017/20	**Cooperation with IHAF**
The General Assembly agrees to develop a relationship of cooperation with the International Halal Accreditation Forum, (IHAF), and requests the IAAC Chair to sign a letter of intent on behalf of IAAC. The General Assembly notes that the IAAC Executive Committee has reviewed a draft MOU between IAAC and IHAF and sent its comments to IHAF. The IAAC Secretary shall submit to the General Assembly the final version of the MOU for comments and ballot via electronic ballot.	

GA/2017/20	**Cooperación con IHAF**
La Asamblea General acuerda desarrollar una relación de cooperación con el Foro Internacional de Acreditación Halal (IHAF), y le solicita al Presidente de IAAC que firme una	

carta de intención en nombre de IAAC.

La Asamblea General toma nota de que el Comité Ejecutivo revisó un borrador del MOU entre IAAC e IHAF y le envió sus comentarios a IHAF. El Secretario enviará a la Asamblea General la versión final del MOU para comentarios y votación vía electrónica.

GA/2017/21	International Cooperations and Regional Organizations reports

The General Assembly notes the IAF, ILAC, APLAC, PAC, AFRAC, SADCA, ARAC, COPANT, SIM reports presented by their representatives or submitted in writing.

The General Assembly notes the report regarding a UNIDO activity presented by Sharonmae Shirley of JANAAC, Jamaica.

GA/2017/21	Informes de Cooperaciones internacionales y organizaciones regionales

La Asamblea General toma nota de los informes de IAF, ILAC, APLAC, PAC, SADCA, AFRAC, ARAC, COPANT, SIM presentados por sus representantes o enviados por escrito. La Asamblea General toma nota del informe de una actividad de UNIDO presentada por Sharonmae Shirley de JANAAC, Jamaica.

GA/2017/22	Request to UNIDO for training

The General Assembly takes note that the IAAC Chair will approach UNIDO with a request to organize 2 workshops for IAAC members regarding project development, one for English speaking members and one for Spanish speaking members, to be held in 2018.

GA/2017/22	Solicitud de capacitación a UNIDO

La Asamblea General toma nota de que el Presidente de IAAC abordará a UNIDO con una solicitud para organizar 2 talleres para miembros de IAAC con respecto a desarrollo de proyectos, uno en inglés y otro en español, a realizarse en 2018.

GA/2017/23	IAAC members' reports

The General Assembly notes the verbal information provided during the meeting by some of the IAAC members.

GA/2017/23	Informes de miembros de IAAC

La Asamblea General toma nota de las informaciones verbales y presentaciones de algunos miembros de IAAC.

GA/2017/24	Quality Infrastructure Council of the Americas

The General Assembly takes note of the Quality Infrastructure Council of the Americas, (QICA), activities report provided by Ileana Martinez, IAAC Past Chair, regarding the work that is being undertaken and the proposed activities.

GA/2017/24	Consejo de la Infraestructura de la Calidad de América

La Asamblea General toma nota del informe de actividades del Consejo de la Infraestructura de la Calidad de América, (QICA), que presentó Ileana Martinez, la Presidenta anterior de IAAC, sobre el trabajo que se está realizando y las actividades propuestas.

GA/2017/25	IAAC Elections results

The General Assembly full members elected the IAAC officials listed below for the 2017-2019 term.

Liliane Somma of OUA, Uruguay, as IAAC Vice-Chair

Francisco Piedrahita de ONAC, Colombia, as IAAC Treasurer

Ferney Chaparro of ONAC, Colombia, as MLA Committee Chair

Barbara Belzer of NVLAP, USA, as MLA Committee Vice-Chair

Alba Cabrera of ONA, Paraguay, as Management Committee Vice-Chair

Yrene Caballero of ONA, Paraguay, as Documentation Subcommittee Chair

Rhonda Banks of ANAB, USA, as Documentation Subcommittee Vice-Chair

Andrea Melo of Cgcre, Brazil, as Technical Committee Vice-Chair

Paola Mársico of OAA, Argentina, as Inspection Bodies Subcommittee Chair.

Sergio Hurtado of ema, Mexico, as Inspection Bodies Subcommittee Vice-Chair.

Eduardo Ceballos of INN, Chile, as Certification Bodies Subcommittee Chair

Cheryl Morton of AIHA-LAP, USA, as Laboratories Subcommittee Chair

Eliana Ditta of OAA, Argentina, as Laboratories Subcommittee Vice-Chair

Elizabeth Tejeda of ema, Mexico, as Peer Evaluators Management Subcommittee Chair

Robert Miller of A2LA, USA, as Peer Evaluators Management Subcommittee Vice-Chair

GA/2017/25	Resultados de elecciones de IAAC

Los miembros plenos de la Asamblea General eligieron a los siguientes funcionarios de IAAC para el periodo 2017-2019:

Liliane Somma de OUA, Uruguay, como Vicepresidenta de IAAC

Francisco Piedrahita de ONAC, Colombia, como Tesorero de IAAC

Ferney Chaparro de ONAC, Colombia, como Presidente del Comité MLA

Barbara Belzer de NVLAP, EUA, como Vicepresidenta del Comité MLA

Alba Cabrera de ONA, Paraguay, como Vicepresidenta del Comité de Gestión

Yrene Caballero de ONA, Paraguay, como Presidenta del Subcomité de Documentación

Rhonda Banks de ANAB, EUA, como Vicepresidenta del Subcomité de Documentación

Andrea Melo de Cgcre, Brasil, como Presidenta del Comité de Técnico

Paola Mársico de OAA, Argentina, como Presidenta del Subcomité de Organismos de Inspección.

Sergio Hurtado de ema, Mexico, como Vicepresidente del Subcomité de Organismos de Inspección.

Eduardo Ceballos de INN, Chile, as como Presidente del Subcomité de Organismos de Certificación

Cheryl Morton de AIHA-LAP, EUA, como Presidenta del Subcomité de Laboratorios

Eliana Ditta de OAA, Argentina, como Vicepresidenta del Subcomité de Laboratorios

Elizabeth Tejeda de ema, Mexico, como Presidenta del Subcomité de Gestión de Evaluadores Pares

Robert Miller de A2LA, EUA, como Vicepresidente del Subcomité de Gestión de Evaluadores Pares

GA/2017/26	Stakeholder member representatives

The General Assembly notes that the IAAC Stakeholder members elected the following representatives to IAAC:

Jose Luis Ogando of IRAM, Argentina as a representative to the Executive Committee.

Ramón Madriñan of ASOSEC, Colombia, as a representative to the MLA Committee

GA/2017/26	Representantes de miembros de partes interesadas

La Asamblea General toma nota que los miembros de partes interesadas eligieron a sus representantes ante IAAC:

Jose Luis Ogando de IRAM, Argentina como representante ante el Comité Ejecutivo.

Ramón Madriñan de ASOSEC, Colombia, como representante ante el Comité MLA.

GA/2017/27	Next IAAC General Assembly and Executive Committee

The General Assembly expresses its appreciation to the JANAAC of Jamaica for its kind invitation to host the 23rd General Assembly and its related meetings to be held in Montego Bay, Jamaica, from August 23-31, 2018.

The General Assembly notes that ema of Mexico offered to host the 24th General Assembly in 2019.

The General Assembly notes that OAA of Argentina offered to host the 49th Executive Committee in March 2018 and that the IAF-ILAC CMC-MCC meeting will also be held during this time.

The General Assembly notes that Cgcre of Brazil offered to host the 51st Executive Committee meetings to be held in March 2019.

GA/2017/27	Próxima Asamblea General y Comité Ejecutivo de IAAC

La Asamblea General expresa su agradecimiento al JANAAC de Jamaica por su amable invitación de ofrecer la sede de la 23ª Asamblea General, a realizarse en Montego Bay, Jamaica, del 23-31 de agosto de 2018.

La Asamblea General toma nota de que ema de Mexico ofreció ser sede de la 24ª Asamblea General en 2019.

La Asamblea General toma nota que OAA de Argentina ofreció ser sede del 49o Comité Ejecutivo en marzo 2018 y que la reunion de IAF-ILAC CMC-MCC también se realizará durante este tiempo.

La Asamblea General toma nota que Cgcre de Brasil ofreció ser sede del 51o Comité Ejecutivo en marzo 2019.

GA/2017/28	Appreciation to ONAC of Colombia

The Executive Committee extends it appreciation to Francisco Piedrahita, Ferney Chaparro, and to all of the staff at the Organismo Nacional de Acreditacion, of Colombia, (ONAC) for their hospitality and for the excellent organization of the 22 IAAC General Assembly meetings held in Bogota, Colombia, from August 19-25, 2017.

GA/2017/28	Agradecimientos al ONAC de Colombia

El Comité Ejecutivo agradece a Francisco Piedrahita, Ferney Chaparro, y a todo el personal del Organismo Nacional de Acreditación de Colombia, (ONAC), por su hospitalidad y por la excelente organización de las reuniones de la 22ª Asamblea General de IAAC realizada en Bogotá, Colombia, del 19 al 25 de agosto de 2017.